

富山県魚津市

仏田遺跡発掘調査報告

—国道8号入善黒部バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告—

2014年

魚津市教育委員会

富山県魚津市

仏田遺跡発掘調査報告

—国道8号入善黒部バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告—

2014年

魚津市教育委員会

序

魚津市教育委員会では、国道8号入善黒部バイパス建設事業に伴いまして、平成19年度より平伝寺地区から江口地区に所在する遺跡の発掘調査を実施してまいりました。調査の結果、仏田遺跡と江口遺跡で奈良・平安時代を中心とする貴重な遺構や遺物の発見があり、これまで遺跡の空白地であった地域で、今の私たちにつながる過去の人々の営みを確認することができました。

本書は、平成20年度、21年度に発掘調査を実施した仏田遺跡の成果をまとめたものです。発掘調査では、平安時代の竪穴住居跡や掘立柱建物跡など多くの遺構が確認されました。また、富山県東部では類例の少ない石帯と呼ばれる当時の官人が身に着けた装身具、鍛造剥片や鞆の羽口などの鍛冶関連の遺物も出土し、この地域における奈良・平安時代の様相を解明する貴重な資料を蓄積することができました。

本書が地域の歴史を解明する手掛りの一つとなり、地域学習の教材として多くの人々に活用され、地域の歴史研究と埋蔵文化財保護の意義に役立てば幸いです。

最後に、発掘調査の実施及び本報告書を取りまとめるにあたりまして、多大なご協力をいただきました地区の方々や各関係機関及び関係諸氏、発掘調査に従事していただいた作業員の皆様に、厚くお礼申し上げます。

平成26年3月

魚津市教育委員会
教育長 長島 潔

例言

- 1 本書は、魚津市教育委員会が、国道8号入善黒部バイパス建設事業(魚津市内)に伴い、平成20・21年度に実施した仏田遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 調査は国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所の委託を受け、バイパス建設事業に先立ち、魚津市教育委員会が実施した。
- 3 調査事務局は魚津市教育委員会生涯学習・スポーツ課(生涯学習課)に置き、文化係が担当した。発掘調査は日本海航測株に委託して、調査を実施した。
- 4 発掘調査期間 平成20年6月17日～12月26日
平成21年7月9日～8月11日
- 5 調査担当者 塩田明弘(魚津市教育委員会生涯学習・スポーツ課)
的場茂児(魚津市教育委員会生涯学習・スポーツ課)
- 6 本書の執筆は、第5章第1節の金属器以外を榑アーキジオ小林修が、第6章第1節を榑吉田生物研究所、第6章第2節を榑加速器分析研究所、そのほかを的場が担当した。遺物の写真撮影は、日本海航測株村上との場が行った。
- 7 本書の編集は、的場が行った。
- 8 本文で扱った遺物及び調査で確認された遺構の詳細は、一覧表に掲載している。
- 9 本書で示す方位は全て真北で、標高は海拔高(m)である。また、X・Y座標は、旧日本測地系に基づく平面直角座標系第Ⅶ系である。
- 10 挿図の縮尺は下記を基本とし、適宜縮尺を変更した。
遺構 竪穴住居跡：1/40、掘立柱建物跡：1/100、柵跡：1/80、溝：1/60～1/400、
土坑跡：1/40・1/60、ピット：1/40
遺物 土器・土製品：1/3・1/4、石製品：1/2・1/3、金属製品：1/2
- 11 遺物実測図、遺物観察表、遺物写真の番号は符合する。写真の縮尺は約1/3を基本とした。
- 12 出土遺物及び発掘調査の記録は、魚津市教育委員会が保管している。
- 13 発掘調査及び遺物整理に際しては、下記の方々から協力を得た。
国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所、(公財)富山県文化振興財団
- 14 発掘調査に際しては、地元の方々からの協力を得た。

凡例

遺構の地山及び遺物の煤付着部分及び赤彩土器等は以下のとおりとした。



地山



炭化物・煤



赤彩土器

● 黒色土器



灰釉陶器断面



緑釉陶器断面

目次

第1章 遺跡の地理的・歴史的環境	1
第1節 地理的環境	1
第2節 歴史的環境	3
第2章 調査の経緯	5
第1節 調査にいたる経緯	5
(1) 分布調査	5
(2) 試掘調査	5
(3) 本発掘調査	7
第3章 調査の概要	9
第1節 調査の方法	9
第2節 調査日誌	10
第4章 遺構	13
第1節 I区の遺構	13
(1) 層位	13
(2) 遺構	13
第2節 II区の遺構	21
(1) 層位	21
(2) 遺構	21
第5章 遺物	85
第1節 I区出土遺物	85
第2節 II区出土遺物	101
第6章 自然化学分析	151
第1節 魚津市仏田遺跡出土土器の塗膜構造調査	151
第2節 仏田遺跡における放射性炭素年代(AMS測定)	154
第7章 まとめ	161
(1) 遺物	161
(2) 遺構	162

挿図目次

第1図	仏田遺跡周辺の遺跡分布図(縮尺 1:40,000)	1
第2図	調査区位置図(縮尺 1:2,000)	6
第3図	I区の調査区分割図(縮尺 1:800)	9
第4図	II区の調査区分割図(縮尺 1:600)	10
第5図	I区調査区全体図(縮尺 1:400)	23
第6図	I区遺構図葉割図(縮尺 1:600)	27
第7図	I区遺構全体図1(縮尺 1:200)	28
第8図	I区遺構全体図2(縮尺 1:200)	29
第9図	I区遺構全体図3(縮尺 1:200)	30
第10図	I区遺構全体図4(縮尺 1:200)	31
第11図	I区遺構全体図5(縮尺 1:200)	32
第12図	I区遺構全体図6(縮尺 1:200)	33
第13図	I区遺構全体図7(縮尺 1:200)	34
第14図	I区遺構全体図8(縮尺 1:200)	35
第15図	I区遺構全体図9(縮尺 1:200)	36
第16図	I区SI1102実測図(縮尺 1:40)	37
第17図	I区SI1134実測図(縮尺 1:40)	38
第18図	I区SI292実測図(縮尺 1:40)	39
第19図	I区SI293実測図(縮尺 1:40)	40
第20図	I区SI359実測図(縮尺 1:40)	41
第21図	I区SI360実測図(縮尺 1:40)	42
第22図	I区SI384実測図(縮尺 1:40)	43
第23図	I区SI385・SI429実測図(縮尺 1:40)	44
第24図	I区SI452実測図(縮尺 1:40)	45
第25図	I区SI491実測図(縮尺 1:40)	46
第26図	I区SI292・SI560実測図(縮尺 1:40)	47
第27図	I区SB556・SB557実測図(縮尺 1:80)	48
第28図	I区SB558実測図(縮尺 1:100)	49
第29図	I区SB559・SA1実測図(SB559縮尺 1:60、SA1縮尺 1:80)	50
第30図	I区SA2・SA3実測図(縮尺 1:80)	51
第31図	I区SK実測図1(縮尺 1:40)	52
第32図	I区SK実測図2(縮尺 1:60)	53
第33図	I区SK実測図3(縮尺 1:60)	34

第34図	I区SK実測図4(縮尺1:40)	55
第35図	I区SK193実測図(縮尺1:30)及び遺物出土状況図(縮尺1:10)	56
第36図	I区SD実測図1(縮尺1:40・1:60)	57
第37図	I区SD実測図2(縮尺1:60・1:150)	58
第38図	I区SD実測図3(縮尺1:40・1:60・1:300)	59
第39図	I区SD実測図4(縮尺1:40・1:150)	60
第40図	I区SD実測図5(縮尺1:40・1:400)	61
第41図	I区SD実測図6(縮尺1:40・1:400)	62
第42図	I区SD実測図7(縮尺1:40・1:150)	63
第43図	I区SD実測図8(縮尺1:40・1:150)	64
第44図	I区ピット実測図1(縮尺1:40)	65
第45図	I区ピット実測図2(縮尺1:40)	66
第46図	I区ピット実測図3(縮尺1:40)	67
第47図	I区ピット実測図4(縮尺1:40)	68
第48図	I区ピット実測図5(縮尺1:40)及びSX実測図(縮尺1:30)	69
第49図	II区調査区全体図(縮尺1:100)	70
第50図	II区遺構実測図(縮尺1:50)	71
第51図	II区調査区西壁・北壁及び中央トレンチ土層断面図(縮尺1:100)	72
第52図	I区遺物実測図1	102
第53図	I区遺物実測図2	103
第54図	I区遺物実測図3	104
第55図	I区遺物実測図4	105
第56図	I区遺物実測図5	106
第57図	I区遺物実測図6	107
第58図	I区遺物実測図7	108
第59図	I区遺物実測図8	109
第60図	I区遺物実測図9	110
第61図	I区遺物実測図10	111
第62図	I区遺物実測図11	112
第63図	I区遺物実測図12	113
第64図	I区遺物実測図13	114
第65図	I区遺物実測図14	115
第66図	I区遺物実測図15	116
第67図	I区遺物実測図16	117
第68図	I区遺物実測図17	118
第69図	I区遺物実測図18	119

第70図	I区遺物実測図19	120
第71図	I区遺物実測図20	121
第72図	I区遺物実測図21	122
第73図	I区遺物実測図22	123
第74図	I区遺物実測図23	124
第75図	I区遺物実測図24	125
第76図	I区遺物実測図25	126
第77図	I区遺物実測図26	127
第78図	I区遺物実測図27	128
第79図	I区遺物実測図28	129
第80図	金属器実測図	130
第81図	II区遺物実測図	130
第82図	暦年較正年代グラフ1	158
第83図	暦年較正年代グラフ2	159
第84図	仏田遺跡全体図(縮尺 1:800)	165

表目次

第1表	仏田遺跡周辺遺跡一覧	2
第2表	竪穴住居跡一覧	74
第3表	掘立柱建物跡一覧	74
第4表	土坑跡一覧	74
第5表	溝跡一覧	75
第6表	ピット一覧	77
第7表	掘立柱建物跡柱穴一覧	83
第8表	富山県出土の主要な古代腰帯具	99
第9表	遺物観察表	132
第10表	金属器観察表	150
第11表	塗膜構造調査資料	151
第12表	測定資料一覧	156
第13表	放射性炭素年代測定一覧1	156
第14表	放射性炭素年代測定一覧2	157
第15表	墨書土器集計表	161
第16表	転用硯集計表	161

写真図版目次

図版 1	I 区遺構写真 1	図版 34	I 区出土遺物 11
図版 2	I 区遺構写真 2	図版 35	I 区出土遺物 12
図版 3	I 区遺構写真 3	図版 36	I 区出土遺物 13
図版 4	I 区遺構写真 4	図版 37	I 区出土遺物 14
図版 5	I 区遺構写真 5	図版 38	I 区出土遺物 15
図版 6	I 区遺構写真 6	図版 39	I 区出土遺物 16
図版 7	I 区遺構写真 7	図版 40	I 区出土遺物 17
図版 8	I 区遺構写真 8	図版 41	I 区出土遺物 18
図版 9	I 区遺構写真 9	図版 42	I 区出土遺物 19
図版 10	I 区遺構写真 10	図版 43	I 区出土遺物 20
図版 11	I 区遺構写真 11	図版 44	I 区出土遺物 21
図版 12	I 区遺構写真 12	図版 45	I 区出土遺物 22
図版 13	I 区遺構写真 13	図版 46	I 区出土遺物 23
図版 14	I 区遺構写真 14	図版 47	I 区出土遺物 24
図版 15	I 区遺構写真 15	図版 48	I 区出土遺物 25
図版 16	I 区遺構写真 16	図版 49	I 区出土金属器・製鉄関連遺物
図版 17	I 区遺構写真 17	図版 50	I 区出土金属器X線・Ⅱ区出土遺物
図版 18	I 区遺構写真 18		
図版 19	I 区遺構写真 19		
図版 20	I 区遺構写真 20		
図版 21	I 区遺構写真 21		
図版 22	Ⅱ区遺構写真 1		
図版 23	Ⅱ区遺構写真 2		
図版 24	I 区出土遺物 1		
図版 25	I 区出土遺物 2		
図版 26	I 区出土遺物 3		
図版 27	I 区出土遺物 4		
図版 28	I 区出土遺物 5		
図版 29	I 区出土遺物 6		
図版 30	I 区出土遺物 7		
図版 31	I 区出土遺物 8		
図版 32	I 区出土遺物 9		
図版 33	I 区出土遺物 10		



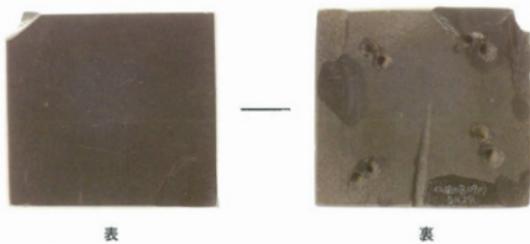
仏田遺跡・全体写真



調査区全体写真(Ⅰ区)



I区出土遺物



表

裏

SK28 巡方(石製腰帶具) S=1/1

第1章 遺跡の地理的・歴史的環境

第1節 地理的環境

富山県魚津市は富山平野の北東部に位置する。市域は立山連峰の僧ヶ岳を水源とする布施川、剣岳を水源とする早月川のほかに、毛勝山から流れる片貝川や角川が貫流し、富山湾へと注いでいる。本市は多くの河川によって形成された開析扇状地と広い洪積台地が多くを占めている。また市域の扇状地の大部分は、片貝川によって形成された扇状地であるものの、その平野部(沖積地)は狭く、洪積台地が発達しており、地形の傾斜は強いといえる。

仏田遺跡は、市の中心部から北東へ2 km程離れた、片貝川左岸の標高13.6~19.2 mを測る扇状



第1図 仏田遺跡周辺の遺跡分布図(縮尺1:40,000)

第1表 仏田遺跡周辺遺跡一覧

遺跡番号	遺跡名	所在地	種別	時代	現況
204001	平伝寺遺跡	平伝寺	散布地	中世	宅地
204002	天王寺B遺跡	経田字天王寺	散布地	奈良・平安	田
204003	天王寺A遺跡	経田字天王寺	散布地	奈良・平安	宅地・田
204004	天神野新C遺跡	東尾崎	散布地	縄文	宅地・道路
204005	東尾崎遺跡	東尾崎	散布地	縄文(中期～晩期)	田
204006	天神野新D遺跡	天神野新	散布地	不明	田
204007	天神野新経塚	天神野新	経塚	中世～近世	田
204008	天神野新A遺跡	天神野新	散布地	縄文(中層)	道路・田
204009	天神野新E遺跡	天神野新	散布地	不明	道路・田
204010	天神野新B遺跡	天神野新	散布地	縄文	道路・田
204011	天神野新F遺跡	天神野新	散布地	不明	田
204012	蛇田遺跡	蛇田	散布地	縄文・中世	墓地・畑
204013	洗足学園遺跡	天神野新	散布地	縄文	学校用地
204014	蛇田B遺跡	蛇田	散布地	近世	田
204015	天神山B遺跡	天神野新	散布地	縄文	畑
204016	天神山遺跡	小川寺字天神山	集落	縄文(中層)	畑・雑種地
204017	天神山遺跡	小川寺字天神山	散布地・山城	弥生(後期)・中世	公園・境内地・山林
204018	中山遺跡	小川寺字中山	散布地	縄文(晩期)	雑種地
204026	魚津埜設林遺跡	釈迦堂	散布地	縄文(晩期)	宅地
204027	末広町遺跡	末広町	散布地	中世	宅地
204028	上村木一里塚	吉島	塚	江戸	宅地
204029	本江A遺跡	本江	散布地	縄文(後期)	田・雑種地
204030	本江B遺跡	本江	集落	縄文(中期・後期)・平安・室町	道路・田
204031	本江D遺跡	本江	散布地	中世	田
204032	本江C遺跡	本江	散布地	中世	田
204033	本江丸塚	塚	室町	道路	田
204034	本江塚跡	本江	塚	室町	田
204035	本江灰塚	本江	塚	室町	田
204036	四ツ塚	印田	塚	中世	宅地
204037	印田遺跡	印田	集落	縄文(中期～晩期)・古墳(中期)	道路・田
204038	印田大塚	印田	塚	室町	雑種地
204039	魚津町奉行所跡	双葉町	その他	江戸	宅地
204040	魚津城跡	本町	城館	中世	宅地・学校用地
204041	住吉遺跡	住吉	散布地	縄文	河川
204042	友道遺跡	友道	散布地	古墳(後期)・奈良・平安	宅地・畑
204043	大光寺遺跡	大光寺	集落	縄文(中期)・室町	田・畑
204044	大光寺B遺跡	大光寺	散布地	奈良・平安・室町	宅地・畑
204045	友道神明社遺跡	友道	散布地	中世	道路
204046	宮津B遺跡	宮津	散布地	縄文	田
204053	大谷遺跡	大谷	散布地	弥生?	畑
204054	石垣遺跡	石垣字大坊	集落・墓	縄文(中期～晩期)・室町	田
204055	石垣平A遺跡	石垣平	散布地	旧石器・縄文・中世	畑
204056	石垣平B遺跡	石垣平	散布地	縄文	畑
204112	石垣新遺跡	石垣新	散布地	縄文(前期・中期・晩期)	集落・道路・耕作地
204115	平伝寺東遺跡	平伝寺	散布地	中世	貯蔵・墓・耕作地
204116	浜経田遺跡	浜経田・岡経田	散布地	古墳・古代・中世	集落・耕作地
204117	仏田遺跡	仏田・岡経田	散布地	古墳・古代・中世・近世	集落・耕作地
204118	江口遺跡	江口・仏田	散布地	古代・中世	集落・耕作地

地上に立地している。海岸線までは直線距離で約900mである。本遺跡の規模は、現状で東西220m、南北450m程であり、本市でも規模の大きな遺跡である。

現在、仏田遺跡周辺は圃場整備が実施されており旧地形についてはほとんどわからない。ただ、現地形からの観察では、仏田遺跡の南北両端で、海へと延びる谷地形を確認することができる。遺跡存続期間前から、これらの谷地形が形成されていたなら、谷地形に挟まれた微高地上に立地していたものと思われる。なお、仏田遺跡では場所によっては包含層が遺存しており、過去の工事の影響も部分的な削平だけで済んだようである。

第2節 歴史的環境

ここでは、調査対象となった仏田遺跡周辺の主な遺跡についての概観を述べる。

仏田遺跡の周辺には、奈良・平安時代を中心とする遺跡が確認されている。谷を隔ててすぐ南側には江口遺跡、北側には浜経田遺跡や平伝寺東遺跡が、さらに北西側には平伝寺遺跡、天王寺A遺跡、天王寺B遺跡、経田西町遺跡などが分布している。これら周辺の遺跡について時代ごとに概観する。

縄文時代 平成19年度及び20年度の仏田遺跡の調査で、縄文時代後晩期の遺物や遺構が確認されたものの、仏田遺跡の周辺には、縄文時代に遡る遺跡は確認されていない。仏田遺跡から片貝川を渡った東の天神台地及びその周辺に、天神山遺跡(縄文時代中期)、東尾崎遺跡(縄文時代中期～晩期)等が確認されている。天神山遺跡は古くから知られている遺跡である。昭和33、34、61年度、平成7、18、19年度に試掘調査や本発掘調査が実施され、竪穴住居跡等が確認されている。また調査によって出土した土器は、天神山式土器として富山県の縄文時代中期の指標となる土器群である。

弥生時代～古墳時代 弥生時代後期～古墳時代前半にかけての土器が経田西町遺跡で確認されている。採集資料のみであり、遺跡の詳細は不明である。

古代 仏田遺跡周辺には天王寺A遺跡、天王寺B遺跡、江口遺跡、浜経田遺跡、平伝寺東遺跡等、古代の遺跡が分布している。天王寺A遺跡では過去に、古代の須恵器や土師器が確認されている。また、平成19年度には遺跡の西端付近の試掘調査を実施し、古代の須恵器等が確認されているが、明確な遺構は確認されていない。

江口遺跡では、古代の掘立柱建物や畑跡等が確認されている。隣接する仏田遺跡と同時期の遺跡であり、関連性の高い遺跡である。このほか、試掘調査では明確な遺構は確認されていないが、浜経田遺跡や平伝寺東遺跡では古代の遺物が出土している。

中世 散布地としての平伝寺遺跡や発掘調査が実施された江口遺跡では、珠洲焼など中世の遺物が確認されている。

このほか、仏田遺跡のすぐ南側には、旧北陸街道が南北に通っている。この旧北陸街道が時代的にどこまで遡るものなのか現段階では不明であるが、片貝川のすぐ北東には布施川が流れており、古代布施駅との関連も窺うことができ、非常に興味深いものである。

第2章 調査の経緯

第1節 調査にいたる経緯

富山県を東西に走る一般国道8号は、新潟を起点として、日本海沿岸を縦貫しながら北陸の主要都市を經由し、滋賀県へ至る幹線道路であり、沿線地域の産業・経済の大動脈として住民にとって重要な道路となっている。そのため、交通量は多く、混雑解消のための整備が行われている。魚津市内では、全域でバイパス工事が計画され、昭和57年に魚津市江口～住吉間の分布調査が行われた。それに基づき、昭和58年に本江B遺跡の試掘調査、翌昭和59年に同遺跡の発掘調査が、昭和61年には友道神明社遺跡の試掘調査が行われた。

平成7年には魚津市慶野～吉野間の分布調査が行われ、周知の遺跡であった佐伯遺跡、山下遺跡、山下Ⅱ遺跡のほかに、出地内(出遺跡)及び吉野地内(吉野遺跡)の2ヶ所において新遺跡が発見された。これらに基づき、平成8年に出遺跡と山下Ⅱ遺跡、平成9、10年に佐伯遺跡、平成11、12年に吉野遺跡の発掘調査が実施された。

(1) 分布調査

平成15年度に国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所より、国道8号入善黒部バイパス建設予定地の内、魚津市内の埋蔵文化財包蔵地の有無についての照会があった。これに対し、調査主体である富山県教育委員会は富山県埋蔵文化財センターを担当とし、魚津市教育委員会と合同で予定地内の遺跡の分布調査を実施した。距離にして約2.5km、面積約25haの範囲を対象とし、平成16年3月18日に行った。

調査担当者は下記のとおりである(以下、所属、肩書等は当時のものである)。

富山県埋蔵文化財センター	調査課	調査課長	酒井重洋
		主任	境 洋子
		主任	越前慶祐
魚津市教育委員会	生涯学習課	文化係長	麻柄一志

この分布調査は、魚津市平伝寺、浜経田、岡経田、仏田、江口地内を対象に、路線内及びその周辺において遺物の表面採集を行うことで遺跡の確認を行った。調査の結果、平伝寺地内、浜経田地内、仏田地内、江口地内の4ヶ所において新遺跡が発見された。

新発見の遺跡の名称は入善黒部バイパス(Nyuzen Kurobe Bypass)の略NKBをそれぞれに冠し、平伝寺地内の遺跡をNKB-6遺跡、浜経田地内の遺跡をNKB-7遺跡、仏田地内の遺跡をNKB-8遺跡、仏田・江口地内の遺跡をNKB-9遺跡と仮称した。この分布調査を基に、遺跡台帳にはNKB-6遺跡を『平伝寺東遺跡』、NKB-7遺跡を『浜経田遺跡』、NKB-8遺跡を『仏田遺跡』、NKB-9遺跡を『江口遺跡』として登録したので、以後はこのとおりに呼称することとする。

分布調査により新たに確認された遺跡の建設予定地内における調査対象面積は、平伝寺東遺跡が約12,000㎡、浜経田遺跡が約26,000㎡、仏田遺跡が約37,000㎡、江口遺跡が約10,000㎡であった。

(2) 試掘調査

平成18年度に富山県河川国道事務所と魚津市建設課、魚津市教育委員会で、先の調査で発見された4遺跡の取扱いについて協議が行われた。工事着手前に遺跡の有無を確認する試掘調査の必要性和調査結果に基づく本発掘調査を実施することを確認した。

協議の結果、仏田遺跡の発掘調査は魚津市教育委員会が実施機関となり、平成19年度に試掘調査を実施することで合意した。

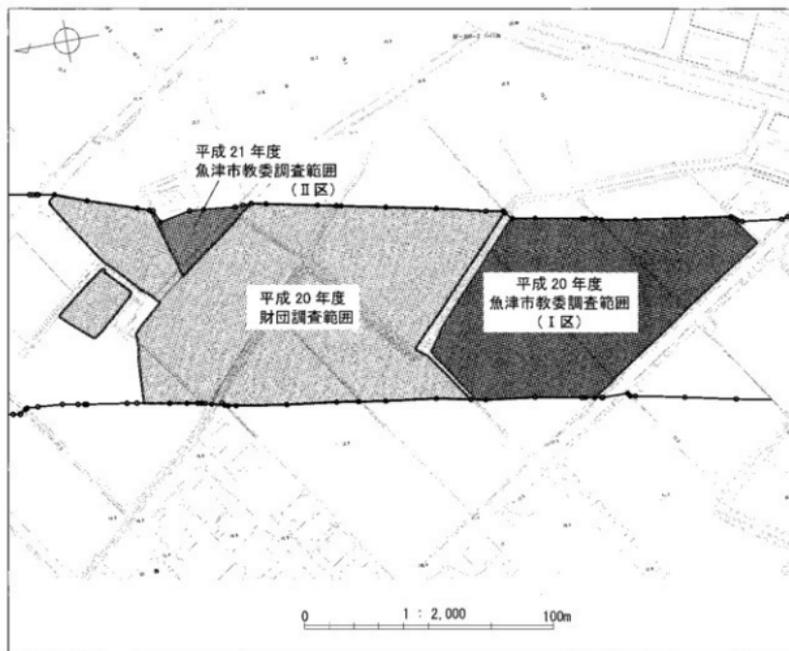
平成19年4月、国土交通省富山河川国道事務所と魚津市は埋蔵文化財調査についての委託契約を締結した。

試掘調査の担当者は下記のとおりである。

魚津市教育委員会生涯学習課文化係 塩田明弘

試掘調査は、仏田遺跡の範囲内のうち、国道8号バイパス建設に係る約35,000㎡である。試掘調査は重機を使用して耕作土及び造成土を除去し、遺物包含層が確認された場合には、作業員による掘削を行った。掘削は遺物包含層下まで行い、遺構の検出を行った。トレンチは土地の区画に合わせて、53ヶ所設定した。調査の結果、対象範囲の北東端及び南東端では、谷地形となり遺構や遺物は確認されなかった。この谷地形に挟まれた部分を中心に古代の遺構と遺物が多数確認された。また、調査対象地の中央西側では、古代の遺構面から約0.4～1.1m掘り下げたところで、縄文時代後晩期の遺物包含層が確認され、調査対象地西側の一部について遺構面が古代と縄文時代後晩期の2面あると判断した。

これらのことから、古代の遺構が遺存する約16,500㎡及びその下層にある縄文時代後晩期の遺構が遺存する約2,000㎡の合計約18,500㎡が、本発掘調査を必要とする範囲であることが確認できた。なお、出土した遺物は、ほとんどが奈良・平安時代に属するものであり、その他の時代については耕作土等から出土した中近世の遺物や縄文時代後晩期の土器が若干確認される程度であった。



第2図 調査区位置図(縮尺1:2,000)

(3) 本発掘調査

試掘調査の結果に基づき、国土交通省富山河川国道事務所、富山県教育委員会、魚津市教育委員会では平成19年11月より協議を重ねた。その結果、バイパス建設工事を予定通り進めるには、平成20年度に発掘調査を実施することが共通の認識となった。しかしながら、平成20年度に富山県教育委員会、(財)富山県文化振興財団、魚津市教育委員会のいずれも単独で対象面積のすべてを発掘調査することができないため、(財)富山県文化振興財団と魚津市教育委員会で調査区を分割し、両者で発掘調査を実施することで合意した。また調査対象範囲において、平成20年度に実施できない約300㎡については、平成21年度に魚津市教育委員会で実施することも併せて合意した。調査面積は、(財)富山県文化振興財団が古代及び下層の縄文時代を含めた約12,000㎡、魚津市教育委員会が約6,500㎡である。

魚津市教育委員会では、平成20年6月から、仏田遺跡の本発掘調査を着手した。調査は魚津市教育委員会生涯学習課文化係に事務局を置き、現地調査の担当は下記のとおりである。

魚津市教育委員会生涯学習課文化係 塩田明弘
的場茂晃

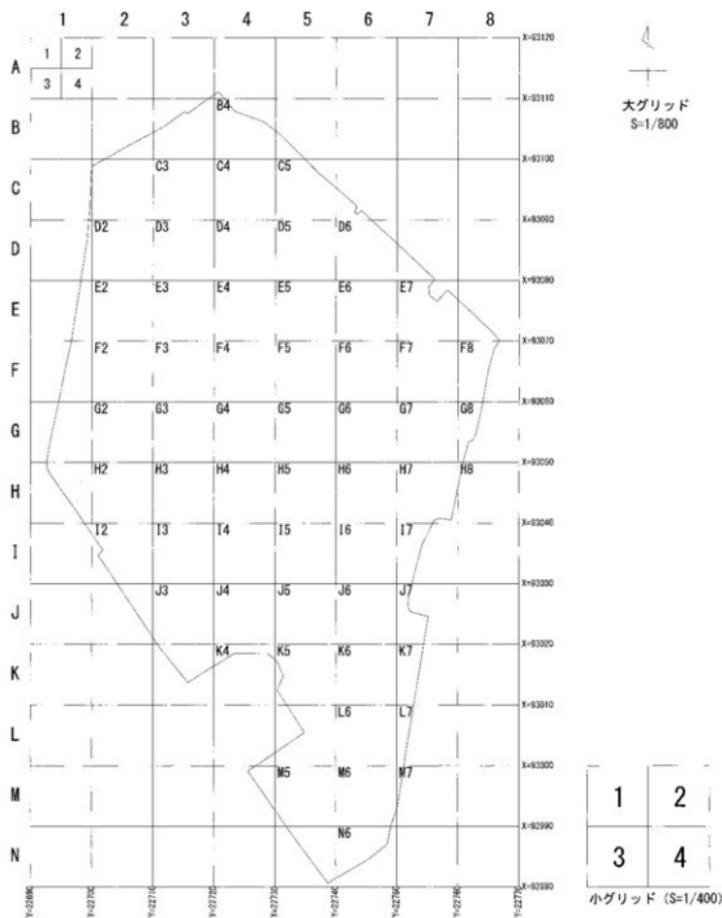
仏田遺跡の本発掘調査にあたっては、平成20年度は、平成20年7月1日より現地調査を開始し、同年12月26日に完了した。平成21年度は、平成21年7月9日より現地調査を開始し、同年8月11日に完了した。

以降、現地調査で見つかった出土品の整理作業及び報告書作成に向けた調査を行い、平成26年3月に完了した。

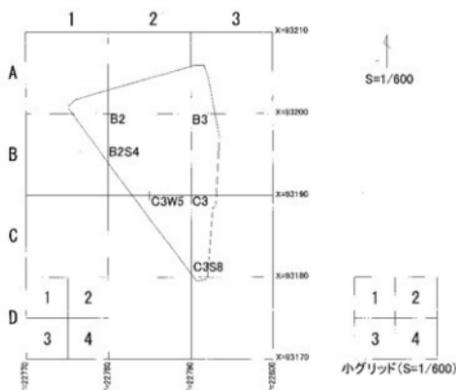
第3章 調査の概要

第1節 調査の方法

発掘調査は、平成20年度の調査区6,286㎡をⅠ区、平成21年度の調査区326㎡をⅡ区とし、合計6,612㎡を調査した。調査の方法は、重機による耕作土及び圃場整備時の造成土の除去をした後、調査区内に10m間隔のグリッドを設定する基本測量を行い、これを遺構の実測や遺物を取り上げる際の基準とした。



第3図 Ⅰ区の調査区割図 (縮尺1:800)



第4図 II区の調査区割図(縮尺1:600)

リッドとし、グリッドの中を5m方眼の小グリッドに細分した。

グリッドの名称は北から南に向かってアルファベット(A、B、C・・・)を、西から東に向かって算用数字(1、2、3・・・)を付け、両者を組み合わせて表記した。今回の調査区はグリッドの南北はA～N、東西が1～8の範囲となる。なお、各グリッドの北西杭がそれぞれのグリッド名称となるよう杭に名前をつけた。

遺構については、竪穴住居跡はSI、掘立柱建物跡はSB、柵跡にはSA、土坑跡・土坑墓はSK、溝跡はSD、小穴はP、性格不明の遺構にはSXの略記号を用いた。

遺構番号は調査順に通し番号を振り、遺構の性格、形状等を確認したうえで、番号の前に略記号を付した。

図面については、遺構平面図及び土層断面図は縮尺1/20で作成し、遺物の出土状況については適宜、縮尺を変えた。また土層の記述については『新版標準土色帖(2001年度版)』に準拠した。

遺構全体測量図については、調査の進捗状況に合わせて、調査区北側と南側で、各1回ラジコンヘリによる航空測量と写真撮影を行った。

写真については、35mm版のモノクロ、スライド及びデジタルカメラでの撮影を基本とし、状況に応じて6×7版を使用した。なお、撮影に際しては、各々、写真台帳を作成し記録した。

第2節 調査日誌

平成20年度 I区

- 6月27日 調査開始前状況の写真撮影。
- 7月1日 調査区北側の表土掘削開始。
- 7月10日 機材・資材搬入開始。
- 7月11日 調査区北側の表土掘削終了。
- 7月15日 調査区北側のグリッド杭設定。
- 7月16日 作業員作業開始。包含層掘削・遺構検出を開始。
- 8月12日 調査区北側の包含層掘削終了。
- 8月22日 遺構掘削開始。

調査は調査区北端から着手し、南へ向かって調査範囲を進めた。重機掘削後は、遺物、遺構に細心の注意を払いながら、包含層以下を作業員による人力での掘削を行った。確認した遺構は、順次、土層断面の記録、遺構の実測、遺物の取り上げ、写真撮影等を行った。

グリッドの設定については、平成20年度調査分については、A1の起点をX=93120.000、Y=22690.000とし、平成21年度調査分については、A1の起点をX=93210.000、Y=22770.000とし、それぞれ南北方向をX軸、東西方向をY軸に定めた。グリッドは、真北線を基線とした10m方眼をグ

- 8月27日 調査区南側に置ききっていた排土の搬出開始。ダンプトラックにより平伝寺地区へ搬出。
9月10日 調査区南側の表土掘削開始。
10月1日 調査区南側半分の表土掘削終了。調査区南側のグリッド杭設定。
10月10日 排土搬出先である平伝寺地区の作業終了。
10月16日 調査区北側、ラジコンヘリによる写真撮影。
10月17日 調査区南側の調査開始。
11月15日 現地説明会を行う。約180名が来訪する。
12月19日 調査区南側、ラジコンヘリによる写真撮影。
12月24日 作業員作業終了。
12月26日 機材・資材等撤去終了。現地作業終了。

平成21年度 II区

- 7月9日 調査開始前状況の写真撮影。
7月11日 表土掘削開始。仮設搬入・設置。
7月13日 表土掘削完了。
7月14日 遺構検出開始。
7月15日 基準点測量、水準点測量を行う。
7月16日 グリッド杭設置。
7月29日 ラジコンヘリによる写真撮影。
8月3日 調査区及び遺構実測をトータルステーションにて観測。
8月6日 仮設・器材・資材撤去作業開始。
8月11日 撤去作業終了。現地調査終了。

第4章 遺構

第1節 I区の遺構

(1) 層位

I区の調査面積は6,286㎡である。遺跡の現況は主に圃場整備された水田である。調査対象範囲全体に圃場整備時の造成土が確認されている。表土及び厚さ0.4～1.1mの造成土を除去すると、調査区の一部で厚さ0.15mの遺物包含層の堆積が確認された。遺物包含層は黒色シルトや黒褐色シルトであり、奈良・平安時代の遺物が出土した。

(2) 遺構

遺構検出面は、南側で標高18.5m、北側で17.0m前後に位置する黄褐色系の地山面で確認することができた。深いところで現在の耕作面より1.5m地下にあり、圃場整備によってかなりの量の土盛りが行われていた。

確認された主な遺構は、竪穴住居跡12棟、掘立柱建物跡4棟、土坑跡、溝跡、ピット等である。ほとんどが奈良・平安時代に属する遺構で、若干、中世の遺構が含まれる。また、調査区内は、地山の川原石等が露出した礫層があり、遺構の分布に偏りがある。確認された遺構については、検出したものから順次番号を付し、断面図、写真撮影等の記録作業を行なった。個々の遺構の詳細については、表2～7を参照されたい。

なお、調査中、遺構の埋土について、黒色系の土層、茶色系の土層、地山と類似した黄褐色系の土層の、3つに大別可能であった。この大別は、おおよそ遺構の時期や性格を反映していると考えられたため、黒色系の土層をA、茶色系で多少砂利を含んだ土層をB、地山と類似した黄褐色系の土層をCと略記号を付け、調査の便宜を図った。土層Aは溝跡や中世の掘立柱建物跡の柱穴埋土に多くみられた。土層Bは数は多くないが土坑跡やピットなどに見られた。土層Cは竪穴住居跡や畑跡を中心とした埋土であった。

竪穴住居跡(SI)

竪穴住居跡は、合計12棟が確認され、数棟でのまとまりがみられる。正方形と長方形の2種の平面形態があり、規模の差異も認められる。住居内に建物柱穴が確認されたものは、1棟のみであった。また、すべての竪穴住居跡でカマドの痕跡が確認された。

SI102 (第16図)

調査区の北西に位置する。平面形は隅丸方形で、長軸2.67m、短軸2.33m、検出面からの深さは最も深い所で0.5mを測る。面積は、6.51㎡である。住居跡南西角でカマドの痕跡が確認された。また、床面の四隅にP229～232が確認された。それぞれ径0.2m前後、床面からの深さ0.2m程であった。建物に関連する柱穴が確認できたのはSI102のみであり、他の11基の住居跡では確認されなかった。なお、SD6と切り合い関係にあり、SI102の方が古い。埋土の種類はCである。埋土から須恵器蓋、杯、壺、甕、土師器杯、甕、赤彩の土師器杯、墨書土器等が出土した。

SI134 (第17図)

調査区の北西で、SI102の東隣に位置する。平面形は隅丸方形で、長軸2.88m、短軸2.56m、検出面からの深さ0.4m。面積6.85㎡を測る。住居跡南西隅からは長径30cm前後の川原石や焼土などが確認された。明確な痕跡は遺存していなかったが、カマドが設置されていた可能性が推定される。住居床面には柱穴や貼床の痕跡は確認されなかった。SD16と切り合い関係にあり、SI134の方が古い。埋土の種類はCである。埋土から須恵器蓋、杯、壺、甕等が出土した。

SI292 (第18図)

調査区中央付近に位置する。西からSI293、SI560、SI292の順で並ぶ。平面形は隅丸方形で、長軸2.72m、短軸2.44m、検出面からの深さ0.35m、面積6.83㎡を測る。住居西壁の北端でカマドの痕跡が確認された。周囲には川原石や焼土が散乱していた。住居床面には柱穴や貼床の痕跡はみられなかった。埋土の種類はCである。埋土からは須恵器蓋、杯、土師器杯、鍋等が出土した。SI292は、遺構の切り合い関係から後述のSI560廃絶後に築かれたものである。さらにSI292、SI560、SI293周辺には、SD271、SD272、SD280、SD287～SD289、SD325、SD326など烟跡と思われる多数の溝跡が確認された。これらの溝跡は3棟の住居跡が廃絶した後に掘削されたものである。

SI293 (第19図)

調査区中央付近で、SI292・SI560の西隣に位置する。平面形は隅丸方形で、長軸4.40m、短軸3.87m、検出面からの深さ0.32m、面積16.29㎡を測る。住居跡西壁の南端でカマドの痕跡が確認された。周辺からは川原石、焼土、炭化物のほか土師器甕・銅の破片が多数みられた。また調査中、住居跡内より籬の羽口や鉄滓が出土したことから、住居跡床面付近を中心に埋土の土壤洗浄を行ったところ、多数の鍛造剥片が確認された。鍛冶関連の明確な遺構は確認されなかったものの、出土遺物より小鍛冶が行われていたものと考えられる。なお、住居跡床面には柱穴や貼床の痕跡はみられなかった。埋土の種類はCである。埋土から須恵器蓋、杯、土師器杯、甕、銅等が出土したほか、籬の羽口や鉄滓、鍛造剥片も出土しており、鍛冶関連の工房跡であったと考えられる。

SI359 (第20図)

調査区の南側に位置する。西からSI359、SI360、SK361の順に並んで確認された。SI293・560・292やSI385・452・384も3棟が東西に並んで確認されており、何らかの関連が想定される。なおSK361については、住居跡とする積極的な根拠は得られていない。平面形は隅丸方形で、長軸3.36m、短軸3.05m、検出面からの深さ0.14m、面積9.85㎡を測る。住居跡北西角にカマドの痕跡が確認された。住居跡床面には柱穴や貼床の痕跡はみられなかった。埋土の種類はCである。埋土から須恵器杯等のほか、籬の羽口や鉄滓が出土しており、SI293と同様、鍛冶関連の工房跡であったと考えられる。

SI360 (第21図)

SI359の東隣に位置する。平面形は隅丸方形で、長軸2.86m、短軸2.84m、検出面からの深さ0.24m、面積8.13㎡を測る。住居跡西壁の南端でカマドの痕跡が確認された。カマド周辺からは30cm前後の川原石や焼土が散乱していた。埋土の種類はCである。埋土から須恵器杯、土師器甕等が出土した。

SI384 (第22図)

調査区中央付近、SI292やSI560の南側に位置し、西からSI385、SI452、SI384の順で並ぶ。平面形は隅丸方形で、長軸推定5.7m程、短軸4.61m、検出面からの深さ0.22m、面積25.13㎡を測る。本発掘調査で確認した竪穴住居跡のうち最も規模の大きいものである。住居跡南東で、焼土や川原石が散乱しており、そこにカマドが設置されていたと考えられる。また、床面に2面分の貼床の痕跡が確認された(第22図断面図8層・13層)。貼床によって住居跡の床面は硬く締まっていた。床面には複数のピットが確認されたが、住居上部構造に関連するような柱穴はみられなかった。埋土の種類はAである。埋土から須恵器蓋、杯、甕、土師器杯、赤彩の土師器や黒色土師器、墨書土器等のほか、刀子や釘等の鉄器等、多数の遺物が出土した。

SI385 (第23図)

調査区中央付近、SI452の西隣に位置する。平面形は隅丸長方形で、長軸4.12m、短軸2.48m、検出面からの深さ0.12m、面積9.54㎡を測る。住居跡北東端で、川原石や焼土の散乱がみられ、カマドが設置されていたものと考えられる。住居床面には柱穴や貼床の痕跡はみられなかった。また

住居跡の埋土が砂質土系のBであり、他の住居跡埋土とは異なるものであった。埋土から須恵器蓋、杯、土師器杯、甕等が出土した。

SI429 (第23図)

調査区中央付近、SI384の南側に位置する。平面形は隅丸方形で、長軸2.53m、短軸2.32m、検出面からの深さ0.10m、面積6.05㎡を測る。住居跡南東壁の中央にカマドの痕跡が確認され、周囲に焼土や川原石等がみられた。住居床面には柱穴や貼床の痕跡はみられなかった。また住居跡北側では、SD341と切り合い関係にあり、SI429の方が古い。埋土の種類はCである。埋土から土師器甕等が出土した。

SI452 (第24図)

調査区中央付近、SI384とSI385の間に位置する。平面形は隅丸方形で、長軸4.72m、短軸4.17m、検出面からの深さ0.24m、面積19.71㎡を測る。住居跡南西角付近にカマドの痕跡があり、周囲に焼土、川原石、土師器鍋などがまとまって確認された。貼床は確認されなかった。埋土の種類はCである。埋土から須恵器蓋、杯、壺、甕、土師器甕、鍋、赤彩の土師器、墨書土器、鉄釘、砥石等が出土した。このほか、製鉄関連の遺物として、鞆の羽口、鉄滓が出土している。

SI491 (第25図)

調査区南東付近に位置する。平面形は隅丸不整形で、長軸4.21m、短軸4.05m、検出面からの深さ0.29m、面積16.2㎡を測る。住居跡南壁中央付近にカマドの痕跡が確認された。試掘調査トレンチに沿ってカマドの断面(第25図炉A-A')を観察すると、炭化物や焼土混じりの土層がみられた。貼床は確認されなかった。埋土の種類はCである。埋土から須恵器蓋、杯、土師器甕等が出土した。

SI560 (第26図)

調査区中央付近にSI292に先行して築かれた住居跡である。平面形は隅丸方形で、長軸3.91m、短軸3.69m、検出面からの深さ0.25m、面積13.39㎡を測る。住居跡西壁の北端で川原石や焼土が散乱しており、カマドの痕跡と考えられる。住居跡床面には柱穴や貼床の痕跡はみられなかった。埋土の種類はCである。埋土から土師器甕、砥石等が出土した。

掘立柱建物跡(SB)

掘立柱建物跡は、合計4棟が確認された。このほかにも多数のピットが確認されており、4棟以上の掘立柱建物跡があった可能性も十分考えられる。比較的柱穴が大きいSB557とそれ以外の比較的柱穴が小さいSB556、SB558、SB559がある。柱穴の切り合い関係や埋土等から、SB556、SB558、SB559が、SB556や竪穴住居跡等よりも新しい。

SB556 (第27図)

調査区中央部やや南寄りに位置する。SI385とSI452の埋土を掘り込んでおり、SB556が後出である。建物は桁行4.0m(2間)、梁行4.0m(1間)で、建物の軸は北に対し、東へ32度振れる。柱間距離は桁行で2m前後、梁行は4mである。各柱穴は、上端の径で0.2m前後、深さは0.2～0.3m程度で、埋土の種類は全てAである。

SB557 (第27図)

調査区中央付近西よりに位置する。この周辺には土坑跡やピット等が集中して検出された範囲であり、SB557以外にも掘立柱建物跡が建っていた可能性がある。建物は桁行7.2m(3間)、梁行3.3m(1間)である。建物の軸はほぼ南北である。柱間距離は桁行で2.5m前後である。各柱穴は、上端で0.3～1.44m、深さは0.20～0.62mで、埋土の種類は全てCである。P314から須恵器蓋や墨書土器が、P316から須恵器杯が、P381から土師器甕等が出土した。

SB558 (第28図)

調査区南側のグリッドK5・6、L5・6付近に位置する。古代の遺構検出面よりも高い層位で確認

することができた。建物は南北方向が10.2m(4間)、東西方向が9.0m(4間)で、建物の軸は北に對し、東へ31度振れる。柱間距離は、南北方向で2.5m前後、東西方向で2.2m前後である。各柱穴は、上端の径で0.17～0.7mで、概ね径0.2～0.3mのものが多い。深さは0.2m前後となっているが、遺構検出面からの深さであり、実際にはもう少し深いものであったと推定される。埋土の種類はAである。P418から土師器杯が出土した。

SB559 (第29図)

調査区南側、SB558の東側に位置する。建物は桁行3.9m(2間)、梁行4.0m(1間)で、建物の軸は北に對し、東に32度振れる。柱間距離は桁行で1.7m前後である。各柱穴は径0.2m前後、深さ0.2～0.3mで、埋土の種類はAである。建物の軸や柱間隔、柱穴の規模、埋土の種類等からSB556やSB558との類似性があり、同時期かそれに近い時期のものであると考えられる。SB556、SB558、SB559は、遺構の掘り込み面や遺構埋土、建物の軸等が、その他の遺構とは異なる様相を示している。正確な時期は判明しないが、切り合い関係等から竪穴住居跡や畑跡等よりは新しいと考えられる。

柵跡(SA)

SA1 (第29図)

調査区中央西側のピット等が集中して確認された範囲内にある。東西に伸びるSD372の南側に、東端のP311を基点に西へP313、P314、P538の順で並ぶ。同じ軸上にSB557のP304・323が並んでいる。柵跡の柱間距離は2.4m前後、検出面からの深さは0.5～0.7m程である。P538からさらに西方向へピットは並んでいるが、柱間距離がかなり広がるため、ここでは除外した。埋土の種類はCである。

SA2 (第30図)

調査区中央の西端付近に位置し、南北方向に伸びる柵跡である。北からP9・10、P237、P107、SK106の順で並ぶ。柱間距離は3m前後、検出面からの深さは0.3～0.8m程である。P513から須恵器壺が出土した。埋土の種類はAもしくはBである。

SA3 (第30図)

SA2の西側に平行する柵跡である。北からP15、P105、P513、P245、P21の順で並ぶ。SA2と同様、柱間距離は3m前後、検出面からの深さは0.3～0.7m程である。SA3南端の柱穴にあたるSK106から双耳壺や墨書の土師器杯が、P9から土師器杯、赤彩の土師器杯等が出土した。埋土の種類はAもしくはBである。

土坑跡(SK)

SK11 (第31図)

長軸1.38m、短軸1.12m、深さ0.11mを測る不整形の土坑である。埋土の種類はAである。埋土から須恵器壺の底部が出土した。

SK20 (第31図)

長径1.21m、短径1.13m、深さ0.11mを測る円形の土坑である。埋土の種類はAである。埋土から土師器杯が出土した。

SK28 (第32図)

長軸3.55m、短軸1.34m、深さ0.36mを測る不整形の土坑である。埋土の種類はBである。埋土から須恵器蓋、土師器杯、石帯(巡方)が出土した。

SK32 (第32図)

残存長5.40m、残存幅1.07m、深さ0.16mを測る方形と思われる土坑である。埋土の種類はBである。試掘トレンチにより西半分が切られている。埋土から、土師器甕が出土した。

SK33 (第34図)

残存長4.57m、残存幅0.92m、深さ0.30mを測る長方形の土坑で、SK106に切られている。埋土の種類はAである。埋土から須恵器壺、甕、土師器杯、赤彩の土師器や黒色土師器等が出土した。

SK50 (第31図)

長軸1.44m、短軸0.66m、深さ0.42mを測る不整形の土坑である。埋土の種類はBである。埋土から須恵器蓋、土師器杯が出土した。

SK69 (第31図)

長軸0.87m、短軸0.69m、深さ0.43mを測る隅丸方形の土坑である。隣接するSK72に比べて深い。埋土の種類はAである。埋土から須恵器杯、赤彩の土師器等が出土した。

SK72 (第31図)

長軸0.96m、短軸0.81m、深さ0.10mを測る隅丸方形の土坑である。埋土の種類はCである。

SK84 (第31図)

長径1.36m、短径0.82m、深さ0.26mを測る不整形楕円形である。埋土の種類はCである。埋土から須恵器杯、大甕が出土した。

SK86 (第31図)

長径1.65m、短径0.76m、深さ0.23mを測る楕円形の土坑である。埋土の種類はCである。埋土に拳大の礫を含む。埋土から土師器杯、杯の高台が出土した。共に赤彩の土師器である。このほか、鉄製の帯金具が出土した。

SK97 (第33図)

長軸3.01m、短軸1.38m、深さ0.44mを測る隅丸方形の土坑である。埋土の種類はBである。埋土から須恵器蓋、杯、壺、土師器杯、甕、鍋、赤彩の土師器等が出土した。

SK106 (第34図)

長軸1.08m、短軸0.90m、深さ0.62mを測る隅丸方形の土坑で、SK33を切る。また、その形状から柱穴であった可能性も考えられる。埋土の種類はAである。埋土から須恵器双耳壺、壺の底部、赤彩の土師器、墨書の土師器杯等が出土した。

SK117 (第32図)

長軸2.65m、短軸2.63m、深さ0.24mを測る不整形の土坑である。埋土の種類はCである。埋土から須恵器蓋、杯、甕、土師器杯が出土した。

SK132 (第33図)

残存長2.64m、残存幅0.71m、深さ0.15mを測る不整形の土坑である。土坑の西側は調査区外に延びる。埋土の種類はAである。埋土から須恵器甕、土師器杯、赤彩の土師器等が出土した。

SK143 (第34図)

長軸0.84m、短軸0.80m、深さ0.30mの不整形の土坑である。埋土の種類はAである。埋土から土師器杯が出土した。

SK193 (第35図)

長軸2.18m、短軸1.34m、深さ0.48mを測る隅丸方形の土坑である。埋土の種類はBである。埋土から土師器皿、須恵器甕が出土した。出土した土師器は完形品である。土坑南西側短軸の床面に据えられた状態で4枚が確認された。土坑の形状や遺物の出土状況から中世墓と考えられる。

SK208 (第34図)

長軸1.11m、短軸0.65m、深さ0.48mを測る不整形の土坑である。埋土の種類はBである。埋土から土師器杯、甕、赤彩の土師器等が出土した。

SK361 (第33図)

長軸2.64m、短軸2.11m、深さ0.13mを測る隅丸方形の土坑である。埋土の種類はCである。埋土から須恵器杯が出土した。

SK430 (第33図)

長軸2.04m、短軸1.85m、深さ0.20mを測る隅丸方形の土坑である。埋土の種類はCである。埋土から須恵器甕、土師器甕のほか、鉄滓が出土した。

SK437 (第34図)

長軸1.06m、短軸0.67m、深さ0.13mを測る不整形の土坑である。埋土の種類はCである。

SK462 (第34図)

長軸1.52m、短軸0.54m、深さ0.16mを測る不整形円形の土坑である。埋土の種類はCである。

溝跡(SD)

SD5 (第42図)

調査区北東で確認された溝である。全長19.04m、平均幅0.90m、深さ0.11mを測る。埋土の種類はAである。SD109と切り合い関係にあり、SD5が新しい。埋土から須恵器壺、土師器杯が出土した。

SD14 (第40図)

調査区内を蛇行しながら、南北に走る溝である。確認された部分の長さは140.95m、平均幅2.98m、深さ0.25～0.45mを測る溝で、総じて北に行くほど幅が広くなる。溝底の標高から、南から北へ水が流れていたと想定される。調査区中央でSD109とSD225と切り合い関係にあり、どちらもSD14が切っている。埋土の種類はAである。埋土から須恵器蓋、杯、土師器杯、甕、鍋、赤彩の土師器、鉄釘等が出土したが、遺構面積と比較すると遺物の出土量は少ない。

SD16 (第42図)

調査区北東で確認されたL字状に屈曲する溝である。現存長12.80m、平均幅1.13m、深さ0.15～0.53mを測る。SI134及びSK28と切り合い関係にあり、SI134が古い。埋土の種類はAである。埋土から土師器杯、赤彩の土師器、黒色土師器、土鏝等のほか、鉄滓が出土した。近接するSD6と同様の形状をした溝であり、何らかの関連が想定される。

SD66 (第36図)

全長1.37m、平均幅0.33m、深さ0.15mを測る。埋土の種類はBである。埋土から黒色土師器が出土した。

SD67 (第36図)

全長1.82m、平均幅0.35m、深さ0.07mを測る。埋土の種類はBである。埋土から土師器杯が出土した。

SD87 (第36図)

全長3.34m、平均幅0.39m、深さ0.14mを測る。埋土の種類はCである。埋土から須恵器杯が出土した。

SD109 (第41図)

SD14の西側で確認された溝である。全長38.53m、平均幅2.72m、深さ0.30～0.51mを測る。埋土の種類はCである。SD14と切り合い関係にあり、SD109が古い。埋土から須恵器蓋、杯、壺、甕、灰軸陶器壺、土師器杯、甕、鍋、赤彩の土師器、黒色土師器等多くの土器が出土した。いくつかの須恵器蓋、杯には墨書が確認された。

SD125～127 (第36図)

3本の溝がほぼ南北方向に並んで確認された。SK97に切られる。SD125が残存長0.98m、平均幅0.30m、深さ0.32m、SD126が全長2.58m、平均幅0.39m、深さ0.29m、SD127が全長4.07m、平均幅0.38m、深さ0.23mである。SD125～127の埋土の種類はすべてCである。SD127埋土から須恵器甕が出土した。

SD140・141・172～179・252・253 (第37図)

調査区北端、SD163～171・181・182の南にある12本の溝で、東西方向を軸に並んで確認された。溝の規模は、全長0.91～3.88m、平均幅0.24～0.66m、深さ0.06～0.22mを測る。畑の痕跡と考えられる。埋土の種類は全てCである。埋土から須恵器杯、土師器杯等が出土した。

SD148 (第42図)

調査区中央北側で確認された弧状の溝である。全長7.75m、平均幅0.40m、深さ0.06mを測る。埋土の種類はAである。埋土から赤彩の土師器杯が出土した。

SD150～153・249～251 (第37図)

調査区北側SD140・141・172～179・252・253の南東にある8本の溝で、東西方向を軸に並んで確認された。溝の規模は全長1.61～4.80m、平均幅0.27～0.61m、深さ0.04～0.20mを測る。畑の痕跡と考えられる。埋土はSD150～153がB、SD249～251がCである。埋土から須恵器杯等が出土した。

SD159 (第36図)

全長4.55m、平均幅0.96m、深さ0.16～0.21mを測る。埋土の種類はBである。埋土から須恵器蓋、甕が出土した。

SD163～171・181・182 (第37図)

調査区北端に11本の溝が北西方向を軸に並んで確認された。溝の規模は全長1.45～5.72m、平均幅0.24～1.35m、深さ0.08～0.28mを測る。SD165～167が若干幅が広く、複数の溝であった可能性もある。畑の痕跡と考えられる。埋土の種類はSD182がBで、それ以外は全てCである。埋土より、須恵器杯や土師器杯等が出土した。

SD205 (第43図)

SK193の南東にあるL字状に屈曲する溝である。全長13.90m、平均幅0.41m、深さ0.28mを測る。埋土の種類はAである。ほぼ平行するSD207との関連が想定される。SD205の埋土から須恵器杯、甕、土師器甕が出土した。

SD206・207 (第42図)

調査区中央付近で確認された溝である。SD206が現存長4.66m、平均幅0.40m、深さ0.13mを、SD207が現存長9.43m、平均幅0.34m、深さ0.07mを測る。埋土の種類はSD206がC、SD207がAである。

SD219 (第43図)

調査区東側で確認されたL字状に屈曲する溝である。全長16.25m、平均幅0.86m、深さ0.13mを測る。埋土の種類はAである。埋土より鉄滓が出土した。

SD221 (第43図)

調査区東側、SD219の南側で確認されたL字状に屈曲する溝である。全長5.95m、平均幅0.74m、深さ0.09mを測る。埋土の種類はAである。

SD225 (第41図)

調査区東側で確認された溝である。全長16.50m、平均幅4.00m、深さほっとも深いところで約0.9mである。埋土の種類はAである。埋土からは非常に多くの遺物が出土した。出土した遺物には、須恵器蓋、杯、壺、甕、灰軸陶器壺、緑釉陶器皿、土師器杯、高杯、甕、鍋、赤彩の土師器、黒色土師器、籬の羽口、土錘や刀子、釘、鉄滓、帯金具等の鉄製品、小片となった銅製品等がある。

SD270 (第39図)

SK193の南側にある溝である。全長8.22m、平均幅0.79m、深さ0.06mを測る。埋土の種類はAである。先述のSD205・207と埋土の種類も同様であり、遺構の配置としては中世墓のSK193との関係性が想定され、これらの溝が区画するための溝であった可能性も考えられる。

SD271・277・278・282・285・287・326・553 (第39図)

主にSD206の南側に、南北方向を軸に、並んで確認された8本の溝である。溝の規模は全長1.72～6.65m、平均幅0.22～0.37m、深さ0.08～0.21mを測る。埋土の種類はすべてCである。これらの溝は、切り合い関係よりSI293・560・292が埋まった後に掘削されたものである。堅穴住居廃絶後に畑として利用されたものと考えられる。SD287の埋土から土師器甕が出土した。

SD272・280・281・286・288・289・325・337・378 (第39図)

SD271・277・278・282・285・287・326・553と同様の範囲に溝が確認されたが、若干、溝の方向が異なるため、分けて報告することとした。全長2.02～7.51m、平均幅0.27～0.41m、深さ0.08～0.28mを測る。埋土の種類はすべてCである。これらの溝も畑跡と考えられる。SD280とSD281及びSD288とSD289の切り合い関係から、SD272・280・281・286・288・289・325・337・378の一群の溝が新しい。SD281の埋土から土師器杯、甕が、SD288埋土から土師器甕が出土した。

SD279 (第39図)

SK193の南側で確認された溝である。現存長6.24m、平均幅0.48m、深さ0.12mを測り、やや弧状の溝である。埋土の種類はCである。埋土から須恵器蓋が出土した。

SD341 (第43図)

調査区中央南側で確認されたL字状に屈曲する溝である。現存長13.35m、平均幅0.89m、深さ0.20mを測る。埋土の種類はAである。埋土から須恵器蓋、杯が出土した。このSD341と同様、L字状に屈曲する溝にSD5・6・16・205・219・221がある。埋土の種類もすべてAであり、これらの溝は何らかの共通性を持った区画溝であったと考えられる。

SD346 (第38図)

調査区南東側で確認された弧状の溝である。現存長43.74m、平均幅1.56m、深さ0.24mを測る。溝の北側はSD14と切り合い関係にあり、南側は調査区外に延びている。埋土の種類はCである。埋土から須恵器蓋、杯、壺、土師器杯、鉢、黒色土師器、製塩土器等が出土した。

SD347～358・374 (第39図)

SD346の南西側にある確認された13本の溝で、北東―南西方向に軸をもつ。全長1.34～6.45m、平均幅0.27～0.44m、深さ0.04～0.16mを測る。埋土の種類はすべてCである。これら一群の溝は、畑跡であったと考えられる。SD348の埋土から須恵器蓋が、SD349の埋土からは須恵器蓋のほか鉄滓が出土した。

SD373 (第39図)

現存長0.70m、平均幅0.38m、深さ0.12mを測る溝である。SD271・277・278・282・285・287・326・553の畑跡及びSD272・280・281・286・288・289・325・337・378の畑跡より古く、SI293・560・292より新しい。埋土の種類はCである。

SD484 (第38図)

SD346の南側、SK460の西側にある溝である。全長8.21m、平均幅1.25m、深さ0.18mを測る。埋土の種類はCである。埋土から須恵器蓋が出土した。

ビット(P) (第44～48図)

調査区内からは多数のビットが確認された。その分布には偏りがあり、特に調査区北西のSI102・134周辺及び調査区中央のSI293から西側にかけての範囲で顕著であった。総じてSD14周辺での密度が希薄である。SI293の西側に分布するビット群に関しては、SB557、SA1が確認されたが、このほかにも掘立柱建物が建っていた可能性は十分考えられる。

ビットから出土した遺物は、小片が多いものの、ほとんどが古代に属するものであった。

性格不明遺構 (SX)

SX180 (第48図)

調査区北東で確認された集石である。3m四方の範囲に拳大～40cm程の川原石及び土師器杯や小甕等が確認された。包含層除去後、40cm前後の楕円形の川原石8個を立てた状態で、円形に組んだ集石が確認された。集石の中央部には、須恵器壺胴部が置かれていた。須恵器壺胴部及び集石内の埋土を除去すると、3つの川原石が確認された。円形に組まれていた8つの石及び中央部の石を慎重に除去するものの、床面には何も確認されなかった。なお、円形に組まれていた8つの川原石のいくつかには、被熱を受けた痕跡やススの付着等が認められた。

第2節 II区の遺構

(1) 層位

II区の調査面積は326㎡である。耕作土及び厚さ0.5～1.6m程の造成土を除去すると、厚さ10cm程の遺物包含層の堆積が部分的に確認された。遺物包含層は黒色シルトや黒褐色シルトである。

また、平成20年度に(財)富山県文化振興財団によって確認された道路跡の延長線上が本調査区に該当している可能性も考慮しながら、調査を実施した。

(2) 遺構

土坑跡 (SK)

SK3 (第50図)

調査区中央で確認された土坑で、長軸3.7m、短軸1.1m、深さは3cm程と非常に浅い。上面が削平されている可能性が考えられる。埋土は黄色系の砂質土である。遺構埋土より須恵器等が出土したが、いずれも小片のため、図化し得なかった。

溝跡 (SD)

SD1 (第50図)

調査区東側で、南北方向に軸をもつ溝で、南側、北側共に調査区外へ延びる。長さは少なくとも11.4m、幅0.35～0.55mを測る。深さは南側で約0.05m、北側で約0.15mを測る。埋土から遺物は出土していない。

ピット (P)

P2 (第50図)

SD1の西側で確認された。直径0.2m程、深さは0.2mに満たない。SK3と同様に、上面が削平されている可能性が考えられる。

道路跡について (第49・51図)

平成20年度に確認された道路跡の東側が、本調査区の北西側で検出される可能性があったため、包含層除去段階から、慎重に調査を進めた。地山面に到達した段階でも、明確な道路の痕跡は確認されなかった。そのため、調査区北側端と西側端及び調査区中央にトレンチを設定し、断面観察を行った。しかしながら、道路跡の痕跡を示すものは見られなかった。

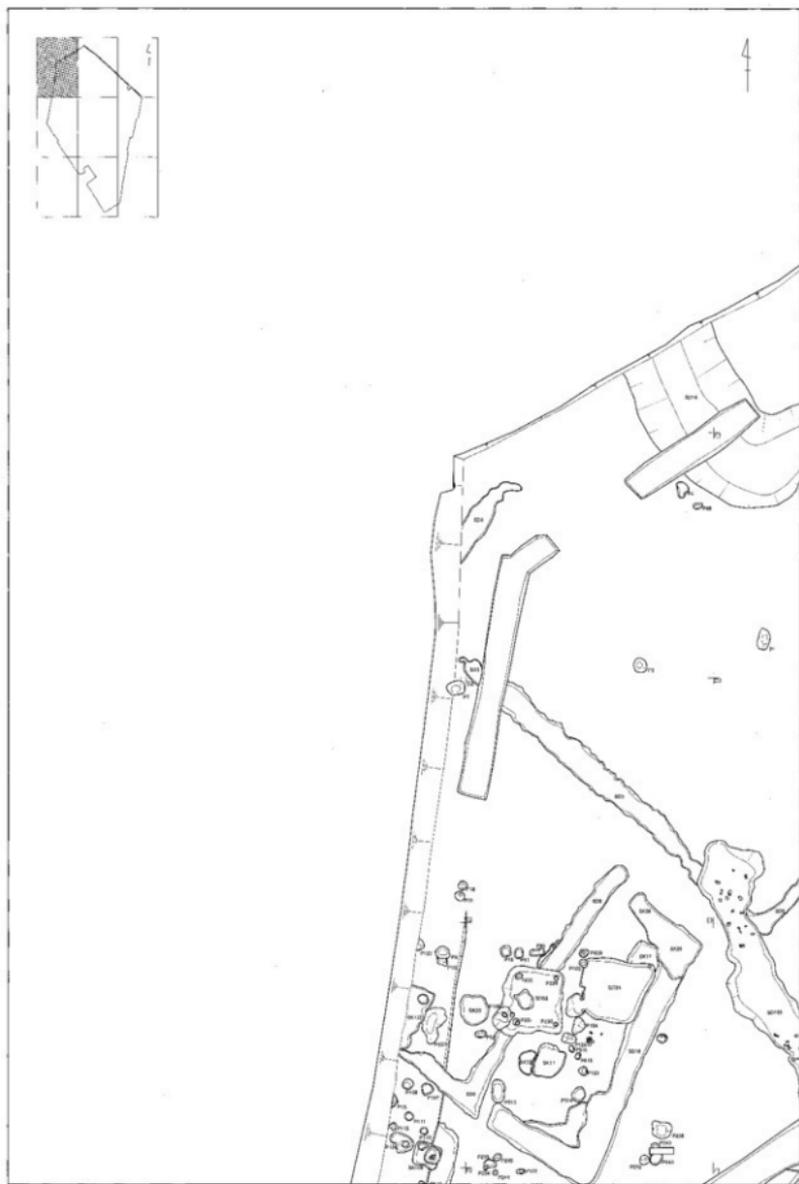


第5圖 I区調査区全体圖(縮尺 1:400)



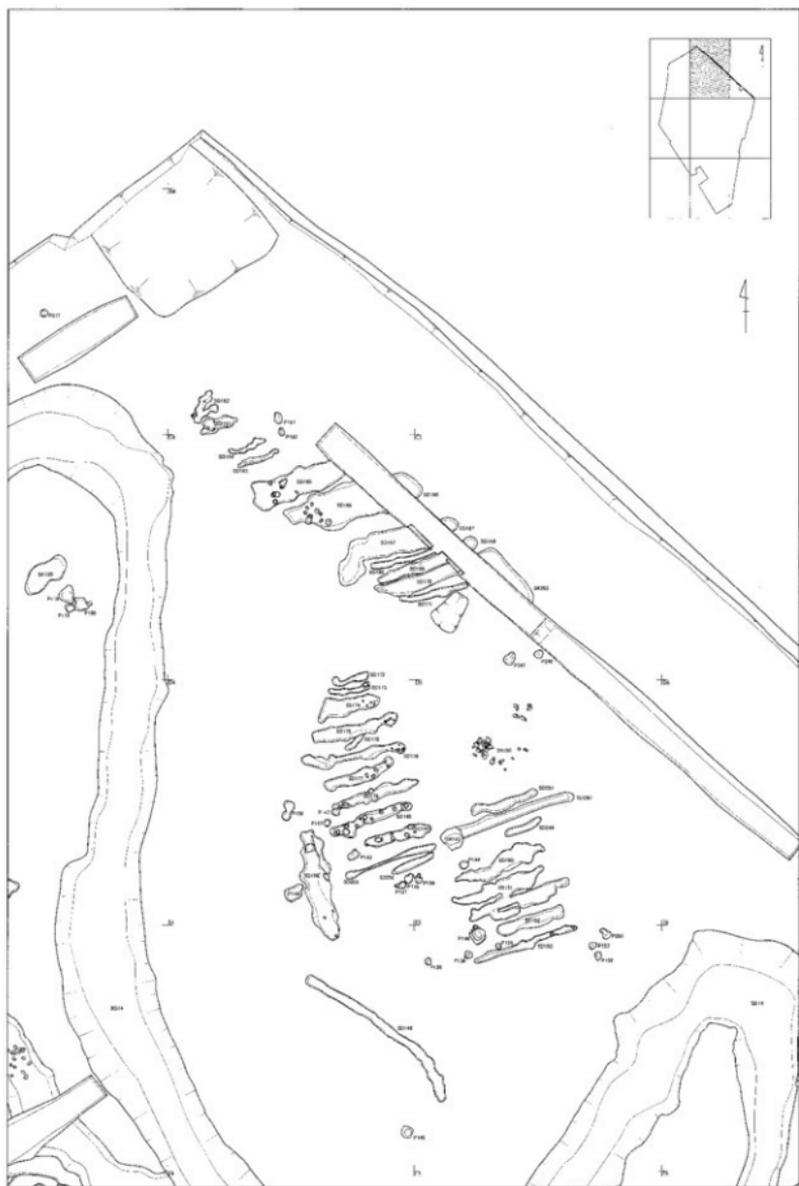
第6图 I区遗址图例图 (缩尺 1:600)





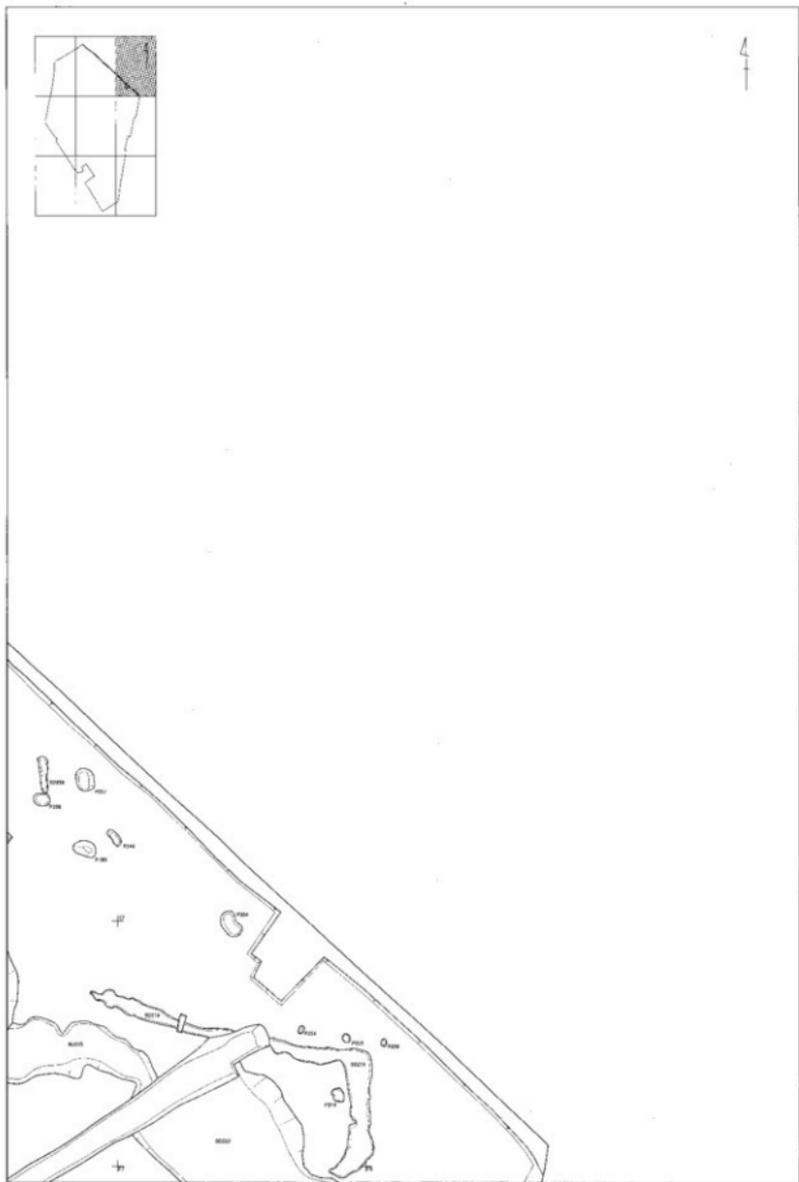
第7图 1区遺構全体図1 (縮尺 1:200)





第8圖 I区遺構全体図2 (縮尺 1:200)

0 1:200 10m



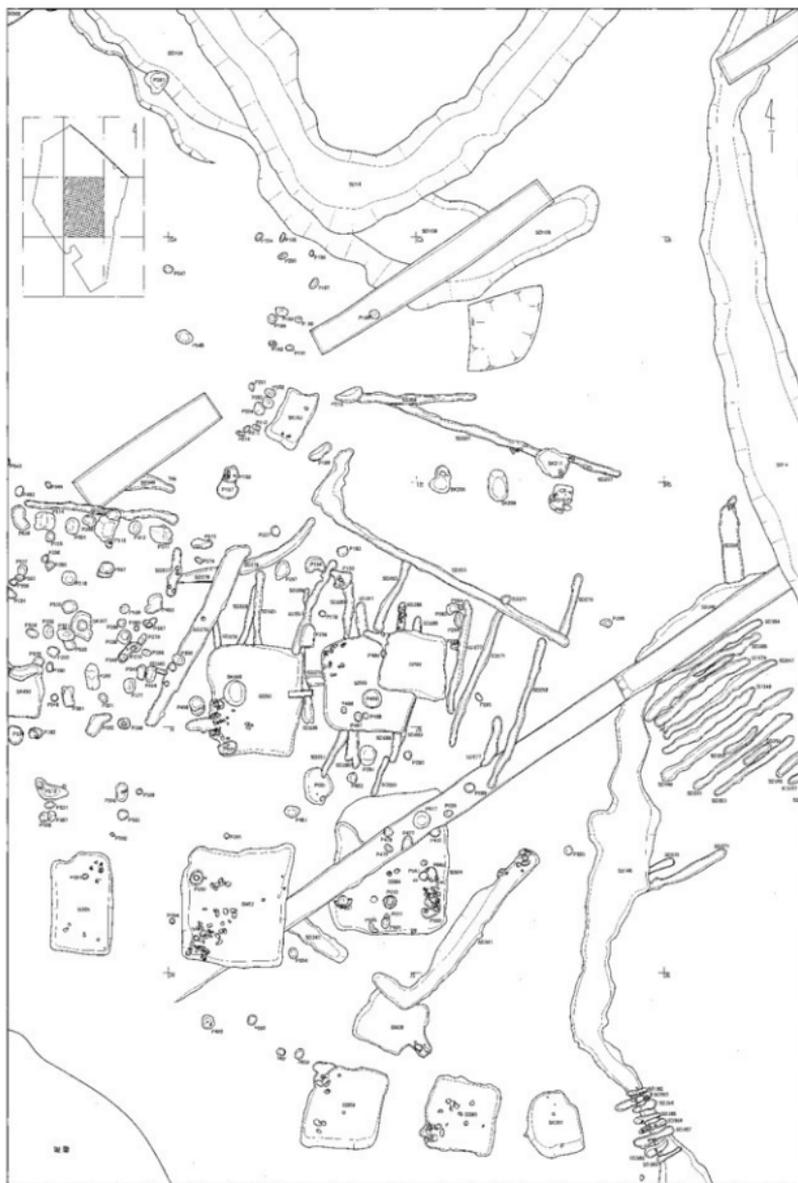
第9図 I区遺構全体図3 (縮尺 1:200)

0 1:200 10m



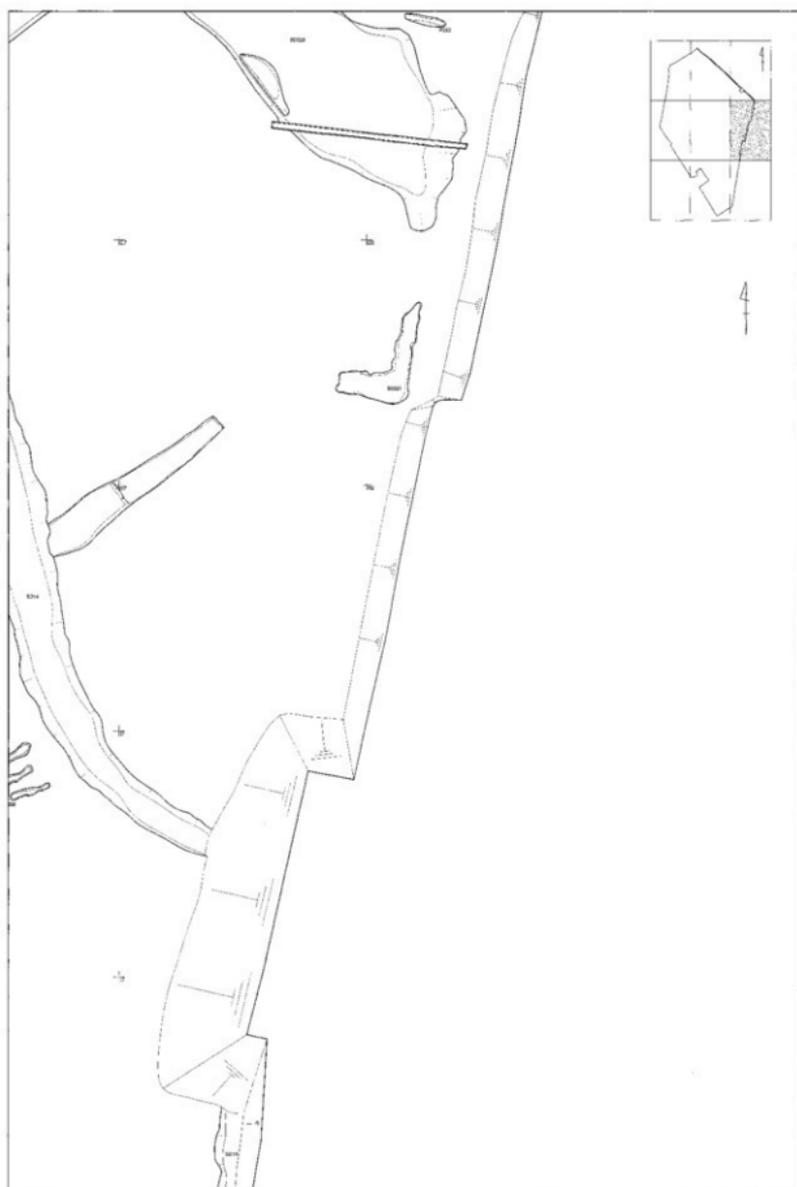
第10图 I区遺構全体図4 (縮尺 1:200)

0 1:200 10m



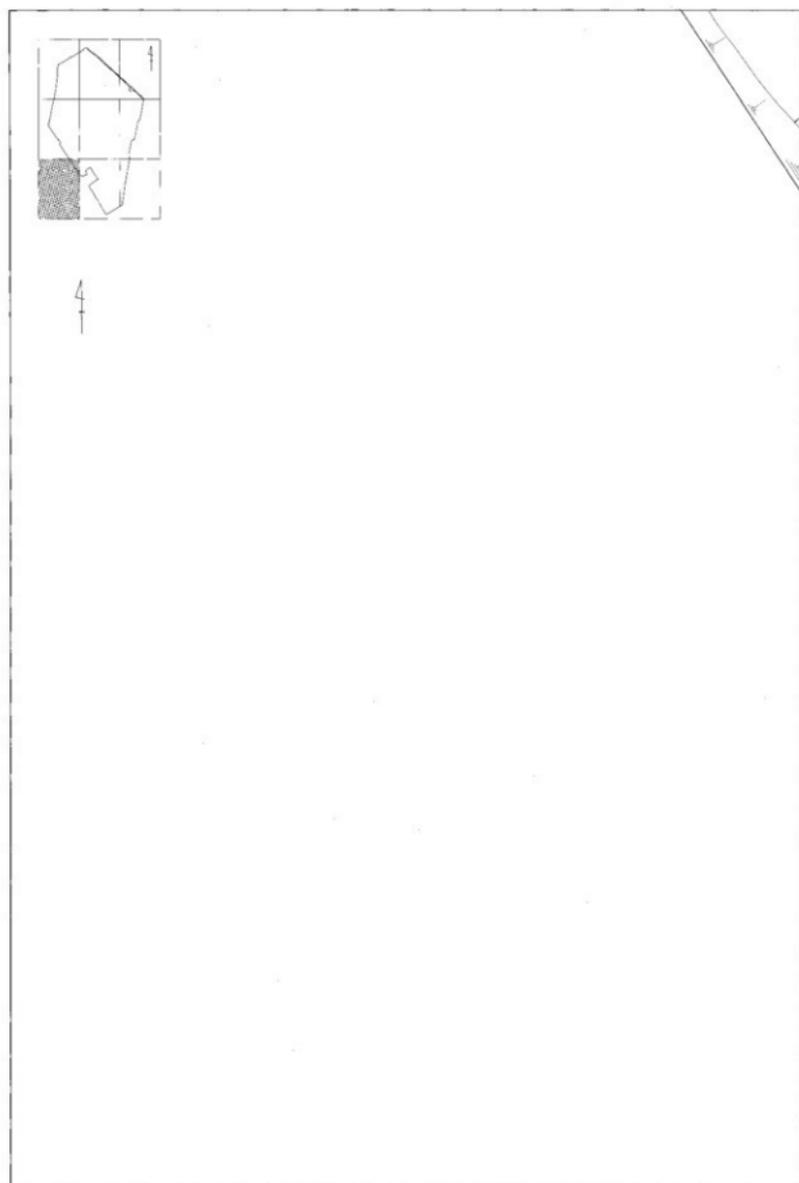
第11图 I区遺構全体図5(縮尺 1:200)

0 1:200 10m



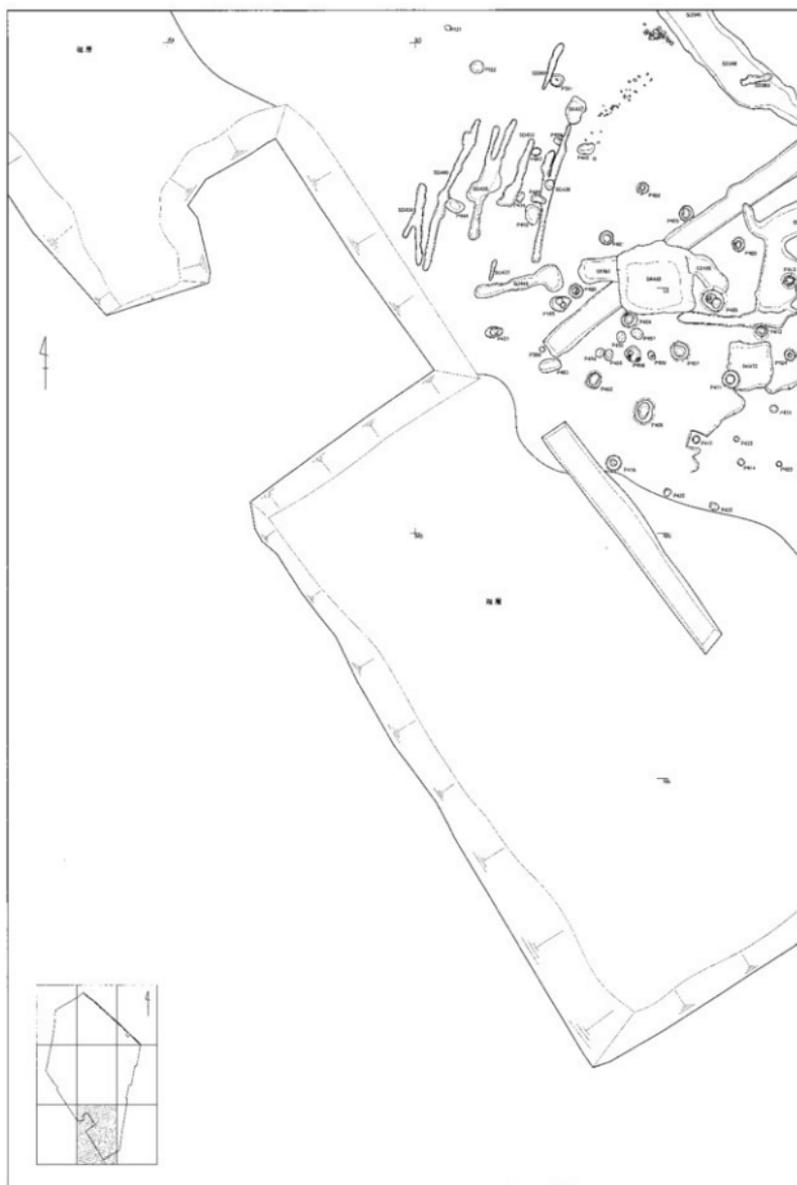
第12図 1区遺構全体図6 (縮尺 1:200)

0 1:200 10m



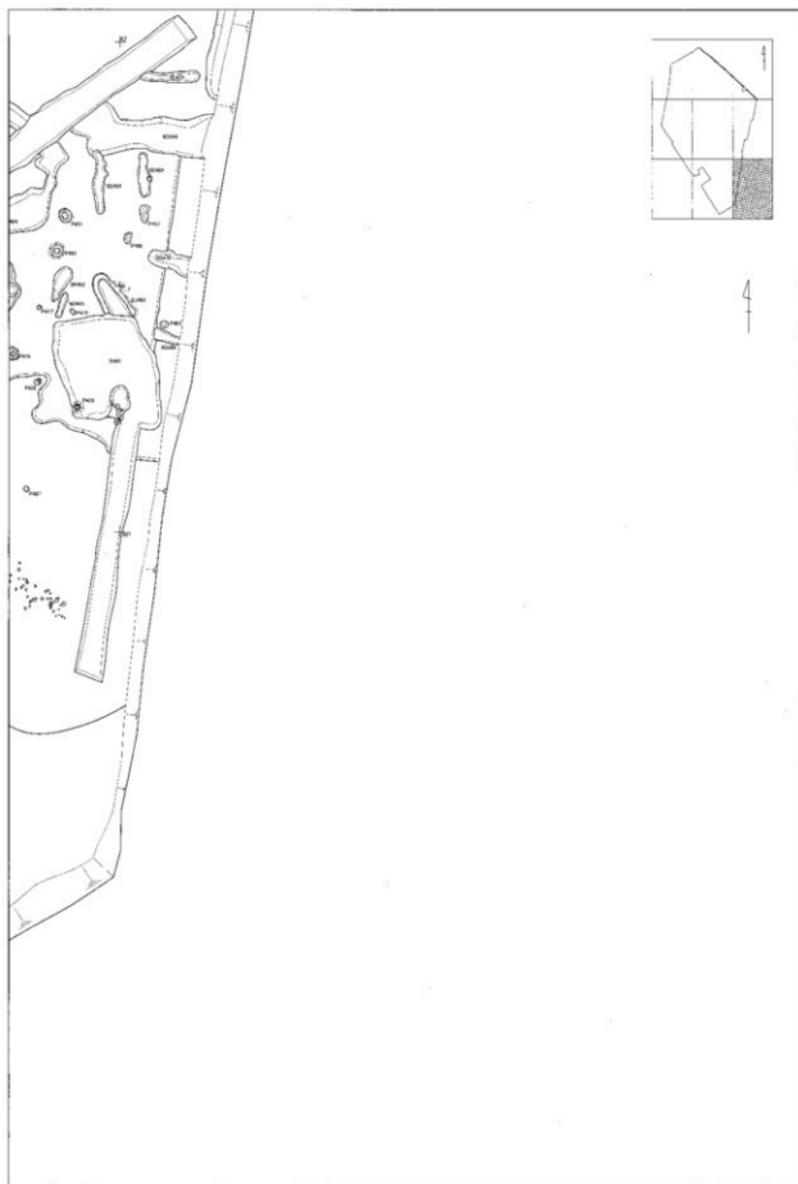
第13図 I区遺構全体図7(縮尺 1:200)

0 1:200 10m



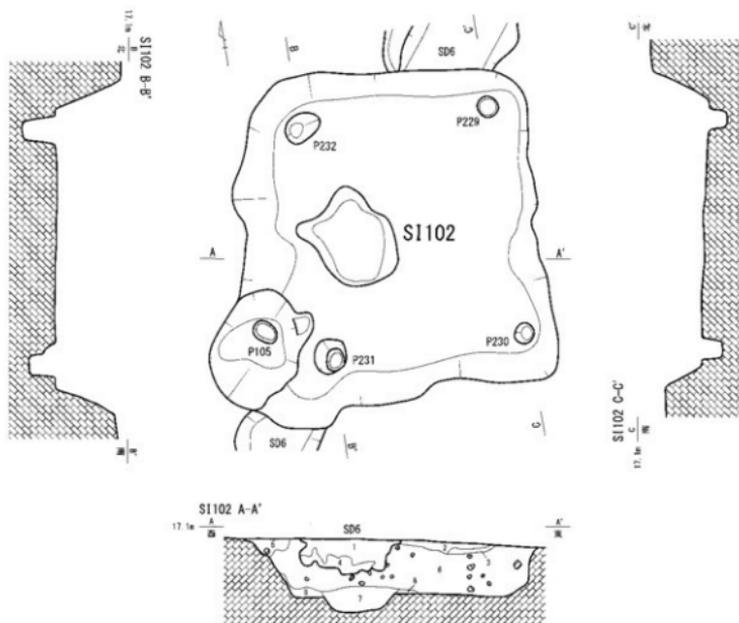
第 14 图 I 区遺構全体図 8 (縮尺 1 : 200)

0 1 : 200 10m



第 15 図 I 区遺構全体図 9 (縮尺 1 : 200)

0 1 : 200 10m



S1102 A-A'

1. 10YR2/1 黒色粘質土

2. 10YR3/2 黒褐色シルト

3. 10YR2/2 黒褐色シルト

4. 2. 5Y3/3 暗オリーブ褐色シルト

5. 10YR2/2 黒褐色シルト

黒褐色シルトを少しみずに40%含む。
 φ5mm~1cm 次の少粒を少量含む。
 砂分を少量含む。しまり強い。
 粘性や強い。
 黄褐色シルトを20%含む。
 炭化物をやや多く含む。しまり強い。
 黄褐色シルトを少量含む。
 炭化物をやや多く含む。しまり強い。
 黒色粘質土を少しみずに10%含む。
 しまり強い。
 黒色粘質土を少しみずに10%含む。
 黄褐色シルトを20%含む。
 しまり強い。

6. 10YR4/4 褐色シルト

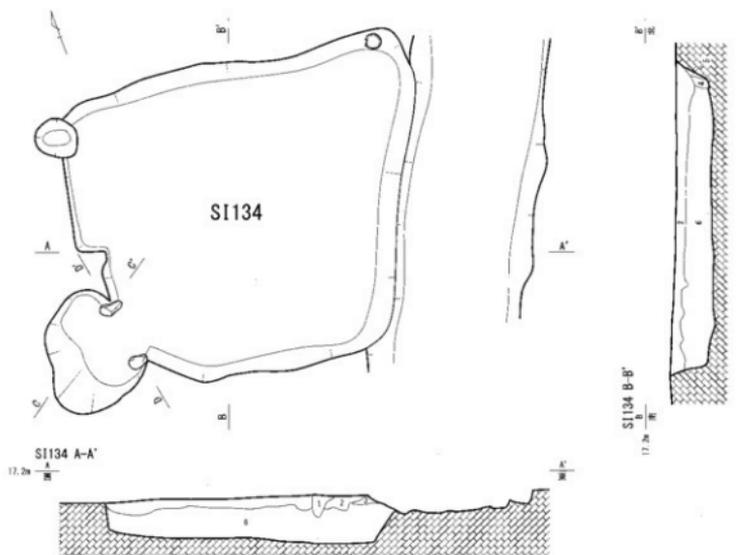
7. 10YR1 7/1 黒色粘質土

8. 10YR2/2 黒褐色シルト

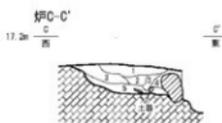
褐色シルトを10%含む。
 炭化物を少量含む。φ1~3mm 次の少粒を少量含む。
 しまりやや弱い。
 炭化物を少量含む。しまり弱い。粘性や強い。
 黒褐色シルトを少しみずに20%含む。
 黒褐色シルトブロックを少量含む。
 炭化物を物量含む。しまりやや強い。

0 1 : 40 2m

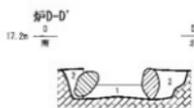
第16図 I区 S1102 実測図 (縮尺 1:40)



- SI134
- | | | | |
|----------------------|---------------------|----------------------|--------------------------|
| 1. 10YR4/6 褐色シルト | しまり強い。 | 4. 10YR4/4 褐色シルト | しまりやや弱い。 |
| 2. 10YR2/3 暗褐色シルト | 炭化物を少量含む。 | 5. 2.5Y4/4 オリーブ褐色シルト | 黄褐色シルトを30%含む。しまりやや強い。 |
| | φ2cm ~ 4cmの小礫を少量含む。 | 6. 10YR5/6 黄褐色シルト | 砂まじり。φ5mm ~ 2cmの小礫を多量含む。 |
| | しまり強い。 | | しまり強い。 |
| 3. 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト | 炭化物を微量含む。しまり強い。 | | |



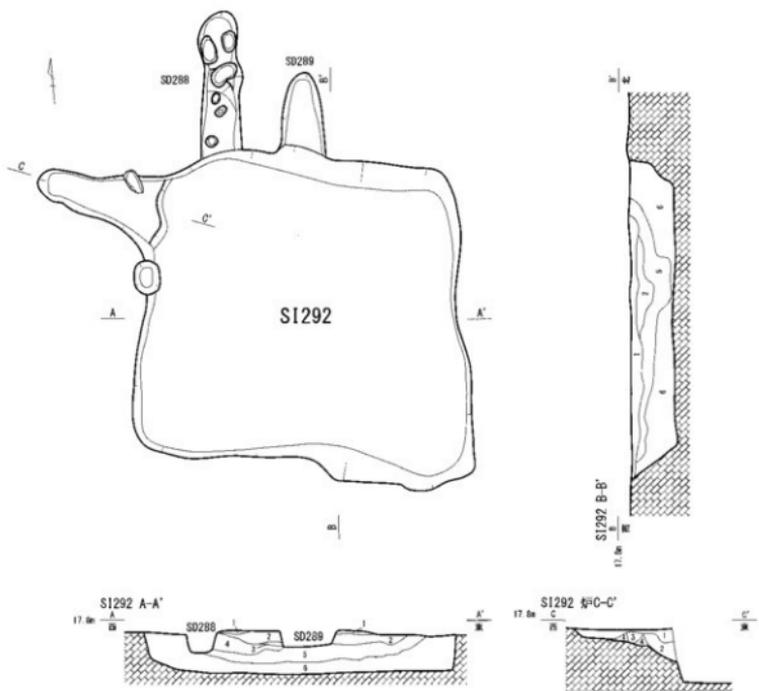
- 押C-C'
- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 1. 2.5Y4/6 オリーブ褐色シルト | 黄褐色シルトをしまり軟に30%含む。 |
| 2. 10YR2/3 暗褐色シルト | 炭化物を微量含む。しまり強い。 |
| 3. 10YR4/4 褐色シルト | オリーブ褐色シルト (1層土) を20%含む。 |
| 4. 2.5Y3/2 黄褐色シルト | 暗褐色シルト (5層土) をしまり軟に20%含む。 |
| 5. 10YR2/3 暗褐色シルト | 黄褐色シルト (3層土) を10%含む。 |
| | しまりやや弱い。 |
| | 黄褐色シルトをしまり軟に20%含む。 |
| | 炭化物を微量含む。しまり強い。 |



- 押D-D'
- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 10YR5/6 黄褐色シルト | 伊内埋土。 |
| 2. 10YR4/4 褐色シルト | 裏込め土。黄褐色シルトを20%含む。 |
| | 石の周辺は黄褐色を呈する。 |
| | 炭化物を少量含む。 |



第17図 I区SI134実測図(縮尺 1:40)



S1292

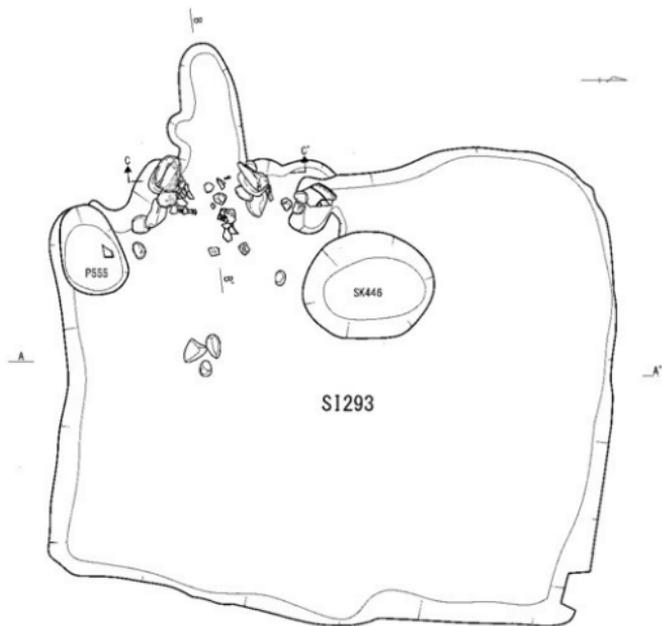
- | | |
|----------------------|--|
| 1. 10YR4/4 褐色シルト | 黄褐色シルト (2層土)・緑褐色シルトとともに微量含む。 |
| 2. 10YR5/6 黄褐色シルト | 褐色シルトをしみ状に40%含む。φ5mm次の小粒を微量含む。 |
| 3. 10Y2/4 暗褐色シルト | 褐色シルトを10%含む。 |
| 4. 10YR5/8 にぶい黄褐色シルト | 5層土よりやや黄褐色がかりやや濃い。黄褐色シルトをしみ状に30%含む。 |
| 5. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト | 黄褐色シルト小ブロックを2%含む。 |
| 6. 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト | 5層土よりやや黄褐色がかりやや濃い。黄褐色シルト小ブロックを2%含む。炭化物を微量含む。 |

S1292 部C-C'

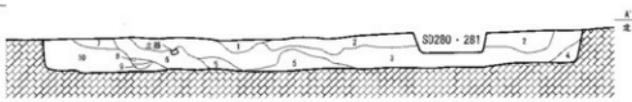
- | | |
|-----------------------|------------------------------------|
| 1. 2. 5Y4/4 オリーブ褐色シルト | 壤土。黄褐色シルトを微量含む。 |
| 2. 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト | A-A' 6層土と対応。柱洞混土。黄褐色シルト小ブロックを2%含む。 |
| 3. 10YR5/6 黄褐色シルト | 炭化物を微量含む。 |
| 4. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト | 赤褐色の土。しまりやや弱い。 |

0 1:40 2m

第18図 I区 S1292 実測図 (縮尺 1:40)



S1293 A-A'
17.5m 断面



S1293 A-A'

1. 10YR3/4 暗褐色シルト
2. 2. 5Y4/4 オリーブ褐色シルト
3. 10YR4/4 褐色シルト
4. 10YR4/6 褐色シルト
5. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト

褐色シルトを20%含む。炭分を微量含む。
 黒褐色シルトを一部含む。
 1. 黄土より増した砂。ほぼ層一層。
 黄色シルトブロックをわずかに含む。
 オリーブ褐色シルトを30%含む。
 炭化物を中々多く含む。

6. 10YR3/3 暗褐色シルト
7. 10YR2/3 黒褐色シルト
8. 10YR4/6 褐色シルト
9. 10YR4/4 褐色シルト
10. 10YR5/6 黄褐色シルト

黄褐色シルトをまだらに40%含む。
 ϕ 3mm以下の炭化物をやや多く含む。
 土器を含む。
 黄褐色シルトを30%含む。炭化物を微量含む。
 しまり強い。
 しまり強い。
 黄色シルトブロックを5%含む。
 炭化物を微量含む。

S1293 切B-B'
17.5m 断面



S1293 切B-B' C-C'

1. 10YR3/3 暗褐色シルト
2. 10YR3/4 暗褐色シルト
3. 10YR2/3 黒褐色シルト
4. 10YR4/6 褐色シルト
5. 10YR3/4 暗褐色シルト
6. 10YR5/6 黄褐色シルト
7. 10YR2/3 暗褐色シルト
8. 2. 5YR5/8 明茶褐色シルト

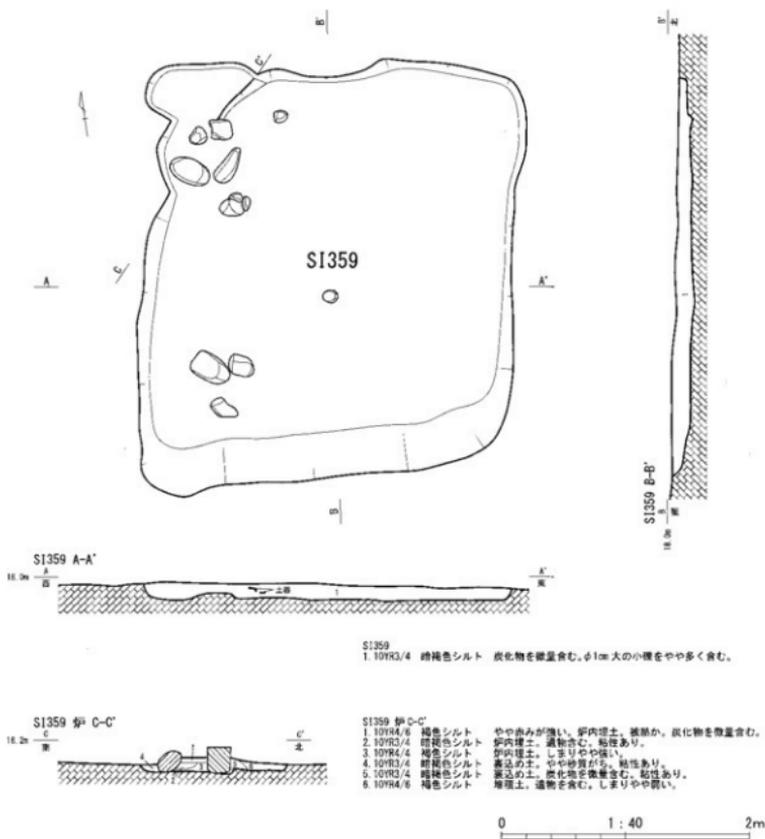
黒褐色シルトを20%含む。炭化物を多く含む。
 炭化物を多く含む。炭質を含む。
 黒褐色シルトを微量含む。
 暗褐色シルトを20%含む。炭化物を微量含む。
 炭化物を微量含む。
 しまりの中強い。
 炭化物を多く含む。
 黒褐色シルトをまだらに20%含む。

S1293 切C-C'
17.5m 断面

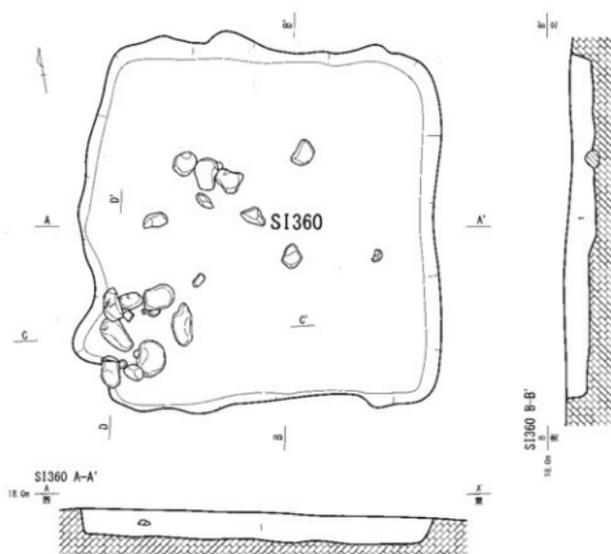


0 1 : 40 2m

第19図 I区 S1293 実測図 (縮尺 1:40)



第20図 I区 S1359 実測図 (縮尺 1:40)

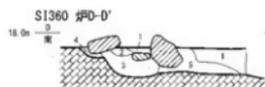


SI360
1. 10PR5/6 黄褐色シルト 炭化物を微量含む、φ5mm 以下の小礫を少量含む。

0 1 : 40 2m

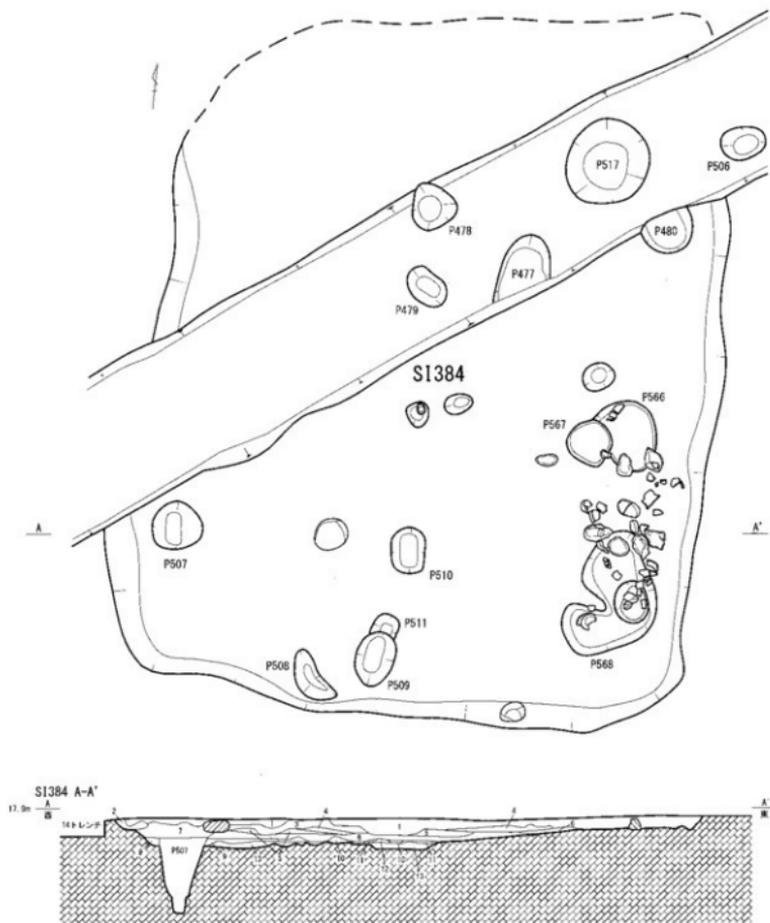


SI360 炉C-C'
1. 10PR5/6 黄褐色シルト 炉D-D' 1層土と対応。埋土。
炭化物を微量含む、φ5mm~1cm 以下の小礫を少量含む。
やや赤みがかる。炉D-D' 3層土と対応。埋土。
2. 10PR3/4 暗褐色シルト 炭化物は、土の下にもぐり込む。土粒を含む。

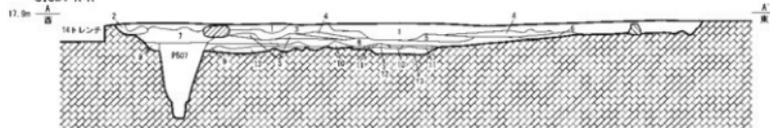


SI360 炉D-D'
1. 10PR5/6 黄褐色シルト A-A' 1層土と対応。埋土。
炭化物を微量含む、φ5mm~1cm 以下の小礫を少量含む。
埋土。炭化物を多く含む。赤みに赤む。
2. 10PR4/6 暗褐色シルト やや赤みがかる。埋土。土粒を含む。
3. 10PR2/4 暗褐色シルト 炭化物なし。埋土物なし。
4. 10PR5/6 黄褐色シルト 炭化物なし。埋土物なし。
5. 10PR4/6 暗褐色シルト 炭化物なし。埋土物なし。埋土物多量を含む。

第21図 I区 SI360 実測図 (縮尺 1:40)



S1384 A-A'

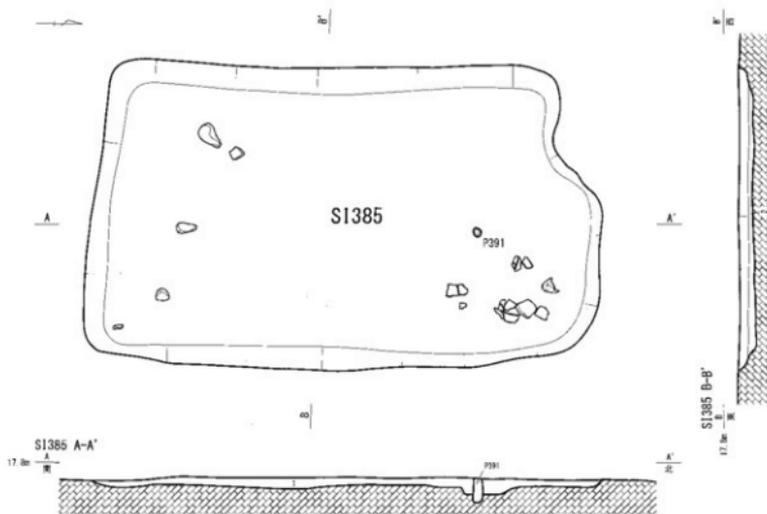


S1384 A-A'

- | | | | | | |
|---------------|------------|---------------------------------|--------------|-----------|--|
| 1. 10YR3/4 | 暗褐色シルト | にぶい黄褐色シルトを20%含む。炭化物を多く含む。遺物を含む。 | 8. 2. 5Y6/8 | 明黄褐色シルト | 黒褐色シルトをまだらに40%含む。しまり強い。 |
| 2. 2. 5Y5/4 | 黄褐色シルト | ナリーブ褐色シルトを20%含む。 | 9. 10YR2/3 | 黒褐色シルト | 明黄褐色シルトをわずかに含む。しまりやや弱い。 |
| 3. 2. 5Y3/2 | 黒褐色シルト | 黄褐色シルトをわずかに含む。 | 10. 10YR3/4 | 暗褐色シルト | しまりやや弱い。 |
| 4. 2. 5Y4/2 | 暗灰黄色シルト | 炭化物を含む。 | 11. 10YR2/2 | 黄褐色シルト | しまりやや弱い。 |
| 5. 10YR3/4 | 暗褐色シルト | 明黄褐色シルトをわずかに含む。炭化物を含む。 | 12. 10YR5/3 | にぶい黄褐色シルト | しまりやや弱い。 |
| 6. 10YR1. 7/1 | 黒色シルト | 黄褐色シルトをわずかに含む。粘性あり。 | 13. 2. 5Y5/6 | 黄褐色シルト | 黄褐色シルトをまだらに20%含む。粘土との混じり成分を含む。炭化物を顕著含む。しまり非常に強い。 |
| 7. 2. 5Y3/3 | 暗オリーブ褐色シルト | 遺物を含む。 | | | |

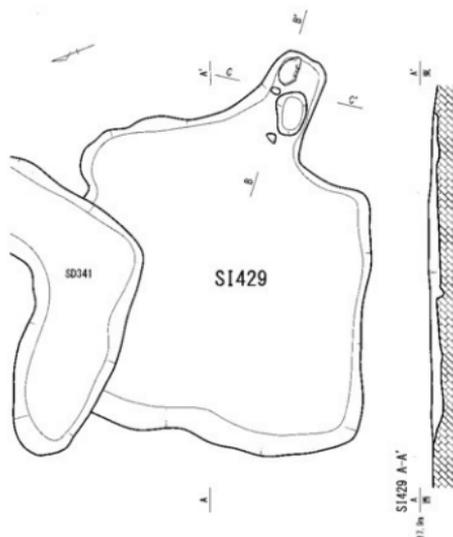
0 1: 40 2m

第22図 I区 S1384 実測図 (縮尺 1: 40)



- SI385
 1. 10YR3/4 暗褐色砂質土 1cm次の小礫多わずかに含む。
 2. 10YR5/4 濃い黄褐色砂質土 3~5cm次の礫をわずかに含む。

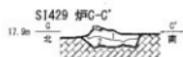
0 1:40 2m



- SI429 A-A'
 1. 10YR5/6 黄褐色砂質土 炭化物を微量含む。しまりやや強い。



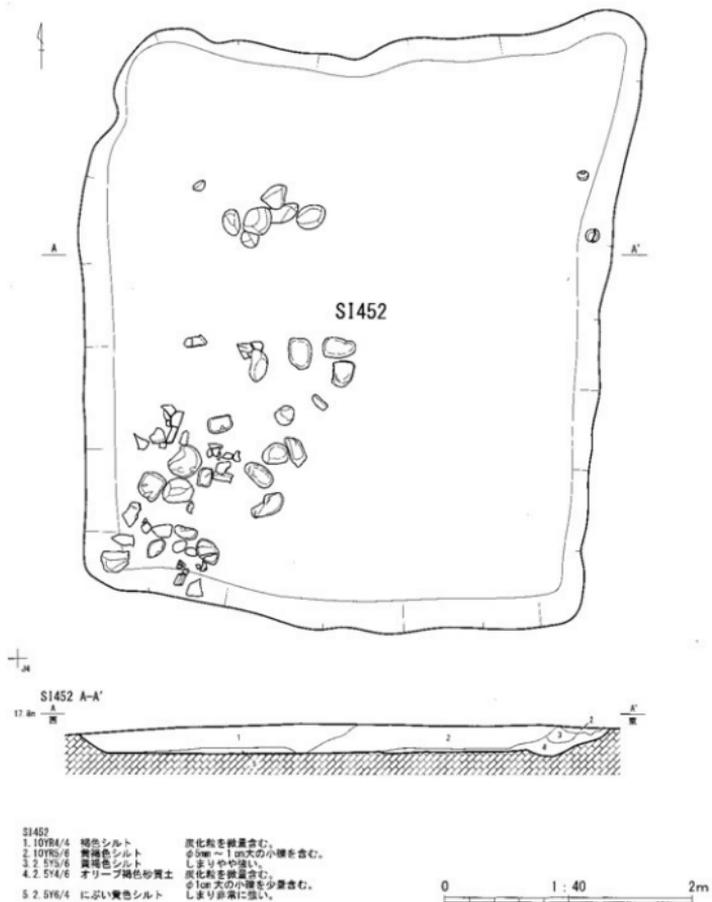
- SI429 炉B-B'
 1. 10YR2/4 暗褐色シルト 粗粒し、やや赤味を帯びる。硬土。炭化物をわずかに含む。
 2. 7.5YR3/4 暗褐色シルト 粗粒し、赤味を帯びる。硬土。
 3. 7.5YR5/6 暗褐色砂質土 粗粒し、赤味を帯びる。硬土。
 4. 10YR3/4 暗褐色シルト 凝結した、しまりやや強い。
 5. 10YR5/6 黄褐色砂質土 A-A' 1層土と対応。住居壁土。炭化物を微量含む。しまりやや強い。



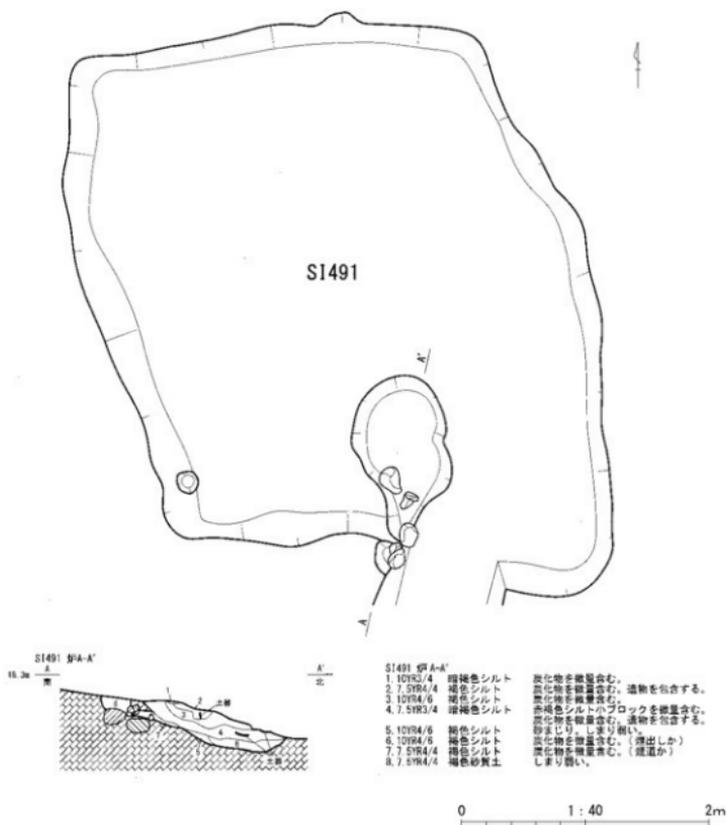
- SI429 炉C-C'
 1. 10YR2/4 暗褐色シルト 粗粒し、やや赤味を帯びる。炉B-B' 1層土と対応。硬土。炭化物をわずかに含む。
 2. 7.5YR3/4 暗褐色シルト 粗粒し、赤味を帯びる。炉B-B' 2層土と対応。硬土。

0 1:40 2m

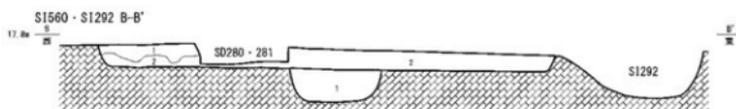
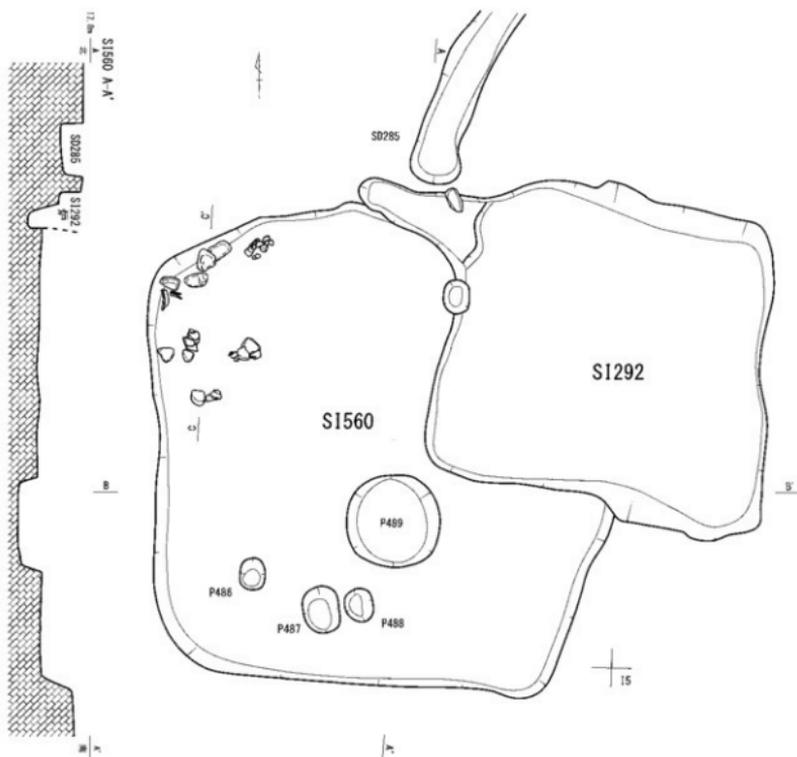
第23図 I区 SI385・SI429 実測図 (縮尺 1:40)



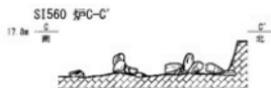
第24図 I区 S1452 実測図 (縮尺 1:40)



第 25 図 I 区 SI491 実測図 (縮尺 1 : 40)

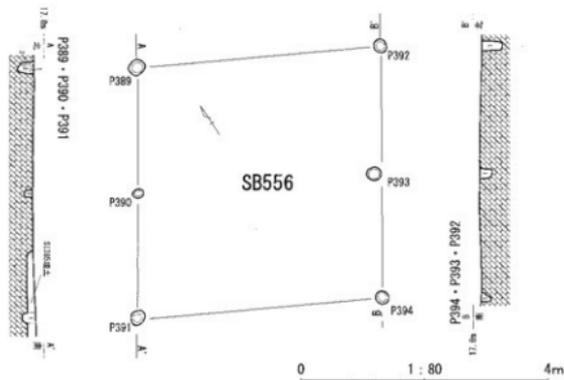


- S1560 B-B'
1. 10YR4/6 褐色シルト 炭化物を微量含む。しまりやや弱い。
 2. 10YR4/4 褐色シルト 炭化物をやや多く含む。しまりやや弱い。
- P489
1. 10YR4/6 褐色砂質土 黒色シルトを微量含む。しまり強い。



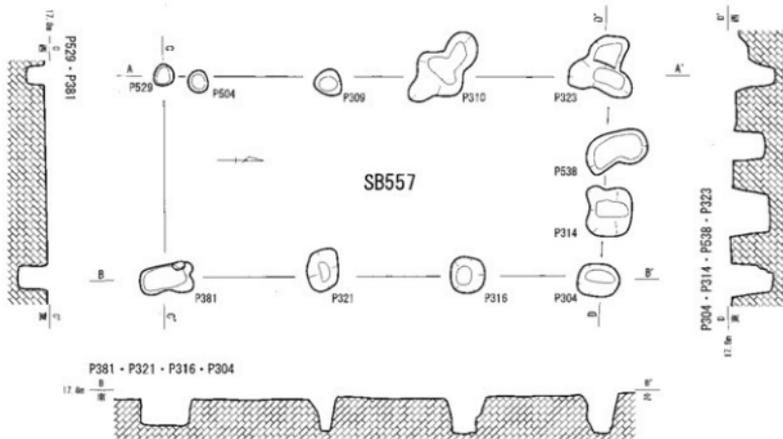
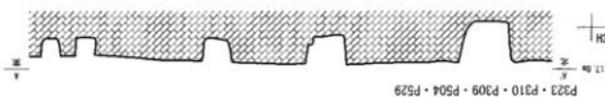
0 1:40 2m

第 26 図 I 区 S1292・S1560 実測図 (縮尺 1:40)



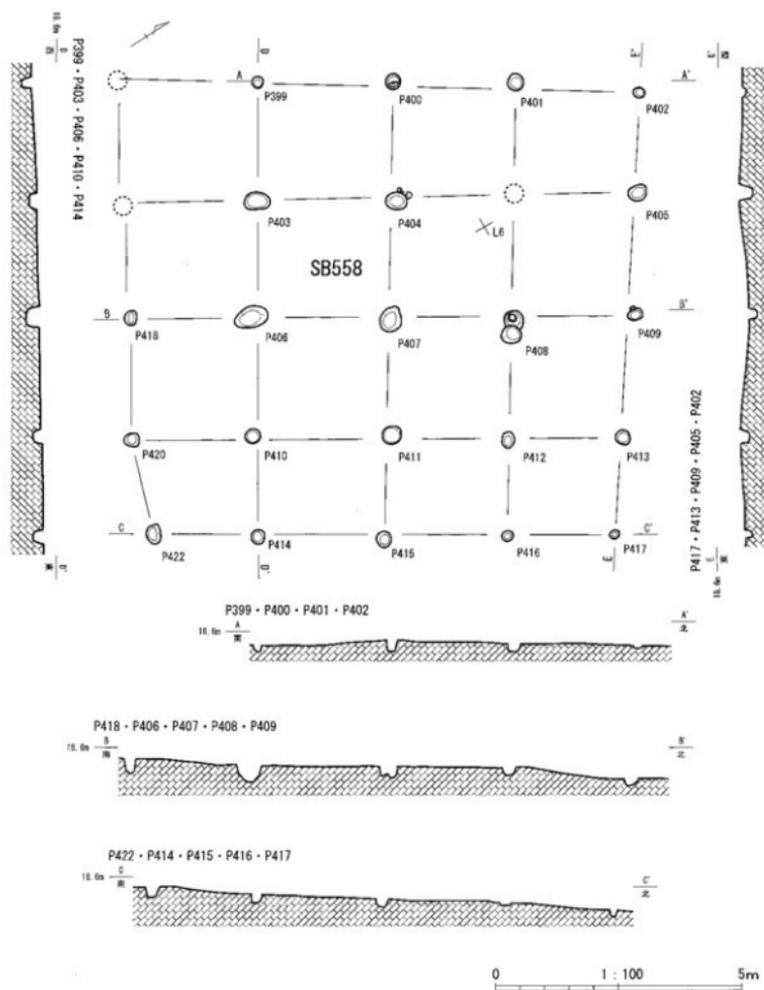
- P389
 1. 10/R4/G 褐色シルト 褐色シルトを30%含む。
 2. 10/R2/I 黒色シルト 黒色シルトを微量含む。粘性強い。
 3. 10/R5/G 黄褐色シルト 黒色シルトを微量含む。しまりやや強い。
- P390
 1. 10/R2/I 褐色シルト 黄褐色シルトを微量含む。粘性やや強い。
- P391
 1. 10/R2/I 褐色シルト 黄褐色シルトを微量含む。粘性やや強い。

- P392
 1. 10/R2/I 褐色シルト 黄褐色シルトを微量含む。粘性やや強い。
- P393
 1. 10/R2/I 褐色シルト 黄褐色シルトを微量含む。粘性やや強い。
- P394
 1. 10/R2/I 褐色シルト 黄褐色シルトを微量含む。粘性やや強い。

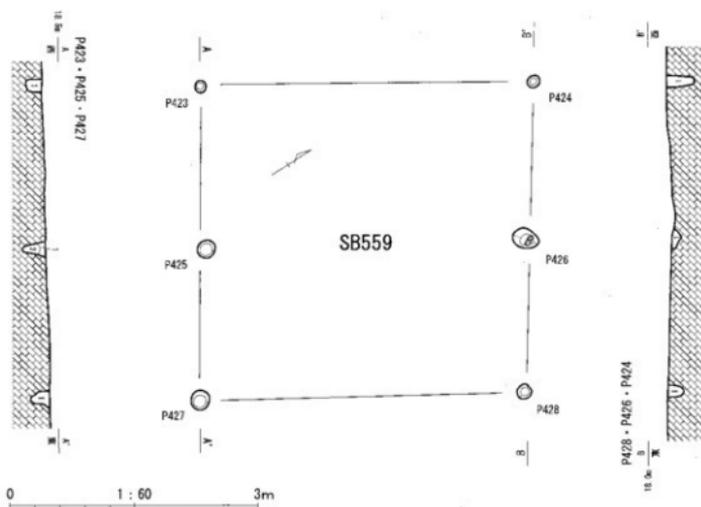


第27図 I区 SB556・SB557 実測図 (縮尺 1:80)



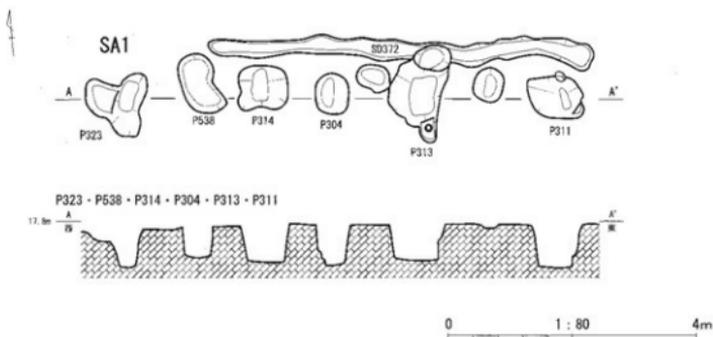


第 28 图 I 区 SB558 实测图 (缩尺 1 : 100)

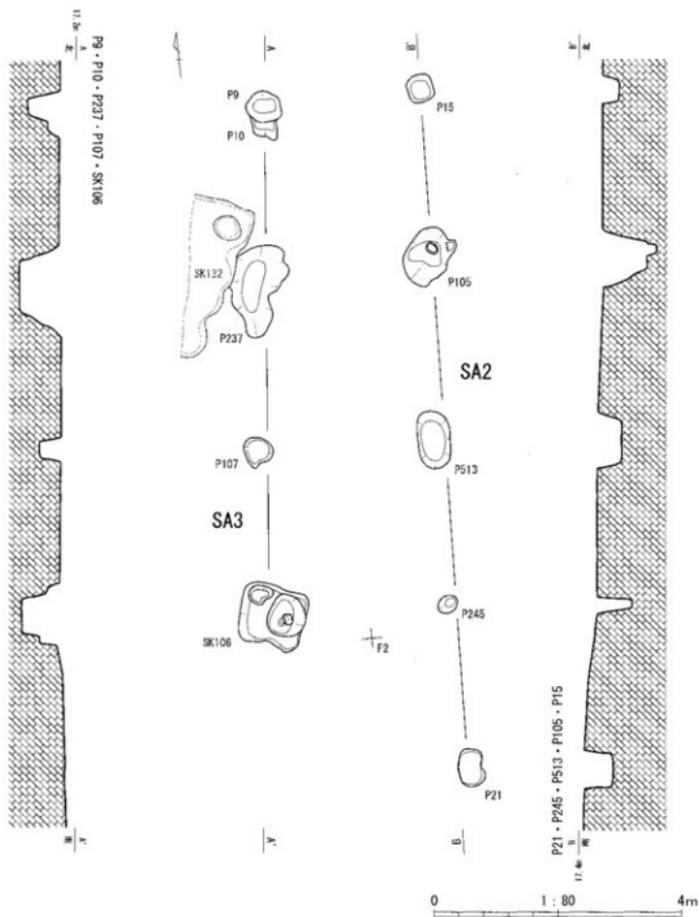


- P423
1. 10/R2/2 黒褐色シルト 黄褐色シルト小ブロックを3%含む。
P425
1. 10/R4/E 褐色シルト 黒褐色シルトを微量含む。
2. 10/R3/2 黒褐色シルト 黄褐色シルト小ブロックを2%含む。
P427
1. 10/R3/3 暗褐色シルト 黄褐色シルトを微量含む。

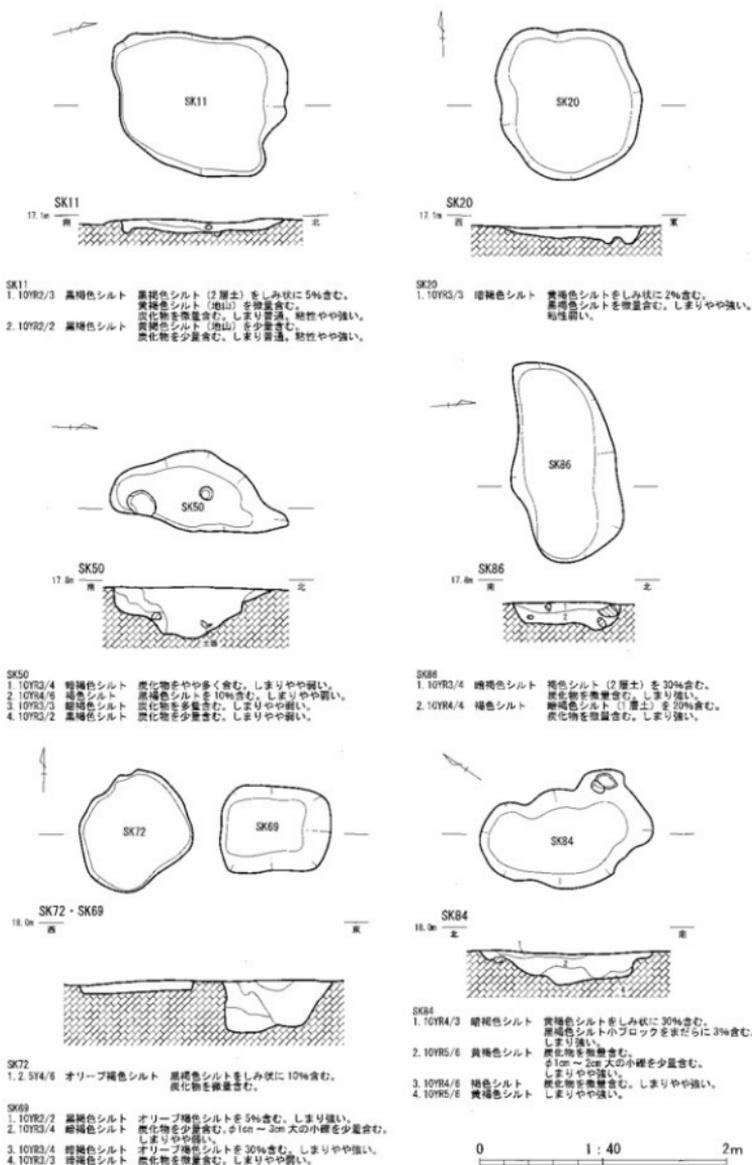
- P424
1. 10/R3/3 暗褐色シルト 黄褐色シルト小ブロックを5%含む。
P426
1. 10/R2/2 黒褐色シルト 黄褐色シルトを微量含む。
P428
1. 10/R2/3 黒褐色シルト 黄褐色シルト小ブロックを5%含む。



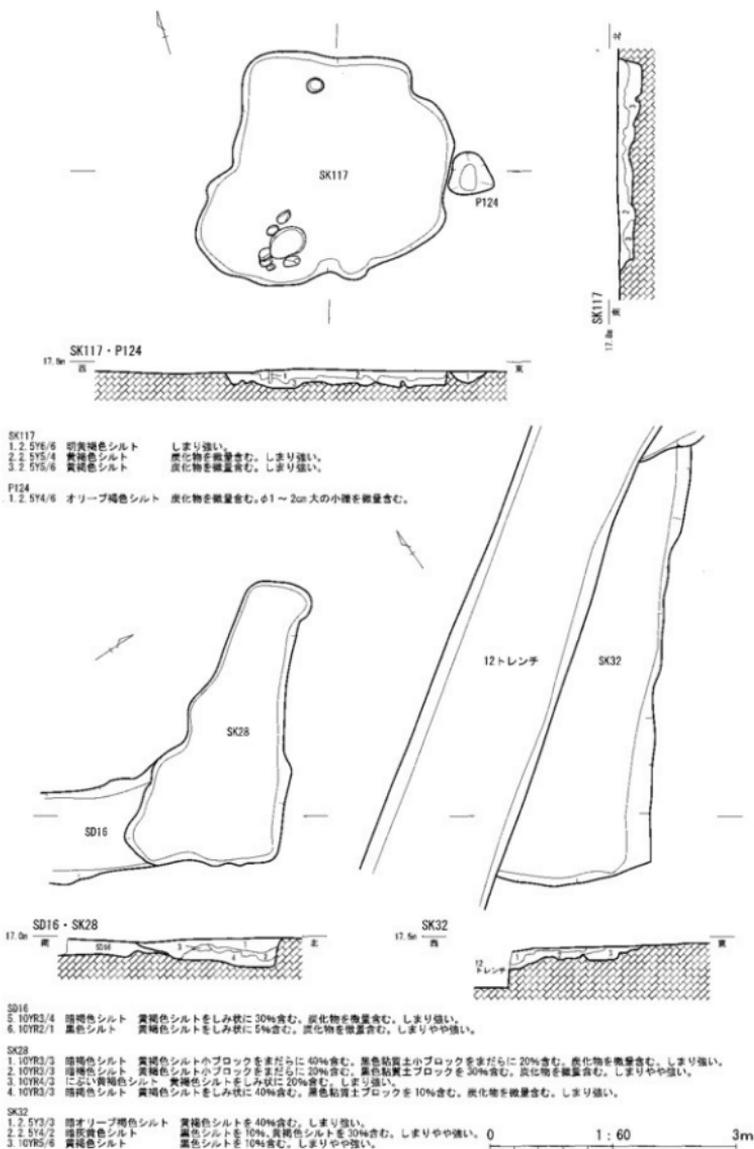
第29図 I区 SB559・SA1 実測図 (SB559 縮尺 1:60, SA1 縮尺 1:80)



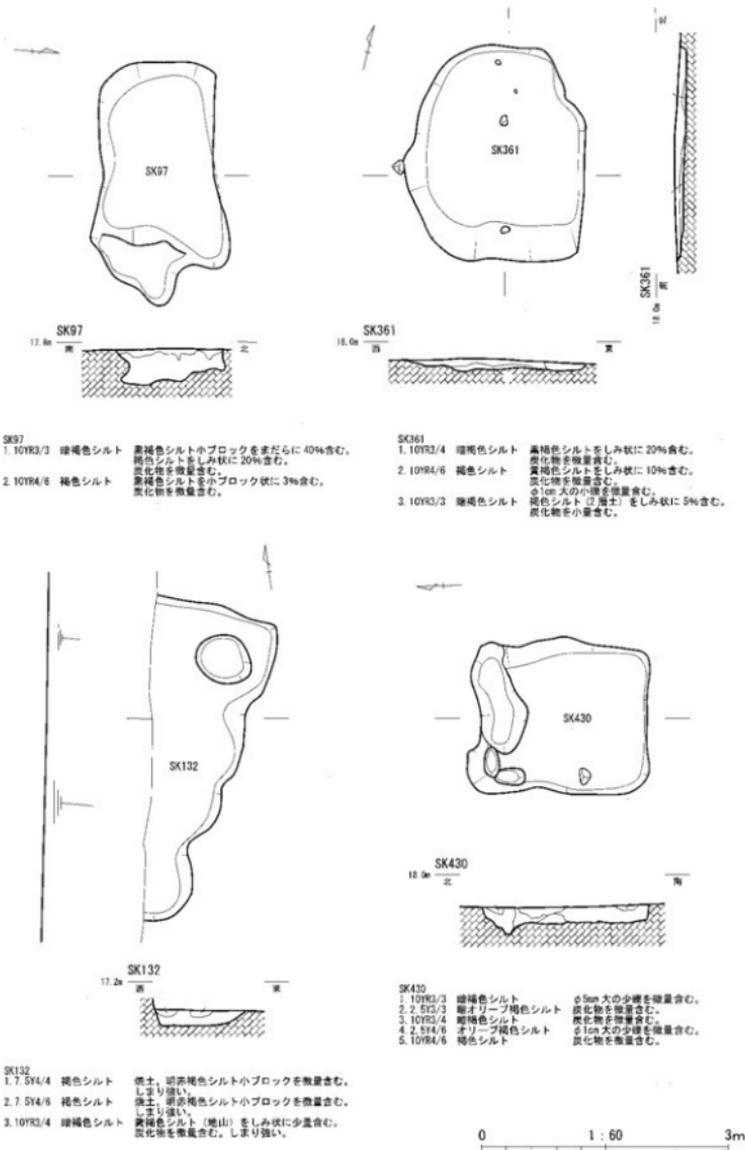
第 30 图 I 区 SA2・SA3 实测图 (缩尺 1:80)



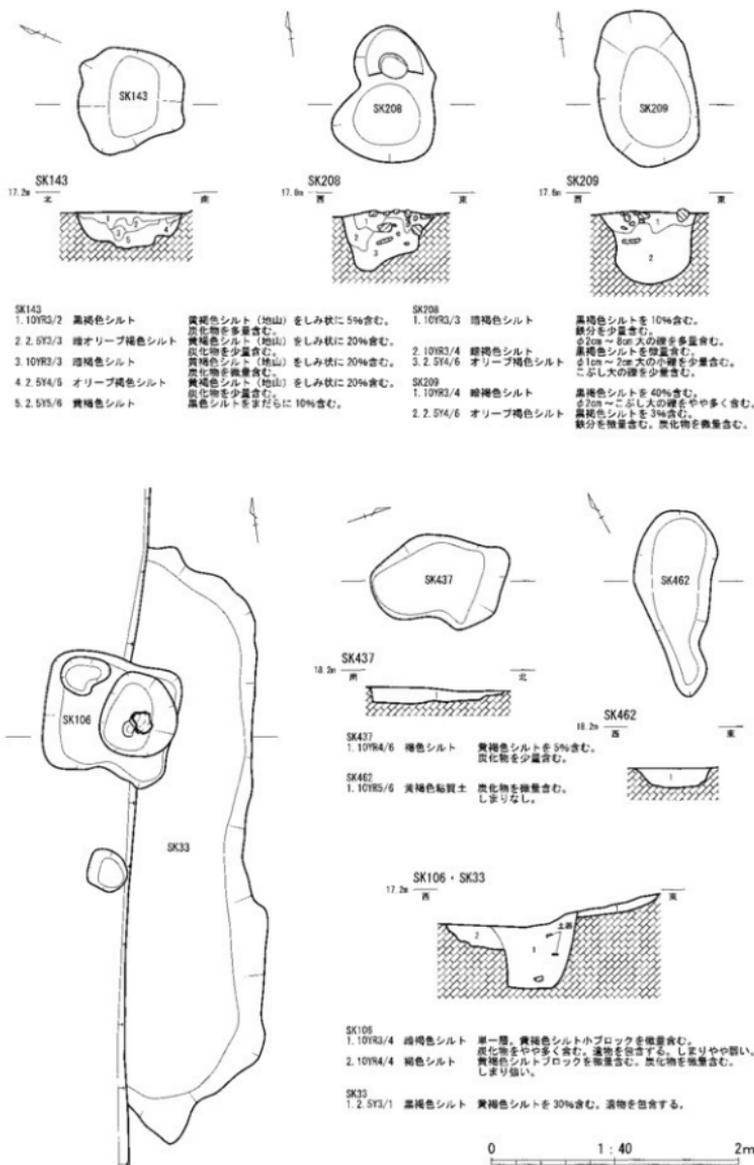
第31図 I区SK実測図1(縮尺 1:40)



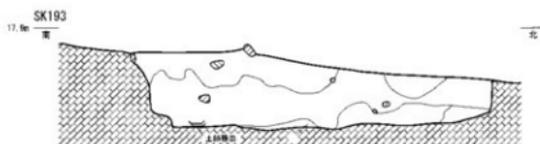
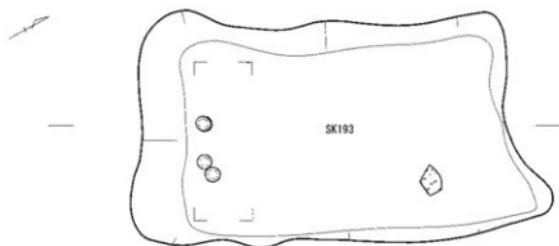
第 32 図 I 区 SK 実測図 2 (縮尺 1:60)



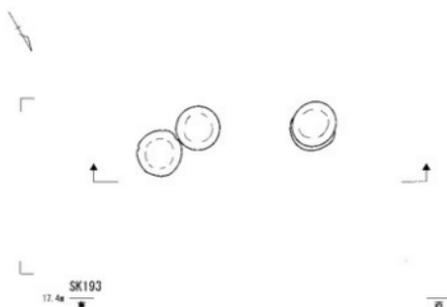
第33図 I区SK実測図3(縮尺 1:60)



第34図 I区SK実測図4（縮尺 1:40）

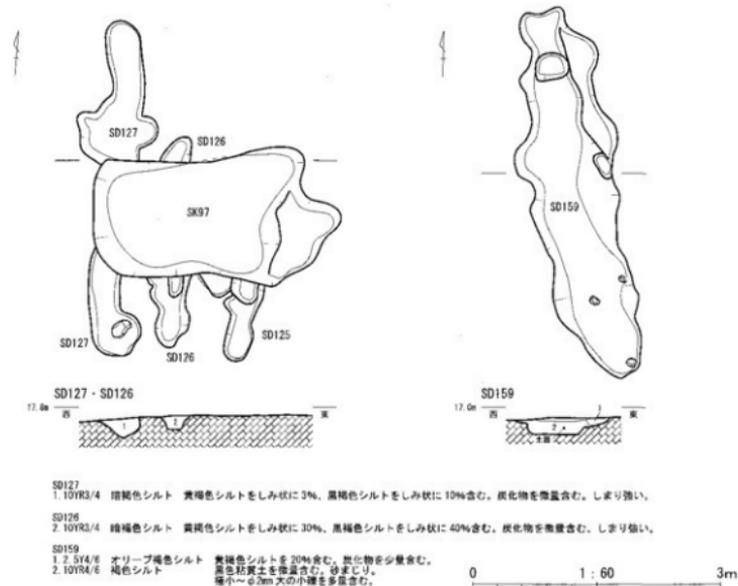
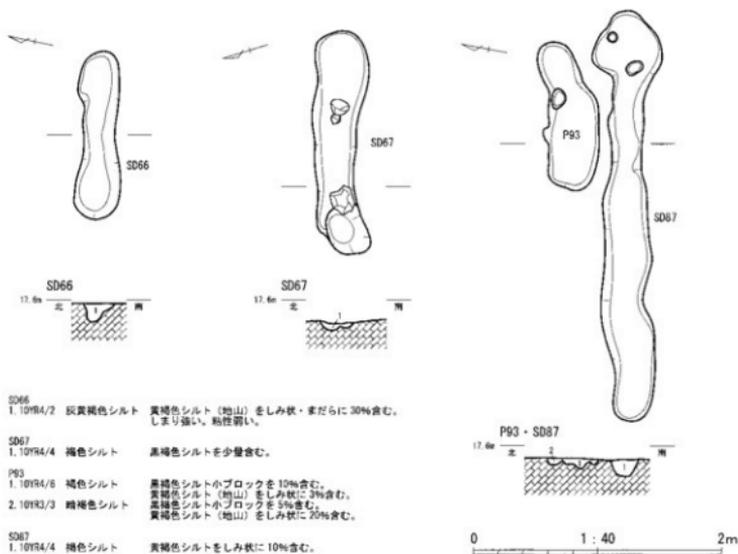


- SK193
- | | | | |
|-------------------|--|----------------------|----------------------------|
| 1. 10YR3/4 黄褐色シルト | 黄褐色シルトをすみ状に10%含む。炭化物を微量含む。しまり強い。 | 4. 10YR3/2 黒褐色シルト | 黄褐色シルトをすみ状に30%含む。炭化物を微量含む。 |
| 2. 10YR3/2 黄褐色シルト | 黄褐色シルトをすみ状に20%含む。鉄分を微量含む。炭化物を少量含む。0.5mm～2mm 寸の小礫をやや多く含む。しまり強い。 | 5. 2.5Y4/6 オリーブ褐色シルト | 黄褐色シルトを30%含む。しまり強い。 |
| 3. 10YR4/6 褐色シルト | 黄褐色シルトを40%含む。炭分を微量含む。炭化物をやや多く含む。0.5mm～2mm 寸の小礫をやや多く含む。しまり強い。 | 6. 10YR4/4 褐色シルト | 砂まじり。しまりやや弱い。粘性ややあり。 |
- 0 1:30 1.5m

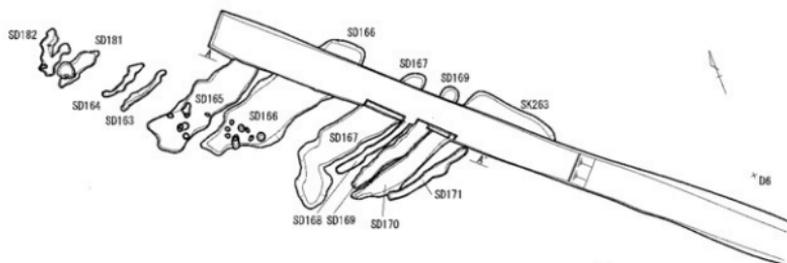


0 1:10 0.5m

第35図 I区 SK193 実測図(縮尺 1:30)及び 遺物出土状況図(縮尺 1:10)



第36図 I区SD実測図1(縮尺 1:40・1:60)



A-A'

SD165

1. 2. 5Y4/4 オリーブ褐色シルト 炭化物をやや多く含む。
 2. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト 炭化物を微量含む。
 3. 2. 5Y4/4 オリーブ褐色シルト 炭化物を微量含む。

SD166

1. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト 黒褐色シルトを微量含む。
 2. 2. 5Y5/6 黄褐色シルト オリーブ褐色シルトを微量含む。

SD167

1. 2. 5Y4/4 オリーブ褐色シルト 単一層。埋土の境。
 2. 2. 5Y5/4 黄褐色シルト オリーブ褐色シルトを微量含む。

SD168

1. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト 黄褐色シルトを微量含む。

SD169

1. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト 黒褐色シルトを 5%含む。

SD170

1. 2. 5Y4/4 オリーブ褐色シルト 黒褐色シルトを 10%含む。
 炭化物をわずかに含む。

SD171

1. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト 黒褐色シルトを 10%含む。
 しよりの強い黒色シルトをわずかに含む。

SD165・SD166・SD167・SD168・SD169・SD170・SD171

17.3m



SD251・SD250・SD249・SD150・SD151北・SD151南・SD152・SD153

17.3m



B-B'

SD251

1. 2. 5Y4/8 オリーブ褐色シルト 黒褐色シルトを 20%含む。
 黄褐色シルトを少量含む。

SD250

1. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト 黄褐色シルトを 20%含む。

SD249

1. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト 黄褐色シルトを 10%含む。

SD150

1. 2. 5Y4/4 オリーブ褐色シルト 黄褐色シルトを 20%含む。
 2. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト 黄褐色シルトを 20%含む。
 3. 2. 5Y5/6 黄褐色シルト オリーブ褐色シルトを 20%含む。

SD151 北

1. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト 黄褐色シルトを 20%含む。
 炭化物をやや多く含む。

SD151 南

1. 10YR2/3 暗褐色シルト 黄褐色シルトを少量含む。炭化物を多量含む。
 2. 10YR4/4 暗褐色シルト 黄褐色シルトを少量含む。炭化物を多量含む。
 3. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト 暗褐色シルトを少量含む。炭化物を微量含む。
 4. 2. 5Y5/4 黄褐色シルト 暗褐色シルトを少量含む。炭化物を微量含む。
 5. 2. 5Y5/6 黄褐色シルト 炭化物を少量含む。

SD152

1. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト 暗褐色シルトを少量含む。炭化物を微量含む。
 2. 10YR4/4 暗褐色シルト 炭化物を微量含む。
 3. 2. 5Y5/6 黄褐色シルト 暗褐色シルトをやや多く含む。
 炭化物を少量含む。

SD153

1. 10YR4/4 暗褐色シルト 黄褐色シルトを 10%含む。
 黄褐色シルトを微量含む。

0 1:60 (断面図) 3m

0 1:150 (平面図) 7.5m

第37図 I区SD実測図2 (縮尺 1:60・1:150)

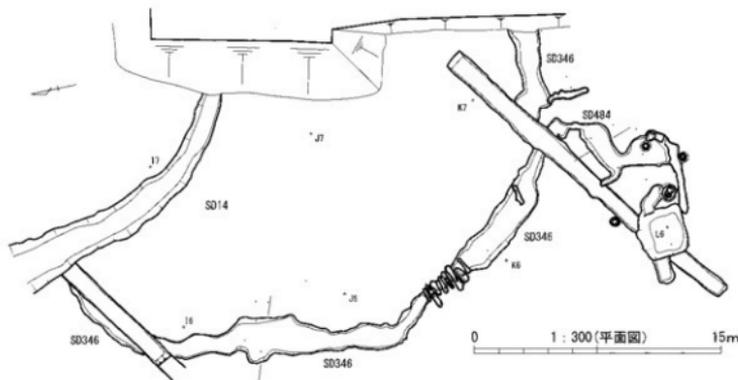
SD172・SD173・SD174・SD175・SD179・SD176・SD177・SD178・SD140・SD141・SD253・SD252



C-C'

- | | | | | | |
|-----------------------|-----------------------|-------------------------|-----------------------|-------------------------|-----------------------|
| SD172 | 1. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト | しまりの強い黒色シルトを微量含む。 | SD178 | 1. 2. 5Y4/4 オリーブ褐色シルト | 黒褐色シルトを少量含む。炭化物を微量含む。 |
| SD173 | 1. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト | しまりの強い黒色シルトをやや多く含む。 | 2. 2. 5Y5/6 黄褐色シルト | オリーブ褐色シルトを 20%含む。 | 炭化物を少量含む。 |
| SD174 | 1. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト | 黄褐色シルトを 10%含む。炭化物を微量含む。 | 3. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト | 黒褐色質土を微量含む。 | しまりの強い黒色シルトを少量含む。 |
| SD175 | 1. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト | 単一層。 | SD140 | 1. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト | 黄褐色シルトをしまりに 10%含む。 |
| 2. 2. 5Y4/4 オリーブ褐色シルト | しまりの強い黒色シルトをやや多く含む。 | SD141 | 2. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト | 炭化物を少量含む。 | 炭化物を少量含む。 |
| 3. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト | しまりの強い黒色シルトをやや多く含む。 | 2. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト | 2. 2. 5Y5/6 黄褐色シルト | 黒褐色シルト小ブロックを少量含む。 | 炭化物を微量含む。 |
| SD179 | 1. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト | 黄褐色シルトを 20%含む。炭化物を微量含む。 | 3. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト | 黄褐色シルトを 30%含む。炭化物を微量含む。 | 1. 黄土を少量含む。炭化物を微量含む。 |
| SD176 | 1. 10YR2/1 黒褐色シルト | 黄褐色シルトを 40%含む。 | SD253 | 1. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト | 黄褐色シルトを 10%含む。 |
| 2. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト | しまりの強い黒色シルトを微量含む。 | SD252 | 1. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト | 黒色シルトを微量含む。 | |
| SD177 | 1. 10YR3/3 暗褐色シルト | 黒色シルトを微量含む。炭化物を微量含む。 | SD252 | 1. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト | 黄褐色シルトを 20%含む。 |
| | | | | | 黒色シルトをやや多く含む。 |

0 1: 60 (断面図) 3m



0 1: 300 (平面図) 15m

SD346

17. 2m 東



SD346

- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| 1. 10YR4/4 褐色シルト | 灰褐色シルト小ブロックを 20%含む。 |
| 2. 10YR4/6 褐色砂質土 | しまりの強い黒色シルトを少量含む。しまりやや弱い。 |
| 3. 10YR3/3 暗褐色シルト | 灰褐色シルト小ブロックを 1%含む。炭化物を微量含む。 |
| 4. 10YR4/4 褐色シルト | 炭化物を微量含む。しまりやや弱い。 |
| 5. 10YR4/6 褐色シルト | 炭化物を微量含む。しまり強い。 |
| 6. 10YR5/4 土に近い黄褐色シルト | しまりやや弱い。 |
| 7. 10YR5/6 黄褐色シルト | しまりやや弱い。 |

SD484

17. 2m 東

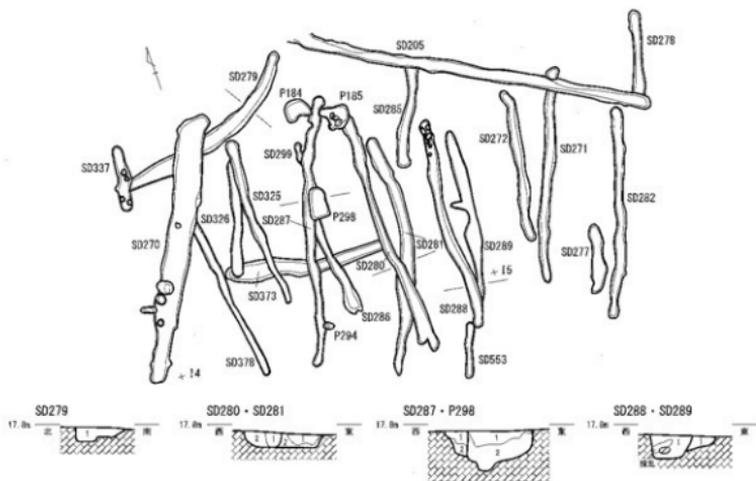


SD484

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 10YR3/4 暗褐色シルト | 炭化物を微量含む。しまりやや強い。 |
| 2. 10YR5/6 黄褐色シルト | しまりやや弱い。 |

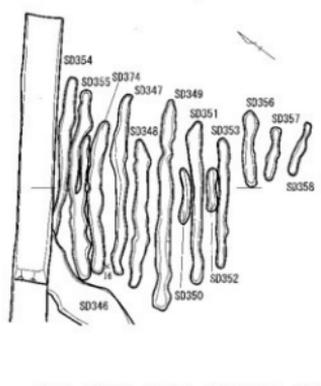
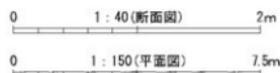
0 1: 40 (断面図) 2m

第 38 図 I 区 SD 実測図 3 (縮尺 1: 40・1: 60・1: 300)



- SD279
1. 10YR3/3 暗褐色シルト 褐色シルトを10%含む。
2. 10YR4/4 暗褐色シルト 褐色シルトを少量含む。
3. 10YR5/6 黄褐色シルト 炭化物を少量含む。
- SD280
1. 10YR3/4 暗褐色シルト 黄褐色シルトを微量含む。
2. 10YR4/4 暗褐色シルト 炭化物を少量含む。
- SD281
1. 10YR3/3 暗褐色シルト 黄褐色シルトを20%含む。
2. 10YR5/6 黄褐色シルト 炭化物を微量含む。
- P298
1. 10YR2/4 暗褐色シルト 炭化物を微量含む。
2. 10YR4/6 褐色シルト 炭化物を微量含む。

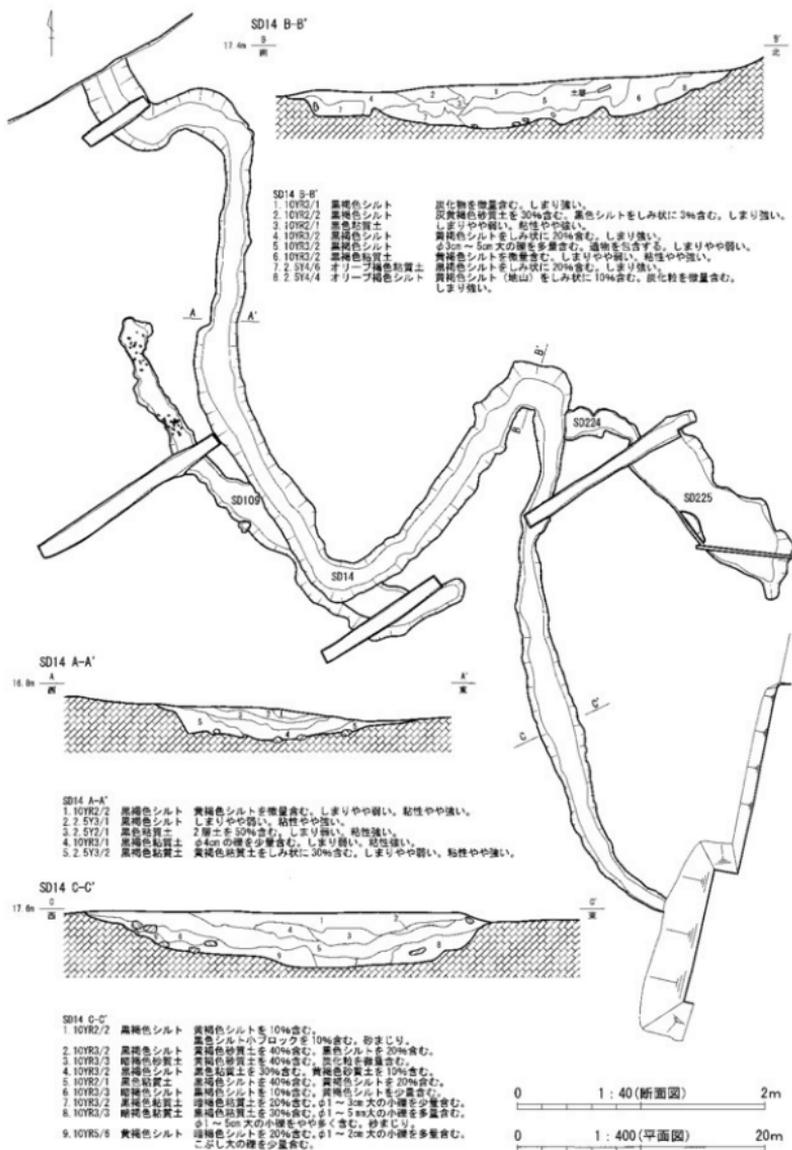
- SD297
1. 10YR4/4 褐色シルト
2. 10YR5/6 黄褐色シルト
- SD298
1. 10YR3/3 暗褐色シルト 炭化物を微量含む。
- SD289
1. 10YR3/4 暗褐色シルト 炭化物を微量含む。



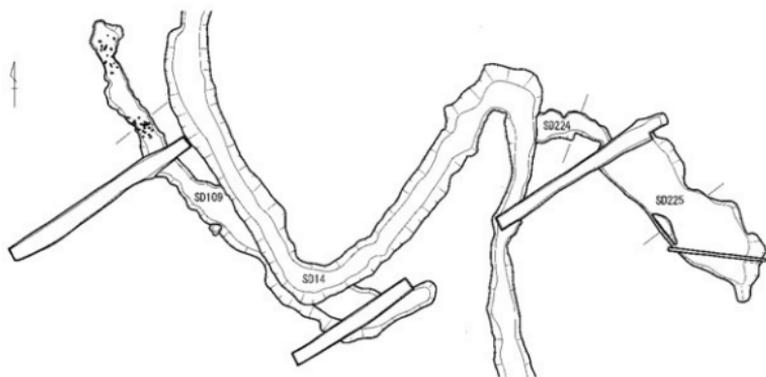
- SD354
1. 10YR4/4 褐色シルト 炭化物を微量含む。
- SD355 西
1. 10YR4/4 褐色シルト 明褐色シルトを5%含む。炭化物を微量含む。
- SD356 東
1. 10YR4/4 褐色シルト 明褐色シルトを微量含む。
- SD374
1. 10YR4/4 褐色シルト 褐色シルトを20%含む。砂まじり。
- SD347
1. 10YR2/4 暗褐色シルト
2. 10YR4/6 褐色シルト 炭化物を微量含む。極小の小礫を多量含む。
- SD349
1. 10YR4/6 褐色シルト 単一層。炭化物を微量含む。φ1cm以下の小礫を微量含む。
- SD348
1. 10YR4/6 褐色シルト 高色シルトを10%含む。炭化物を微量含む。極小の小礫をやや多く含む。
- SD350
1. 10YR4/6 褐色シルト 単一層。炭化物を微量含む。極小の小礫を多量含む。
- SD351
1. 10YR4/6 褐色シルト 単一層。炭化物を微量含む。極小の小礫をやや多く含む。
- SD352
1. 10YR4/6 褐色シルト 単一層。炭化物を微量含む。極小のφ1mmの小礫をやや多く含む。
- SD353
1. 10YR4/6 褐色シルト 単一層。炭化物を微量含む。極小のφ1mmの小礫をやや多く含む。



第39図 I区SD実測図4 (縮尺 1:40・1:150)



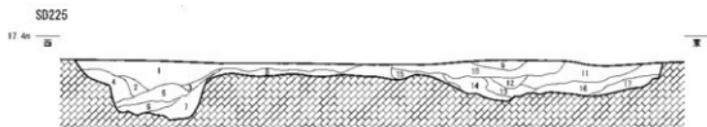
第40図 I区SD実測図5 (縮尺 1:40・1:400)



- SD109
1. 10YR3/4 暗褐色シルト 黄褐色粘質土をまだらに20%含む。暗褐色シルトを少しみじに30%含む。炭化物を微量含む。しまりや強い。
2. 10YR/6 褐色シルト 黄褐色粘質土をまだらに20%含む。暗褐色シルトを微量含む。炭化物を微量含む。しまりやや強い。



- SD224
1. 10YR5/6 黄褐色シルト 暗褐色シルトを20%含む。炭化物を微量含む。しまり強い。
2. 10YR4/3 におい黄褐色シルト 暗褐色シルトを10%含む。しまりやや強い。
3. 10YR5/3 におい黄褐色粘質土 炭化物を微量含む。遺物を含む。しまりやや強い。
4. 10YR4/4 褐色シルト 黄褐色粘質土を20%含む。しまりやや強い。
5. 10YR6/6 明黄褐色シルト 暗褐色シルトを20%含む。炭化物を微量含む。しまり強い。



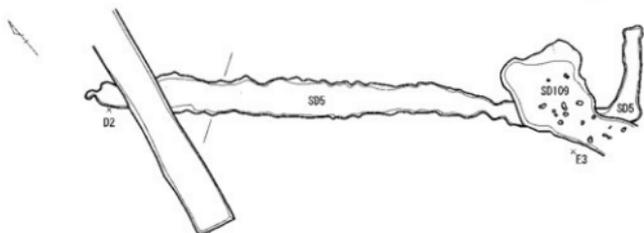
- SD225
1. 10YR2/3 黄褐色粘質土 炭化物をやや多く含む。遺物を含む。しまりやや強い。
2. 10YR4/4 褐色粘質土 黄褐色粘質土を20%含む。炭化物を微量含む。しまりやや強い。
3. 10YR3/2 暗褐色粘質土 炭化物を少量含む。遺物を含む。しまりやや強い。
4. 10YR/6 褐色シルト 暗褐色粘質土を10%含む。炭化物を微量含む。しまりやや強い。
5. 10YR3/1 黄褐色粘質土 黄褐色粘質土を20%含む。炭化物を少量含む。しまり弱い。
6. 10YR5/3 におい黄褐色粘質土 黄褐色粘質土を30%含む。炭化物を微量含む。しまりやや強い。
7. 10YR/4 褐色粘質土 炭化物を微量含む。しまりやや強い。
8. 10YR4/4 褐色シルト 炭化物を微量含む。しまりやや強い。3cm程度の少泥を少量含む。
9. 10YR2/3 黄褐色粘質土 炭化物を少量含む。しまりやや強い。
10. 10YR2/2 黄褐色粘質土 炭化物をやや多く含む。しまり強い。
11. 10YR3/3 暗褐色粘質土 黄褐色粘質土を40%含む。炭化物を少量含む。遺物を含む。しまり弱い。

12. 10YR3/1 黄褐色粘質土 炭化物を少量含む。しまりやや弱い。
13. 10YR3/2 暗褐色粘質土 暗褐色粘質土を30%含む。
14. 10YR3/3 暗褐色粘質土 炭化物を少量含む。しまりやや弱い。
15. 10YR3/4 暗褐色粘質土 炭化物を少量含む。しまりやや弱い。
16. 10YR3/4 暗褐色粘質土 黄褐色粘質土を20%含む。炭化物を微量含む。しまり弱い。
17. 10YR4/4 褐色シルト 黄褐色粘質土を40%含む。炭化物を少量含む。しまり弱い。
18. 10YR4/4 褐色シルト 黄褐色粘質土を20%含む。しまりやや弱い。

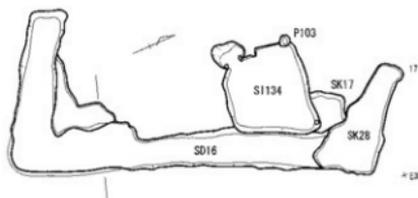
0 1 : 40 (断面図) 2m

0 1 : 400 (平面図) 20m

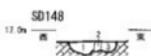
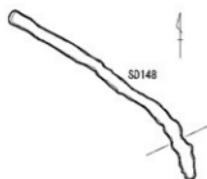
第41図 I区SD実測図6 (縮尺 1:40・1:400)



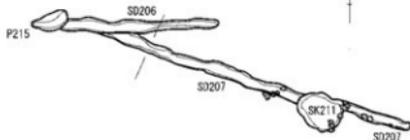
- SD5
- | | | |
|-------------|--------|---------------------------------|
| 1. 10YR5/2 | 黒褐色シルト | 黄褐色シルトをしみ状に10%含む。しまり厚薄。粘性弱い。 |
| 2. 2. 5Y5/3 | 黒褐色シルト | 黒褐色シルトのブロックを微量含む。しまり厚薄。粘性弱い。 |
| 3. 2. 5Y3/1 | 黒褐色シルト | 黄褐色シルトを微量含む。砂分を微量含む。しまり厚薄。粘性弱い。 |



- SD16
- | | | |
|--------------|--------|--|
| 1. 10YR5/8 | 黄褐色ベルト | 2層土をしみ状に30%含む。黒褐色シルトをしみ状・ブロック状に20%含む。しまり強い。粘性弱い。 |
| 2. 10YR5/8 | 黄褐色シルト | 黄褐色シルト(1層土)をしみ状に30%含む。黒褐色シルトブロックを2%含む。砂まじり。しまり強い。粘性弱い。 |
| 3. 10YR5/8 | 黄褐色シルト | 黒褐色(1, 2層の)砂質土より多量にシルトをしみ状に30%含む。黒褐色シルトブロックを5%含む。しまりやや弱い。粘性弱い。 |
| 4. 10YR2/1 | 黒色粘質土 | 黄褐色シルトを少量含む。しまり強い。粘性やや強い。 |
| 5. 10YR1 7/1 | 黒色粘質土 | 黄褐色シルト(地山ブロック)を3%含む。しまり強い。粘性強い。 |



- SD148
- | | | |
|------------|--------|---------------------|
| 1. 10YR3/2 | 黒褐色粘質土 | 黄褐色シルトを少量含む。粘性やや強い。 |
| 2. 10YR4/4 | 褐色シルト | 黒褐色粘質土を50%含む。 |
| 3. 10YR5/6 | 黄褐色シルト | 黒褐色粘質土をしみ状に20%含む。 |

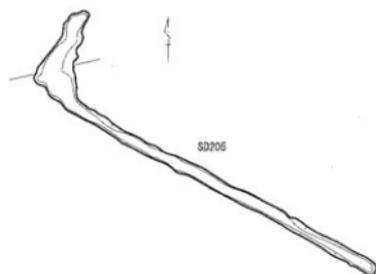


- SD207
- | | | |
|------------|--------|-----------------------|
| 1. 10YR4/4 | 褐色シルト | 黒褐色シルトを20%含む。砂分を微量含む。 |
| 2. 10YR2/2 | 黒褐色粘質土 | 黄褐色シルトを微量含む。粘性やや強い。 |
| 3. 10YR3/2 | 黒褐色シルト | 黄褐色シルトを少量含む。砂分を微量含む。 |

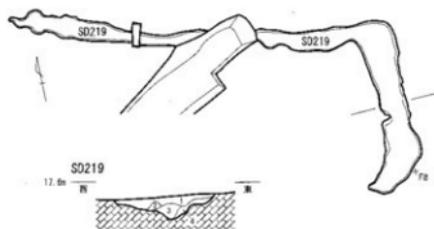
0 1 : 40 (断面図) 2m

0 1 : 150 (平面図) 7.5m

第 42 図 I 区 SD 実測図 7 (縮尺 1 : 40・1 : 150)

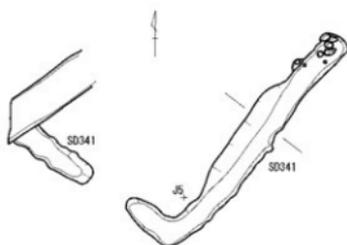


- SD205
- | | | |
|------------|--------|---------------------|
| 1. 10YR2/2 | 黄褐色シルト | 黄褐色シルトをしみ状に10%含む。 |
| 2. 10YR2/2 | 黄褐色シルト | 黄褐色シルトを3%含む。 |
| 3. 10YR5/6 | 黄褐色シルト | 黄褐色シルトを10%含む。 |
| 4. 10YR2/2 | 黄褐色シルト | 黄褐色シルトを3%含む。粘性やや強い。 |
| 5. 10YR4/4 | 黄褐色シルト | 黄褐色シルトを10%含む。砂まじり。 |

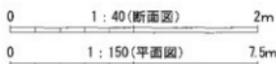


- SD219
- | | | |
|------------|----------|-------------------------------|
| 1. 10YR3/2 | 黄褐色シルト | 黄褐色シルトをしみ状に30%含む。鉄分多く含む。 |
| 2. 10YR2/1 | 黒色シルト | 灰黄褐色シルトを20%含む。 |
| 3. 10YR3/2 | 黄褐色シルト | 黄褐色シルトをしみ状に10%含む。黒色シルトを10%含む。 |
| 4. 2.5Y4/6 | オリブ褐色シルト | 灰黄褐色シルトを20%含む。 |

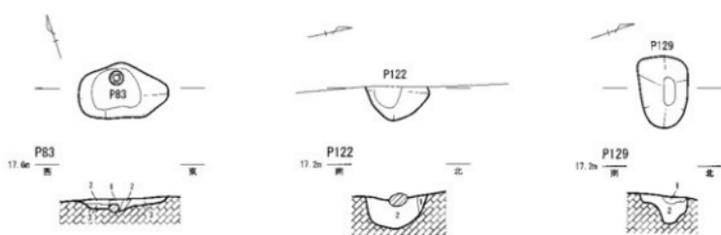
- SD221
- | | | |
|------------|---------|-------------------------------|
| 1. 2.5Y5/4 | 黄褐色シルト | 黄褐色シルトを少量含む。 |
| 2. 10YR2/2 | 黄褐色シルト | 灰黄褐色シルトをしみ状に20%含む。 |
| 3. 10YR5/2 | 灰黄褐色シルト | 黄褐色シルトをしみ状に20%含む。明褐色シルトを少量含む。 |



- SD341
- | | | |
|------------|----------|----------------|
| 1. 10YR2/1 | 黒色シルト | オリブ褐色シルトを微量含む。 |
| 2. 2.5Y4/6 | オリブ褐色シルト | 黒色シルトを40%含む。 |
| 3. 10YR2/1 | 黒色シルト | オリブ褐色シルトを微量含む。 |

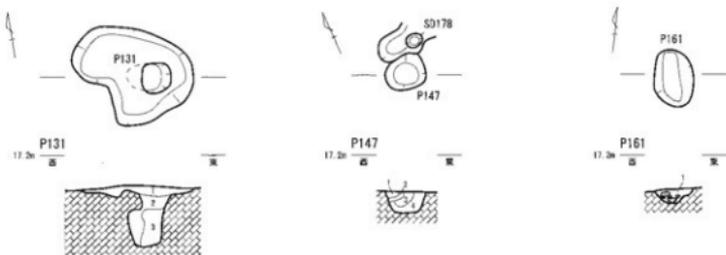


第43図 I区SD実測図8 (縮尺 1:40・1:150)



- P83**
 1. 10YR5/6 黄褐色シルト 緑褐色シルト(2層土)を少量含む。しまり強い。
 2. 10YR3/3 暗褐色シルト しまりやや強い。
 3. 10YR5/6 黄褐色シルト 暗褐色シルトをしまりに10%含む。しまりやや強い。
- P122**
 1. 2. 5Y4/3 オリーブ褐色シルト 黄褐色シルトをしまりに20%含む。炭化物を微量含む。
 2. 2. 5Y3/3 薄オリーブ褐色シルト 黄褐色シルトをしまりに10%含む。炭化物をやや多く含む。遺物を包含する。
- P129**
 1. 10YR4/6 褐色シルト 黄褐色シルト(地山)を20%含む。炭化物を少量含む。
 2. 10YR3/2 暗褐色シルト 黄褐色シルト(地山)を30%含む。炭化物を微量含む。

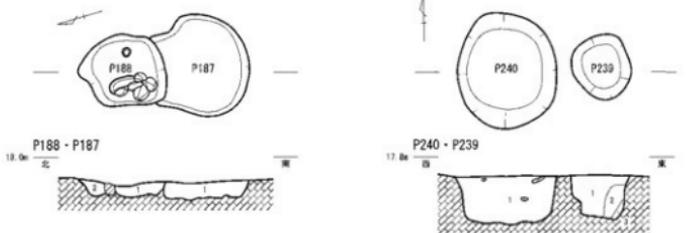
- P131**
 1. 10YR3/3 暗褐色シルト 炭化物を微量含む。しまり強い。
 2. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト 炭化物を微量含む。しまりやや弱い。
 3. 10Y3/4 暗褐色シルト しまり強い。



- P131**
 1. 10YR3/3 暗褐色シルト 炭化物を微量含む。しまり強い。
 2. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト 炭化物を微量含む。しまりやや弱い。
 3. 10Y3/4 暗褐色シルト しまり強い。

- P147**
 1. 10YR2/2 黒褐色シルト 遺物を包含する。炭化物を少量含む。
 2. 10YR5/6 黄褐色シルト 炭化物を少量含む。
 3. 10YR4/4 褐色シルト 黄褐色シルトを10%含む。炭化物を少量含む。
 4. 10YR3/3 暗褐色シルト 炭化物を少量含む。

- P161**
 1. 10YR3/2 黒褐色シルト 黄褐色シルトを10%含む。

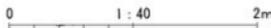


- P188**
 1. 10YR3/1 黒褐色シルト 黄褐色シルトをしまりに20%含む。
 2. 10YR4/4 褐色シルト 黄褐色シルトを40%含む。

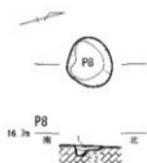
- P187**
 1. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト 黄褐色シルトを20%含む。黒褐色シルトを微量含む。

- P240**
 1. 10YR4/4 褐色シルト 黄褐色砂質土を10%含む。炭化物を微量含む。φ2cm~1cm 程度の隙を少量含む。

- P239**
 1. 10YR3/3 暗褐色シルト 黄褐色シルトを5%含む。炭化物を少量含む。
 2. 10YR2/4 暗褐色シルト 炭化物を微量含む。
 3. 10YR5/6 黄褐色シルト 暗褐色シルトを20%含む。



第44図 I区ピット実測図1(縮尺 1:40)



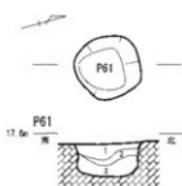
- P8
1. 2. 5Y3/2 黒褐色シルト
2. 2. 5Y4/2 暗灰黄色シルト

黄褐色シルト(地山)を微量含む。
しまりき固。粘性やや弱い。
1層土よりやや深い。
黄褐色シルト(地山)をまだらに含む。
しまりき固。粘性やや弱い。



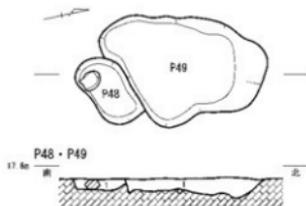
- P43
1. 2. 5Y4/3 オリーブ褐色シルト
2. 2. 5Y5/4 黄褐色シルト
3. 2. 5Y5/6 黄褐色シルト

しまりやや強い。
黄褐色シルト
しまりやや強い。



- P61
1. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト
2. 2. 5Y4/4 オリーブ褐色シルト
3. 2. 5Y5/6 黄褐色シルト

炭化物を微量含む。遺物を含む。
しまりやや強い。
しまりやや強い。
炭化物を微量含む。遺物を含む。
しまり強い。

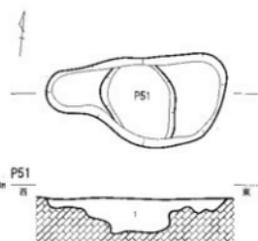


- P48
1. 2. 5Y6/6 明黄褐色シルト

オリーブ褐色シルト粒を微量含む。
しまりやや弱い。

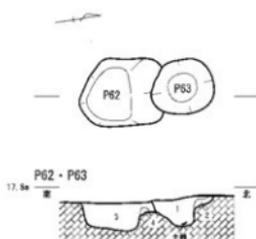
- P49
1. 2. 5Y4/4 オリーブ褐色シルト

黒褐色シルト粒を微量含む。
しまりやや強い。



- P51
1. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト

黄褐色シルトをしみ込に40%含む。
黒褐色シルトの小ブロックを微量含む。

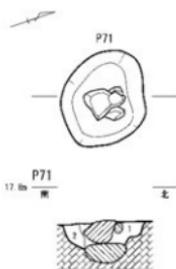


- P62
3. 2. 5Y4/4 オリーブ褐色シルト
4. 2. 5Y5/6 黄褐色シルト

炭化物を微量含む。しまりやや強い。
オリーブ褐色シルトをまだらに含む。

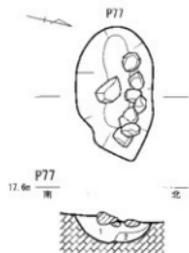
- P63
1. 2. 5Y4/6 オリーブ褐色シルト
2. 2. 5Y5/6 黄褐色シルト

炭化物を微量含む。遺物を含む。
しまりやや強い。
オリーブ褐色シルトを微量含む。



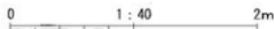
- P71
1. 10YR3/3 緑褐色シルト
2. 10YR4/6 褐色シルト

褐色シルトを20%含む。炭化物を少量含む。しまり強い。
黄褐色シルトの小ブロックを微量含む。しまり強い。

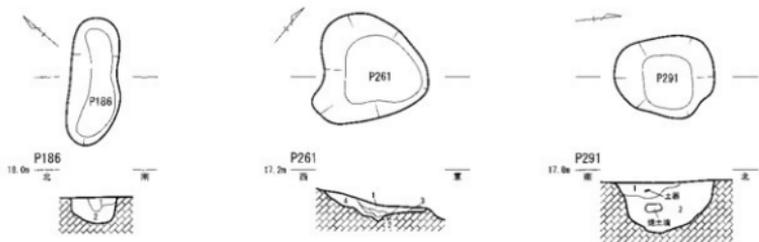


- P77
1. 10YR3/3 緑褐色シルト
2. 10YR5/6 黄褐色シルト

しまりやや強い。
しまりやや強い。



第45図 I区ピット実測図2(縮尺 1:40)



P186

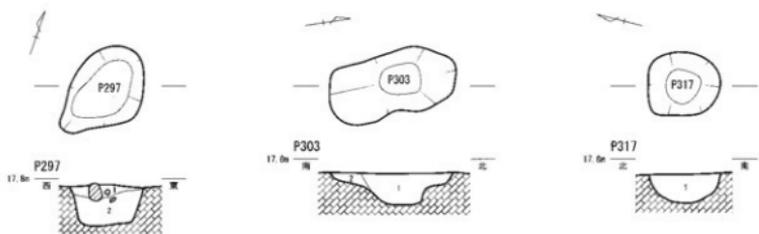
1. 10YR2/2 黒褐色シルト 黄褐色シルトを少し状に3%含む。
2. 10YR2/2 黒褐色シルト 黄褐色シルトを少し状に30%含む。鉄分を微量含む。

P291

1. 10YR3/4 暗褐色シルト 褐色シルトを20%含む。炭化物を微量含む。炭物を包含する。
2. 10YR4/6 褐色シルト 炭化物を少量含む。

P261

1. 10YR3/2 黒褐色粘質土 黄褐色シルトを10%含む。
2. 10YR4/4 褐色シルト 黄褐色シルトを30%含む。
3. 10YR3/8 黄褐色シルト 黒褐色粘質土を20%含む。
4. 10YR3/3 暗褐色シルト 黒褐色粘質土を5%含む。



P297

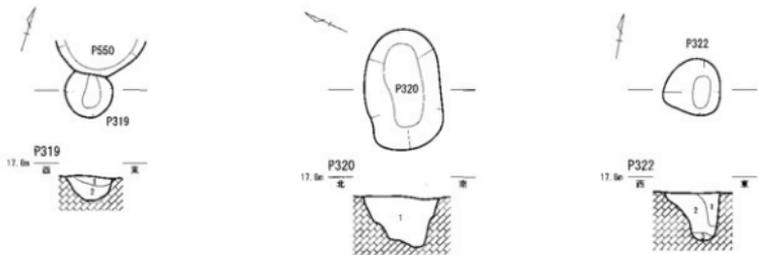
1. 10YR3/4 暗褐色シルト 黄褐色シルトを20%含む。φ1cm 穴の小礫を微量含む。
2. 10YR4/6 褐色シルト φ1 ~ 2cm 穴の小礫を少量含む。

P303

1. 10YR3/4 暗褐色シルト 炭化物を微量含む。
2. 10YR4/6 褐色シルト 黒褐色シルトを微量含む。

P317

1. 10YR4/4 褐色シルト 第一層。



P319

1. 10YR3/3 暗褐色シルト 黄褐色シルトを10%含む。炭化物を微量含む。
2. 10YR3/4 暗褐色シルト 黄褐色シルトを20%含む。黒褐色シルトを微量含む。

P320

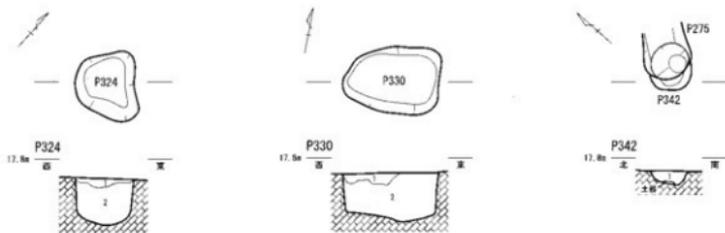
1. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 炭化物を微量含む。

P322

1. 10YR3/4 暗褐色シルト 黄褐色シルトを少し状に10%含む。
2. 10YR3/3 暗褐色シルト 黄褐色シルトを少し状に20%含む。
3. 10YR3/3 暗褐色シルト

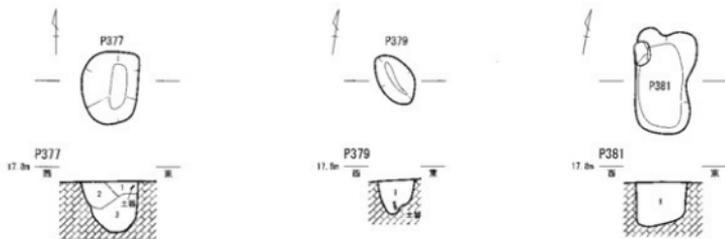


第 46 図 I 区 ビット実測図 3 (縮尺 1:40)



- P324**
 1. 10YR4/6 褐色シルト 黄褐色シルトを10%含む。
 2. 10YR4/4 褐色シルト 炭化物を微量含む。
- P342**
 1. 10YR4/6 褐色シルト 黄褐色シルトをまだらに10%含む。

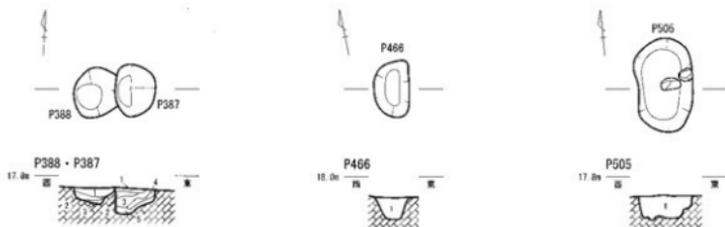
- P330**
 1. 10YR3/4 暗褐色シルト 黄褐色シルトを10%含む。炭化物を微量含む。
 2. 10YR3/3 暗褐色シルト 黄褐色シルトを10%含む。炭化物をやや多く含む。φ2~4mmの小礫を少量含む。



- P377**
 1. 10YR5/6 黄褐色シルト
 2. 10YR4/6 褐色シルト
 3. 10YR4/6 褐色シルト

- P379**
 1. 10YR4/4 褐色シルト 炭化物を微量含む。

- P381**
 1. 10YR4/6 褐色シルト 黄褐色シルトを20%含む。

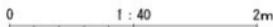


- P388**
 1. 10YR3/1 黒褐色シルト 黄褐色シルトを40%含む。
 2. 10YR3/1 黒褐色シルト 黄褐色シルトを20%含む。
 3. 10YR3/1 黒褐色シルト 黄褐色シルトをわずかに含む。粘性やや強い。

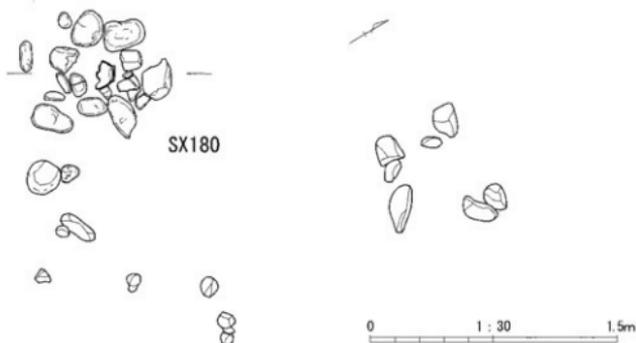
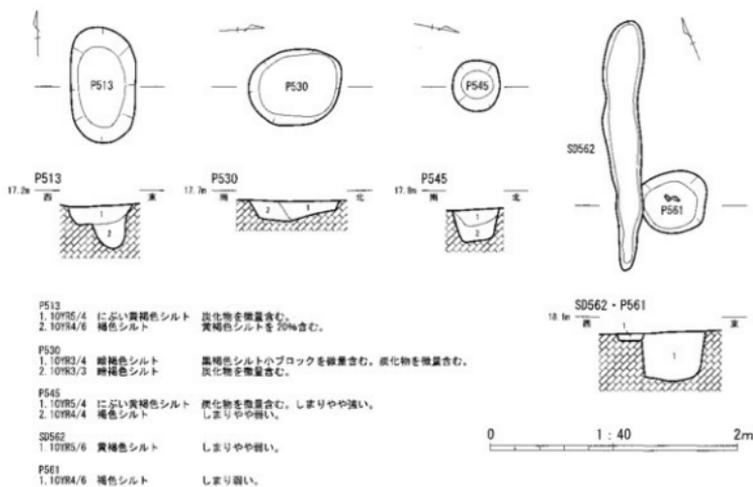
- P466**
 1. 10YR5/6 黄褐色砂質土 黒褐色シルトを2%含む。しまりなし。

- P505**
 1. 10YR3/4 暗褐色シルト 黄褐色シルトを10%含む。炭化物を微量含む。

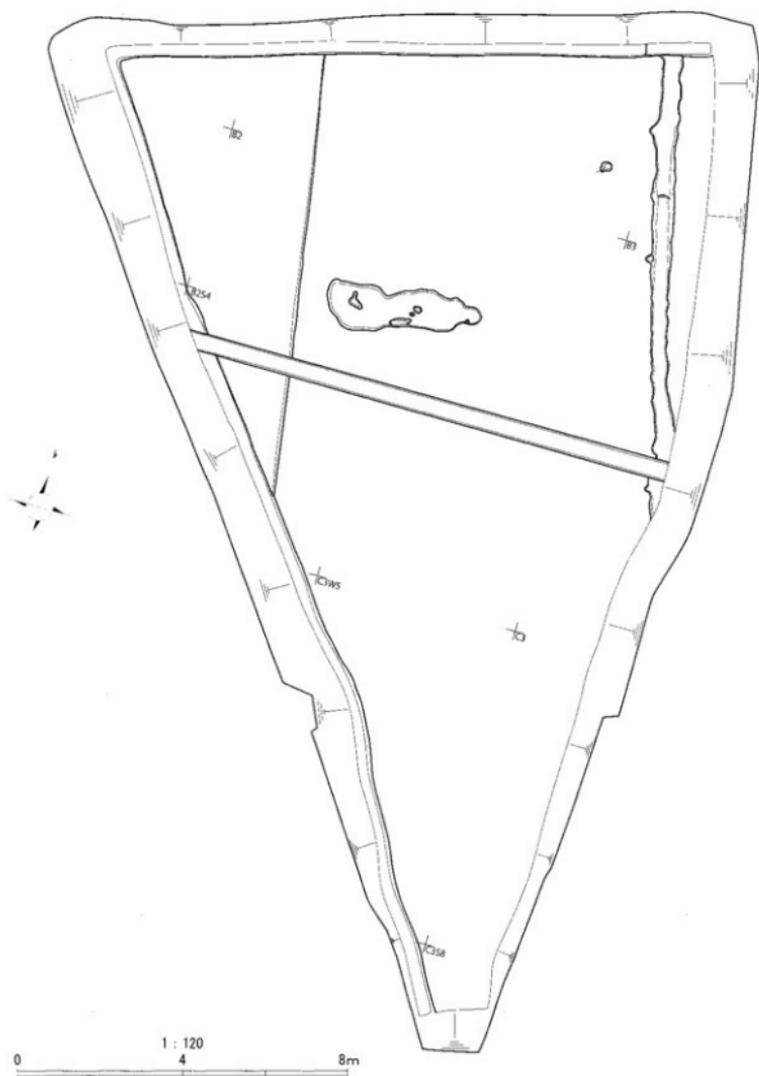
- P387**
 1. 10YR3/1 黒褐色シルト 黄褐色シルトを微量含む。
 2. 2. 5Y5/6 黄褐色シルト 粘りやや強い。
 3. 10YR3/1 黒褐色シルト 単一層。粘性やや強い。
 4. 2. 5Y3/2 黄褐色シルト 黄褐色シルトを微量含む。
 5. 10YR3/1 黒褐色シルト 黄褐色シルトを10%含む。



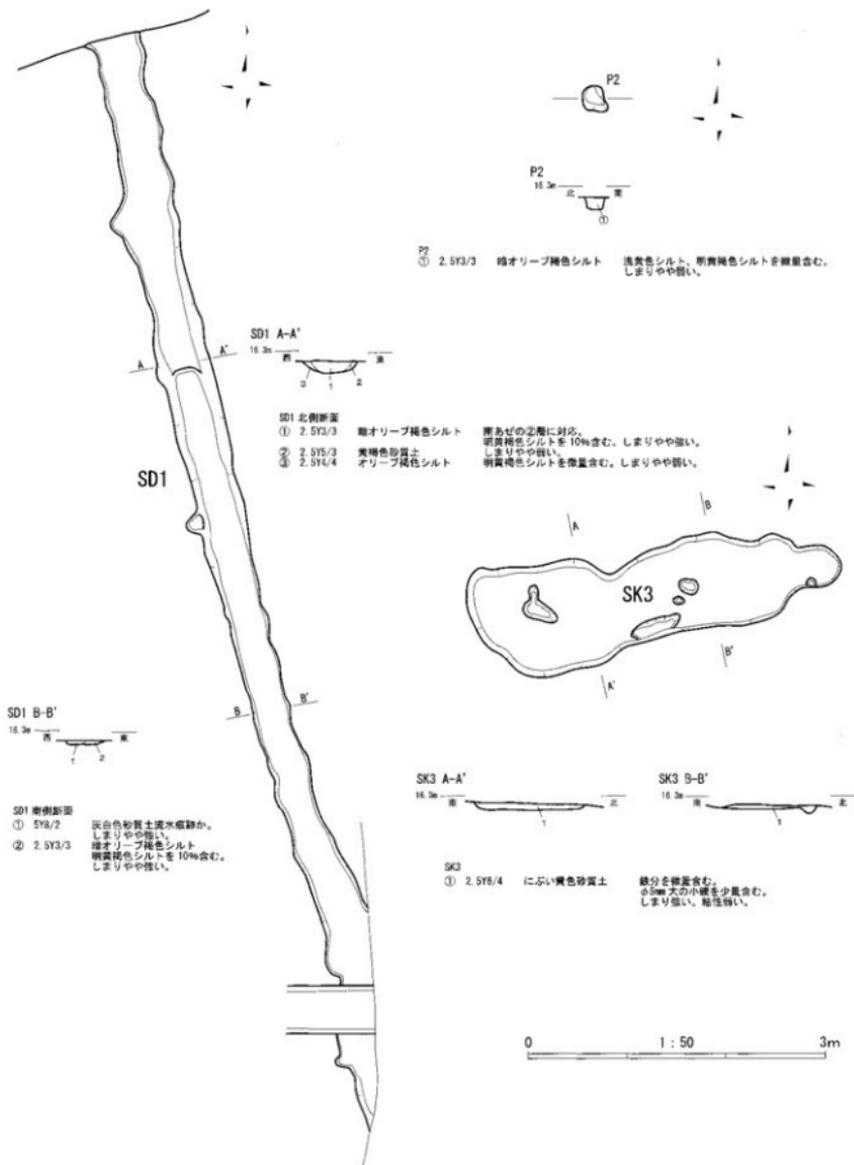
第 47 図 I 区ピット実測図 4 (縮尺 1:40)



第 48 図 I 区ピット実測図 5 (縮尺 1 : 40) 及び SX180 実測図 (縮尺 1 : 30)



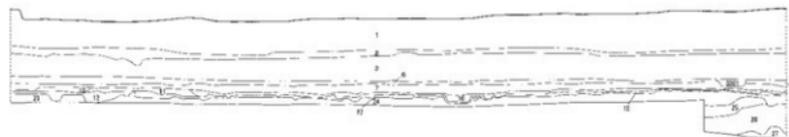
第 49 図 II 区 調査区全体図 (縮尺 1 : 120)



第50図 II区 遺構実測図(縮尺 1:50)

調査区北壁

18. 200m



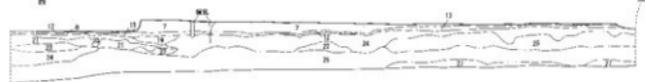
調査区西壁

18. 200m



中央トレンチ

18. 200m



- | | | | |
|----|---------|-----------|---|
| 1 | 2.5Y4/6 | オリブ褐色シルト | 壤土。 |
| 2 | 2.5Y5/2 | 錆赤黄色シルト | 壤土。 |
| 3 | 10YR4/6 | 褐色シルト | 壤土。 |
| 4 | 10YR7/4 | にぶい黄褐色砂質土 | 壤土。 |
| 5 | 10YR6/6 | 明黄褐色砂質土 | 壤土。 |
| 6 | 10YR3/2 | 黒褐色シルト | 壤土。 |
| 7 | 2.5Y6/4 | にぶい黄色シルト | 黒褐色シルト、褐色シルトをしみ状に含む。炭化物を微量含む。しまりやや強い、粘性やや弱い。 |
| 8 | 2.5Y6/4 | にぶい黄色シルト | φ1~2cm 次の小礫をやや多く含む。しまりやや強い、粘性やや強い。 |
| 9 | 10YR3/2 | 黒褐色シルト | しまり強い、粘性強い。 |
| 10 | 10YR5/8 | 黄褐色シルト | 黒褐色シルトを微量含む。にぶい黄色シルトをしみ状に含む。しまりやや強い、粘性やや弱い。 |
| 11 | 2.5Y6/4 | にぶい黄色シルト | φ1~2cm 次の小礫を多量に含む。しまりやや強い、粘性やや強い。 |
| 12 | 5YR5/8 | 明赤褐色 | 鉄分堆積層。酸化面深度は 20(1/1) 厚色を呈するが、部分的に明赤褐色と黒色がまだらになっている。しまり弱い。 |
| 13 | 10YR5/8 | 明黄褐色シルト | 鉄分を少量含む。黒褐色シルト、黄褐色シルトをしみ状に含む。しまりやや強い、粘性やや強い。 |
| 14 | 10YR6/6 | 明黄褐色シルト | φ0.5~2cm 次の小礫をやや多く含む。しまりやや強い、粘性やや強い。 |
| 15 | 5YR5/8 | 明赤褐色砂質土 | φ1~3cm 次の小礫を多量に含む。しまり強い、粘性強い。 |
| 16 | 2.5Y4/2 | 錆赤褐色シルト | 炭化物を微量含む。しまり弱い、粘性強い。 |
| 17 | 10YR4/4 | 褐色シルト | φ1~2cm 次の小礫をやや多く含む。しまり弱い、粘性やや弱い。 |
| 18 | 10YR5/6 | 明黄褐色シルト | しまりやや強い、粘性やや弱い。 |
| 19 | 10YR5/6 | 黄褐色シルト | 炭化物を少量含む。しまりやや弱い、粘性やや弱い。 |
| 20 | 10YR5/6 | 黄褐色シルト | 炭化物をやや多く含む。φ1~4cm の小礫を多量に含む。しまり強い、粘性弱い。 |
| 21 | 10YR5/6 | 明黄褐色砂 | φ1~5mm 次の小礫をやや多く含む。φ1~3cm 次の小礫を少量含む。しまり弱い、粘性弱い。 |
| 22 | 10YR5/6 | 明黄褐色砂質土 | 23 層土より砂質が細かい。しまりやや強い、粘性弱い。 |
| 23 | 10YR5/6 | 明黄褐色砂質土 | 炭化物を微量含む。しまりやや強い、粘性やや強い。 |
| 24 | 10YR5/6 | 黄褐色シルト | 黒褐色シルトをしみ状に 5% 含む。鉄分を微量含む。しまりやや強い、粘性やや強い。 |
| 25 | 10YR2/3 | 淡黄褐色砂質土 | 黄褐色砂質土をしみ状に 10% 含む。しまりやや強い、粘性強い。 |
| 26 | 10YR2/4 | 暗褐色シルト | 炭化物を少量含む。φ10mm 次の小礫を微量含む。しまり強い、粘性やや強い。 |
| 27 | 10YR5/8 | 黄褐色シルト | 炭化物を微量含む。しまりやや強い、粘性やや弱い。 |

0 1:100 5m

第 51 図 II 区 調査区西壁・北壁及び中央トレンチ土層断面図 (縮尺 1:100)

遺構觀察表

第2表 堅穴住居跡一覧

遺構番号	地区	平面形	長軸	短軸	深さ	面積	土色	挿図	図版
			m	m	m	m ²			
SI102	E2	隅丸方形	2.67	2.33	0.44	6.51	C	16	1・2
SI134	E2	隅丸方形	2.88	2.56	0.40	6.85	C	17	1・2
SI292	H4, H5	隅丸方形	2.72	2.44	0.35	6.83	C	18・26	2・3
SI293	H4, I4	隅丸方形	4.40	3.87	0.32	16.29	C	19	3・4
SI359	J4	隅丸方形	3.36	3.05	0.14	9.85	C	20	4・6
SI360	J5	隅丸方形	2.86	2.84	0.24	8.13	C	21	5・6
SI384	I4, I5	隅丸方形 (5.72)	4.61	4.61	0.22	25.13	A	22	6・7
SI385	I3	隅丸長方形	4.12	2.48	0.12	9.54	B	23	7
SI429	J4, J5	隅丸方形	2.53	2.32	0.10	6.05	C	23	8
SI452	I4	隅丸方形	4.72	4.17	0.24	19.71	C	24	8
SI491	L6, L7	隅丸不整形	4.21	4.05	0.29	16.20	C	25	8・9
SI560	H4	隅丸方形	3.91	3.69	0.25	13.39	C	26	3・9

() 内の数値は現存値を表す。
土色Aは黒色、Bは茶色、Cは地山色を表す。

第3表 掘立柱建物跡一覧

遺構番号	地区	平面形	規模	面積	挿図	図版
			m	m ²		
SB556	I3, I4	2×1	4.0×4.0	16.1	27	11
SB557	H3	3×1	7.2×3.3	23.4	27	11
SB558	K5, K6, L5, L6	4×4	10.2×9.0	92.3	28	12・13
SB559	L6	2×1	3.9×4.0	15.3	29	12・13

規模・面積はピット中心を通るように計測した。

第4表 土坑跡一覧

遺構番号	地区	平面形	長軸	短軸	深さ	土色	備考	挿図	図版
			m	m	m				
SK11	E2	不整形	1.38	1.12	0.11	A		31	
SK12	E2	不整形門形	0.97	0.55	0.10	A			
SK17	E2	—	1.09	(0.81)	0.07	A			
SK20	E1, E2	円形	1.21	1.13	0.11	A		31	
SK28	D2, E2	不整形	3.55	1.34	0.36	B		32	16
SK32	F2, F3	方形?	5.40	(1.07)	0.16	B		32	
SK33	E1, F1	長方形	(4.57)	(0.92)	0.30	A		34	15
SK41	G2	不整形	1.97	1.71	0.18	B			
SK45	F1	不整形	2.92	(1.27)	0.12	A			
SK50	H2	不整形	1.44	0.66	0.42	B		31	16
SK69	G1, G2	隅丸方形	0.87	0.69	0.43	A		31	15
SK72	G1	隅丸方形	0.96	0.81	0.10	C		31	
SK74	G1	—	0.75	(0.69)	0.14	B			
SK84	H2	不整形円形	1.36	0.82	0.26	C		31	
SK85	H1	隅丸方形	1.83	1.79	0.15	C			
SK86	H2	楕円形	1.65	0.76	0.23	C		31	16
SK97	H2	隅丸方形	3.01	1.38	0.44	B		33	
SK106	E1, F1	隅丸方形	1.08	0.90	0.62	A		34	15
SK117	H2	不整形	2.65	2.63	0.24	C		32	
SK120	C3	不整形門形	2.04	0.85	0.06	B			
SK132	E1	不整形	2.64	(0.71)	0.15	A		33	16
SK143	D5	不整形円形	0.84	0.80	0.30	A		34	
SK193	G4	隅丸方形	2.18	1.34	0.48	B	中世墓	35	17
SK208	G5, H5	不整形円形	1.11	0.65	0.48	B		34	15
SK209	G5, H5	楕円形	1.27	0.77	0.59	B		34	15
SK210	H5	不整形	1.09	0.84	0.40	B			
SK211	G5	円形	1.39	1.01	0.26	B			
SK263	C5	—	(3.01)	(0.51)	0.15	C			
SK307	H3	不整形	1.27	0.81	0.40	B			
SK340	I3	隅丸長方形	2.21	0.98	0.40	A			

遺構番号	地区	平面形	長軸	短軸	深さ	土色	備考	押図	図版
			m	m					
SK361	J5	隅丸方形	2.64	2.11	0.13	C		33	16
SK430	H3	隅丸方形	2.04	1.85	0.20	C		33	16
SK437	K5	不整形	1.06	0.67	0.13	C		34	
SK446	H4	円形	1.07	0.88	0.55	B			
SK460	K5	隅丸方形	2.98	2.86	0.62	C			
SK461	K5	-	1.58	0.92	0.14	C			
SK462	K6, L6	不整形円形	1.52	0.54	0.16	C		34	
SK472	L6	隅丸方形	1.87	1.75	0.10	C			

() 内の数値は現存値を表す。
土色Aは黒色、Bは茶色、Cは地山色を表す。

第5表 溝跡一覧

遺構番号	地区	平面形	長軸	短軸	深さ	土色	押図	図版
			m	m				
SD3	C1, C2	直線	(3.65)	0.80	0.06	A		
SD5	C1, C2, D2, D3, E3	L字	19.04	0.90	0.11	A	42	20
SD6	D2, E1, E2	L字	(14.65)	0.80	0.16	A		18
SD14	B2, B3, C2, C3, C4, D3, D4, E3, E4, E5, E6, F3, F4, F5, F6, G6, H6, I6, I7, J7, K7	蛇行	(140.95)	2.98	0.25~0.45	A	40	20
SD16	E2, F2	L字	(12.80)	1.13	0.15~0.53	A	42	18
SD22	F2	直線	0.59	0.16	0.08	B		
SD23	F2	直線	0.81	0.18	0.04	B		
SD66	G2	直線	1.37	0.33	0.15	B	36	
SD67	G1	直線	1.82	0.35	0.07	B	36	
SD73	G1	直線	2.40	0.39	0.09	C		
SD87	G1	直線	3.34	0.39	0.14	C	36	
SD89	F3	直線	3.95	0.57	0.08	B		
SD94	H1	蛇行	(1.56)	0.34	0.08	B		
SD109	D2, D3, E3, F3, F4, F5, G4, G5	緩弧状	38.53	2.72	0.30~0.51	C	41	20
SD125	H2	直線	(0.98)	0.30	0.32	C	36	
SD126	H2	直線	2.58	0.39	0.29	C	36	
SD127	G2, H2	直線	4.07	0.38	0.23	C	36	
SD140	D4	直線	3.51	0.49	0.11	C	37	
SD141	D4, D5	直線	2.73	0.45	0.12	C	37	
SD148	E4, E5	弧状	7.75	0.40	0.06	A	42	
SD150	D5	不整形	3.93	0.61	0.20	B	37	
SD151	D5	不整形	4.79	1.59	0.16	B	37	
SD152	D5, E5	直線	2.83	0.50	0.17	B	37	
SD153	E5	直線	4.36	0.27	0.10	B	37	
SD159	D4, E4	直線	4.55	0.96	0.16~0.21	B	36	
SD163	C4	直線	1.77	0.24	0.15	C	37	
SD164	C4	直線	1.45	0.27	0.11	C	37	
SD165	C4	幅広直線	(3.72)	0.97	0.14~0.28	C	37	
SD166	C4, C5	幅広直線	5.41	1.35	0.13~0.21	C	37	
SD167	C4, C5	幅広直線	5.72	1.00	0.22	C	37	
SD168	C4, C5	直線	(2.62)	0.24	0.08	C	37	
SD169	C4, C5	直線	4.35	0.43	0.12	C	37	
SD170	C4, C5	直線	(3.36)	0.58	0.20	C	37	
SD171	C4, C5	直線	2.81	0.25	0.25	C	37	
SD172	C4, D4	直線	1.60	0.27	0.06	C	37	
SD173	D4	直線	1.72	0.25	0.07	C	37	
SD174	D4	幅広直線	2.42	0.66	0.22	C	37	
SD175	D4	直線	3.59	0.45	0.16	C	37	
SD176	D4	直線	4.39	0.36	0.13	C	37	
SD177	D4	直線	3.00	0.48	0.14	C	37	

選購番号	地 区	平面形	長軸	短軸	深さ	上色	押 固	固 版
			m	m	m			
SD178	D4, D5	直線	3.66	0.39	0.19	C	37	
SD179	D4, D5	直線	(0.91)	0.25	0.07	C	37	
SD181	B4	直線	1.60	0.46	0.16	C	37	
SD182	B4, C4	二又	1.51	0.33	0.25	B	37	
SD205	G5, H5, I16	L字	13.90	0.41	0.28	A	43	
SD206	G4, G5	直線	(4.66)	0.40	0.13	C	42	20
SD207	G4, G5	直線	(9.43)	0.34	0.07	A	42	20
SD219	E6, E7, E8, F7	L字	16.25	0.86	0.13	A	43	
SD221	G7, G8	L字	5.95	0.74	0.09	A	43	20
SD223	G1	直線	2.35	0.46	0.12	C		
SD225	E6, E7, F7, F8	不整形	(16.50)	4.00	0.90	A	41	20
SD249	D5	直線	1.61	0.29	0.10	C	37	
SD250	D5	直線	(4.80)	0.33	0.04	C	37	
SD251	D5	直線	2.76	0.43	0.04	C	37	
SD252	D4, D5	直線	1.81	0.33	0.14	C	37	
SD253	D4, D5	直線	3.88	0.24	0.14	C	37	
SD259	D6	直線	1.49	0.31	0.09	C		
SD270	H3, H4	直線	8.22	0.79	0.06	A	39	
SD271	H5, I5	直線	6.65	0.33	0.16	C	39	
SD272	H5	直線	4.72	0.32	0.12	C	39	
SD277	H5, I5	直線	2.15	0.37	0.12	C	39	
SD278	H5	直線	2.56	0.31	0.18	C	39	
SD279	H4	緩弧状	(6.24)	0.48	0.12	C	39	
SD280	H4, I4	直線	(7.51)	0.34	0.16	C	39	
SD281	H4, I4	直線	7.44	0.41	0.14	C	39	
SD282	H5, I5	直線	6.50	0.32	0.09	C	39	
SD285	H4	直線	(3.10)	0.32	0.21	C	39	
SD286	H4	直線	(3.14)	0.34	0.11	C	39	
SD287	H4	直線	(4.19)	0.37	0.17	C	39	
SD288	H4, I4	直線	6.59	0.30	0.28	C	39	
SD289	H4, H5, I4	直線	(5.40)	0.32	0.19	C	39	
SD295	H6	直線	(2.87)	0.63	0.09	A		
SD299	H4	直線	(0.51)	0.21	0.11	C	39	
SD325	H4	直線	(3.04)	0.32	0.14	C	39	
SD326	H4	直線	(2.53)	0.30	0.10	C	39	
SD337	H3, H4	直線	2.02	0.36	0.08	C	39	
SD341	I4, I5, J4, J5	L字	(13.35)	0.89	0.20	A	43	
SD343	H3	直線	0.48	0.18	0.08	B		
SD346	H5, H6, I5, J5, J6, K6, K7	弧状	(43.74)	1.56	0.24	C	38	19
SD347	I16, I5, I6	直線	5.55	0.37	0.16	C	39	18
SD348	H6, I5, I6	直線	4.57	0.40	0.13	C	39	18
SD349	H6, I5, I6	直線	6.45	0.43	0.07	C	39	18
SD350	H6, I6	直線	1.72	0.27	0.05	C	39	
SD351	H6, I6	直線	4.98	0.36	0.08	C	39	18
SD352	I6	直線	1.34	0.28	0.04	C	39	
SD353	I6	直線	3.97	0.27	0.07	C	39	
SD354	H5, H6	直線	(4.71)	0.36	0.08	C	39	
SD355	H5, H6	二又	5.85	0.44	0.08	C	39	
SD356	I6	直線	2.34	0.37	0.11	C	39	
SD357	I6	直線	1.64	0.32	0.11	C	39	
SD358	I6	直線	1.66	0.30	0.09	C	39	
SD362	J5	直線	0.86	0.18	0.12	B		
SD363	J5	直線	1.60	0.30	0.11	B		
SD364	J5	直線	1.00	0.23	0.18	B		
SD365	J5	直線	1.10	0.22	0.10	B		
SD366	J5, J6	直線	1.20	0.25	0.10	B		
SD367	J5, J6	直線	1.72	0.33	0.10	B		
SD368	J5, J6	直線	1.09	0.31	0.12	B		
SD369	J5, J6	直線	1.11	0.17	0.10	B		
SD370	I5, I6	直線	(1.09)	0.31	0.04	C		

遺構番号	地区	平面形	長軸 m	短軸 m	深さ m	土色	樺目	図版
SD371	I5, I6	直線	(3.43)	0.43	0.05	C		
SD372	H3, H4	直線	6.25	0.27	0.06	C	29	
SD373	H4	直線	(0.70)	0.38	0.12	C	39	
SD374	H5, H6	直線	4.70	0.38	0.08	C	39	
SD378	H4	直線	(5.05)	0.27	0.12	C	39	
SD383	K6	直線	1.27	0.30	0.10	B		
SD432	K5	直線	0.86	0.14	0.06	C		
SD433	K5	直線	2.91	0.37	0.10	C		
SD435	K5	二又	5.25	0.67	0.28	C		
SD436	K4, K5	二又	3.34	0.36	0.11	C		
SD438	K5	二又	5.79	0.32	0.14	C		
SD445	K5	直線	6.57	0.34	0.13	C		
SD448	K5, L5	直線	3.58	0.52	0.16	C		
SD463	L6	直線	1.08	0.27	0.08	C		
SD464	L7	直線	(1.05)	0.41	0.14	C		
SD468	K6, L6, L7	直線	(1.71)	0.62	0.20	A		
SD470	K7	直線	(2.29)	0.40	0.07	C		
SD476	K7	直線	(1.68)	0.66	0.44	C		
SD482	K7	直線	1.83	0.43	0.22	C		
SD483	K6	直線	2.65	0.47	0.19	C		
SD484	K6, L6	不整形	(8.21)	1.25	0.18	C	38	
SD485	K6, L6	直線	(1.96)	0.83	0.16	C		
SD549	G3, H3, H4	直線	(1.54)	0.43	0.10	B		
SD553	I4	直線	1.72	0.22	0.08	C	39	
SD562	K5	直線	2.03	0.29	0.06	C	48	

() 内の数値は現存値を表す。
 全長は溝中心を通る距離とした。
 土色Aは黒色、Bは茶色、Cは地山色を表す。

第6表 ピット一覧

遺構番号	地区	平面形	長軸 m	短軸 m	深さ m	土色	樺目	図版
P1	C3	楕円形	0.82	0.48	0.23	B		
P2	C2	円形	0.58	0.55	0.26	A		23
P4	C2	不整形	0.60	0.34	0.20	A		
P7	D1	円形	0.74	0.58	0.20	A		
P8	E2	円形	0.41	0.36	0.08	A	45	
P9	E1	不整形	0.57	0.51	0.32	A	30	
P10	E1	不整形	0.39	(0.23)	0.32	B	30	
P13	E1	不整形	0.56	(0.23)	0.15	A		
P15	E2	隅丸方形	0.45	0.41	0.31	B	30	
P18	D1, D2	円形	0.37	0.36	0.24	B		
P19	D1	円形	0.40	0.37	0.22	B		
P21	F2	不整形	0.61	0.35	0.34	A	35	
P24	F2	円形	0.14	0.13	0.10	B		
P25	F2	不整形楕円形	0.58	0.41	0.19	B		
P26	F2	楕円形	0.28	0.16	0.17	B		
P27	F2	不整形	0.34	0.28	0.10	B		
P30	F2	円形	0.49	0.46	0.12	C		
P31	F3	円形	0.24	0.24	0.08	C		
P34	F2	不整形	0.41	0.29	0.46	C		
P35	F3, G3	円形	0.38	0.33	0.16	C		
P36	G2	不整形楕円形	1.05	0.56	0.14	B		
P37	G2	円形	0.49	0.46	0.12	B		
P38	G1	楕円形	0.50	0.27	0.16	C		
P39	G1	不整形	0.50	0.39	0.20	C		
P40	G1	不整形	0.82	0.68	0.33	C		
P42	G2	円形	0.44	0.42	0.30	C		
P43	G1	円形	0.42	0.39	0.34	B	45	
P44	G1, G2	円形	0.93	0.82	0.30	C		

道構番号	地区	平面形	長軸 m	短軸 m	深さ m	土色	碑 岡	図 版
P46	G2	円形	0.46	0.38	0.12	C		
P47	H1、G2	円形	0.52	0.49	0.36	B		
P48	H2	楕円形	0.62	(0.34)	0.09	B	45	
P49	G2、H2	不整形	0.98	0.86	0.14	B	45	
P51	H2	不整形円形	1.44	0.68	0.28	C	45	
P52	H2	円形	0.51	0.42	0.13	C		
P53	H2	楕円形	0.56	0.30	0.08	B		
P54	H2	円形	0.37	0.34	0.19	C		
P55	H1	円形	0.42	0.39	0.10	C		
P56	H1	円形	0.23	0.20	0.07	C		
P57	H2	円形	0.48	0.42	0.24	C		
P58	H1	円形	0.32	0.30	0.20	C		
P59	H1	楕円形	0.43	0.28	0.26	C		
P60	G2	円形	0.44	0.39	0.31	B		
P61	H2	円形	0.52	0.51	0.27	C	45	
P62	H2	楕円形	(0.58)	0.54	0.24	C	45	
P63	H2	円形	0.51	0.44	0.24	C	45	
P64	H2	円形	0.27	0.26	0.15	C		
P65	H2	不整形楕円形	1.10	0.56	0.16	C		
P68	G1	円形	0.39	(0.34)	0.20	A		
P70	H2	円形	0.74	0.72	0.40	C		
P71	G1	円形	0.84	0.68	0.22	C	45	
P75	H1	円形	0.35	0.29	0.12	B		
P76	H1	円形	0.39	0.31	0.22	B		
P77	G1	不整形円形	1.09	0.62	0.24	A	45	
P78	G1	円形	0.38	0.30	0.12	B		
P79	G1	不整形楕円形	0.94	0.61	0.12	B		
P80	G1	不整形円形	0.61	0.46	0.14	B		
P81	G1	不整形円形	0.33	0.31	0.16	B		
P83	G1	不整形楕円形	0.73	0.45	0.11	B	44	17
P88	C2	不整形楕円形	0.38	0.21	0.14	B		
P90	E2	楕円形	0.63	0.27	0.24	C		
P91	E2	円形	0.41	0.36	0.16	C		
P92	E2	楕円形	0.44	0.28	0.24	B		
P93	G1	長楕円形	1.22	0.37	0.08	B	36	
P98	H2	円形	0.41	0.37	0.32	C		
P99	H2	円形	0.36	0.25	0.22	C		
P100	H2	楕円形	0.59	0.40	0.13	C		
P101	H3	円形	0.50	0.40	0.19	C		
P103	E2	円形	0.33	0.31	0.31	C		
P104	E2	不整形楕円形	0.70	0.46	0.62	A		
P105	E2	不整形楕円形	0.93	0.65	0.17	B	30	
P107	E1	円形	0.46	0.43	0.30	B	30	
P108	E1	円形	0.44	0.43	0.28	B		
P110	E1	円形	0.31	0.29	0.21	B		
P111	E1	円形	0.35	0.34	0.16	B		
P112	E1	不整形楕円形	0.29	0.27	0.09	A		
P113	F1	円形	0.32	0.30	0.20	B		
P115	F1	円形	0.43	0.38	0.21	A		
P116	F1	円形	(0.34)	0.24	0.22	A		
P118	C3	隅丸三角形	0.67	0.59	0.15	A		
P119	C3	不整形方形	0.38	0.31	0.19	A		
P121	G1	不整形楕円形	0.88	0.34	0.45	B		
P122	E1	円形	0.51	(0.28)	0.26	B	44	
P123	E2	円形	0.37	0.35	0.20	A		
P124	H2	不整形円形	0.52	0.50	0.14	C		
P129	E2	楕円形	0.58	0.38	0.23	A	44	
P130	C3	不整形方形	0.69	0.47	0.31	A		
P111	E1	円形	0.35	0.34	0.16	B		
P112	E1	不整形楕円形	0.29	0.27	0.09	A		
P113	F1	円形	0.32	0.30	0.20	B		

遺構番号	地 区	平 面 形	長軸	短軸	深さ	土色	埴 瓦	図 版
			m	m	m			
P115	F1	円形	0.43	0.88	0.21	A		
P116	F1	円形	(0.34)	0.24	0.22	A		
P118	C3	隅丸三角形	0.67	0.59	0.15	A		
P119	C3	不整形	0.38	0.31	0.19	A		
P121	G1	不整楕円形	0.88	0.34	0.45	B		
P122	E1	円形	0.51	(0.28)	0.26	B		
P123	E2	円形	0.37	0.35	0.20	A		
P124	H2	不整円形	0.52	0.50	0.14	C	32	
P129	E2	楕円形	0.58	0.38	0.23	A		
P130	C3	不整形	0.69	0.47	0.31	A		
P131	E1	不整楕円形	0.97	0.64	0.50	B	44	
P135	E5	円形	0.30	0.25	0.14	B		
P136	E5	円形	0.31	0.28	0.15	C		
P137	D4	不整形	0.44	0.22	0.08	C		
P138	D4	不整形	0.43	0.30	0.08	B		
P139	D5	不整形	0.39	0.28	0.21	B		
P142	D4	不整楕円形	0.50	0.30	0.22	C		
P144	D5	円形	0.38	0.34	0.18	C		
P145	E4	隅丸方形	0.54	0.49	0.23	A		
P146	D6, E5	隅丸方形	0.72	0.51	0.25	B		
P147	D4	円形	0.33	(0.30)	0.18	B	44	
P149	D4	不整形	0.82	0.50	0.12	B		
P154	E5	円形	0.23	0.20	0.14	B		
P155	E5	円形	0.29	0.25	0.24	B		
P156	E5	不整円形	0.36	0.27	0.32	B		
P157	D4	円形	0.31	0.26	0.08	A		
P158	D4	不整楕円形	0.81	0.34	0.20	A		
P160	D6	楕円形	0.96	0.61	0.42	C		
P161	B4	楕円形	0.47	0.32	0.12	A	44	
P162	B4, C4	楕円形	0.34	0.22	0.18	A		
P183	H4	円形	0.43	0.37	0.08	C		
P184	H4	不整形	0.75	0.54	0.08	B		
P185	H4	不整形	0.92	0.52	0.14	B		
P186	G4	楕円形	1.05	0.38	0.22	A	46	
P187	G4, H4	不整円形	0.82	(0.68)	0.13	C	44	
P188	G4, H4	隅丸方形	0.70	0.57	0.14	A	44	
P189	G4	円形	0.39	0.34	0.22	B		
P190	G4	円形	0.29	0.25	0.26	B		
P191	G4	楕円形	0.35	0.25	0.26	A		
P192	G4	円形	0.31	0.23	0.12	A		
P194	F4, G4	楕円形	0.39	0.24	0.16	A		
P195	F4, G4	楕円形	0.40	0.17	0.22	A		
P196	G4	円形	0.24	0.15	0.08	A		
P197	G4	楕円形	0.46	0.27	0.38	B		
P198	G4	円形	0.50	0.37	0.20	A		
P199	G4	円形	0.38	0.36	0.49	C		
P200	G4	楕円形	0.40	0.22	0.13	A		
P201	G4	楕円形	0.34	0.21	0.21	A		
P202	G4	円形	0.43	0.32	0.36	A		
P203	G4	円形	0.49	(0.42)	0.40	A		
P204	G4	円形	0.54	0.46	0.49	A		
P212	G4	楕円形	0.36	0.20	0.29	A		
P213	G4	楕円形	0.32	0.21	0.20	A		
P214	G4	楕円形	0.36	0.17	0.10	A		
P215	G4	不整楕円形	1.12	0.52	0.14	C		
P217	B3	円形	0.31	0.29	0.09	B		
P218	E7	不整円形	0.55	0.43	0.15	A		
P222	F8	長楕円形	1.68	0.36	0.13	A		
P228	E2	円形	0.40	0.32	0.37	B		
P229	E2	円形	0.17	0.17	0.17	C	16	
P230	E2	円形	0.17	0.16	0.15	C	16	

通稱番号	地 区	平 面 形	長軸	短軸	深さ	土色	挿 園	図 版
			m	m	m			
P231	E2	円形	0.27	0.27	0.22	C	16	
P232	E2	円形	0.30	0.22	0.27	C	16	
P233	E2, F2	不整楕円形	0.50	0.33	0.17	C		
P234	E2, F2	円形	0.18	0.17	0.15	B		
P235	E2	円形	0.43	0.33	0.21	B		
P236	E2	不整円形	0.74	0.66	0.20	C		
P237	E1	不整形	1.50	0.80	0.47	B	30	
P238	H2	円形	0.27	0.23	0.16	C		
P239	H2	円形	0.52	0.46	0.36	C	44	
P240	H2	円形	0.95	0.80	0.40	C	44	
P242	E2	円形	0.38	0.37	0.22	B		
P243	E2	不整楕円形	0.88	0.40	0.04	B		
P244	F2	円形	0.24	0.22	0.09	A		
P245	E2	円形	0.35	0.27	0.37	A	30	
P246	C5	円形	0.35	0.32	0.20	C		
P247	C5	不整円形	0.55	0.39	0.28	C		
P248	D6, D7	不整楕円形	0.77	0.30	0.17	C		
P254	E7	楕円形	0.35	0.20	0.35	A		
P255	E7	円形	0.34	0.33	0.24	A		
P256	E8	円形	0.31	0.21	0.34	A		
P257	D6	楕円形	0.92	0.73	0.18	C		
P258	D6	円形	0.64	0.52	0.40	C		
P260	E5	不整形	0.48	0.26	0.16	C		
P261	F3	不整円形	0.86	0.85	0.17	A	46	
P262	F2	円形	0.46	0.40	0.35	C		
P264	D7, E7	不整楕円形	1.09	0.59	0.32	B		
P265	H5	楕円形	0.37	0.21	0.11	A		
P266	H3	楕円形	0.36	0.25	0.32	A		
P267	H3	不整楕円形	0.58	0.30	0.24	A		
P268	H3	円形	0.34	0.32	0.16	A		
P269	H3	円形	0.24	0.21	0.16	A		
P273	H4	不整楕円形	0.83	0.36	0.22	A		
P274	H4	楕円形	0.33	0.20	0.29	B		
P275	H3	不整楕円形	1.02	0.36	0.21	A		
P276	H3	楕円形	0.44	0.26	0.38	A		
P283	H5	楕円形	(0.29)	0.24	0.09	C		
P284	H5	楕円形	(0.57)	0.36	0.16	C		
P290	I4	円形	0.34	0.32	0.18	B		
P291	I4	円形	0.81	0.64	0.42	C	46	
P294	H4	楕円形	0.31	0.20	0.14	B		
P296	H5	不整楕円形	0.48	0.28	0.18	B		
P297	H4	不整円形	0.86	0.48	0.34	C	46	
P298	H4	隅丸方形	0.96	0.53	0.33	B	39	
P300	H3	円形	0.50	0.45	0.06	A		
P301	H3	円形	0.42	0.33	0.18	A		
P302	H3	楕円形	0.56	0.40	0.35	A		
P303	H3	不整楕円形	1.06	0.47	0.26	C	46	
P305	H2, H3	不整円形	0.42	0.37	0.34	C		
P306	H3	円形	0.51	0.44	0.23	C		
P308	H4	円形	0.52	0.40	0.12	B		
P311	H3, H4	不整円形	1.04	0.61	0.56	C	29	
P312	H3	円形	0.73	0.47	0.52	C		
P313	H3	不整形	1.65	0.79	0.47	C	29	
P314	H3	不整円形	0.77	0.68	0.46	C	27・29	
P315	H3	円形	0.41	0.35	0.28	C		
P317	H2	円形	0.59	0.52	0.24	C	46	
P318	H2	円形	0.76	0.71	0.18	C		
P319	H2	円形	0.39	(0.35)	0.20	C	46	
P320	H3	楕円形	0.98	0.62	0.42	C	46	
P322	H2, H3	円形	0.47	0.47	0.40	A	46	
P324	H3	不整円形	0.53	0.47	0.39	C	47	

遺構番号	地区	平面形	長軸	短軸	深さ	土色	埴器	図版
			m	m	m			
P327	H4	円形	0.43	0.34	0.12	C		
P328	H2	円形	0.67	0.51	0.28	C		
P329	H3	隅丸方形	0.68	0.48	0.30	C		
P330	H3	不整楕円形	0.78	0.55	0.40	C	47	
P331	H3	円形	0.34	0.32	0.36	C		
P332	H2	不整円形	0.63	0.57	0.10	C		
P333	H2	楕円形	0.47	0.35	0.11	C		
P334	H3	円形	0.47	0.33	0.12	C		
P335	H3	円形	0.34	0.25	0.16	C		
P336	H3	円形	(0.31)	0.30	0.16	C		
P338	H3	円形	0.56	0.54	0.26	C		
P339	H3	不整円形	0.81	0.63	0.42	B		
P342	H3	円形	0.32	(0.09)	0.12	C	47	
P344	H3	楕円形	0.65	0.38	0.26	B		
P345	H3	楕円形	0.61	0.34	0.17	C		
P377	H3	楕円形	0.59	0.46	0.42	C	47	
P379	H3	楕円形	0.45	0.27	0.28	C	47	
P380	H3	楕円形	0.40	0.27	0.28	C		
P382	H3, I3	楕円形	0.56	0.43	0.19	C		
P386	H3, I3	円形	0.49	0.45	0.32	B		
P387	I3	円形	0.42	0.33	0.22	A	47	
P388	I3	円形	0.40	(0.33)	0.14	A	47	
P395	H3	不整円形	0.42	0.31	0.13	C		
P396	H3	円形	0.35	0.26	0.10	C		
P397	H3	隅丸方形	0.64	0.59	0.18	C		
P398	I3	楕円形	0.57	0.40	0.28	C		
P431	L5	不整楕円形	0.70	0.44	0.23	C		
P434	K5	楕円形	0.43	(0.27)	0.17	B		
P439	K5	楕円形	(0.32)	0.25	0.14	C		
P440	K5	楕円形	0.66	0.43	0.31	C		
P441	K5	楕円形	0.62	0.29	0.22	C		
P442	K5	不整円形	0.79	0.57	0.38	C		
P443	K5	楕円形	(0.40)	0.33	0.10	C		
P444	K5	楕円形	(0.75)	0.49	0.32	C		
P450	K6	円形	0.27	0.24	0.05	A		
P451	K6	楕円形	0.33	0.24	0.12	C		
P453	L5	楕円形	0.88	0.53	0.15	C		
P454	L5	円形	0.37	0.35	0.15	C		
P455	L5	楕円形	0.45	0.31	0.17	C		
P456	L5	円形	0.44	0.33	0.12	C		
P457	L5	円形	0.49	0.39	0.09	C		
P458	L5	不整円形	0.66	0.63	0.19	C		
P459	L5	楕円形	0.36	0.25	0.19	C		
P465	L7	円形	0.34	0.28	0.15	C		
P466	K7	不整楕円形	0.45	0.29	0.18	C	47	
P467	K7	不整形	0.75	0.30	0.10	C		
P475	L6	楕円形	0.27	0.16	0.08	B		
P477	I4	楕円形	(0.47)	0.41	0.18	B		
P478	I4	不整円形	0.38	0.36	0.60	B		
P479	I4	楕円形	0.37	0.25	0.10	B		
P480	I5	円形	(0.43)	0.33	0.06	B		
P481	I4	不整円形	0.64	0.48	0.14	C		
P486	H4	円形	0.26	0.20	0.09	C	26	
P487	H4	円形	0.38	0.29	0.16	C	26	
P488	H4	円形	0.27	0.22	0.19	C	26	
P489	H4	円形	0.76	0.75	0.14	C	26	
P490	H4	円形	0.28	0.21	0.17	C		
P492	H3	楕円形	0.44	0.32	0.47	C		
P493	H3	不整形	0.70	0.56	0.50	C		
P494	H3	不整形	1.02	0.41	0.23	C		
P495	H2	不整楕円形	1.00	0.59	0.24	B		

遺構番号	地 区	平 面 形	長 軸	短 軸	深 さ	土 色	埴 瓦	瓦 版
			m	m	m			
P496	H3	楕円形	(0.48)	0.37	0.25	C		
P497	H3	長楕円形	1.14	0.29	0.23	B		
P498	I4	楕円形	0.78	0.56	0.24	C		
P499	J4	円形	0.59	0.48	0.18	C		
P500	J4	円形	0.45	0.38	0.20	C		
P501	J4	円形	0.35	0.29	0.10	C		
P502	J4	円形	0.44	0.32	0.13	C		
P503	I5	円形	0.37	0.33	0.15	C		
P504	H3	円形	0.36	0.32	0.26	C		
P505	I3	楕円形	0.76	0.44	0.18	C	47	
P506	I5	楕円形	0.36	0.26	0.17	C	22	
P507	I4	円形	0.41	0.38	0.48	B	22	
P508	I4	不整形	0.46	0.20	0.17	C	22	
P509	I4	楕円形	0.45	0.31	0.36	B	22	
P510	I4	円形	0.38	0.27	0.26	A	22	
P511	I4	円形	0.21	(0.16)	0.12	B	22	
P512	F2	楕円形	0.35	0.19	0.13	A		
P513	E2	楕円形	0.95	0.52	0.36	B	30・48	
P514	E2	円形	0.64	0.54	0.37	B		
P515	E2	円形	0.31	0.22	0.08	A		
P516	E2	楕円形	0.32	0.22	0.16	A		
P517	I4, I5	円形	0.69	0.67	0.32	C	22	
P518	I3	不整形	1.22	0.57	0.32	A		
P519	H4	円形	0.28	0.25	0.28	B		
P520	H3	楕円形	0.44	(0.40)	0.51	C		
P521	J5	円形	0.25	0.21	0.23	C		
P522	K5	円形	0.53	0.51	0.18	C		
P523	H2	楕円形	0.58	0.45	0.16	C		
P524	H2	楕円形	0.36	0.23	0.20	C		
P525	H2	不整形楕円形	0.96	0.63	0.22	C		
P526	H2	円形	0.56	0.45	0.18	C		
P527	H2	円形	0.31	(0.31)	0.18	B		
P528	H2	円形	0.41	0.33	0.15	C		
P530	H3, I3	円形	0.78	0.63	0.16	C	48	
P531	I3	楕円形	0.42	0.30	0.17	C		
P532	H3, I3	不整形	1.10	0.52	0.08	C		
P533	I3	円形	0.44	0.41	0.11	C		
P534	H3	楕円形	0.50	0.34	0.32	C		
P535	H3	円形	0.61	0.50	0.22	C		
P536	H3	円形	0.41	(0.37)	0.32	C		
P537	H3	円形	(0.42)	0.37	0.14	C		
P538	H3	不整形楕円形	1.02	0.50	0.30	C	27・29	
P539	H3	円形	0.39	0.34	0.23	C		
P540	H3	不整形楕円形	0.84	0.24	0.43	C		
P541	H3	円形	0.60	0.53	0.37	C		
P542	H3	不整形	1.22	0.58	0.37	C		
P543	G3	円形	0.36	0.31	0.20	C		
P544	G3, H3	楕円形	0.30	0.19	0.21	C		
P545	H3	円形	0.42	0.39	0.28	C	48	
P546	G4	不整形円形	0.69	0.53	0.24	C		
P547	G3, I4	不整形円形	0.39	0.34	0.15	C		
P548	I3	円形	0.31	0.29	0.23	C		
P550	H2	円形	0.77	(0.70)	0.29	C		
P551	I4	不整形円形	1.42	1.10	0.10	C		
P552	I4	円形	0.42	0.38	0.16	C		
P554	I4	円形	0.45	0.35	0.25	C		
P555	I4	楕円形	0.76	0.47	0.10	C	19	
P561	K5	円形	0.51	(0.50)	0.41	C	48	
P563	H5	不整形円形	0.51	0.37	0.26	B		
P564	H5	円形	0.23	0.16	0.10	B		
P565	L5	不整形円形	0.86	0.62	0.23	B		

遺構番号	地区	平面形	長軸	短軸	深さ	土色	挿図	図版
			m	m	m			
P566	I5	円形	0.58	(0.36)	0.04	C	22	7
P567	I5	円形	0.35	0.34	0.03	C	22	7
P568	I5	不整形	0.85	0.52	0.10	A	22	
P569	I5	円形	0.43	0.39	0.13	C		

() 内の数値は現存値を表す。
土色Aは黒色、Bは茶色、Cは地山色を表す。

第7表 掘立柱建物跡柱穴一覧

遺構番号	地区	平面形	長軸	短軸	深さ	土色	備考	挿図	図版
			m	m	m				
P389	I3	円形	0.26	0.23	0.26	A	SB556	27	
P390	I3	円形	0.18	0.15	0.13	A			
P391	I3	円形	0.26	0.21	(0.21)	A			
P392	I4	円形	0.23	0.20	0.33	A			
P393	I4	円形	0.24	0.22	0.20	A			
P394	I4	円形	0.22	0.21	0.16	A			
P304	H3	円形	0.67	0.54	0.43	C	SB557	27	
P309	H3	円形	0.45	0.40	0.26	C			
P310	H3	不整形	1.44	0.57	0.41	C			
P316	H3	円形	0.58	0.55	0.62	C			
P321	H3	円形	0.64	0.51	0.31	C			
P323	H3	不整形	0.98	0.89	0.54	C			
P381	H3	隅丸長方形	0.80	0.41	0.36	C			
P529	H3	円形	0.35	0.32	0.20	C			
P399	L5	円形	0.23	0.23	0.06	A			
P400	K5, L5	円形	0.33	0.30	0.12	A			
P401	K5	円形	0.35	0.33	0.09	A			
P402	K5	円形	0.24	0.21	0.03	A			
P403	L5	円形	0.53	0.35	0.15	A			
P404	L5	円形	0.43	0.36	0.15	A			
P405	K6	円形	0.39	0.32	0.13	A			
P406	L5	円形	0.70	0.43	0.18	A			
P407	L6	円形	0.54	0.45	0.12	A			
P408	L6	円形	0.67	0.38	0.09	A			
P409	K6	円形	0.30	0.22	0.08	A			
P410	L6	円形	0.32	0.30	0.12	A			
P411	L6	円形	0.41	0.37	0.19	A			
P412	L6	円形	0.34	0.25	0.07	A			
P413	K6	円形	0.31	0.28	0.06	A			
P414	L6	円形	0.29	0.27	0.09	A			
P415	L6	円形	0.32	0.30	0.08	A			
P416	L6	円形	0.24	0.21	0.03	A			
P417	L6	円形	0.19	0.18	0.07	A			
P418	L5	円形	0.67	0.65	0.14	A			
P420	L6	円形	0.31	0.26	0.14	A			
P422	L6	円形	0.38	0.29	0.11	A			
P423	L6	円形	0.24	0.21	0.20	A	SB559	29	
P424	L6	円形	0.19	0.17	0.34	A			
P425	L6	円形	0.22	0.21	0.28	A			
P426	L6	円形	0.31	0.24	0.12	A			
P427	L6	円形	0.24	0.21	0.23	A			
P428	L6	円形	0.18	0.17	0.20	A			

() 内の数値は現存値を表す。
土色Aは黒色、Bは茶色、Cは地山色を表す。

第5章 遺物

遺物は、平成20年度のⅠ区、平成21年度のⅡ区を通して、奈良～平安時代の須恵器・土師器が大部分を占め、そのほかは若干、縄文土器と中世以降の遺物が散見される程度であった。土器以外の遺物としては、奈良～平安時代の石帯や砥石、籬の羽口、鉄製品、銅製品等が確認された。

土器の縮尺は1/3を基本とし、大型のものについては縮尺1/4とした。その他の遺物については、縮尺1/2ないし縮尺1/3とした。図中の遺物番号は、本文や表、写真図版において共通する。出土遺物の詳細は、第9表を参照されたい。以下、概要を述べる。

第1節 Ⅰ区出土遺物

竪穴住居跡出土遺物

SI102 (第52図1-21)

1～7は須恵器で、1は蓋、2は杯の口縁部、3は杯B、4は壺の口頸部、5・6は壺の体部、7は甕の口縁部である。3は残存率50%である。5・6の外面上には突帯が巡り、6は突帯下部に耳が付く。1～7はいずれも外面・内面はナデ調整、3の底部は糸切り離しである。8～21は土師器で、8～12は杯A、13～15は杯Aの底部、16～19は杯の口縁部、20は甕、21は鍋である。9は完形品である。焼成は良好で、橙(7.5YR6/6)色を呈する。口縁部径12.8cm、器高4.1cm、底部径5.9cmを測る。11は残存率70%である。焼成は良好で、明黄褐(10YR7/6)色を呈する。口縁部復元径17.0cm、器高4.5cm、底部復元径6.0cmを測る。8～19は外面・内面ともにナデ調整、9～15の底部は糸切り離しである。8・9・12の外面・内面と19の外面には赤彩が施されている。15の外面には墨書がある。20は口縁端部が平らで、外面はヨコナデ・ハケ・ヘラ削り調整、内面はナデ調整である。21は口縁端部を内側に折り返す。外面・内面ともにナデ・ハケ調整である。

SI134 (第53図22-26)

22～26は須恵器で、22は蓋、23は杯A、24は杯の口縁部、25は壺の口縁部、26は甕の体部である。23は残存率70%である。焼成は不良で、灰白(10Y8/1)色を呈する。口縁部復元径11.2cm、器高3.4cm、底部復元径5.0cmを測る。22・23は外面・内面ともに調整は不明、23の底部は回転ヘラ切り離しである。24・25は外面・内面ともにナデ調整、25の口縁端部は平らである。26の外面はタタキ調整、内面はタタキ・カキ目調整、外面には自然軸がかかる。

SI292 (第53図27-35)

27～32は須恵器で、27は蓋、28～30は杯A、31・32は杯Bの底部である。27～29・31・32は外面・内面ともにナデ調整、28～30の底部は回転ヘラ切り離し、30の底部内面には円形の沈線が巡る。27の外面には墨書がある。29の焼成は不良で、灰(7.5Y6/1)色を呈する。残存率は30%で、口縁部復元径12.1cm、器高2.8cm、底部復元径6.4cmを測る。30の焼成は良好で、灰白(5Y7/1)色を呈する。残存率は40%で、口縁部復元径13.5cm、器高3.0cm、底部復元径7.6cmを測る。30の口縁端部には煤が付着し、灯明具として使用されたものと考えられる。32の底部内面は平滑で、硯に転用されたものと考えられる。33～35は土師器で、33は杯A、34は甕、35は鍋である。33は完形品である。焼成は不良で、にぶい黄橙(10YR7/3)色を呈する。口縁部径12.4cm、器高4.1cm、底部径5.0cmを測る。口縁端部には煤が付着し、灯明具として使用されたものと考えられる。33・34は外面・内面ともに調整は不明である。34は口縁端部が内傾する。35は口縁端部外面に凹線が一条巡り、外面はヨコナデ・ヨコハケ調整、内面はヨコナデ調整である。

SI293 (第53・54図36-53)

36～42は須恵器で、36・37は蓋、38・39は杯A、40・41は杯B、42は杯の口縁部である。

36は擬宝珠つまみが付く。外面は回転ヘラ削り調整、内面はナデ調整である。38の焼成は不良で、灰白(7.5Y7/2)色を呈する。残存率は80%で、口縁部径11.0cm、器高3.5cm、底部径7.0cmを測る。40の焼成は良好で、灰白(7.5Y7/2)色を呈する。残存率は70%で、口縁部復元径11.0cm、器高4.8cm、底部径6.4cmを測る。37・38・40～42は外面・内面ともにナデ調整、38・39の底部は回転ヘラ削り離しである。43～52は土師器で、43は杯Aの底部、44～51は甕、52は鍋である。43は外面・内面ともに調整は不明、底部は回転ヘラ削り離しである。44～51の口縁端部は平らである。44～48・50・51の外面・内面はナデ・ハケ調整、48・51の体部外面はヘラ削り調整である。49の外面はヨコナデ・ヨコハケ・タタキ調整、内面は当て具痕が残る。須恵器の甕類と同様の調整技法である。52は残存率90%である。焼成は良好で、にぶい黄橙(10YR6/3)色を呈する。口縁部復元径39.0cm、器高16.6cm、底部復元径15.0cmを測る。外面・内面ともにヨコナデ・ハケ調整、外面下半はヘラ削り調整である。53は製鉄具で、輪の羽口である。孔径2.1cmを測る。外面には亀裂が多く見られ、煤色に変色して鉄分が付着する。

SI359 (第55図54・55)

54は須恵器で、杯Bである。残存率は50%である。焼成は良好で、灰(N5/0)色を呈する。口縁部復元径10.0cm、器高4.5cm、底部復元径6.3cmを測る。外面・内面ともに回転ナデ調整である。55は製鉄具で、輪の羽口である。黒褐(10YR3/1)色を呈し、孔復元径2.1cmを測る。外面には鉄分が付着する。

SI360 (第55図56-58)

56は須恵器、57・58は土師器である。56は杯の口縁部で、外面・内面ともにナデ調整である。57・58は甕である。57は口縁端部が丸みを帯び、外面・内面ともにナデ調整である。58の口縁端部は平らで、外面・内面ともにヨコナデ・ハケ調整である。

SI384 (第55～57図59-111)

59～67は須恵器で、59～62は蓋、63は杯Bの底部、64は杯A、65・66は杯の口縁部、67は短頸壺である。59～62は外面・内面ともに調整は不明、63・65・66は外面・内面ともにナデ調整である。61の内面は平滑で、硯への転用が考えられる。64は残存率90%である。焼成は不良で、灰白(7.5Y7/1)色を呈する。口縁部径14.0cm、器高3.5cm、底部径8.0cmを測る。外面・内面ともにナデ調整、底部は回転ヘラ削り離しである。67は残存率10%である。焼成は良好で、灰(7.5Y4/1)色を呈する。口縁部復元径17.0cm、残存器高5.8cmを測る。口縁端部に凹みがある。外面・内面はナデ調整、外面は部分的に自然釉がかかる。68～111は土師器で、68～76・80は杯Aの底部、77～79・81は杯A、82～92は杯の口縁部、93～108は甕、109は鍋、110は小型甕、111は甕の体部である。69・74・76・78・80は外面・内面ともに調整は不明、70～73・75・77・79・81・84～88・90～92は外面・内面ともにナデ調整、83・89の内面は黒色ミガキ調整である。68・70～80の底部は糸切り離しである。70は内面に墨書がある。79は残存率60%である。焼成は良好で、明褐(7.5YR5/6)色を呈する。口縁部復元径12.6cm、器高3.9cm、底部復元径5.2cmを測る。68の外面と79・81・86・87の外面・内面は赤彩が施されている。甕は口縁端部の形態によって数種に分けられる。93～100・102・104は内顔、103・106は丸みを帯び、101・105は平らで、107・108は内側への折り返しである。93～108は外面・内面ともにヨコナデ・ハケ調整である。103の口縁端部内面には工具による圧痕が残る。109は口縁端部が外反する。110の外面・内面はともにナデ調整、111は外面・内面ともにナデ・ハケ調整である。

SI385 (第57図112-115)

112・113は須恵器で、112は蓋、113は杯の口縁部である。112は残存率20%で、外面・内面ともに回転ナデ調整である。113も外面・内面ともに回転ナデ調整である。114・115は土師器で、114は甕、115は杯Aの底部である。114は口縁端部が丸みを帯び、外面はヨコナデ・ハケ調整、内面はハケ調整の後にナデ調整が施されている。115の外面はナデ調整、内面は黒色ミガキ調

整、底部は糸切り離しである。外面に墨書がある。

S1429 (第57図116-118)

116～118は土師器で、116・117は甕の口縁部、118は甕の底部である。116は外面・内面ともにナデ調整である。117は外面・内面ともにヨコナデ・ハケ調整である。118の外面はヘラ削り調整、内面はナデ調整である。

S1452 (第57～59図119-141)

119～127は須恵器で、119～121は蓋、122～124は杯A、125は杯B、126は短頸壺又は長頸壺、127は甕である。119・121・123は完形品である。119の焼成は良好で、灰(7.5Y6/1)色を呈する。つまみ径2.5cm、器高3.2cm、口縁部径11.7cmを測る。121の焼成も良好で、灰(7.5Y6/1)色を呈する。つまみ径2.1cm、器高1.9cm、口縁部径12.6cmを測る。119～121は擬宝珠つまみが付き、外面は回転ナデ・ヘラ削り調整、内面は回転ナデ調整である。121は外面に自然釉がかかり、器形が全体的に大きく歪む。120は残存率90%である。焼成は良好で、灰白(7.5Y7/1)色を呈する。つまみ径2.1cm、器高3.3cm、口縁部復元径12.4cmを測る。123は焼成が良好で、灰(7.5Y5/1)色を呈する。口縁部径12.0cm、器高3.0cm、底部径7.4cmを測る。122～124は外面・内面ともにナデ調整、底部は回転ヘラ削り離しである。123の外面に墨書、122・123の底部に「+」又は「×」の墨書がある。125は外面・内面ともにナデ調整である。126は残存率60%である。焼成は良好で、灰(N4/0)色を呈する。残存器高5.9cm、底部復元径5.6cmを測る。外面・内面ともにナデ調整である。127の焼成は良好で、灰(7.5Y4/1)色を呈する。口縁部復元径18.2cm、残存器高43.8cmを測る。口縁部は平らで外反し、肩部に膨らみを持つ。外面はタタキ調整、内面は当て具痕が残る。口縁部の外面・内面に自然釉がかかる。128～140は土師器で、128は杯A、129～131は甕の底部、132～135は甕、136～140は鍋である。128は外面・内面ともにナデ調整、底部は糸切り離しである。外面・内面に赤彩が施されている。底部内面には煤が付着し、灯明具として使用されたものと考えられる。129の外面はナデ・ヘラ削り調整、内面はハケ調整である。130・131の外面はヘラ削り調整、内面は回転ナデ調整である。132～135は口縁端部が平らである。132・133は外面・内面ともにナデ調整、134・135の外面はヨコナデ・ハケ調整である。136・138～140は口縁端部が平らで、137は口縁部が外傾する。136の外面はナデ・ヨコハケ調整、内面はナデ調整である。137～139の外面はナデ・ヨコハケ・ヘラ削り調整、内面はナデ・ハケ調整である。140の外面はナデ・ヨコハケ調整、内面はハケ調整である。141は砥石である。表面上部と裏面上部に筋痕、裏面中央部に径1.5mmの刺突及び半円形状の沈線がある。重さは480.6gである。

S1491 (第60図142-146)

142～145は須恵器で、142・143は蓋、144は杯Bの底部、145は杯Aである。142・143は外面・内面ともに回転ナデ調整である。145は完形品である。焼成は良好で、灰(7.5Y5/1)色を呈する。口縁部径11.5cm、器高3.2cm、底部径6.8cmを測る。144・145は外面・内面ともにナデ調整、145の底部は回転ヘラ削り離しである。145の底部に「来」又は「桑」の墨書がある。146は土師器の甕である。口縁端部が平らで外反する。外面・内面ともにナデ調整である。

S1560 (第60図147-153)

147～152は土師器である。147～152は甕で、148は小型の甕である。147は口縁端部が内側へ折り返し、148～151は口縁端部が平らで内傾する。147は外面・内面ともにナデ調整である。148は残存率60%である。焼成は良好で、にぶい黄橙(10YR5/3)色を呈する。口縁部復元径13.9cm、器高13.0cm、底部復元径7.0cmを測る。外面は口縁部から体部上半がナデ調整、体部下半がヘラ削り調整、内面はナデ調整である。147・148の外面には剥落がある。149は外面・内面ともにヨコナデ・ハケ調整、150の外面はヨコナデ調整、内面はナデ調整である。151は外面・内面ともにナデ調整である。152は外面・内面ともに上半がヨコハケ調整、外面下半がタタキ調整、内面下半がナデ調整である。153は砥石である。平面は長方形、重さは81.7gである。

土坑跡出土遺物

SK11 (第60図154)

154は須恵器の壺の底部である。外面・内面・底部はナデ調整である。

SK20 (第61図155-157)

155～157は土師器である。155は杯Aの底部、156・157は杯の口縁部である。外面・内面ともにナデ調整、155の底部は糸切り離しである。

SK28 (第61図158-160)

158は須恵器の蓋、159は土師器の杯Aの底部、160は石製の巡方(腰帯具)である。158は外面・内面ともにナデ調整、159は外面・内面・底部の調整は不明である。160は表面・裏面・側面に一部欠損がある。長さ4.2cm、幅4.4cm、厚さ0.9cmを測る。石材は硬質の粘板岩で、色調は暗灰(N3/0)色である。表面・側面ともに丁寧に研磨されて、光沢がある。裏面の四隅には潜り穴が4カ所、石材加工の際の痕跡もある。重さは36.4gである。

SK32 (第61図161)

161は土師器の甕である。口縁端部を内側に折り返す。外面・内面ともにヨコナデ調整である。

SK33 (第61図162-171)

162・163は須恵器で、162は短頸壺、163は双耳壺である。162は口縁端部が凹み、若干外反する。外面・内面ともにナデ調整である。163は焼成が良好で、灰(N5/0)色を呈する。残存器高18.5cm、底部復元径10.4cmを測る。外面・内面ともにヨコナデ調整で、底部はナデ調整である。体部上半に耳が付く。164～171は土師器で、164・166・167は杯A、165は杯Aの底部、168～171は杯の口縁部である。166は残存率50%で、口縁部復元径13.6cm、器高4.5cm、底部復元径4.8cmを測る。164・166・168～171は外面・内面ともにナデ調整、165は外面はナデ調整で、内面は黒色ミガキ調整である。164・165の底部は糸切り離しである。164・166・168～170は外面・内面ともに赤彩が施されている。

SK50 (第61図172-173)

172は須恵器の蓋、173は土師器の杯Aである。172は外面・内面ともにナデ調整である。173は残存率90%である。焼成は良好で、明褐(7.5YR5/8)色を呈する。口縁部復元径11.9cm、器高4.2cm、底部復元径5.2cmを測る。外面・内面ともにナデ調整、底部は糸切り離しである。

SK69 (第62図174-176)

174は須恵器の杯の口縁部である。外面・内面ともにナデ調整、外面と内面に煤が付着し、灯明具として使用されたものと考えられる。175・176は土師器で、175は杯A、176は杯の口縁部である。175は残存率40%で、口縁部復元径12.6cm、器高4.0cm、底部復元径5.4cmを測る。175・176は外面・内面ともにナデ調整、175の底部は糸切り離しである。175の外面と176の外面・内面に赤彩が施されている。

SK84 (第62図177-178)

177・178は須恵器で、177は杯の口縁部、178は甕の口縁部である。外面・内面はナデ調整である。

SK86 (第62図179-180)

179・180は土師器で、179は杯Aの底部、180は杯Bの底部である。179の外面・内面と180の外面に赤彩が施されている。

SK97 (第62図181-198)

181～189は須恵器で、181・182は蓋、183は杯Aの底部、184～188は杯の口縁部、189は壺の口縁部である。181～189は外面・内面ともにナデ調整である。189は口縁端部が外反する。190～198は土師器で、190は杯A、191・192は杯Aの底部、193～195は杯の口縁部、196・197は甕、198は鍋である。190は残存率50%で、口縁部復元径11.3cm、器高4.4cm、底部復元

径4.6cmを測る。190～195は外面・内面ともにナデ調整、191・192の底部は糸切り離しである。191・193の外面と192・194の内面には赤彩が施されている。196は口縁端部が丸みを帯び、197は口縁端部が平らで、外面・内面ともにナデ調整である。198は口縁端部が丸みを帯び、外面・内面ともにナデ調整である。

SK106 (第63図199-203)

199・200は須恵器で、199は双耳壺、200は壺の底部である。199の焼成は良好で、灰(N5/0)色を呈する。残存器高15.4cm、底部復元径9.6cmを測る。外面は回転ナデ調整、内面・底部ともにナデ調整、体部中央付近に耳が付く。外面に工具痕、内面に焼き歪みがある。200は外面・内面ともにナデ調整、底部には大振りですっきりとした高台が付く。201～203は土師器で、201は杯A、202は杯の口縁部、203は甕である。201・202は外面・内面ともにナデ調整、201の底部は糸切り離しである。201は外面・内面ともに赤彩が施されている。202の外面には墨書がある。203は外面・内面ともにナデ調整、口縁端部が内側に折り返す。

SK117 (第63図204-213)

204～211は須恵器で、204・205は蓋、206は杯Bの底部、207は杯B、208～210は杯の口縁部、211は甕の体部である。204の外面は回転ナデ・ヘラ削り調整、内面はナデ調整、205～210は外面・内面ともにナデ調整である。211の外面はナデ・タタキ調整、内面はナデ調整で当て具痕が残る。212・213は土師器で、212は杯Aの底部、213は杯Bの底部である。212は外面・内面ともにナデ調整、底部はナデ・ハケ調整である。213は外面・内面ともに調整は不明である。

SK132 (第63図214-222)

214～216は須恵器の甕の体部である。214～216の外面はタタキ調整、内面には当て具痕が残る。217～222は土師器で、217は杯A、218・219は杯Aの底部、220～222は杯の口縁部である。217～222は外面・内面ともにナデ調整、217～219の底部は糸切り離しである。220は口縁端部が外反し、外面・内面ともに赤彩が施されている。

SK143 (第64図223-224)

223・224は土師器で、223は杯の口縁部、224は杯Aの底部である。外面・内面はナデ調整、224は底部の調整は不明である。

SK193 (第63図225-229)

225～228は中世土師器(かわらけ)の皿である。いずれも完形品である。225・227は浅黄橙(225:10YR8/4、227:10YR8/3)色、226・228は灰白(10YR8/2)色を呈する。225は口縁部径8.7cm、器高1.6cm、底部径4.3cm、227は口縁部径9.0cm、器高1.9cm、底部径3.9cm、226は口縁部径9.1cm、器高1.6cm、底部径4.5cm、228は口縁部径9.3cm、器高1.6cm、底部径5.4cmを測る。外面・内面ともにナデ調整である。229は須恵器で、灰白(7.5Y8/1)色の甕の体部である。外面はタタキ調整、内面には当て具痕が残る。

SK208 (第64図230-232)

230～232は土師器で、230・231は杯の口縁部、232は甕である。230・231は外面・内面ともにナデ調整である。230は内面に赤彩が施されている。232は外面の調整は不明、内面はヨコナデ・ハケ調整である。

SK237 (第64図238)

238は緑釉陶器で、皿の口縁部である。外面・内面ともにナデ調整で、表面は鮮やかな緑釉で彩られている。

SK261 (第64図233-236)

233・234は須恵器の蓋である。233・234の外面は回転ナデ・ヘラ削り調整、内面はナデ調整である。235・236は土師器で、235は杯Aの底部、236は甕である。235は外面の調整は不明、内面はナデ調整である。236は外面・内面ともにヨコナデ・ハケ調整である。

SK361 (第64図237)

237は須恵器の杯Bである。外面・内面ともにナデ調整である。底部内面が平滑で、硯に転用されたものと考えられる。

SK430 (第64図239-241)

239は須恵器で、壺の口縁部である。口縁端部が平らで外傾、外面はハケ調整、内面には自然釉がかかる。240・241は土師器の甕である。240は口縁端部が平らで若干内傾、241は口縁端部がS字状に外反する。240は外面・内面ともにナデ・ハケ調整、241は外面・内面ともにナデ調整である。

SK460 (第64図242-244)

242・243は須恵器で、242は蓋、243は杯Aの底部である。242の外面は回転ナデ・ヘラ削り調整、内面はナデ調整である。243は外面・底部の調整は不明、内面はナデ調整、外面に煤が付着する。244は土師器の鍋である。外面と内面はヨコナデ・ハケ調整、体部外面はヘラ削り調整である。

溝跡出土遺物

SD5 (第65図245・246)

245は須恵器で、壺の体部上半である。焼成は良好で、灰(7.5Y5/1)色を呈する。外面には断面三角形の突帯が巡る。246は土師器で、杯Aの底部である。外面・内面ともにナデ調整、底部は糸切り離しである。

SD6 (第65図247-249)

247は須恵器の蓋である。外面・内面ともに回転ナデ調整である。248・249は土師器の杯Aである。248は外面・内面ともにナデ調整、249の外面・内面の調整は不明である。248の底部は糸切り離し、外面・内面ともに赤彩が施されている。

SD14 (第65図250-267)

250～259は須恵器で、250～255は蓋、256は壺の口縁部、257は杯A、258・259は杯Bの底部である。250・251・253・255の外面は回転ナデ・ヘラ削り調整、内面は回転ナデ調整、252・254は外面・内面ともに回転ナデ調整である。254の内面は平滑で、硯に転用されたものと考えられる。256は外面・内面ともにナデ調整である。257～259も外面・内面ともにナデ調整である。257の底部は回転ヘラ切り離しで、外面・内面には煤が付着する。259は残存率50%で、残存器高2.1cm、底部復元径6.9cmを測る。高台に工具圧痕が残る。260～267は土師器で、260は杯の口縁部、261・262は杯Aの底部、263は甕の底部、264は甕、265～267は鍋である。260は外面・内面ともにナデ調整、261の外面・内面・底部の調整は不明である。262は外面・内面ともにナデ調整、底部は糸切り離し、外面・内面には赤彩が施されている。263の外面はヘラ削り調整、内面はナデ調整、底部はヘラ削り調整である。264は口縁端部が若干内傾し、外面・内面ともに調整は不明である。265～267は口縁部が外傾する。265は外面・内面ヨコナデ・ハケ調整、266・267の外面・内面はヨコナデ調整である。

SD16 (第65・66図268-275)

268～272は須恵器で、268は蓋、269は杯B、270は杯の口縁部、271は壺の口縁部、272は甕の頸部から体部である。268の外面・内面はナデ調整である。269の焼成は良好で、灰(N5/0)色を呈する。口縁部復元径11.2cm、器高4.3cm、底部復元径6.0cmを測る。269～271の外面・内面はナデ調整である。272は外面・内面ともに頸部はヨコナデ調整、体部はタタキ調整である。273・274は土師器で、273は杯A、274は杯Aの底部である。273は外面・内面ともにナデ調整、底部は糸切り離しである。外面・内面ともに赤彩が施されている。274は外面の調整は不明、内面は黒色ミガキ調整である。275は土錘である。完形品で、にぶい橙(7.5YR6/4)色を呈する。長さ5.8

cm、幅4.8cm、孔径1.8cmを測る。

SD66 (第66図276)

276は土師器で、杯の口縁部である。外面はナデ調整、内面は黒色ミガキ調整である。

SD67 (第66図277)

277は土師器で、杯の口縁部である。外面・内面ともにナデ調整である。

SD87 (第66図278)

278は須恵器で、杯Bの底部である。外面・内面ともにナデ調整である。

SD109 (第66～68図279-324)

279～310は須恵器で、279～285は蓋、286～293は杯A、294は杯Aの底部、295～299は杯B、300は杯Bの底部、301～303は杯の口縁部、304は長頸壺、305は甕、306・309・310は甕の体部、307は壺の底部、308は壺の体部である。281は残存率80%である。焼成は不良で、灰白(10Y7/1)色を呈する。つまみ径1.6cm、器高2.8cm、口縁部径11.6cmを測る。279～282・285は擬宝珠つまみが付く。279・282・284・285の外面は回転ナデ・ヘラ削り調整、内面は回転ナデ調整である。280・281・283は外面・内面ともに回転ナデ調整である。282～284の外面には墨書がある。291は残存率90%である。焼成は良好で、灰(10Y5/1)色を呈する。口縁部径12.5cm、器高3.1cm、底部径7.0cmを測る。292は残存率80%である。焼成は不良で、灰(7.5Y7/1)色を呈する。口縁部径11.6cm、器高3.1cm、底部径5.9cmを測る。286～294は外面・内面ともに回転ナデ調整、286・287・290～294の底部は回転ヘラ切り離しである。293の外面に「+」又は「×」の墨書、292の外面及び287・294の底部にも墨書がある。289・290の外面・内面には煤が付着し、灯明具として使用されたものと考えられる。295は残存率80%である。焼成は良好で、灰(10Y6/1)色を呈する。口縁部径10.8cm、器高4.2cm、底部径6.5cmを測る。295・300は外面・内面ともに回転ナデ調整、296～299は外面・内面ともに調整は不明である。299は口縁端部が若干外傾する。300の底部に墨書がある。301～303は外面・内面ともにナデ調整、303は口縁端部が若干外傾する。301・302の口縁端部には煤が付着し、灯明具として使用されたものと考えられる。304は外面・内面ともにナデ調整、305は外面・内面ともにナデ調整で外面には波状文が巡る。307・308は外面・内面ともにナデ調整、308の外面には平行沈線が巡る。306・310の外面はタタキ調整、内面には当て具痕が残る。309は外面・内面ともにタタキ調整である。311は灰軸陶器で、長頸壺の口縁部である。外面・内面ともに鮮やかな灰オリーブ(7.5Y5/3)色を呈する。口縁部復元径8.2cm、残存器高1.4cmを測る。口縁部が外反し、口縁端部の外面には凹みが巡る。312～324は土師器で、312は杯A、313は杯Aの底部、314・315は小型甕の底部、316は杯の口縁部、317～319は甕、320～324は鍋である。312・316の外面・内面はナデ調整、316の外面・内面には赤彩が施されている。313の外面はナデ調整、内面は黒色ミガキ調整、底部は糸切り離しである。314・315は外面ヘラ削り調整、内面はナデ調整である。317～319は外面・内面ともにナデ調整である。320は外面・内面ともにヨコハケ調整、321・322は外面・内面ともにナデ調整である。323・324の外面はナデ調整、内面はナデ・ハケ調整である。

SD127 (第68図325)

325は須恵器で、甕の体部である。外面はタタキ調整、内面は当て具痕が残る。

SD148 (第68図326)

326は土師器で、杯の口縁部である。外面・内面ともにナデ調整で、赤彩が施されている。

SD150 (第68図327)

327は須恵器で、杯の口縁部である。外面・内面ともにナデ調整である。

SD159 (第68図328-329)

328・329は須恵器で、328は蓋、329は甕の体部である。328は外面・内面ともにナデ調整、329は外面がタタキ調整、内面は当て具痕が残る。

SD166 (第68図330・331)

330は須恵器で、杯Aの底部である。外面・内面ともにナデ調整、底部は回転ヘラ切り離しである。331は土師器の甕の底部である。外面はナデ調整、内面は黒色(黒・5Y2/1)を呈するが調整は不明である。

SD167 (第69図332)

332は須恵器で、壺の口縁部である。外面・内面ともにナデ調整である。口縁部復元径は16.5cm、残存器高4.7cmを測る。

SD169 (第69図333)

333は土師器の杯Bの底部である。外面・内面ともに調整は不明である。

SD175 (第69図334)

334は土師器で、杯Aの底部である。外面・内面ともにナデ調整である。外面は灰(10Y4/1)色、内面はにぶい橙(7.5YR7/4)色を呈する。

SD176 (第69図335)

335は須恵器で、杯の口縁部である。外面・内面ともにナデ調整である。

SD182 (第69図336・337)

336は須恵器で、杯の口縁部である。外面・内面ともにナデ調整である。337は土師器で、杯Aの底部である。外面・内面の調整は不明である。

SD205 (第69図338-342)

338～341は須恵器で、338・339は杯の口縁部、340は杯Bの底部、341は甕である。338～340の外面・内面はともにナデ調整である。341は外面・内面ともにナデ調整、外面に波状文がある。342は土師器の甕である。外面・内面ともにナデ調整である。

SD224 (第69図343-345)

343・344は須恵器で、343は蓋、344は壺の底部である。343・344の外面・内面はナデ調整である。345は土師器で、杯Aの底部である。外面・内面ともに調整は不明、底部は糸切り離しである。

SD225 (第69～74図346-486)

346～457は須恵器で、346～381は蓋、382～394は杯A、395～399は皿、400～406は杯Aの底部、407～435は杯B、436～448は杯Bの底部、449～451は杯の口縁部、452・453は壺、454は甕、455～457は甕の体部である。352・354は完形品である。352は灰(N6/0)色で、つまみ径2.0cm、器高2.6cm、口縁部径11.6cmを測る。354も灰(10Y5/1)色で、つまみ径2.1cm、器高3.2cm、口縁部径11.5cmを測る。353・367は残存率90%である。353は灰(N5/0)色で、つまみ径1.8cm、器高2.5cm、口縁部径12.1cmを測る。367は灰(5Y6/1)色で、つまみ径1.5cm、器高3.9cm、口縁部径16.5cmを測る。348・355は残存率80%である。348は灰(N6/0)色で、つまみ径1.9cm、器高2.9cm、口縁部復元径10.7cmを測る。355は灰(7.5Y4/1)色で、つまみ径2.1cm、器高3.3cm、口縁部径11.7cmを測る。346～367・369・371～373・375～378・380・381の外面は回転ナデ・ヘラ削り調整、内面は回転ナデ調整である。370は外面・内面の調整は不明、374は外面・内面ともに回転ナデ調整、379の外面はナデ・ヘラ削り調整、内面は回転ナデ調整である。346～367・369～371は擬宝珠つまみが付く。351～353・361・365・366・369・370はつまみ上面が凹む。369のつまみ上面には沈線が一条ある。365・376の内面は平滑で、中央部付近に墨痕が残っていることから硯に転用されたものと考えられる。381の外面には墨書がある。368は有蓋短頸壺の蓋で、色調は黄灰(2.5Y4/1)色を呈する。つまみ径3.4cm、器高5.4cm、口縁部復元径12.1cmを測る。外面・内面ともにナデ調整、大きな宝珠つまみが付く。382～394・400～406は外面・内面ともに回転ナデ調整、底部が回転ヘラ切り離しである。391の外面と385・386・400～406の底部に墨書がある。395～397・399は外面・内面と

もに回転ナデ調整、底部が回転ヘラ切り離しである。399の底部には墨書がある。398は外面・内面ともに回転ナデ調整、底部は糸切り離しである。407～448は外面・内面ともに回転ナデ調整、418の外面には自然軸がかかる。420は残存率90%である。灰(N5/0)色で、口縁部径11.7cm、器高4.9cm、底部径7.8cmを測る。414・419・421は残存率80%である。414は灰(N4/0)色で、口縁部復元径11.0cm、器高4.0cm、底部復元径6.2cmを測る。419は灰(7.5Y6/1)色で、口縁部径11.3cm、器高3.8cm、底部径7.7cmを測る。421は灰(N5/0)色で、口縁部径11.6cm、器高4.4cm、底部径6.6cmを測る。443～448の底部高台内と447の外面には墨書がある。409・410・414・416・424・425・430・433・434・438には焼き歪みや高台の歪み・ひび割れ等が見られる。449～451は外面・内面ともに回転ナデ調整、449の外面には墨書がある。384・392・394・395・397・413・417・420・423・450の外面・内面には煤が付着し、灯明具として使用されたものと考えられる。453は外面・内面ともにナデ調整、外面には自然軸がかかる。454は口縁端部が平らで外反する。外面には波状文、内面はナデ調整である。455～457は外面はタタキ調整、内面には当て具痕が残る。458は灰釉陶器の短頸壺である。外面は灰オリーブ(5Y6/2)色の灰釉で彩られる。外面・内面ともにナデ調整、口縁部復元径11.8cm、残存器高8.7cmを測る。459は軟質の緑釉陶器で、皿である。焼成は不良で、浅黄橙(10YR8/3)色を呈する。口縁部復元径13.3cm、器高1.9cm、底部復元径5.5cmを測る。外面・内面・底部に透明感のある緑釉が施されている。460～483は土師器で、460～463は杯A、464～467は杯Aの底部、468～470は杯の口縁部、471～474は甕の底部、475・476は皿の底部、477は皿、478・479は甕、480～483は鍋である。461は残存率50%である。外面はにぶい黄橙(10YR6/4)色、内面は黒(7.5Y2/1)色を呈する。口縁部径11.7cm、器高3.7cm、底部径5.3cmを測る。外面はナデ・ミガキ調整、内面は黒色ミガキ調整である。460・462・463は外面・内面ともに調整は不明、462の底部は回転ヘラ切り離しである。464・465は外面ミガキ調整、内面は黒色ミガキ調整、465の底部は回転ヘラ切り離しである。466は外面・内面ともに調整は不明、467は外面・内面ともにナデ調整である。466・467の底部は回転ヘラ切り離しで墨書がある。468・470の外面はナデ調整、内面は黒色ミガキ調整である。471～474の外面はヘラ削り調整、内面はナデ調整である。475・476は外面・内面ともにナデ調整である。477は外面はナデ・ハケ調整、内面はナデ調整である。外面・内面ともに赤彩が施されている。478・479は口縁端部が内傾し、外面・内面ともにヨコナデ調整である。480は口縁端部が内傾する。480・482は外面はヨコナデ・ハケ調整、内面はナデ調整、481は外面はヨコナデ・ハケ調整、内面はナデ調整、483は外面はヨコナデ・ハケ調整、内面はナデ調整である。484は土錘である。完形品で、外面はにぶい黄橙(10YR6/4)色を呈する。孔径0.6cmを測る。485・486は製鉄具で、櫛の羽口である。485の内面は細かくひび割れている。486の外面はにぶい黄橙(10YR6/3)色で、細かくひび割れている。

SD226 (第74図487-498)

487～495は須恵器で、487～491は蓋、492は杯A、493は杯Aの底部、494は杯B、495は杯Bの底部である。487は灰(N5/0)色で、つまみ径1.9cm、器高2.4cm、口縁部復元径12.5cmを測る。487～491の外面は回転ナデ・ヘラ削り調整、内面はナデ調整である。487・488は擬宝珠つまみが付き、487はつまみの上面が凹む。488の内面は平滑で、硯に転用されたものと考えられる。492～495の外面・内面はナデ調整である。493は底部に墨書がある。495は灰白(7.5Y5/1)色で、残存器高2.0cm、底部復元径7.5cmを測る。496～498は土師器で、496・497は杯の口縁部、498は杯Aの底部である。496～498は外面・内面ともにナデ調整である。

SD253 (第74図499)

499は須恵器の杯Aである。焼成は良好で、灰(5Y6/1)色を呈する。口縁部復元径11.6cm、器高2.8cm、底部復元径6.2cmを測る。外面・内面ともにナデ調整で、底部はヘラ切り離しである。

SD279 (第74図500)

500は須恵器の蓋である。外面は回転ナデ・ヘラ削り調整、内面はナデ調整である。

SD281 (第74図501-503)

501～503は土師器で、501は杯Aの底部、502・503は甕である。501は外面・内面ともにナデ調整、底部は糸切り離しである。502は口縁端部が内傾して凹線が巡る。503は口縁端部が丸みを帯びる。503の外面は剥落のため調整は不明である。502の外面・内面と503の内面はともにヨコナデ調整である。

SD287 (第74図504)

504は土師器の甕である。外面・内面ともにヨコナデ調整である。

SD288 (第74図505)

505は土師器の甕である。外面の調整は不明、内面はヨコナデ調整である。

SD341 (第75図506-508)

506～508は須恵器で、506は蓋、507は杯B、508は杯の口縁部である。506の外面は回転ナデ・ヘラ削り調整、内面はナデ調整である。内面の中央部付近が平滑で、硯に転用されたものと考えられる。507・508の外面・内面はともにナデ調整である。

SD346 (第75図509-520)

509～516は須恵器で、509・510は蓋、511～513は杯A、514は杯の口縁部、515は杯Bの底部、516は壺の体部である。509は残存率70%である。焼成は良好で、灰(N5/0)色を呈する。つまみ径1.9cm、器高2.6cm、口縁部復元径11.5cmを測る。外面は回転ナデ・ヘラ削り調整、内面はナデ調整、擬宝珠つまみが付く。510の外面は回転ナデ調整、内面はナデ調整である。512は残存率90%である。焼成は不良で、灰白(7.5Y7/1)色を呈する。口縁部復元径12.1cm、器高3.6cm、底部復元径7.4cmを測る。511・512は外面・内面・底部の調整は不明である。513～515は外面・内面ともにナデ調整である。513の口縁部は外面・内面ともに煤が付着し、灯明具として使用されたものと考えられる。515の底部には歪みがある。516は外面・内面ともにナデ調整、外面には平行沈線が巡る。517～519は土師器で、517は鍋、518は杯A、519は杯Aの底部である。517は焼成が不良で、浅黄(2.5Y7/3)色を呈する。口縁部復元径20.0cm、器高8.0cm、底部復元径6.2cmを測る。外面はナデ調整、内面はナデ・ハケ調整である。518の外面・内面及び519の外面の調整は不明、519の内面は黒色ミガキ調整、518の底部の調整は不明である。518の口縁部には外面・内面ともに煤が付着し、灯明具として使用されたものと考えられる。520は製塩土器である。外面はナデ調整、内面の調整は不明である。内面に黄橙(7.5YR7/8)色の附着物がまだらに付いている。

SD348 (第75図521)

521は須恵器の蓋である。外面は回転ナデ・ヘラ削り調整、内面はナデ調整である。

SD349 (第75図522)

522は須恵器の蓋である。外面・内面ともに調整は不明である。

SD435 (第75図523-525)

523は須恵器の杯Aである。焼成は不良で、灰白(7.5Y7/1)色を呈する。外面は回転ナデ・ヘラ削り調整、内面は回転ナデ調整、底部は回転ヘラ切り離しである。524・525は土師器で、524は鍋の底部、525は杯Aの底部である。524は外面ヘラ削り調整、内面・底部ともに調整は不明である。525は外面・内面の調整は不明、底部は糸切り離しである。外面・内面には赤彩が施されている。

SD438 (第75図526)

526は土師器で、杯の口縁部である。外面・内面ともにナデ調整、赤彩が施されている。口縁端部に煤が付着し、灯明具として使用されたものと考えられる。

SD484 (第75図527)

527は須恵器の蓋で、完形品である。焼成は不良で、灰(5Y6/1)色を呈する。つまみ径2.1cm、器高3.2cm、口縁部径12.6cmを測る。外面・内面ともに調整は不明、擬宝珠つまみが付く。

ビット出土遺物

P8 (第75図528)

528は土師器で、杯の口縁部である。外面・内面ともにナデ調整、赤彩が施されている。

P9 (第76図529-533)

529～533は土師器で、529・530・532・533は杯の口縁部、531は杯Aである。531は残存率30%で、口縁部復元径13.0cm、器高4.7cm、底部復元径3.6cmを測る。いずれも外面・内面はナデ調整、531の底部は糸切り離しである。529～532は外面・内面ともに赤彩が施されている。

P43 (第76図534)

534は土師器で、杯Aの底部である。外面・内面ともにナデ調整、底部は糸切り離しである。

P49 (第76図535)

535は土師器で、杯Aの底部である。外面・内面ともにナデ調整、底部は糸切り離しである。

P51 (第76図536)

536は須恵器で、杯Aの底部である。外面・内面ともにナデ調整、底部は回転ヘラ切り離しである。

P61 (第76図537・538)

537は須恵器の壺である。口縁端部が直立する。外面・内面ともにナデ調整である。538は土師器の杯Aである。外面・内面はともにナデ調整である。

P63 (第76図539・540)

539・540は須恵器で、杯の口縁部である。外面・内面ともにナデ調整である。

P71 (第76図541)

541は須恵器の杯Bの底部である。外面・内面ともにナデ調整である。

P77 (第76図542)

542は土師器で、杯の口縁部である。外面・内面ともにナデ調整、赤彩が施されている。

P83 (第76図543-545)

543・544は土師器の杯Aで、543は底部、544は完形品である。545は土師器の杯の口縁部である。543・545は外面・内面ともにナデ調整、543の底部は糸切り離しである。544は焼成が良好で、浅黄褐(7.5YR8/4)色を呈する。口縁部径11.0cm、器高4.2cm、底部径5.0cmを測る。外面・内面の調整は不明である。

P122 (第76図546・547)

546は須恵器で、横瓶の体部である。閉塞の際に生じる粘土の貼り付け痕が明瞭で、外面はカキ目調整、内面はナデ調整、外面に自然釉がかかる。547は土師器で、杯の口縁部である。外面はナデ調整、内面はミガキ調整、外面・内面は赤彩が施されている。

P124 (第76図548)

548は須恵器の蓋である。外面は回転ナデ・ヘラ削り調整、内面は回転ナデ調整である。

P129 (第76図549)

549は須恵器で、杯Bの底部である。外面・内面ともにナデ調整である。

P131 (第76図550)

550は土師器で、杯の口縁部である。外面・内面ともにナデ調整である。

P147 (第76図551)

551は土師器で、杯Aの底部である。外面・内面ともにナデ調整、底部は糸切り離しである。

P161 (第76図552)

552は須恵器の甕である。口縁端部が外反する。外面はナデ・ハケ調整で波状文が巡る。内面はナデ調整である。

P186 (第77図553)

553は土師器の皿である。残存率40%である。焼成は良好で、灰(N5/0)色を呈する。口縁部復元径12.5cm、器高2.2cm、底部復元径7.0cmを測る。外面・内面ともにナデ調整、底部は糸切り離しである。体部に歪みがある。

P187 (第77図554)

554は須恵器の蓋である。外面は回転ナデ・ヘラ削り調整、内面は回転ナデ調整である。

P240 (第77図555)

555は須恵器で、杯の口縁部である。外面・内面ともにナデ調整である。

P283 (第77図556)

556は土師器の杯Aである。残存率30%である。焼成は良好で、にぶい黄橙(10YR7/4)色を呈する。口縁部復元径12.0cm、器高3.5cm、底部復元径8.0cmを測る。外面・内面ともにナデ調整、底部の調整は不明である。

P297 (第77図557・558)

557は須恵器の杯Aである。残存率50%である。焼成は良好で、灰(7.5YR6/1)色を呈する。口縁部復元径12.6cm、器高3.3cm、底部復元径7.0cmを測る。外面・内面はナデ調整、底部は回転ヘラ切り離しである。558は土師器の小型甕である。外面・内面はナデ調整である。

P314 (第77図559・560)

559・560は須恵器で、559は蓋、560は杯Aである。559は外面回転ナデ・ヘラ削り調整、内面の調整は不明である。560は残存率40%である。焼成は良好で、灰(10Y6/1)色を呈する。口縁部復元径11.8cm、器高3.5cm、底部復元径7.6cmを測る。外面・内面ともにナデ調整、底部は回転ヘラ切り離しである。底部に墨書がある。

P316 (第77図561・562)

561・562は須恵器で、杯の口縁部である。外面・内面ともにナデ調整である。

P320 (第77図563・564)

563は須恵器で、杯の口縁部である。外面・内面はナデ調整である。564は土師器の杯Aである。残存率50%である。焼成は良好で、橙(7.5YR7/6)色を呈する。口縁部復元径12.8cm、器高4.2cm、底部復元径4.8cmを測る。外面・内面はナデ調整、底部は糸切り離しである。外面・内面ともに赤彩が施されている。

P322 (第77図565)

565は須恵器で、杯の口縁部である。外面・内面ともにナデ調整である。

P324 (第77図566)

566は須恵器で、杯の口縁部である。外面・内面ともにナデ調整である。

P330 (第77図567・568)

567・568は須恵器で、567は蓋、568は杯Bの底部である。567は残存率40%である。残存器高2.5cm、口縁部復元径15.4cmを測る。外面は回転ナデ・ヘラ削り調整、内面はナデ調整である。内面は平滑で、硯に転用されたものと考えられる。568は外面・内面ともにナデ調整である。高台に豆粒状の圧痕が残る。

P339 (第77図569)

569は須恵器の蓋である。外面・内面ともに回転ナデ調整である。

P342 (第77図570)

570は土師器の甕である。口縁端部が若干内傾する。色調はにぶい黄橙(10YR7/4)色を呈する。

口縁部復元径20.0cm、残存器高7.1cmを測る。外面はヨコナデ・ハケ調整、内面はヨコハケ・ナナメハケ調整である。

P377 (第77図571)

571は土師器の甕である。口縁端部は丸みを帯び、外面・内面ともにナデ調整である。口縁端部の内面に煤が付着する。

P379 (第77図572)

572は須恵器で、杯Aの底部である。外面・内面ともにナデ調整、底部は糸切り離しである。

P381 (第78図573)

573は土師器の甕又は鍋である。口縁端部が外反する。外面・内面ともにナデ調整である。

P387 (第78図574)

574は須恵器で、杯の口縁部である。外面・内面ともにナデ調整である。

P418 (第78図575)

575は土師器で、杯Aの底部である。外面・内面ともにナデ調整、底部は糸切り離しである。

P466 (第78図576)

576は土師器の甕である。残存率40%である。焼成は良好で、明黄褐色(10YR7/6)色を呈する。口縁部復元径21.8cm、残存器高17.5cmを測る。口縁部の外面・内面はヨコナデ調整、体部下半の外面はヘラ削り調整、内面はナデ・ハケ調整である。

P505 (第78図577-579)

577・578は須恵器で、577は蓋、578は壺の口縁部である。577は外面・内面ともに回転ナデ調整、578は外面・内面ともにナデ調整である。579は土師器で、杯Aの底部である。外面・底部はともに調整は不明、内面はミガキ調整である。

P513 (第78図580)

580は須恵器で、壺の口縁部である。口縁端部が外反する。外面・内面ともにナデ調整である。

P530 (第78図581-583)

581・582は須恵器で、581は蓋、582は杯Aの底部である。581は外面・内面ともにナデ調整である。582は外面・内面ともに調整は不明、底部は回転ヘラ切り離しである。583は土師器の甕である。外面はヨコナデ・ハケ調整、内面はナデ調整である。

P533 (第78図584)

584は須恵器の杯Aである。残存率80%である。焼成は不良で、灰白(5Y7/1)色を呈する。口縁部復元径12.0cm、器高2.9cm、底部径7.5cmを測る。外面・内面ともに回転ナデ調整、底部は回転ヘラ切り離しである。

P545 (第78図585)

585は須恵器で、杯の口縁部である。外面・内面ともにナデ調整である。

P561 (第78図586-588)

586は須恵器で、杯の口縁部である。外面・内面はともにナデ調整である。587・588は土師器で、587は杯A、588は杯の口縁部である。587は残存率40%で、にぶい黄橙(10YR7/4)色を呈する。口縁部復元径12.5cm、器高4.1cm、底部復元径6.0cmを測る。外面・内面はともにナデ調整、底部は糸切り離しである。588の外面はナデ調整、内面は黒色ミガキ調整である。

SX180 (第79図589-596)

589・590は須恵器で、589は壺、590は甕の体部である。589は残存率30%である。焼成は良好で、灰(7.5Y4/1)色を呈する。残存器高9.5cm、底部復元径14.5cmを測る。外面・内面はナデ調整である。590の外面・内面ともにタキ調整、内面は当て具痕が残る。591～596は土師器で、591～593は杯Aの底部、594は杯A、595・596は小型甕である。591・592は外面・内面ともにナデ調整、底部は糸切り離しである。591は外面・内面ともに赤彩が施されている。593

は外面・底部ともに調整は不明、内面はミガキ調整である。594は外面・内面ともにナデ調整、底部の調整は不明である。595・596は口縁端部が丸みを帯びる。595は残存率50%である。焼成は良好で、暗灰黄(2.5Y4/2、内面：にぶい黄燈10YR7/4)色を呈する。口縁部復元径11.6cm、器高13.6cm、底部復元径4.9cmを測る。外面・内面はナデ調整、底部はナデ・ヘラ調整、体部下半に工具による筋状痕がある。596は残存率40%である。焼成は良好で、にぶい黄燈(10YR6/3)色を呈する。口縁部復元径13.9cm、器高12.7cm、底部復元径6.9cmを測る。口縁部外面はナデ調整、体部下半外面はヘラ削り調整、内面はナデ調整である。

小結

以上の遺物のうち土器については、須恵器の杯類は底部をヘラ切り技法しているものが、土師器の杯類は底部を糸切り技法しているものが多く認められ、擬宝珠つまみを有する蓋(346～367など)や双耳壺(163・199)などの器形の特徴からも、概ね9世紀代を中心に10世紀初頭頃までの特徴を有するもので、一部8世紀代に遡る特徴を有するもの(368)も認められる。本遺跡を消費地とした須恵器の窯元と想定される立山町上末窯の操業時期とも一致する(富山大学人文学部考古学研究室1989)。赤彩された土師器や内面を黒色処理した土師器(遺物観察表の備考欄参照)を含む器種構成、そして緑釉陶器(238・459)や灰釉陶器(311・458)、横瓶(546)、須恵器の調整技法で製作された土師器の甕(49)が少ないながらも含まれる点は、北陸における古代(奈良から平安時代前期)の土器様相と合致する(宮下幸夫1996)。遺構及び包含層から出土した土器は、須恵器が食膳・貯蔵用、土師器が煮炊用といった富山県における当該期の特徴を有するものである(池野正男2003)。また、須恵器の蓋・杯を主体に内面が平滑となったもの(遺物観察表の備考欄参照)が含まれており、これらは視に転用された結果と考えられる。SI293・SI359及びSD225から出土した輪の羽口(53・55・485・486)は、本遺跡から出土した数多くの鉄滓や鍛造剥片とともに、本遺跡での製鉄作業(小鍛冶)を裏付けるものと考えられる。さらにSK28から出土した石製腰帯具の逡方(160)は特に重要である。腰帯具は、古代(奈良から平安時代前期)の律令的身分秩序を表した衣服令の成立による身分表象で、在地社会において社会的・経済的に優位な地位(位階及び官職)にあった郡司層や富豪層の存在を示すものである。富山県出土の主要な古代の腰帯具(鈔帯・石帯)は、別表に示したとおりである。本遺跡出土の逡方は、長さ4.2cm×幅4.4cmを測る。富山県出土の逡方では現在のところ最も大型品である。列島の腰帯具の分析を実施した田中広明氏(2003)の分類による石製逡方(潜り穴)IV期・無孔型に該当する。田中広明氏の分析では、無孔の石製腰帯具は8世紀末頃に出現し、その最盛期は10世紀前半頃で、11世紀代まで継続することが示されている。

[参考・出典文献]

富山大学人文学部考古学研究室 1989 『越中上末窯』

宮下幸夫 1996 『歴史時代 北陸』『日本土器事典』雄山閣出版(株)

池野正男 2003 『越中における古代前半代の土師器食器について』『北陸古代土器研究』第10号
北陸古代土器研究会

田中広明 2003 『地方の豪族と古代の官人』柏書房

第8表 富山県出土の主要な古代腰帯具

No.	遺 跡 名	出土遺構	種別	孔	材 質	長さ×幅cm	厚さcm	鋸	潜り穴
1	高岡市中保B	SK01	逕方	小孔	銅 製	2.4 × 2.7	0.70	4	—
2	小矢部市桜町	SD11	逕方	小孔	銅 製	3.3 × 3.6	1.10	6	—
3	高岡市中保B	水路	逕方	無孔	花崗岩	3.6 × 3.7	0.70	—	4
4	富山市米田大覚(A地区)	包含層	逕方	無孔	粘板岩	3.2 × 3.4	0.50	—	4
5	富山市任海宮田(B6地区)	包含層	逕方	(無孔)	蛇紋岩	3.0 × 3.8	0.60	—	3
6	富山市任海宮田(L2地区)	包含層	逕方	無孔	蛇紋岩	3.5 × 3.8	0.60	—	4
7	富山市任海宮田(E地区)	SK37	逕方	無孔	瑪 瑙	4.1 × 4.1	0.70	—	4
8	富山市任海宮田(E地区)	包含層	逕方	無孔	—	3.6 × 3.7	0.55	—	(4)
9	富山市宮町	中世井戸	逕方	(無孔)	粘板岩	(3.0)×(3.5)	0.75	—	(4)
10	射水市黒河尺目	包含層	逕方	(無孔)	蛋白石	(3.3)×(3.3)	0.90	—	(4)
11	射水市本江畑田I	SD01	逕方	無孔	蛇紋岩	3.6 × 3.8	0.60	—	4
12	魚津市仏田	SK28	逕方	無孔	粘板岩	4.2 × 4.4	0.90	—	4
13	高岡市東木津遺跡	SD60	丸鞘	小孔	銅 製	(2.3)×(3.2)	0.10	3	—
14	富山市水橋荒町・辻ヶ堂	包含層	丸鞘	無孔	粘板岩	2.3 × 3.6	0.65	—	2
15	富山市米田大覚(B地区)	包含層	丸鞘	無孔	粘板岩	2.3 × 3.2	0.60	—	3
16	富山市任海宮田(B6地区)	SK1229	丸鞘	無孔	マクログラニト	3.8 × 3.4	0.70	—	3
17	富山市任海宮田(B13地区)	SI32	丸鞘	小孔	蛇紋岩	2.3 × 3.3	0.50	—	3
18	富山市打出(A地区)	旧河川内	丸鞘	無孔	蛇紋岩	2.9 × 4.3	0.80	—	3
19	魚津市仏田	—	丸鞘	無孔	—	—	—	—	3
20	小矢部市桜町	SD11	鈍尾	—	鉄 製	2.4 × 2.9	0.60	3	—

[出典文献]

- 安達志津 1997 『北陸における銜帯・石帯』『富山市考古資料館報』No.31 2-7頁 富山市考古資料館
射水市教育委員会 2012 『本江畑田I遺跡発掘調査報告(4)』
小矢部市教育委員会 2003 『桜町遺跡発掘調査報告書』弥生・古墳・古代・中世編I
(財)富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所 2004 『黒河尺目遺跡・黒河中老田遺跡発掘調査報告』
(財)富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所 2007 『任海宮田遺跡発掘調査報告II』
(財)富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所 2009 『とやま発掘だより—平成20年度発掘調査速報—1』
(財)富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所 2009 『平成20年度埋蔵文化財年報』
(公財)富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所 2013 『仏田遺跡発掘調査報告』
高岡市教育委員会 2001 『石塚遺跡・東木津遺跡調査報告』
高岡市教育委員会 2002 『中保B遺跡調査報告』
富山県埋蔵文化財センター 1997 『任海宮田遺跡発掘調査報告書II』
富山県埋蔵文化財センター 2012 『特別展・卑楽と越』
富山市教育委員会 1999 『富山市任海宮田遺跡発掘調査報告書』
富山市教育委員会 2006 『富山市打出遺跡発掘調査報告書』

金属器

本遺跡から出土した金属器には、鉄製品と銅製品があり、約70点が出土した。鉄製品には、刀子、釘、鎌、鋸、鉋具、帯金具等がある。銅製品は2点が出土した。出土した金属器の実測図作成にあつ

ては、X線撮影によってその形状を確認しながら行った。

刀子 (第80図1-8)

1は、グリットF1付近包含層出土である。刃部及び茎部先端が若干欠損しているのみであり、遺存状態は良好である。残存長10.9cmを測り、刃部には研ぎ減りが確認できる。茎部等に木質等の痕跡はみられない。2はSI384出土である。刃部先端が若干欠損しているのみであり、遺存状態は良好である。残存長9.7cmを測り、茎部等に木質等の痕跡はみられない。3はSI384出土である。刀子の刃部であり、残存長7.3cmを測る。4はグリットE2付近包含層出土である。刀子の刃部先端であり、残存長5.3cmを測る。刃部の幅からみると大型の刀子である。5はSI384の床面からの出土である。先端を若干欠損した刀子の刃部で、残存長6.0cmを測る。刃部の幅から見ると細身の刀子である。6はグリットE6付近包含層出土である。刀子の茎部で、残存長8.2cm、茎部付近の刃部幅は1.5cmを越えており、大型の刀子である。7はSD225出土である。刃部と茎部の両端を欠損しているが、残存長17.0cmを測る大型の刀子である。刃部と比較して茎部が厚くなっているが、錆膨れの可能性も考えられる。8もSD225出土である。7同様、刃部と茎部の両端を欠損している。残存長19.9cmを測り、刃部には研ぎ減りも確認できる。茎部には、柄部分の痕跡と考えられる木質が付着している。本遺跡から出土した刀子で唯一、装具の痕跡が確認されたものである。

鎌 (第80図9-11)

9・10は共にグリットC5遺構検出面からの出土であり、接合しないものの同一個体と考えられる。刃部幅約2.4cm、厚さ約0.3cmである。柄と刃部の固定に関しては、若干折り返しを確認できる。11はグリットF4付近の遺物包含層出土である。刃部の先端と、茎部の先端が欠損している。

鏡 (第80図12)

12はP505からの出土である。長さ9.5cmで、一方の先端が欠損している。断面形は長方形で、先端部を除き、幅約1cm、厚さ0.5cmを測る。

釘 (第80図13-18)

本遺跡出土の釘には、小型(13)、中型(14・15・16)、大型(17・18)の3種がみられた。13はSI384出土である。長さ約5cmを測る小型の釘で、ほぼ完形である。断面形は長方形で、頭部を若干折り曲げている。14もSI384出土である。頭部及び先端部を欠損し、残存長約5.8cmである。断面形はほぼ正方形である。15はグリットE2付近の遺物包含層出土である。長さ約10.2cmを測る中型の釘で、ほぼ完形である。断面形は長方形である。16はグリットI3付近の遺物包含層出土である。先端部のみ欠損し、残存長7.8cmを測る。断面形は長方形である。17はグリットH3付近の包含層出土である。先端部のみ欠損し、残存長11.7cm、幅0.7cmを測る大型の釘で、断面図は長方形である。頭部の形状は錆膨れにより不明である。18はSI384出土である。長さ14.3cm、幅1.1cmを測る大型の釘で、完形である。断面形は、長方形で、頭部側は錆膨れにより形状は不明である。

棒状鉄製品 (第80図19・20)

幅0.4cm程度の棒状の鉄製品である。いずれも先端部が欠損する。19がSD14出土である。残存長3.0cm、幅0.4cmを測る小型の釘である。先端部は欠損し、頭部は大きく折り曲げた形状をとる。20はSI452出土である。残存長4.1cm、幅0.4cmを測る小型の釘である。頭部は、胴部に比べ若干幅が狭くなる。

鉸具 (第80図21)

21は平成19年度の試掘調査で出土したものである。出土地点は15トレンチであり、本発掘調査グリットにあわせると、グリットE2付近である。長さ4.6cm、幅3.7cmを測る。鉸具の中央部については、錆膨れ等のためX線写真の観察でも形状は判然としない。

帯金具 (第80図22~24)

22はSD225出土である。長さ3.0cm、幅2.9cmを測り、片面の一部が欠損している。両側面の平面図は菱形を呈する。23はSK86出土である。長さ4.0cm、幅2.9cmを測り、22と比較して若干、

大きい。両側面の平面形は菱形を呈する。24はグリットE7付近包含層上面からの出土である。楕円形の輪に棒状の突起が付いた形状を呈している。帯金具の一部と推定した。断面形は、輪の部分が直径0.4～0.5cm円形、棒状部分は先端部が直径0.5～0.6cmの円形で、根元付近が幅0.7cm、厚さ0.3cm程度の長方形である。

不明鉄製品（第80図25）

25は「工」字状の短辺側に円環が結合したもので、長さ3.4cm、最大幅2.7cmを測る。円環は、直径1.6cm、断面径0.4cm程である。

銅製品（第80図26）

本遺跡からは、銅製品が2点出土した。2点のうち1点は細片のため図示していない。図示した26は、大型の径を持つ銅製品であるが、器種は不明である。残存長9.5cm、残存幅2.4cmを測る。復元径については遺物そのものが歪んでいるため判断としないが、形状からは大型のものと考えられる。

第2節 II区出土遺物

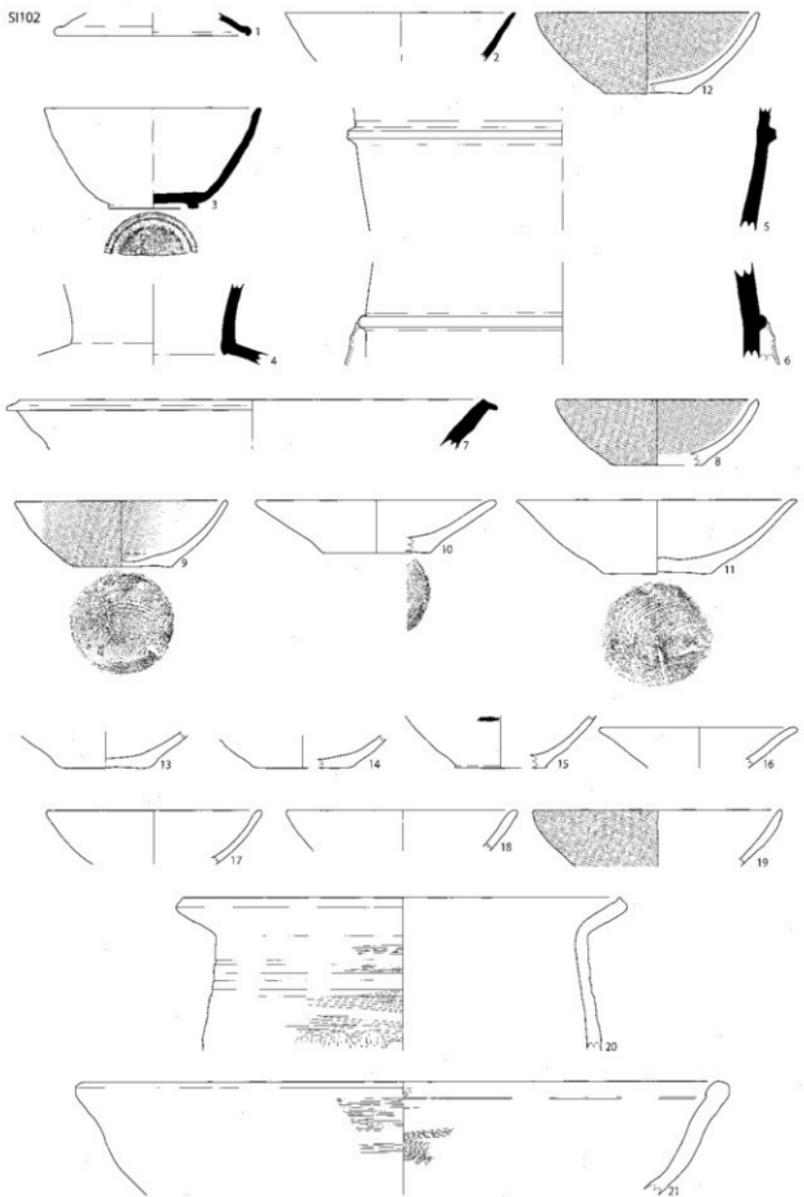
II区からの遺物は少なく、そのほとんどが小片であった。遺構から須恵器片等も出土しているが、小片のため、図示していない。以下に図化し得た遺物の概要を述べる。

包含層出土遺物（第81図2～5）

いずれも遺構検出中に確認された遺物である。2は須恵器蓋で、口径14cmを測る。色調は灰(5Y 5/1)色を呈する。3・4はともに須恵器杯で、口径は約12cmを測る。内外面とも回転ナデ調整である。色調は3が灰(7.5Y 6/1)色で、4が灰(5Y 6/1)色である。5は土師器杯の底部で、底径6.5cmを測る。内面のみ赤彩を施す。外面の色調は外面が浅橙(2.5Y 7/4)色、内面がにぶい橙(7.5Y 6/4)色である。

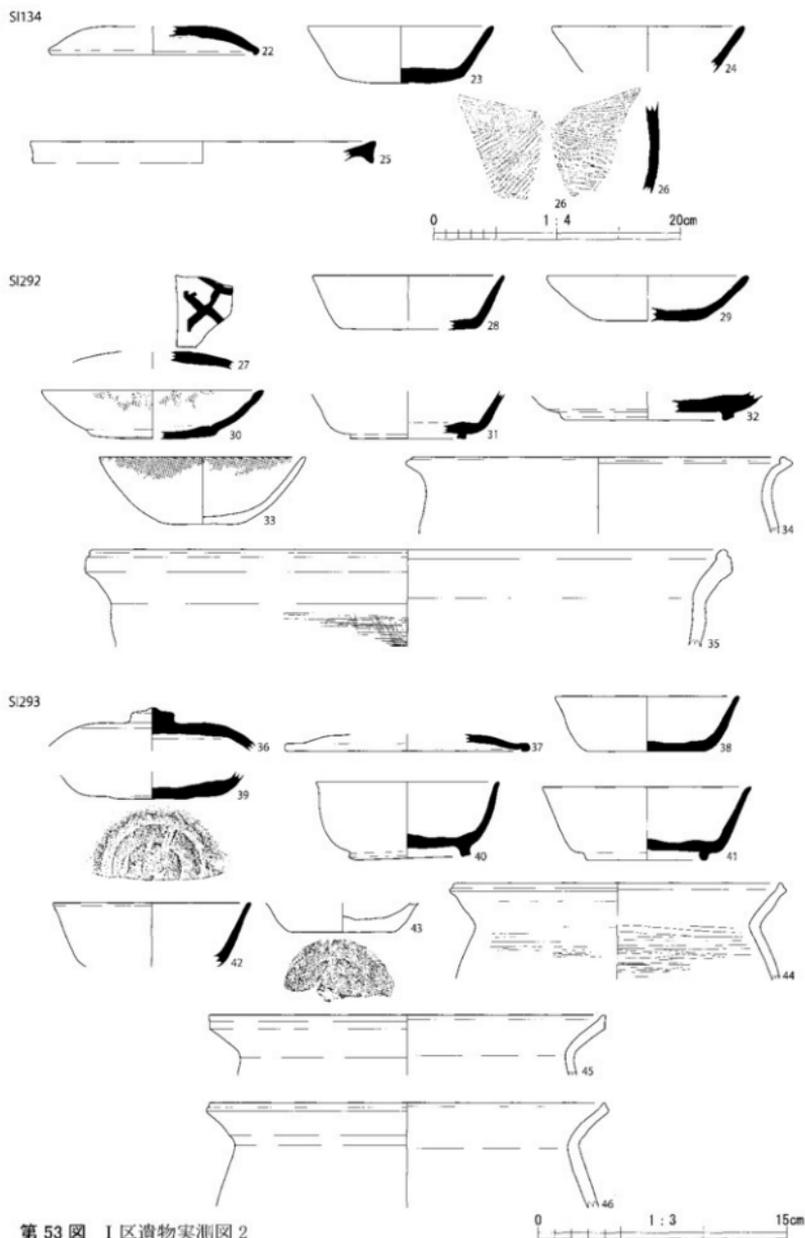
その他（第81図1・6）

耕作土下の盛土中から出土した縄文土器と調査区西壁より出土した珠洲焼を図示した。1の縄文土器には、内面に炭化物が付着する。外面は、若干摩滅しているが、縄目の痕跡が確認できる。色調は橙(5YR 6/6)色である。6の珠洲焼は、甕の胴部片である。外面はタタキ調整、内面はナデ調整である。色調は灰(7.5Y 5/1)色である。



第 52 图 I 区遗物实测图 1
SI102(1 ~ 21)

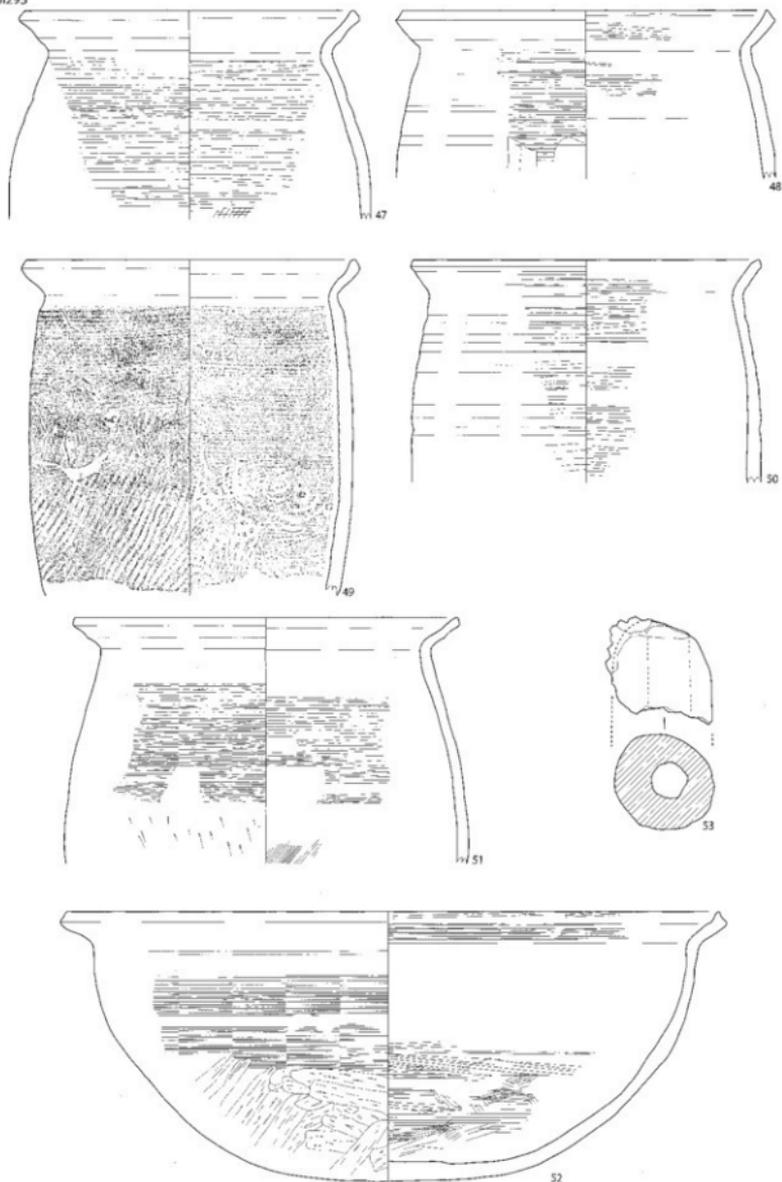
0 1 : 3 15cm



第 53 图 I 区遗物实测图 2

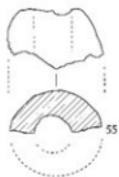
SI134(22 ~ 26) SI292(27 ~ 35) SI293(36 ~ 46)

SI293



第 54 图 I 区遗物实测图 3
SI293(47 ~ 53)

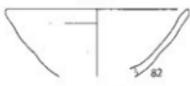
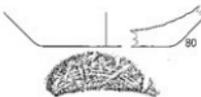
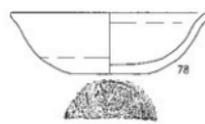
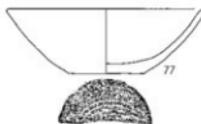
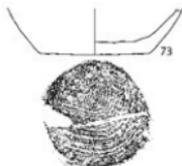
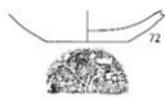
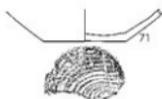
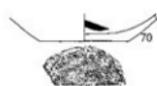
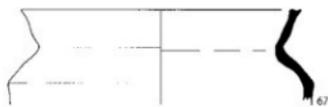
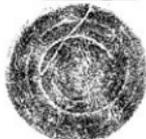
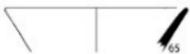
SI359



SI360



SI384

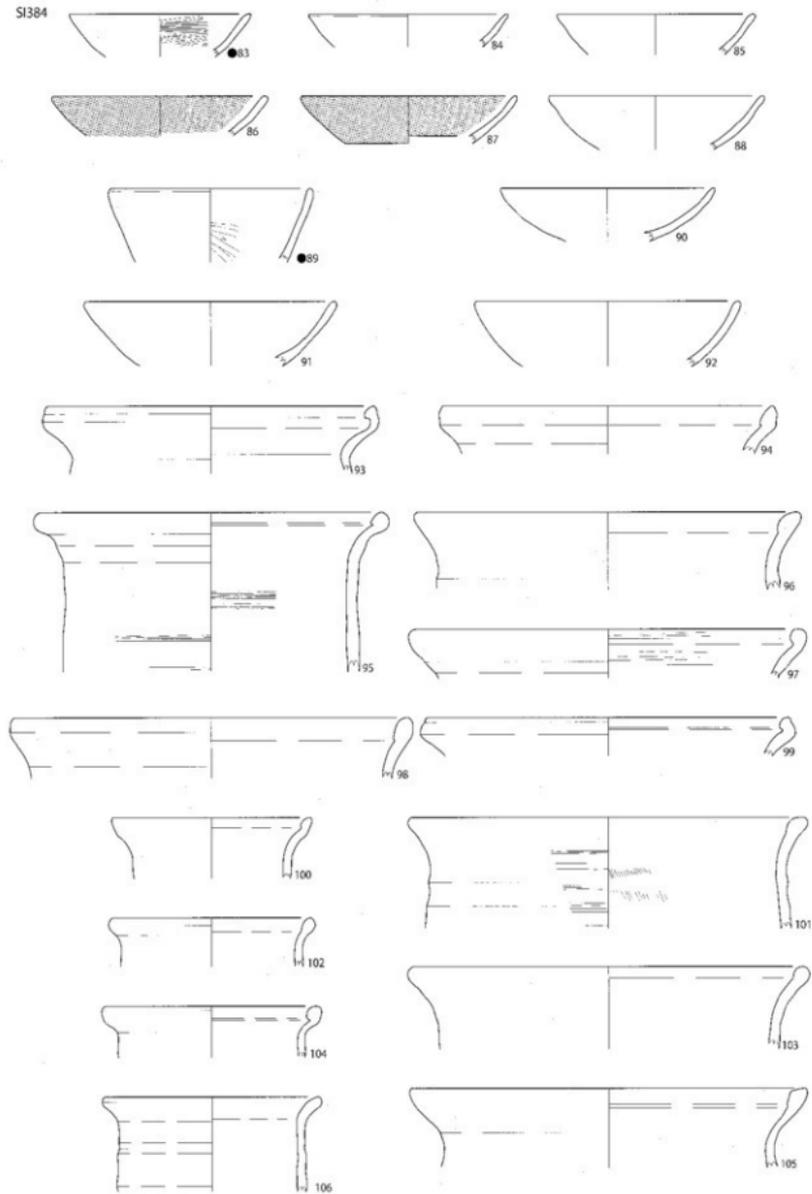


第 55 图 I 区遗物实测图 4

SI359(54.55) SI360(56 ~ 58) SI384(59 ~ 82)

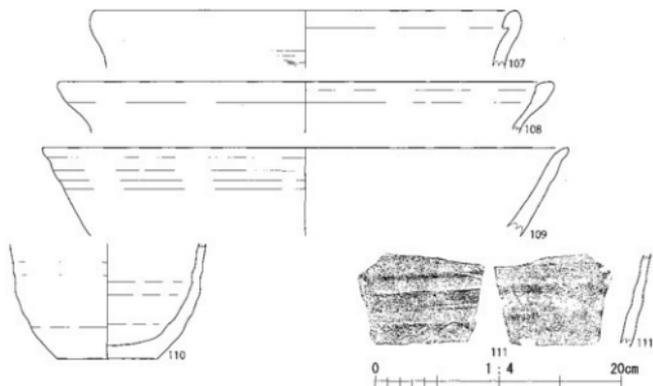
0 1:3 15cm

SI384

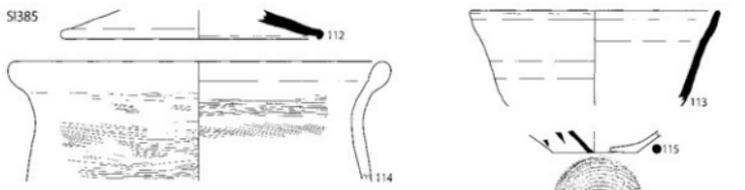


第 56 图 I 区遗物实测图 5
SI384(83 ~ 106)

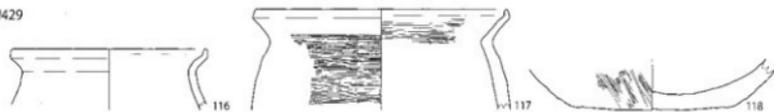
SI384



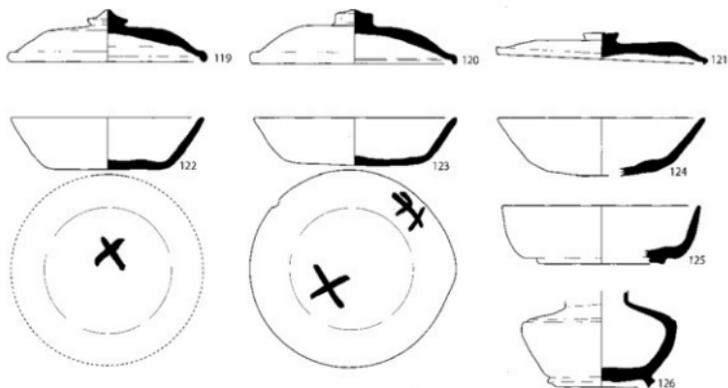
SI385



SI429



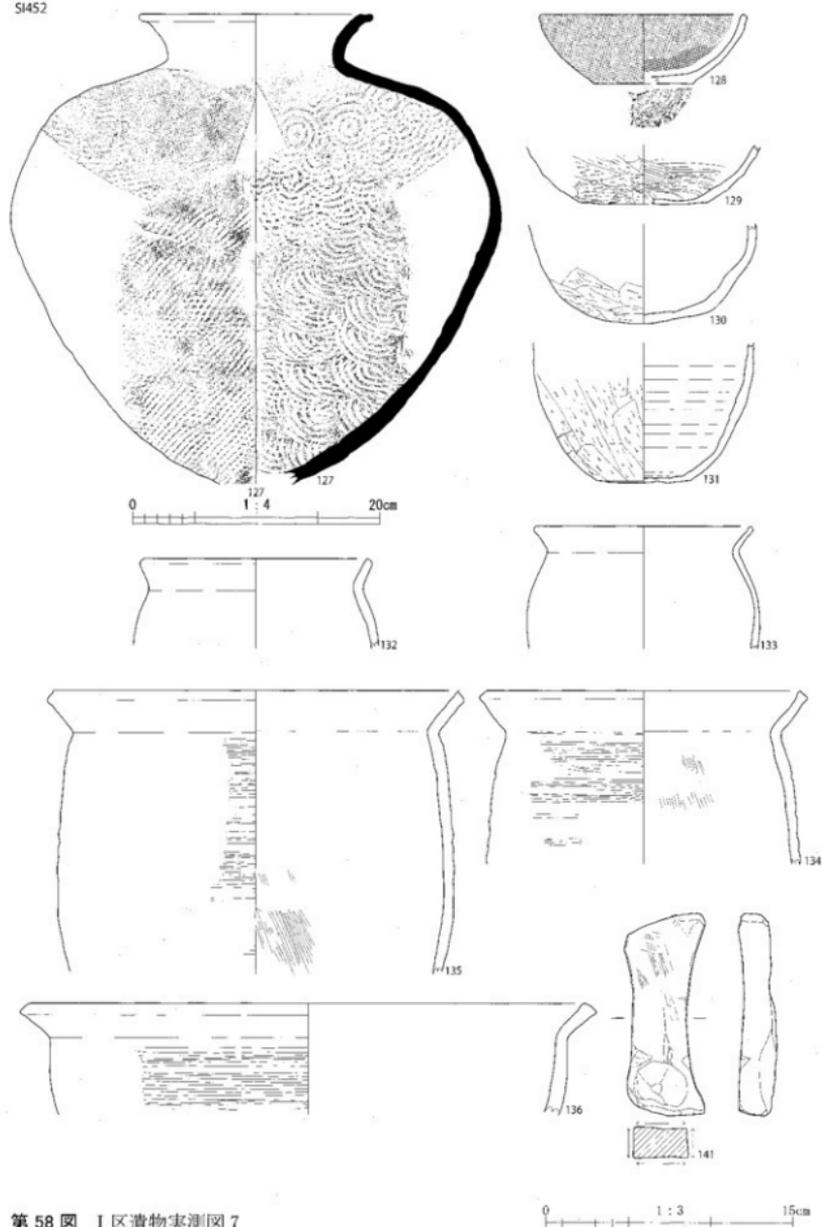
SI452



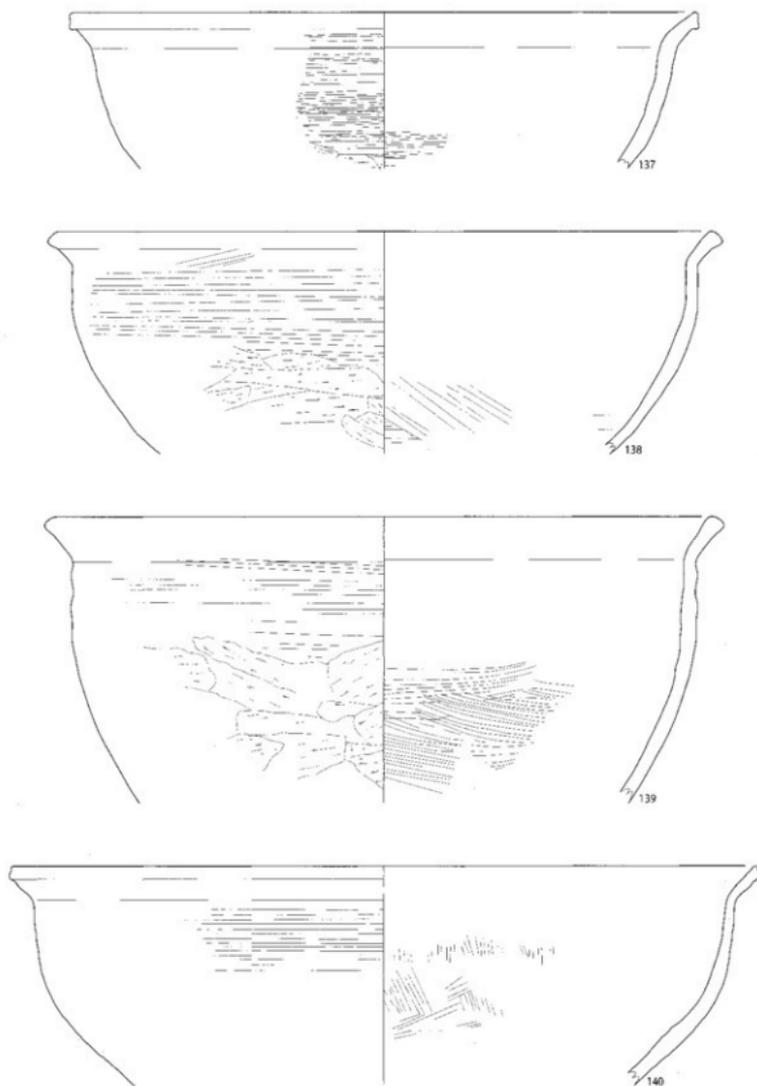
第 57 图 I 区遗物实测图 6

SI384(107 ~ 111) SI385(112 ~ 115) SI429(116 ~ 118) SI452(119 ~ 126)

SI452



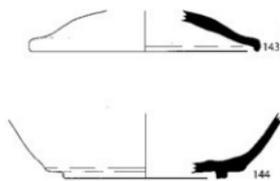
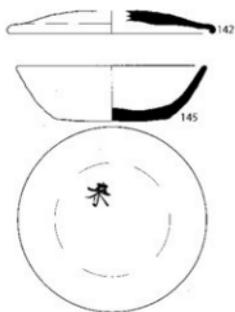
第 58 图 I 区遺物実測図 7
SI452(127 ~ 136.141)



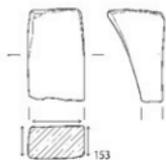
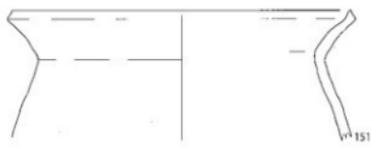
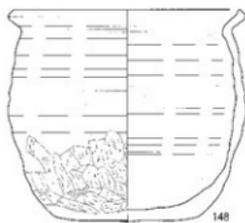
第 59 图 I 区遗物实测图 8
SI452(137 ~ 140)

0 1:3 15cm

SI491



SI560

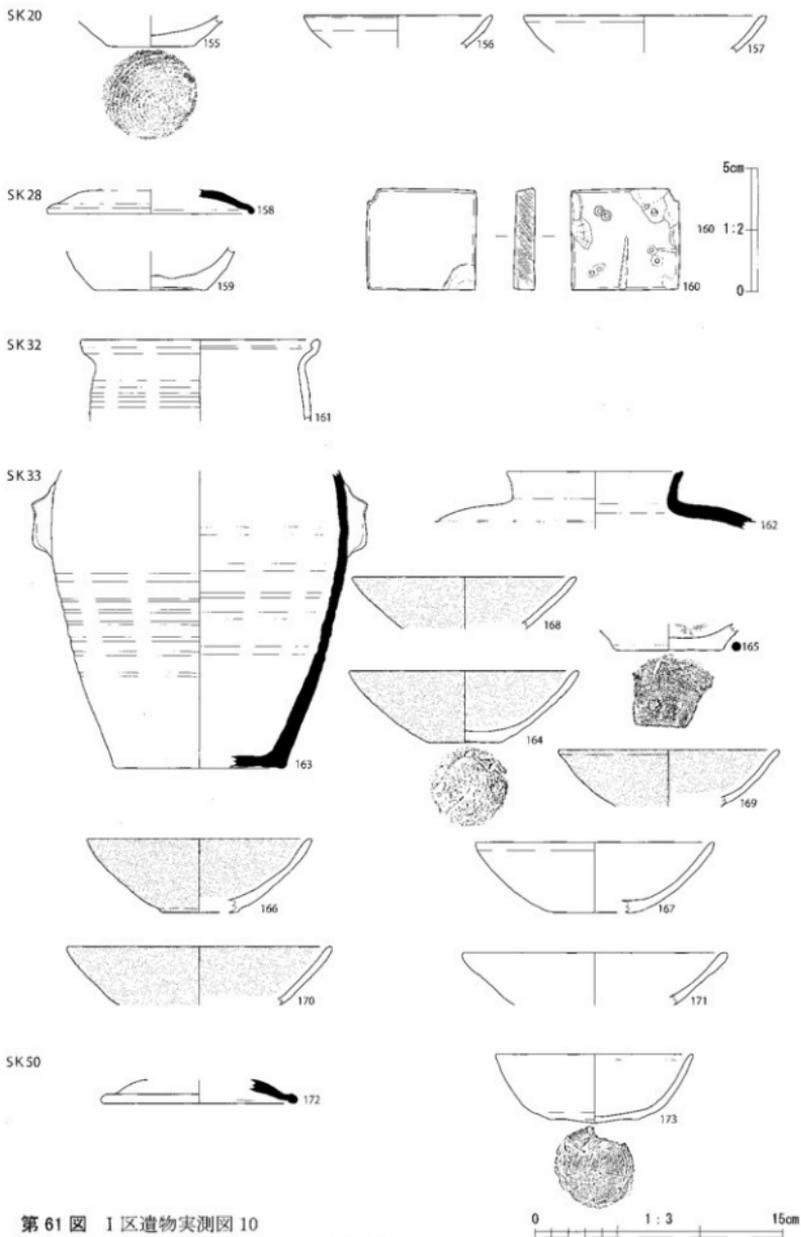


SK11



第 60 图 I 区遗物实测图 9

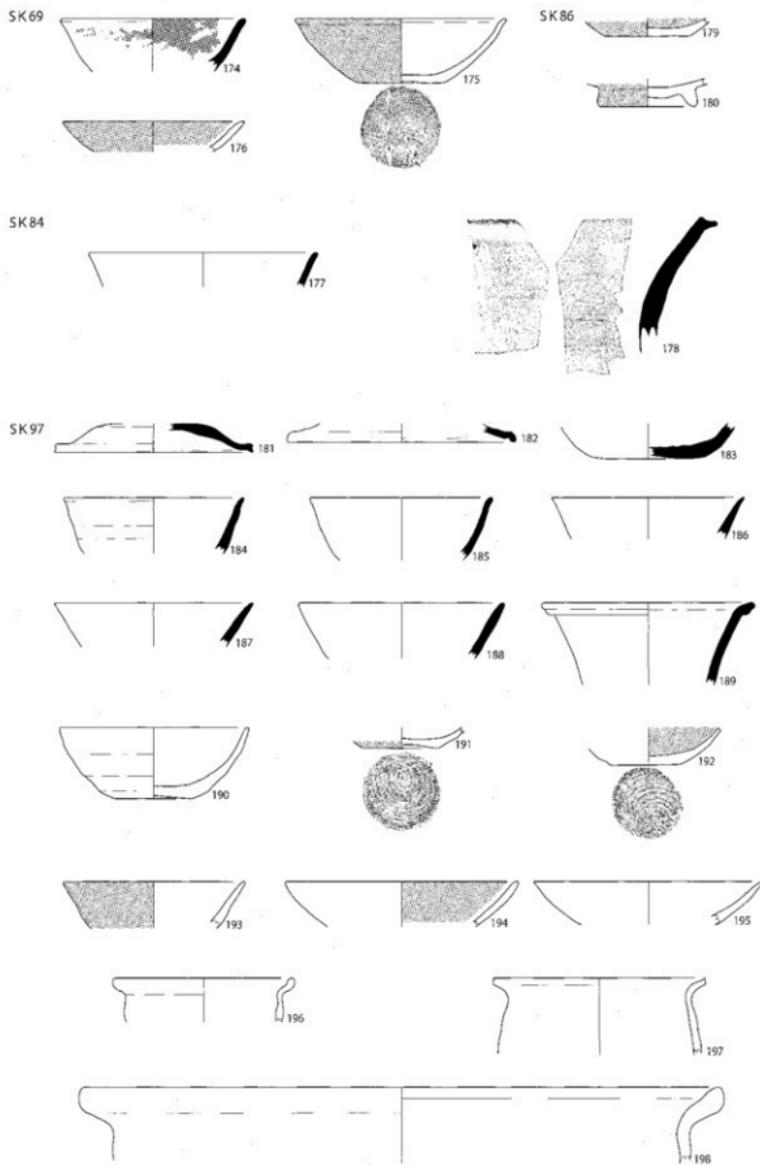
SI491(142 ~ 146) SI560(147 ~ 153) SK11(154)



第 61 图 I 区遗物实测图 10

SK20(155 ~ 157) SK28(158 ~ 160) SK32(161)

SK33(162 ~ 171) SK50(172.173)

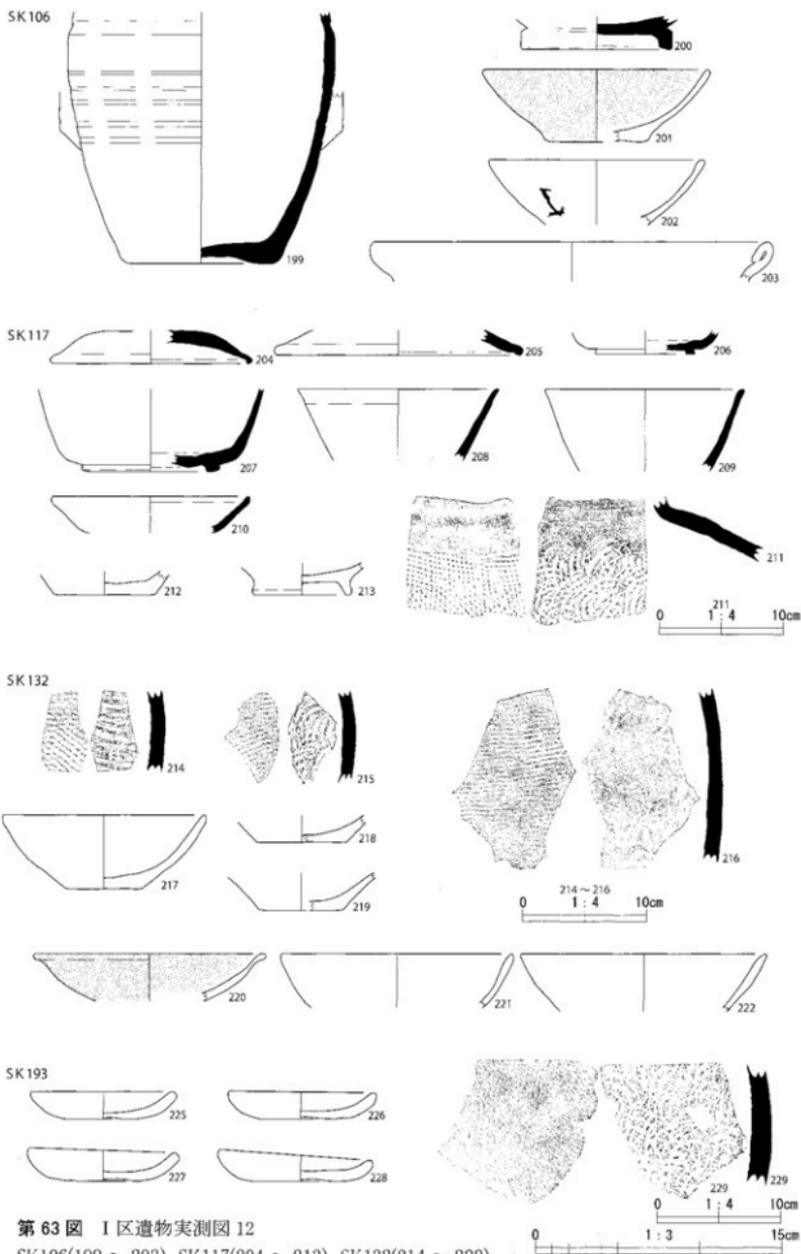


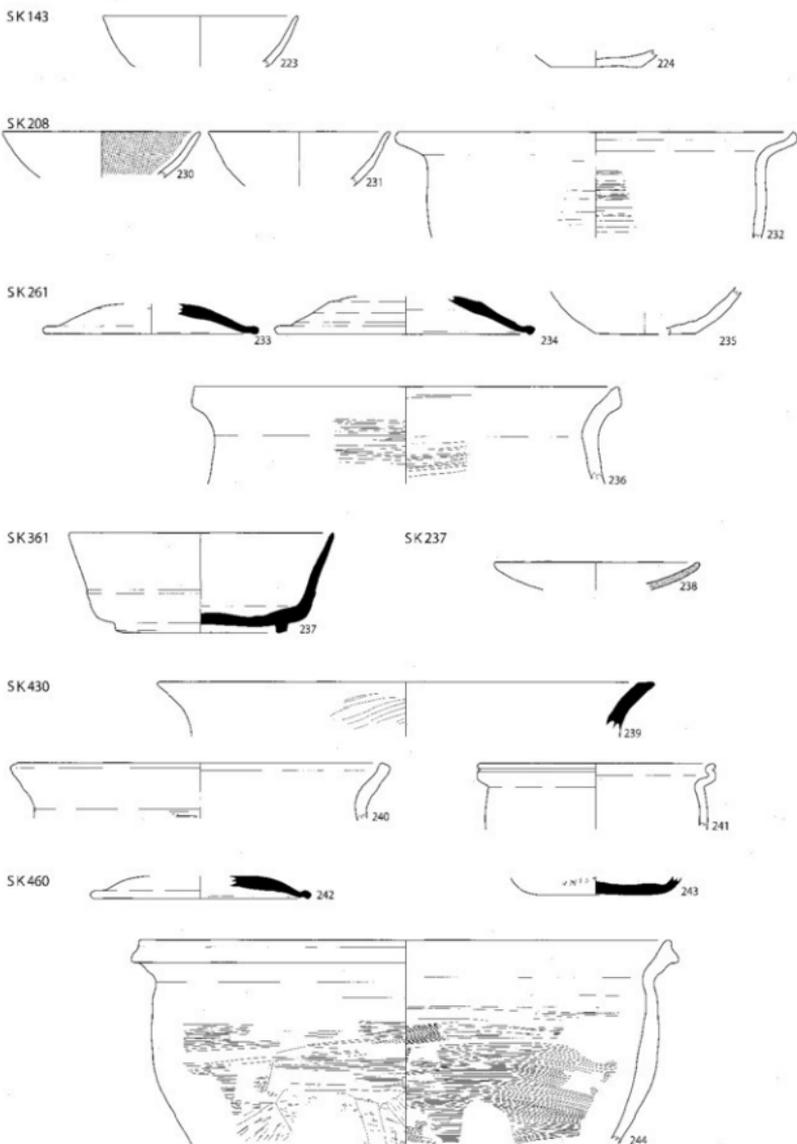
第 62 图 I 区遗物实测图 11

SK69(174 ~ 176) SK84(177.178) SK86(179.180)

SK97(181 ~ 198)

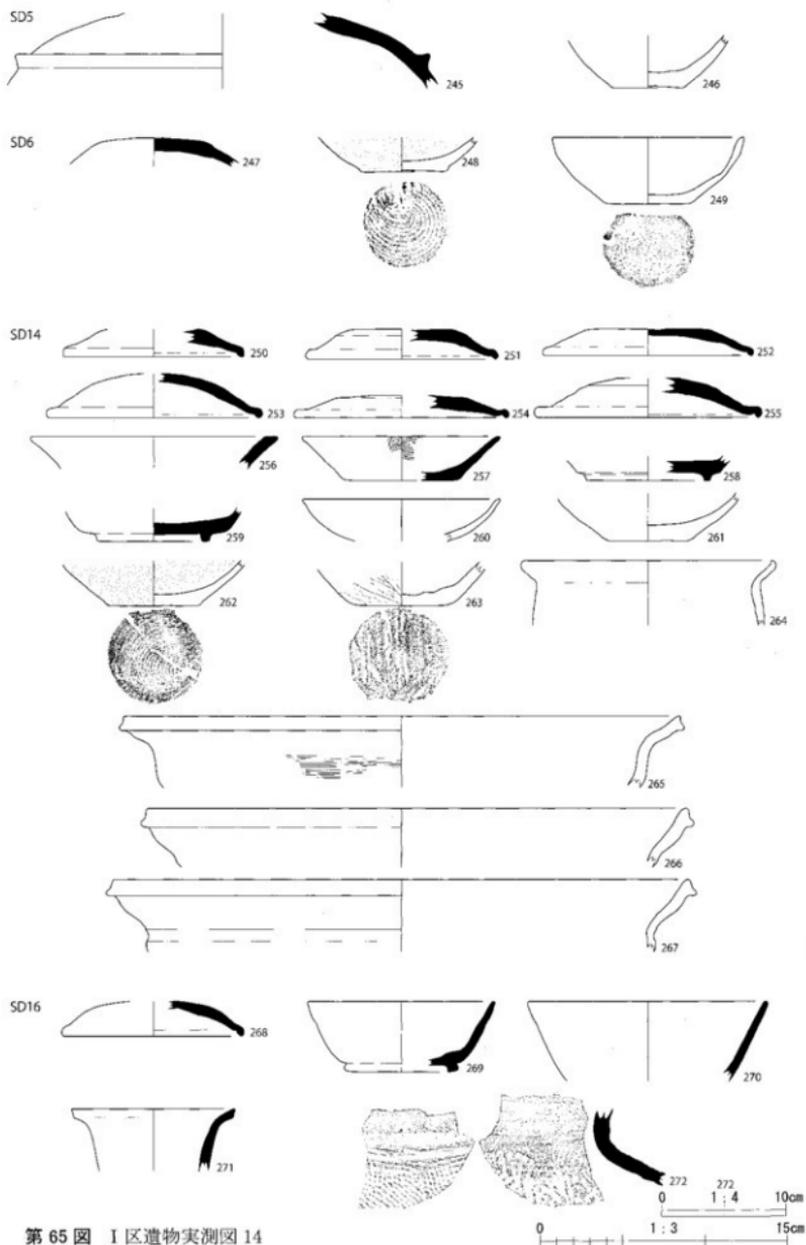
0 1 : 3 15cm





第64图 I区遗物实测图13

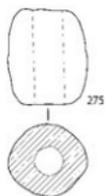
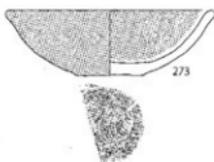
SK143(223.224) SK208(230~232) SK261(233~236) SK361(237)
SK237(238) SK430(239~241) SK460(242~244)



第 65 图 I 区遗物实测图 14

SD5(245.246) SD6(247 ~ 249) SD14(250 ~ 267) SD16(268 ~ 272)

SD16



SD66



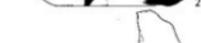
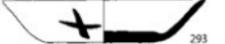
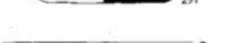
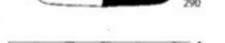
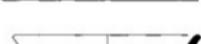
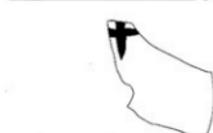
SD67



SD87



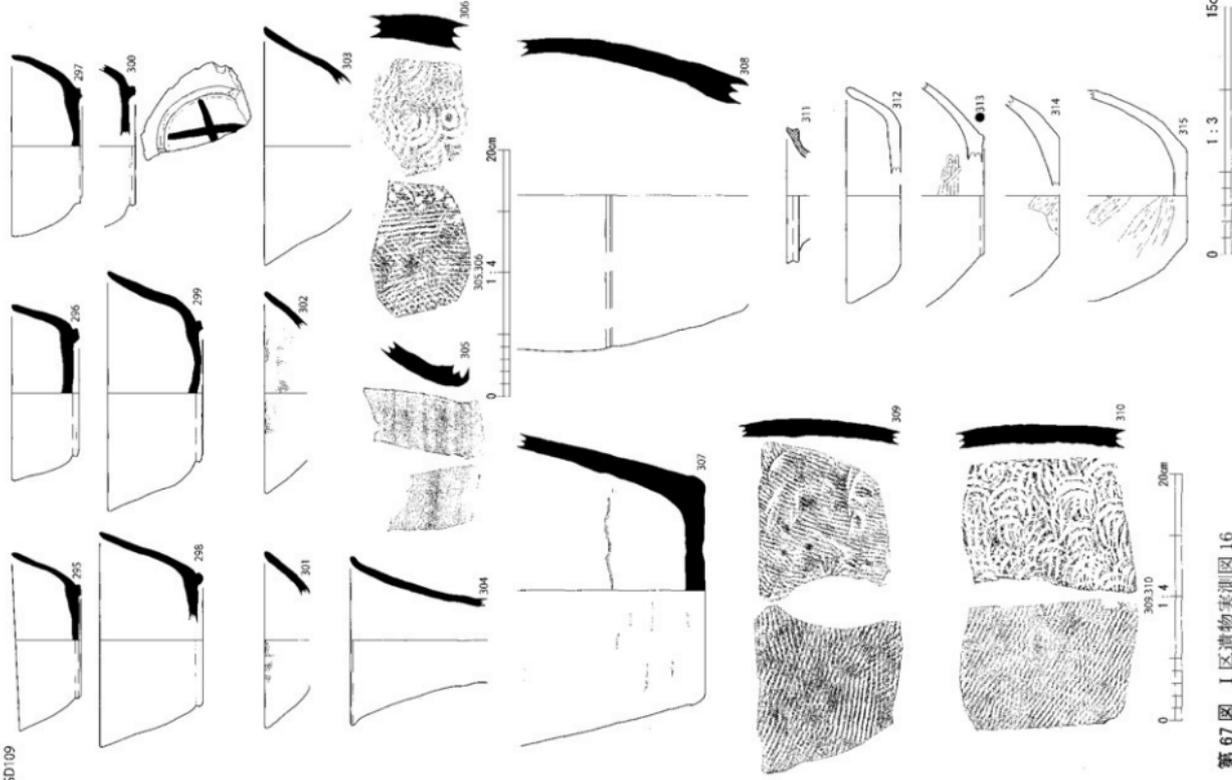
SD109



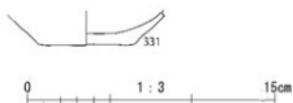
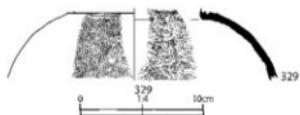
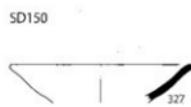
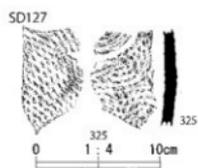
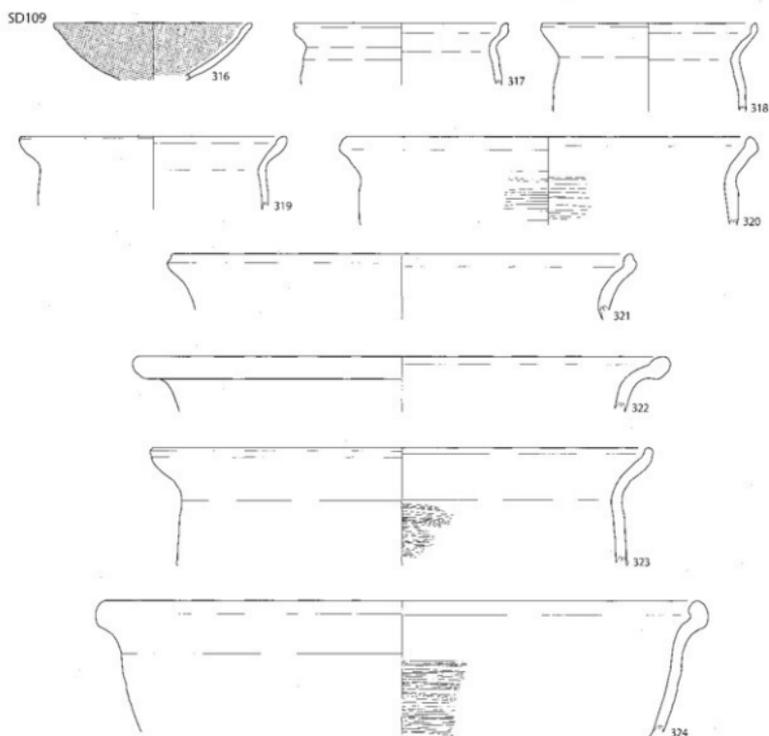
第 66 图 I 区遗物实测图 15

SD16(273 ~ 275) SD66(276) SD67(277) SD87(278) SD109(279 ~ 294)

0 1:3 15cm



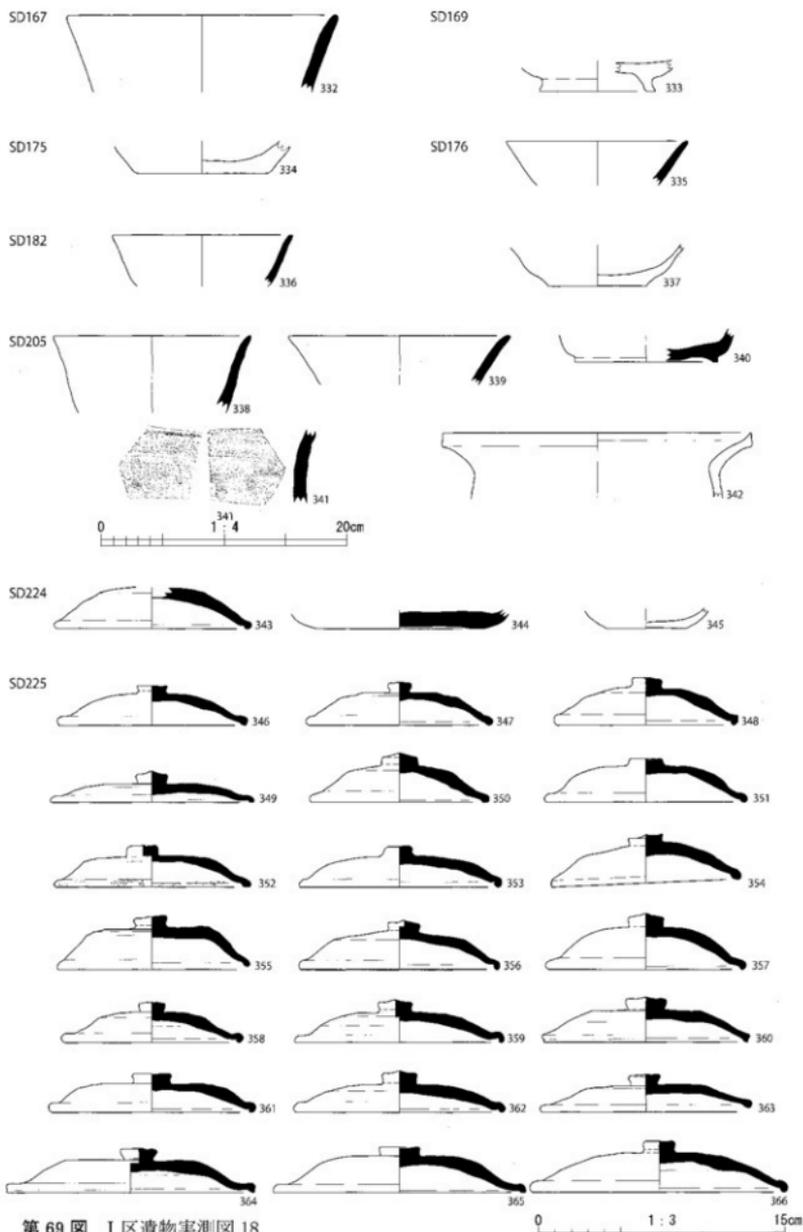
第 67 图 I 区遗址平面图 16
SD109(295~315)



第 68 图 I 区遗物实测图 17

SD109(316 ~ 324) SD127(325) SD148(326)

SD150(327) SD159(328, 329) SD166(330, 331)

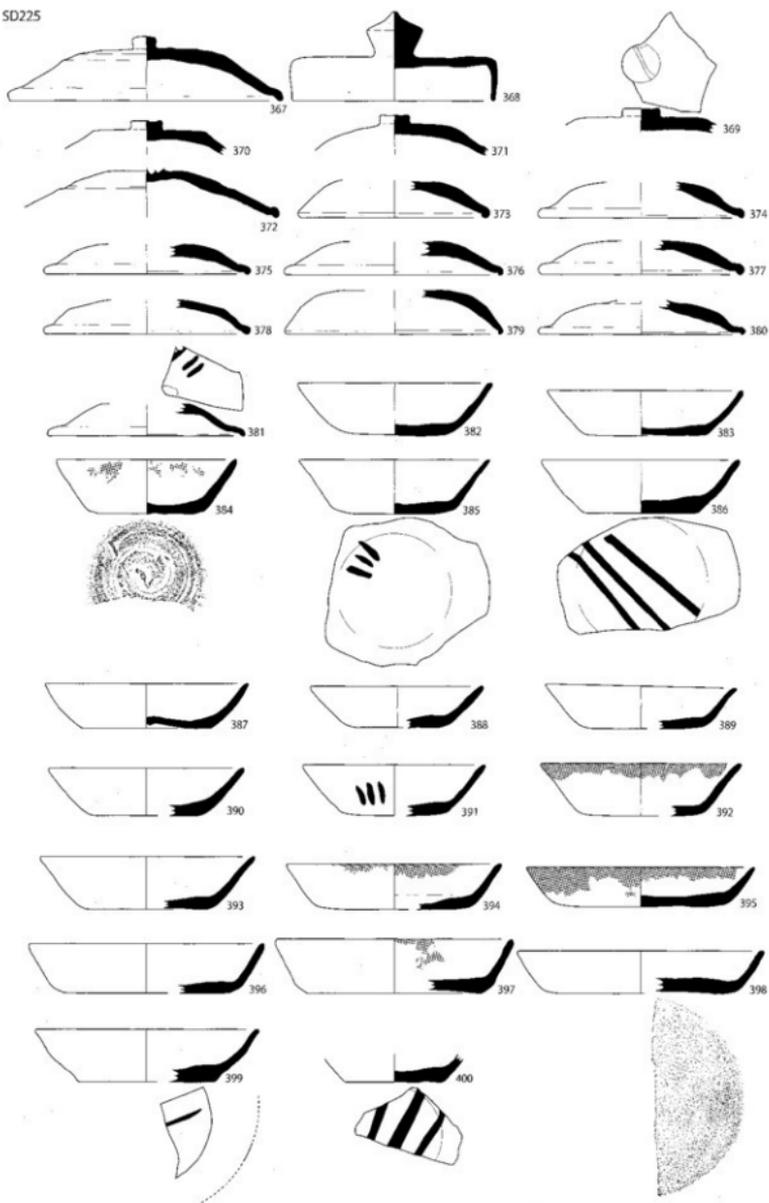


第 69 图 I 区遗物实测图 18

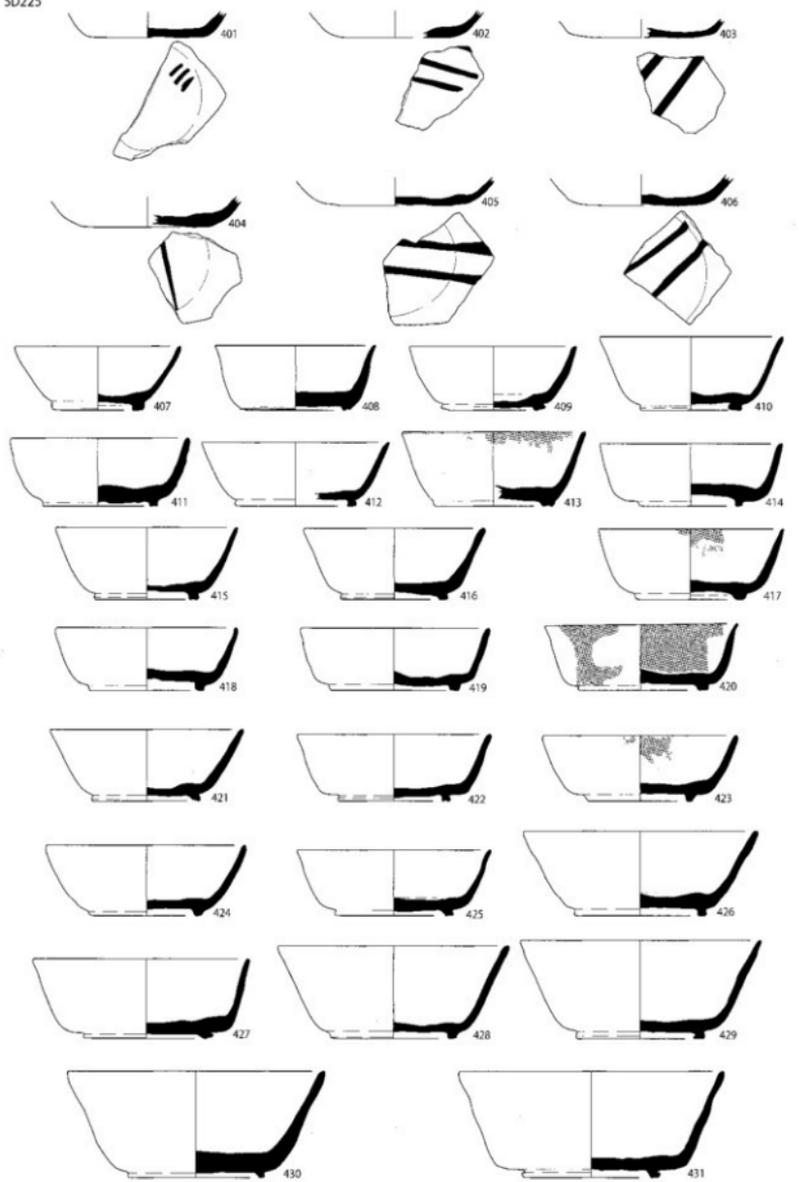
SD167(332) SD169(333) SD175(334) SD176(335) SD182(336,337)

SD205(338 ~ 342) SD224(343 ~ 345) SD225(346 ~ 366)

SD225

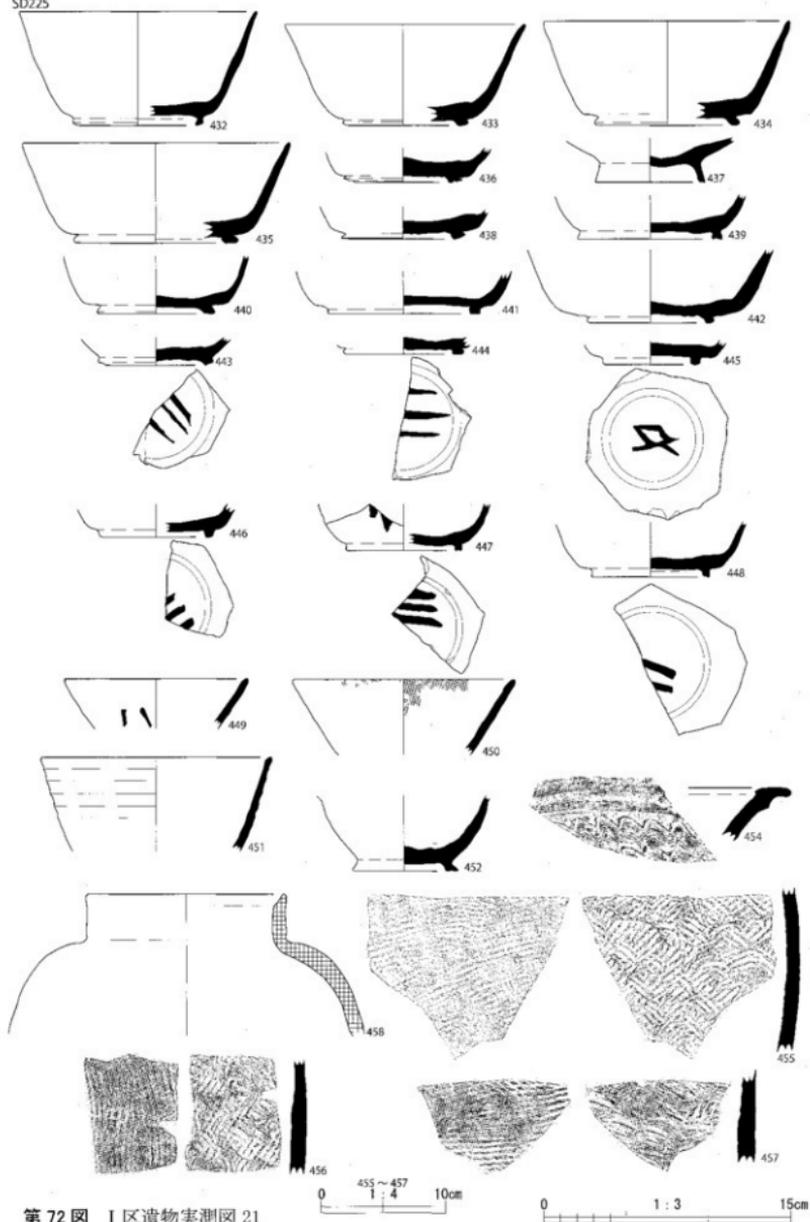


第70图 I区遗物实测图 19
SD225(367~400)



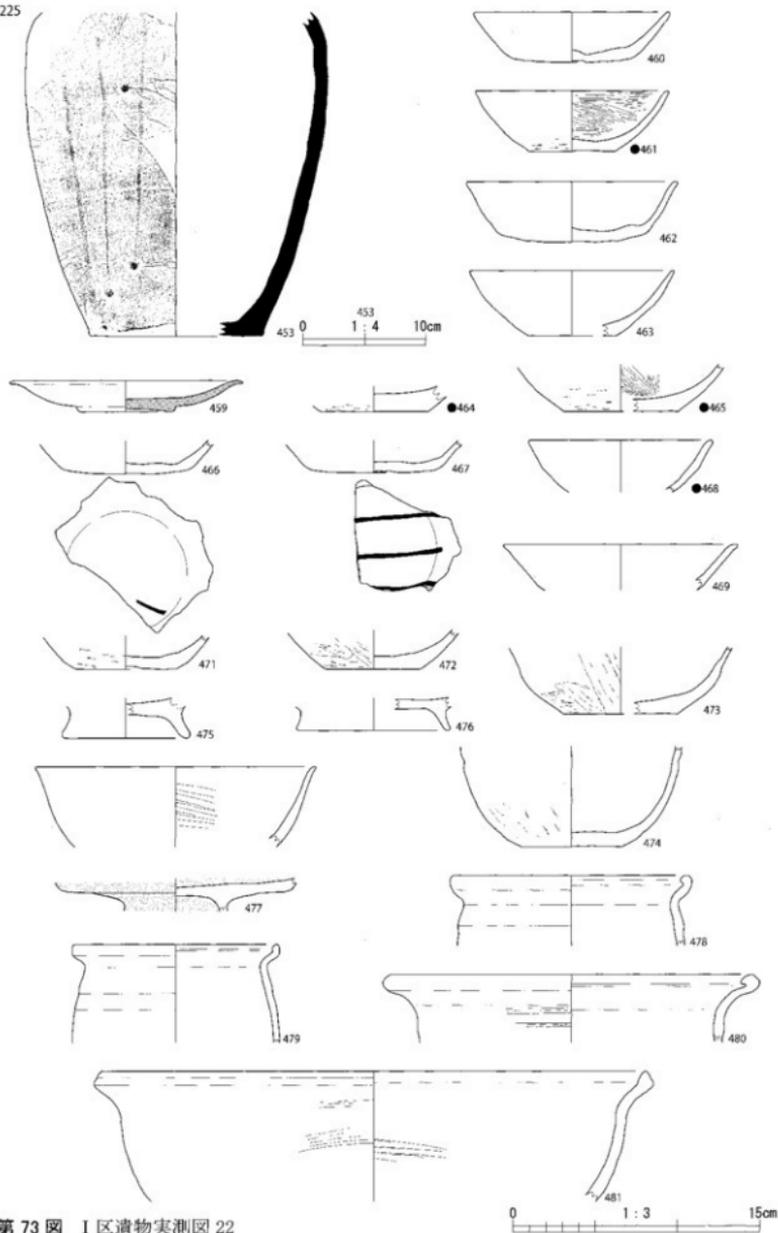
第 71 图 I 区遺物実測図 20
SD225(401 ~ 431)

SD225



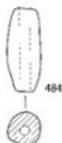
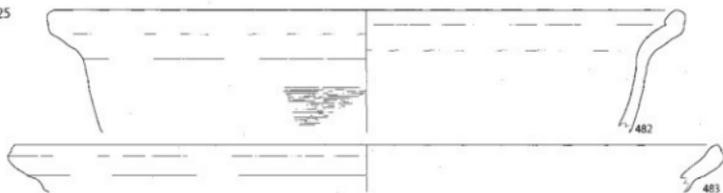
第 72 图 I 区遗物实测图 21
SD225(432 ~ 452, 454 ~ 458)

SD225

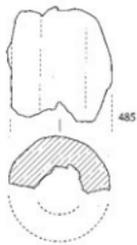


第 73 图 I 区遺物実測図 22
SD225(453.459 ~ 481)

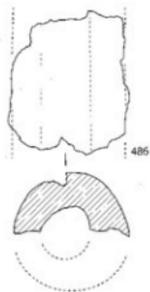
SD225



484



485



486

483

SD226



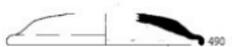
487



488



489



490



491



492



493



494



495



496



497



498

SD253



499

SD279



500

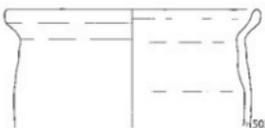
SD281



501

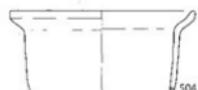


502



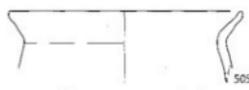
503

SD287



504

SD288



505

第 74 图 I 区遗物实测图 23

SD225(482 ~ 486) SD226(487 ~ 498) SD253(499)

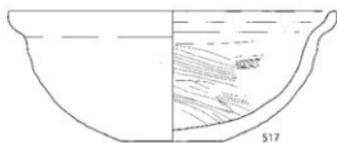
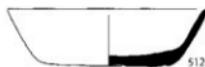
SD279(500) SD281(501 ~ 503) SD287(504) SD288(505)



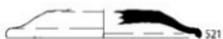
SD341



SD346



SD348



SD349



SD435



SD438



SD484



SP8



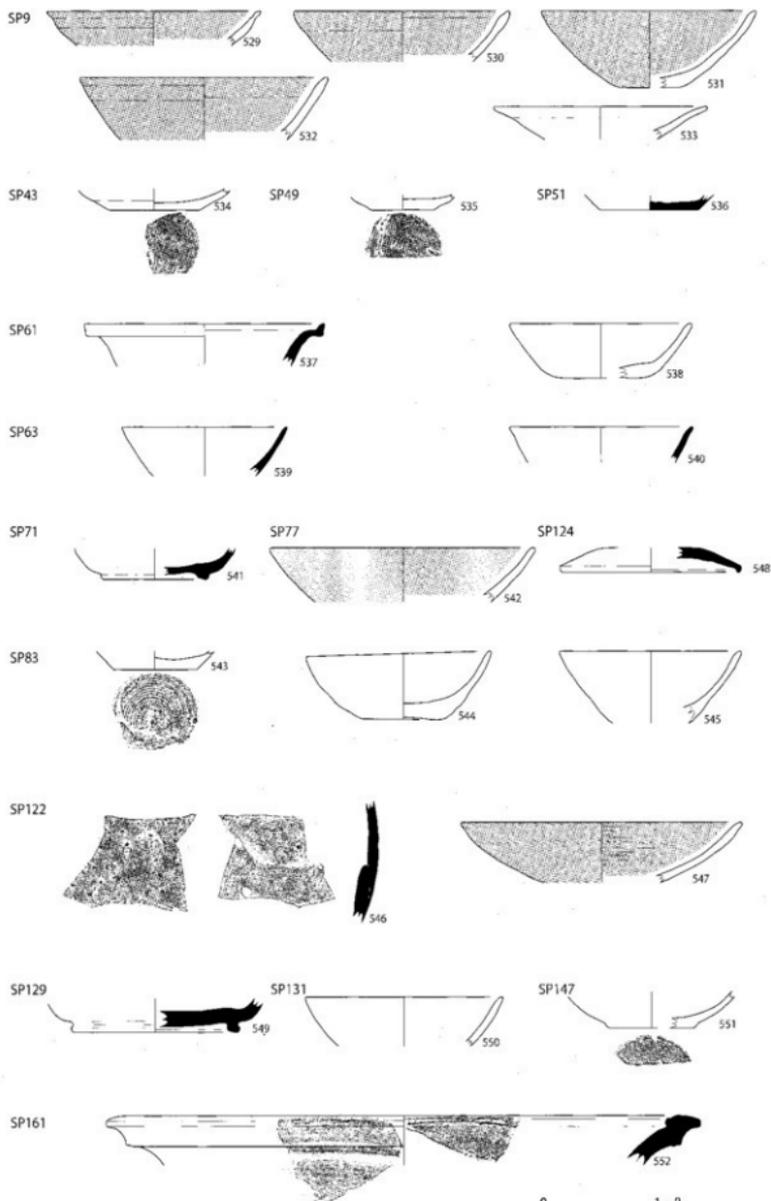
第 75 図 遺物実測図 24

SD341(506 ~ 508) SD346(509 ~ 520) SD348(521)

SD349(522) SD435(523 ~ 525) SD438(526) SD484(527)

SP8(528)

0 1 : 3 15cm

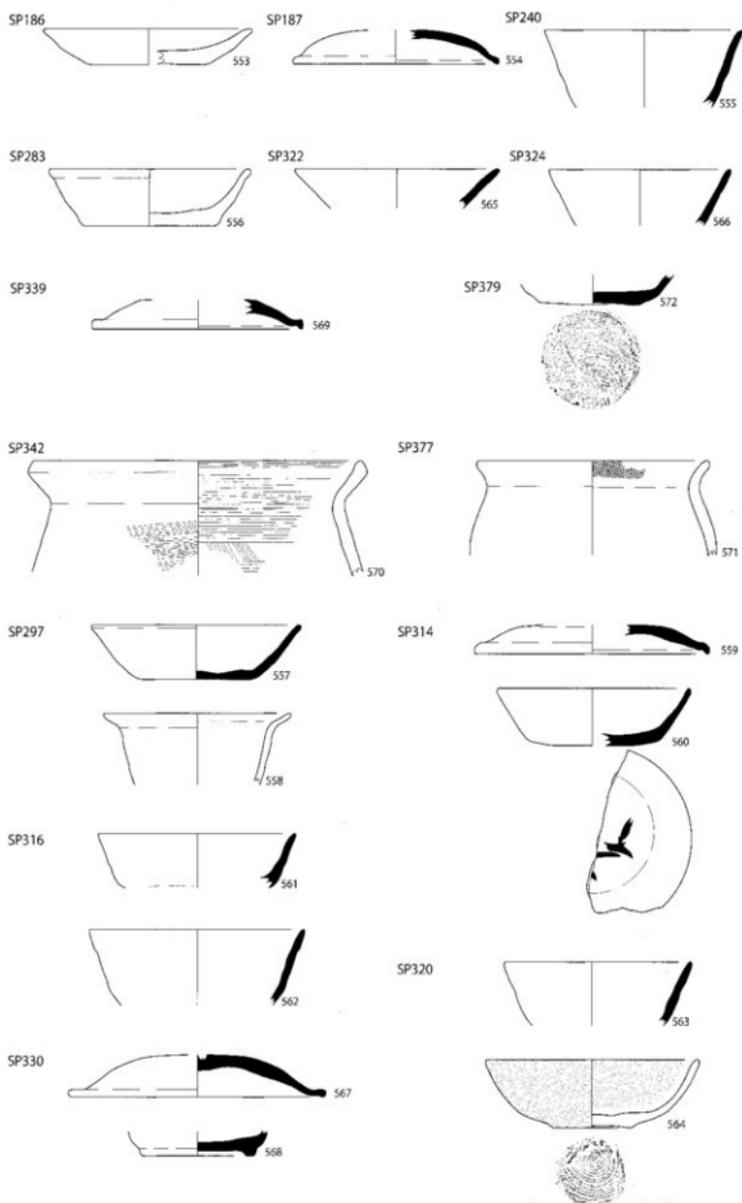


第 76 图 I 区遗物实测图 25

SP9(529 ~ 533) SP43(534) SP49(535) SP51(536) SP61(537.538)

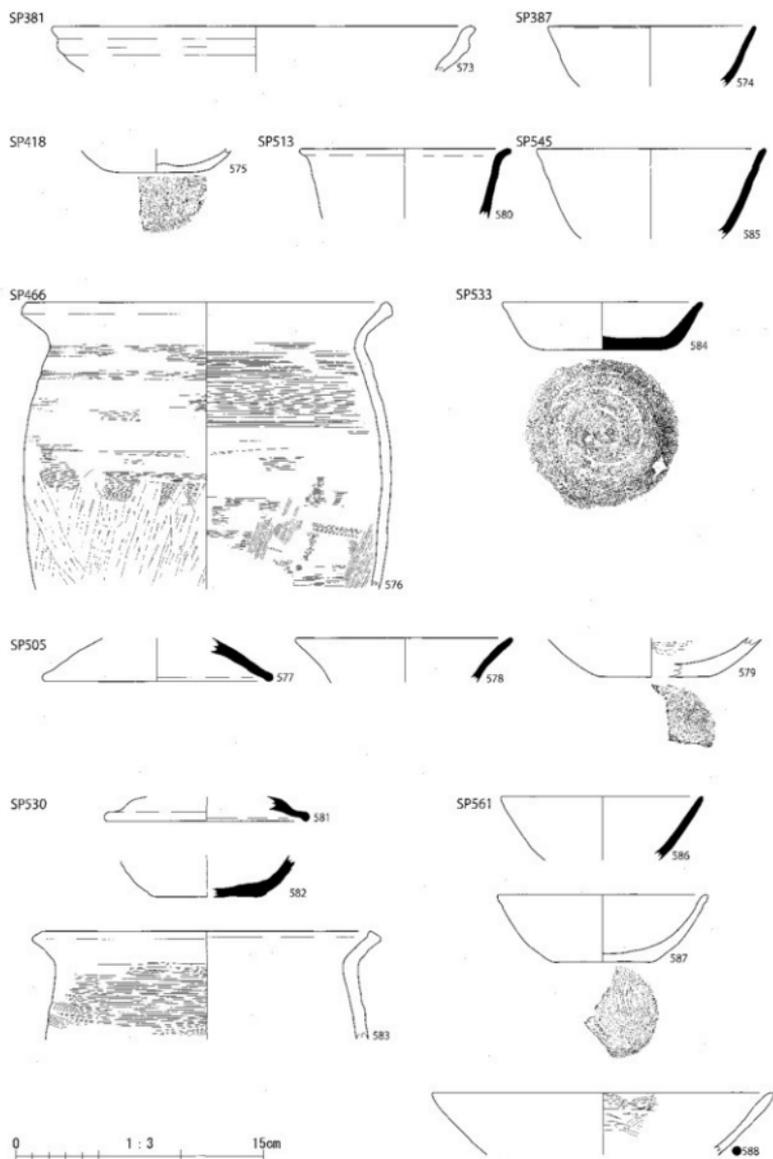
SP63(539.540) SP71(541) SP77(542) SP83(543 ~ 545)

SP122(546.547) SP124(548) SP129(549) SP131(550) SP147(551) SP161(552)



第 77 图 I 区遺物実測図 26

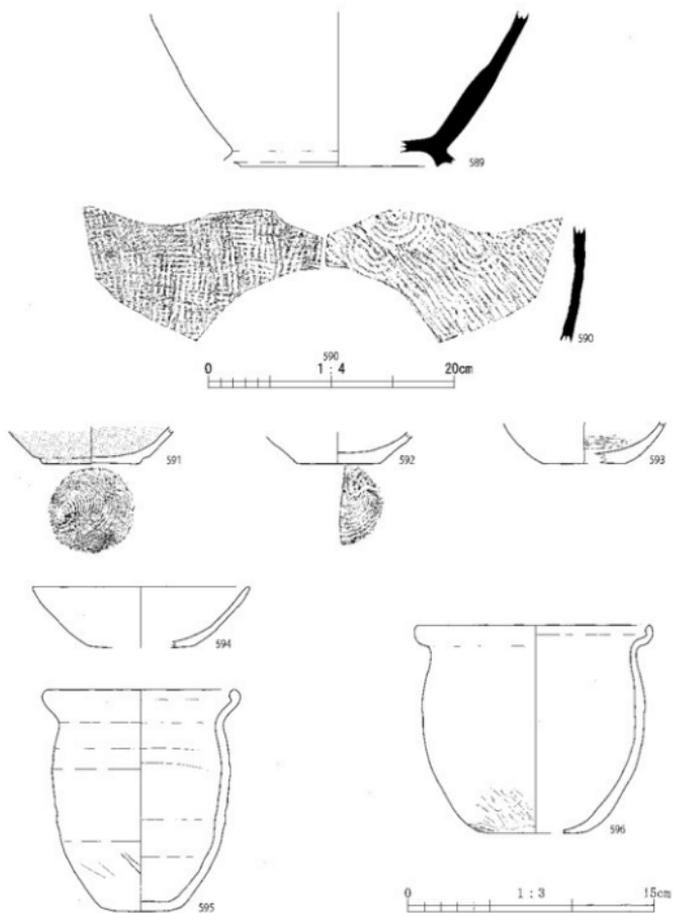
SP186(553) SP187(554) SP240(555) SP283(556) SP297(557.558) SP314(559.560) SP316(561.562)
 SP320(563.564) SP322(565) SP324(566) SP330(567.568) SP339(569) SP342(570) SP377(571)
 SP379(572)



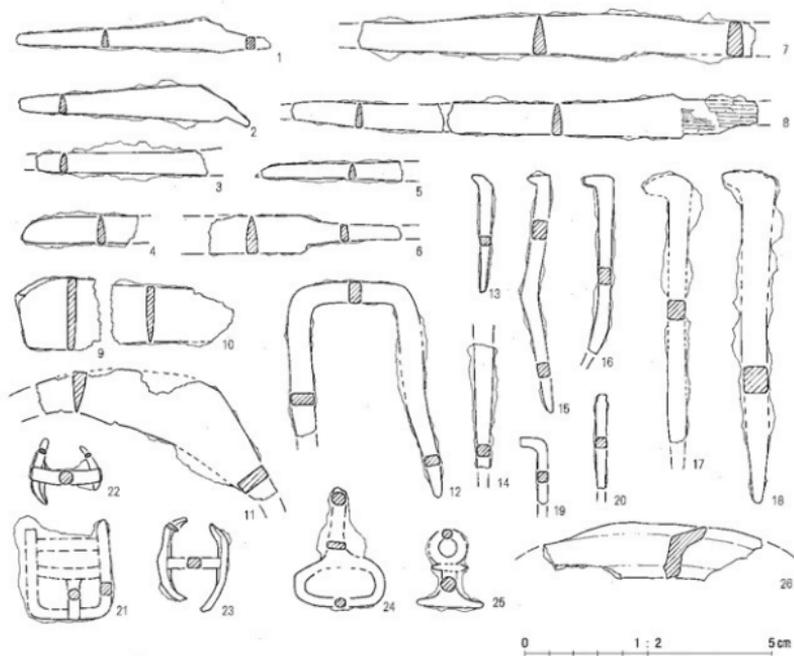
第 78 图 I 区遺物実測図 27

SP381(573) SP387(574) SP418(575) SP466(576) SP505(577 ~ 579)

SP513(580) SP530(581 ~ 583) SP533(584) SP545(585) SP561(586 ~ 588)

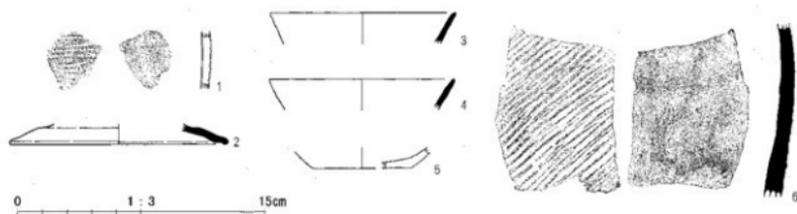


第 79 图 I 区遗物实测图 28
SX180(589 ~ 596)



第80図 金属器実測図

SI384(2.3.5.13.14.18) SI452(20) SK86(23) SD225(7.8.22) P505(12)
 SD14(19) 包含層(1.4.6.9~11.15~17.24~26) 試掘トレンチ(21)



第81図 II区遺物実測図

盛土(1) 包含層(2~6)

遺物觀察表

第9表 遺物観察表

番号	遺物名	種類・種類	法量 ()は長さ、■は該当	残存率	色 調	焼成・胎土	調整・器形等の特徴	備考
1	SI102	須恵器 蓋	つまみ縁一 脚高さ1.4cm 口縁径(11.6cm)	5%	外側 灰(7.5Y6/7) 内側 緑黄(N9/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナシ調整。	
2	SI102	須恵器 杯	口縁径(14.0cm) 高さ3.0cm 底径(8.1cm)	5%	外側 灰(N9/0/0) 内側 灰(N9/0/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナシ調整。	
3	SI102	須恵器 杯B	口縁径(12.7cm) 高さ3.2cm 底径(8.2cm)	50%	外側 オリーブ灰(SGY5/1) 内側 オリーブ灰(SGY6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナシ調整。 底部糸切り磨し。	
4	SI102	須恵器 蓋	口縁径一 脚高さ4.8cm 底径一	10%	外側 灰(N9/0/0) 内側 灰(N9/0/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナシ調整。	
5	SI102	須恵器 蓋	口縁径一 脚高さ7.3cm 底径一	5%	外側 灰(N9/0/0) 内側 灰(N9/0/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナシ調整。 外面に突帯が隆る。	
6	SI102	須恵器 蓋	口縁径一 脚高さ6.2cm 底径一	5%	外側 灰(N9/0/0) 内側 灰(N9/0/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナシ調整。 外面に突帯が隆り、突帯下部に耳付。	
7	SI102	須恵器 蓋	口縁径(28.0cm) 脚高さ3.1cm 底径一	5%	外側 灰(N9/0/0) 内側 灰(N9/0/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナシ調整。	
8	SI102	土師器 杯A	口縁径(12.3cm) 高さ1.9cm 底径一	10%	外側 灰(7.5Y6/4) 内側 灰(7.5Y6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナシ調整。 外面・内面に赤彩。	赤彩
9	SI102	土師器 杯A	口縁径(12.8cm) 高さ1.1cm 底径一	100%	外側 灰(7.5Y6/0) 内側 灰(7.5Y6/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナシ調整。 外面・内面に赤彩。	赤彩
10	SI102	土師器 杯A	口縁径(14.2cm) 高さ3.2cm 底径(8.6cm)	10%	外側 灰(7.5Y6/4) 内側 灰(7.5Y6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナシ調整。 底部糸切り磨し。	
11	SI102	土師器 杯A	口縁径(17.0cm) 高さ3.5cm 底径(9.0cm)	70%	外側 明黄(10YR7/6) 内側 明黄(10YR7/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナシ調整。 底部糸切り磨し。	
12	SI102	土師器 杯A	口縁径(13.4cm) 高さ3.5cm 底径(8.2cm)	20%	外側 灰(7.5Y6/4) 内側 灰(7.5Y6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナシ調整。 底部糸切り磨し。外面・内面に赤彩、黒付帯。	赤彩
13	SI102	土師器 杯A	口縁径一 高さ2.3cm 底径(8.4cm)	20%	外側 黄(2.5Y6/3) 内側 黄(2.5Y6/3)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナシ調整。 底部糸切り磨し。	
14	SI102	土師器 杯A	口縁径一 高さ2.0cm 底径(6.0cm)	5%	外側 灰(7.5Y6/4) 内側 灰(7.5Y6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナシ調整。 底部糸切り磨し。	
15	SI102	土師器 杯A	口縁径一 高さ3.2cm 底径(5.6cm)	10%	外側 灰(7.5Y6/4) 内側 灰(7.5Y6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナシ調整。 底部糸切り磨し。外面に赤彩。	遺物10号
16	SI102	土師器 杯	口縁径(11.8cm) 高さ2.5cm 底径一	5%	外側 灰(7.5Y6/4) 内側 灰(7.5Y6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナシ調整。	
17	SI102	土師器 杯	口縁径(12.9cm) 高さ3.3cm 底径一	5%	外側 灰(7.5Y6/4) 内側 灰(7.5Y6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナシ調整。	
18	SI102	土師器 杯	口縁径(13.9cm) 高さ2.5cm 底径一	5%	外側 灰(7.5Y6/4) 内側 灰(7.5Y6/4)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナシ調整。	
19	SI102	土師器 杯	口縁径(12.0cm) 高さ3.5cm 底径一	10%	外側 灰(7.5Y6/4) 内側 灰(7.5Y6/4)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナシ調整。外面に赤彩。	赤彩
20	SI102	土師器 蓋	口縁径(26.5cm) 高さ9.4cm 底径一	10%	外側 灰(7.5Y6/4) 内側 灰(7.5Y6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面ヨコナシ・ハケ調整。外面・内面にナシ調整。	
21	SI102	土師器 碗	口縁径(38.8cm) 高さ7.0cm 底径一	5%	外側 灰(7.5Y6/4) 内側 灰(7.5Y6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナシ・ハケ調整。 口縁部内面にナシ調整。	
22	SI134	須恵器 蓋	つまみ縁一 脚高さ1.8cm 口縁径(12.0cm)	5%	外側 灰(N9/0/0) 内側 灰(N9/0/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともに磨削のため不明。	
23	SI134	須恵器 杯A	口縁径(11.2cm) 高さ1.4cm 底径(5.0cm)	70%	外側 灰白(10Y8/1) 内側 灰白(10Y8/1)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外面・内面ともに磨削のため不明。底部凹 転へつ切り磨し。	
24	SI134	須恵器 杯	口縁径(11.6cm) 高さ2.8cm 底径一	5%	外側 灰白(7.5Y7/1) 内側 灰白(7.5Y7/1)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナシ調整。	
25	SI134	須恵器 蓋	口縁径(21.0cm) 高さ1.3cm 底径一	5%	外側 灰(GY4/1) 内側 灰(GY4/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナシ調整。	
26	SI134	須恵器 蓋	口縁径一 脚高さ6.8cm 底径一	5%	外側 オリーブ灰(7.5Y6/3) 内側 灰白(7.5Y6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面タキナ調整。内面タキナ・カキ目調整。 外面に自然紋。	
27	SI292	須恵器 蓋	つまみ縁一 脚高さ0.9cm 口縁径一	5%	外側 灰(7.5Y6/7) 内側 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナシ調整。外面に磨帯。	磨帯土器
28	SI292	須恵器 杯A	口縁径(11.0cm) 高さ2.3cm 底径(8.2cm)	10%	外側 灰(10Y8/1) 内側 灰(10Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナシ調整。 底部凹転へつ切り磨し。	
29	SI292	須恵器 杯A	口縁径(12.1cm) 高さ2.9cm 底径(8.4cm)	30%	外側 灰(7.5Y6/1) 内側 灰(7.5Y6/1)	焼成 不良 胎土 砂粒多量含む	外面・内面ともにナシ調整。 底部凹転へつ切り磨し。	
30	SI292	須恵器 杯A	口縁径(13.5cm) 高さ3.0cm 底径(7.8cm)	40%	外側 灰白(GY7/1) 内側 灰白(GY7/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面磨削のため不明。内面ナシ調整。底部 凹転へつ切り磨し。底部内面に内面に突帯 が隆り、口縁部には磨帯。	
31	SI292	須恵器 杯B	口縁径一 脚高さ3.0cm 底径(7.0cm)	5%	外側 灰(10Y6/1) 内側 灰(10Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナシ調整。	
32	SI292	須恵器 杯B	口縁径一 脚高さ1.8cm 底径(10.4cm)	10%	外側 灰白(GY7/2) 内側 灰(GY6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナシ調整。底部内面に平 滑な帯(灰(7.5Y6/0)あり(取用後)外面 に自然紋。	転用視

番号	調機名	群種・種別	法量 ()は種元又は換存	残存率	色 調	組成・粘土	調整・器形等の特徴	備考
33	SI292	土師器 杯A	口縁部径12.4cm 器高5.3cm 底径部径—	100%	外面 ぶい・黄褐色(10YR7/3) 内面 ぶい・黄褐色(10YR7/3)	焼成 不良 粘土 砂粒含む	外面・内面ともに摩耗のため不明。 口縁部部に僅かなり。	
34	SI292	土師器 甕	口縁部径(22.6cm) 器高11.7cm 底径部径—	5%	外面 ぶい・黄褐色(10YR7/4) 内面 ぶい・黄褐色(10YR7/4)	焼成 不良 粘土 砂粒含む	外面・内面ともに摩耗のため不明。 口縁部部が内傾。	
35	SI292	土師器 罎	口縁部径(38.3cm) 器高6.0cm 底径部径—	10%	外面 灰(N4/0) 内面 灰(N5/0)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面ヨコナデ・ヨコハケ調整。内面ヨコナデ調整。口縁部部外周に凹線が一帯走る。	
36	SI293	須恵器 罎	つまみ径2.7cm 器高2.6cm 口縁部径—	40%	外面 灰(10Y5/1) 内面 灰(10Y5/1)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面部転へう割り顕著。内面ナデ調整。規定塗つまみ。	
37	SI293	須恵器 罎	つまみ径 器高1.6cm 口縁部径(14.6cm)	5%	外面 灰(10Y6/1) 内面 灰(10Y6/1)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。	
38	SI293	須恵器 杯A	口縁部径11.0cm 器高5.5cm 底径部径7.0cm	80%	外面 灰白(7.5Y7/2) 内面 灰白(7.5Y7/2)	焼成 不良 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。 底部凹転へう切り顕し。	
39	SI293	須恵器 杯A	口縁部径— 器高4.8cm 底径部径6.4cm	10%	外面 灰(7.5Y6/1) 内面 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 粘土 砂粒少量含む	底部凹転へう切り顕し。	
40	SI293	須恵器 杯B	口縁部径(11.0cm) 器高4.8cm 底径部径6.4cm	70%	外面 灰白(7.5Y7/2) 内面 灰白(7.5Y7/2)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。 底部へう切り顕し。	
41	SI293	須恵器 杯B	口縁部径(12.6cm) 器高5.3cm 底径部径7.3cm	40%	外面 灰(10Y4/1) 内面 灰(10Y4/1)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。	
42	SI293	須恵器 杯	口縁部径(12.0cm) 器高3.3cm 底径部径—	5%	外面 灰(7.5Y4/1) 内面 灰オリーブ(7.5Y6/2)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。	
43	SI292	土師器 杯A	口縁部径— 器高2.2cm 底径部径6.0cm	10%	外面 ぶい・青褐色(10YR7/4) 内面 灰白(10YR2/4)	焼成 不良 粘土 砂粒含む	外面・内面ともに摩耗のため不明。 底部凹転へう切り顕し。	
44	SI293	土師器 罎	口縁部径(19.6cm) 器高5.9cm 底径部径—	30%	外面 ぶい・黄褐色(10YR7/4) 内面 ぶい・黄褐色(10YR7/4)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにヨコナデ・ヨコハケ調整。	
45	SI293	土師器 罎	口縁部径(24.0cm) 器高3.7cm 底径部径—	5%	外面 ぶい・黄褐色(10YR7/4) 内面 ぶい・黄褐色(10YR7/4)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。	
46	SI293	土師器 罎	口縁部径(24.0cm) 器高5.5cm 底径部径—	5%	外面 浅黄褐色(10YR8/4) 内面 浅黄褐色(10YR8/4)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面ナデ調整。内面ナデ調整。	
47	SI293	土師器 杯A	口縁部径(20.0cm) 器高12.8cm 底径部径—	10%	外面 ぶい・黄褐色(10YR7/3) 内面 ぶい・黄褐色(10YR7/3)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにヨコナデ・ハケ調整。	
48	SI293	土師器 罎	口縁部径(22.0cm) 器高10.4cm 底径部径—	10%	外面 ぶい・黄褐色(10YR7/3) 内面 ぶい・黄褐色(10YR7/3)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにヨコナデ・ハケ調整。 体部外面へう割り顕著。	
49	SI293	土師器 罎	口縁部径(20.0cm) 器高20.6cm 底径部径—	20%	外面 ぶい・黄褐色(10YR6/3) 内面 ぶい・黄褐色(10YR6/3)	焼成 良好 粘土 砂粒少量含む	外面ヨコナデ・ヨコハケ・タタキ調整。 内面当て具用。須恵器調整と同技法。	
50	SI293	土師器 罎	口縁部径(21.0cm) 器高13.7cm 底径部径—	30%	外面 ぶい・黄褐色(10YR7/3) 内面 ぶい・黄褐色(10YR7/3)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにヨコナデ・ハケ調整。	
51	SI293	土師器 罎	口縁部径(22.0cm) 器高15.1cm 底径部径—	20%	外面 ぶい・黄褐色(10YR7/3) 内面 ぶい・黄褐色(10YR7/3)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにヨコナデ・ハケ調整。 体部外面へう割り顕著。体部内面ナメハケ調整。	
52	SI293	土師器 罎	口縁部径(39.0cm) 器高13.6cm 底径部径(15.0cm)	90%	外面 ぶい・黄褐色(10YR6/3) 内面 ぶい・黄褐色(10YR6/3)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにヨコナデ・ハケ調整。 体部下半外面へう割り顕著。	
53	SI293	土師器 羽口	長さ9.1cm 器高6.0cm 孔径2.1cm	-	外面 オリーブ系(7.5Y3/1) 内面 —	焼成 良好 粘土 砂粒多量含む	外面は亀裂が多く僅かに変色し。焼分付着。	
54	SI359	須恵器 杯B	口縁部径(10.0cm) 器高4.5cm 底径部径(6.3cm)	50%	外面 灰(N5/0) 内面 灰(N5/0)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともに回転ナデ調整。	
55	SI359	土師器 羽口	長さ9.3cm 器高5.7cm 孔径1.9cm	-	外面 黄褐色(10YR3/1) 内面 黄褐色(10YR3/1)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面に焼分付着。	
56	SI360	須恵器 杯	口縁部径(11.8cm) 器高2.5cm 底径部径—	5%	外面 灰(7.5Y5/1) 内面 灰(7.5Y5/1)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。	
57	SI360	土師器 罎	口縁部径(12.0cm) 器高3.3cm 底径部径—	5%	外面 灰黄褐色(10YR4/2) 内面 灰黄褐色(10YR4/2)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。	
58	SI360	土師器 罎	口縁部径(21.3cm) 器高3.2cm 底径部径—	5%	外面 ぶい・黄褐色(10YR7/4) 内面 ぶい・黄褐色(10YR7/4)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにヨコナデ・ハケ調整。	
59	SI384	須恵器 罎	つまみ径— 器高2.2cm 口縁部径(10.8cm)	5%	外面 灰(7.5Y6/1) 内面 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともに摩耗のため不明。	
60	SI384	須恵器 罎	つまみ径— 器高1.3cm 口縁部径(12.0cm)	5%	外面 灰(7.5Y4/1) 内面 灰(7.5Y4/1)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともに摩耗のため不明。	
61	SI384	須恵器 罎	つまみ径— 器高1.6cm 口縁部径(14.0cm)	5%	外面 灰(7.5Y6/1) 内面 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともに摩耗のため不明。 内面が平滑(転用後)。	転用後
62	SI384	須恵器 罎	つまみ径— 器高1.2cm 口縁部径(14.0cm)	10%	外面 灰(7.5Y6/1) 内面 灰(7.5Y6/1)	焼成 不良 粘土 砂粒含む	外面・内面ともに摩耗のため不明。	
63	SI384	須恵器 杯B	口縁部径— 器高1.4cm 底径部径(6.3cm)	5%	外面 灰(N5/0) 内面 灰(N5/0)	焼成 良好 粘土 砂粒多量含む	外面・内面ともにナデ調整。	
64	SI384	須恵器 杯A	口縁部径14.0cm 器高3.5cm 底径部径6.0cm	90%	外面 灰白(7.5Y7/1) 内面 灰白(7.5Y7/1)	焼成 不良 粘土 砂粒含む	外面・内面ヨコナデ調整。 底部凹転へう切り顕し。	
65	SI384	須恵器 杯	口縁部径(11.0cm) 器高2.7cm 底径部径—	5%	外面 浅黄(7.5Y7/3) 内面 浅黄(7.5Y7/3)	焼成 不良 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。	

番号	遺構名	種類・種類	法量 ()は單元、※は残存	残存率	色 調	構成・地土	調整・器形等の特徴	備考
66	SI384	須恵器 杯	口縁部径(12.0cm) 器高≒2.8cm 底径部径(6.8cm)	5%	外周 灰(7.5Y6/1) 内周 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内周ともにナズ調整。	
67	SI384	須恵器 短直器	口縁部径(17.0cm) 器高≒5.8cm 底径部径(6.8cm)	10%	外周 灰(7.5Y4/1) 内周 灰(7.5Y4/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内周ともにナズ調整。 外周に部分的に自然肌。	
68	SI384	土師器 杯A	口縁部径(11.0cm) 器高≒1.6cm 底径部径(4.5cm)	10%	外周 橙(7.5YR6/6) 内周 橙(7.5YR6/6)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外周・内周ともに厚肌のため不明。 底径部が磨し。外周に自然肌。	赤彩
69	SI384	土師器 杯A	口縁部径(11.0cm) 器高≒1.7cm 底径部径(5.0cm)	5%	外周 明黄緑(10YR7/6) 内周 明黄緑(10YR7/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内周ともに厚肌のため不明。	
70	SI381	土師器 杯A	口縁部径(11.0cm) 器高≒1.7cm 底径部径(5.0cm)	5%	外周 明黄緑(10YR6/6) 内周 明黄緑(10YR6/6)	焼成 良好 胎土 砂粒少量含む	外周・内周ともにナズ調整。 底径部が磨し。内周に自然肌。	黒色土器
71	SI381	土師器 杯A	口縁部径(11.0cm) 器高≒2.0cm 底径部径(5.0cm)	10%	外周 に灰黄緑(10YR4/3) 内周 に灰黄緑(10YR4/3)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外周・内周ともにナズ調整。 底径部が磨し。	
72	SI381	土師器 杯A	口縁部径(11.0cm) 器高≒2.1cm 底径部径(5.0cm)	10%	外周 黄緑(10YR5/6) 内周 黄緑(10YR5/6)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外周・内周ともにナズ調整。 底径部が磨し。	
73	SI384	土師器 杯A	口縁部径(11.0cm) 器高≒2.9cm 底径部径(6.6cm)	40%	外周 に灰黄緑(10YR6/3) 内周 に灰黄緑(10YR6/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内周ナズ調整。底径部が磨し。	
74	SI384	土師器 杯A	口縁部径(11.0cm) 器高≒2.7cm 底径部径(6.0cm)	10%	外周 橙(7.5YR7/6) 内周 橙(7.5YR7/6)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外周・内周ともに厚肌のため不明。 底径部が磨し。	
75	SI384	土師器 杯A	口縁部径(11.0cm) 器高≒2.3cm 底径部径(5.0cm)	10%	外周 に灰黄緑(10YR5/4) 内周 に灰黄緑(10YR5/4)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外周・内周ともにナズ調整。 底径部が磨し。	
76	SI384	土師器 杯A	口縁部径(12.0cm) 器高≒3.9cm 底径部径(4.6cm)	30%	外周 に灰黄緑(10YR7/3) 内周 に灰黄緑(10YR7/3)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外周・内周ともに厚肌のため不明。 底径部が磨し。	
77	SI384	土師器 杯A	口縁部径(12.0cm) 器高≒3.9cm 底径部径(4.6cm)	30%	外周 に灰黄緑(10YR6/3) 内周 に灰黄緑(10YR6/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内周ともにナズ調整。 底径部が磨し。	
78	SI384	土師器 杯A	口縁部径(12.0cm) 器高≒3.9cm 底径部径(4.6cm)	40%	外周 に灰黄緑(7.5YR7/4) 内周 に灰黄緑(7.5YR7/4)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外周・内周ともに厚肌のため不明。 底径部が磨し。	
79	SI384	土師器 杯A	口縁部径(12.0cm) 器高≒3.9cm 底径部径(4.6cm)	60%	外周 明黄(7.5YR5/6) 内周 明黄(7.5YR5/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内周ともにナズ調整。底径部が磨し。 外周・内周に自然肌。	赤彩
80	SI384	土師器 杯A	口縁部径(12.0cm) 器高≒2.5cm 底径部径(6.0cm)	10%	外周 に灰黄(7.5YR5/3) 内周 に灰黄(7.5YR5/3)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外周・内周ともに厚肌のため不明。 底径部が磨し。	
81	SI381	土師器 杯A	口縁部径(13.0cm) 器高≒4.7cm 底径部径(6.4cm)	30%	外周 橙(7.5YR6/6) 内周 橙(7.5YR6/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内周ともにナズ調整。 外周・内周に自然肌。	赤彩
82	SI384	土師器 杯A	口縁部径(11.0cm) 器高≒1.8cm 底径部径(4.1cm)	30%	外周 橙(7.5YR6/6) 内周 橙(7.5YR6/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内周ともにナズ調整。	
83	SI384	土師器 杯A	口縁部径(11.0cm) 器高≒2.6cm 底径部径(5.0cm)	5%	外周 に灰黄緑(10YR6/4) 内周 オリーブ黄(7.5Y3/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周ナズ調整。内周黒色土器ナズ調整。	黒色土器
84	SI384	土師器 杯A	口縁部径(12.0cm) 器高≒2.0cm 底径部径(5.0cm)	5%	外周 橙(7.5YR7/6) 内周 橙(7.5YR7/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内周ともにナズ調整。	
85	SI384	土師器 杯A	口縁部径(12.0cm) 器高≒2.5cm 底径部径(5.0cm)	5%	外周 黄緑(7.5YR4/2) 内周 黄緑(7.5YR4/2)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内周ともにナズ調整。	
86	SI384	土師器 杯A	口縁部径(13.0cm) 器高≒2.4cm 底径部径(5.0cm)	10%	外周 明黄(7.5YR5/6) 内周 明黄(7.5YR5/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内周ともにナズ調整。 外周・内周に自然肌。	赤彩
87	SI384	土師器 杯A	口縁部径(13.0cm) 器高≒2.9cm 底径部径(5.0cm)	10%	外周 明黄(7.5YR5/6) 内周 明黄(7.5YR5/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内周ともにナズ調整。 外周・内周に自然肌。	赤彩
88	SI384	土師器 杯A	口縁部径(13.0cm) 器高≒3.3cm 底径部径(5.0cm)	10%	外周 明黄(7.5YR5/6) 内周 明黄(7.5YR5/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内周ともにナズ調整。	
89	SI384	土師器 杯A	口縁部径(12.0cm) 器高≒4.5cm 底径部径(5.0cm)	5%	外周 に灰黄(7.5YR5/4) 内周 黄(7.5Y2/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周ナズ調整。内周黒色土器ナズ調整。	黒色土器
90	SI384	土師器 杯A	口縁部径(13.0cm) 器高≒3.3cm 底径部径(5.0cm)	5%	外周 に灰黄緑(10YR6/3) 内周 に灰黄緑(10YR6/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内周ともにナズ調整。	
91	SI384	土師器 杯A	口縁部径(13.0cm) 器高≒4.0cm 底径部径(5.0cm)	10%	外周 に灰黄(7.5YR6/4) 内周 に灰黄(7.5YR6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内周ともにナズ調整。	
92	SI384	土師器 杯A	口縁部径(16.0cm) 器高≒4.0cm 底径部径(5.0cm)	10%	外周 明黄(7.5YR5/6) 内周 明黄(7.5YR5/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内周ともにナズ調整。	
93	SI384	土師器 杯A	口縁部径(20.0cm) 器高≒4.2cm 底径部径(5.0cm)	5%	外周 に灰黄緑(10YR6/4) 内周 に灰黄緑(10YR6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内周ともにナズ調整。 口縁部が内縁。	
94	SI384	土師器 杯A	口縁部径(20.0cm) 器高≒3.0cm 底径部径(5.0cm)	5%	外周 に灰黄緑(10YR6/4) 内周 に灰黄緑(10YR6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内周ともにナズ調整。 口縁部が若干内縁。	
95	SI384	土師器 杯A	口縁部径(20.8cm) 器高≒3.8cm 底径部径(5.0cm)	20%	外周 に灰黄緑(10YR6/4) 内周 に灰黄緑(10YR6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内周ともにナズ・ハケ調整。 口縁部が内縁。	
96	SI384	土師器 杯A	口縁部径(23.0cm) 器高≒4.8cm 底径部径(5.0cm)	5%	外周 に灰黄緑(10YR6/4) 内周 に灰黄緑(10YR6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内周ともにナズ調整。 口縁部が若干内縁。	
97	SI384	土師器 杯A	口縁部径(23.4cm) 器高≒3.0cm 底径部径(5.0cm)	10%	外周 に灰黄(10YR6/3) 内周 に灰黄緑(10YR6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周ナズ調整。内周ナズ・ハケ調整。 口縁部が内縁。	
98	SI384	土師器 杯A	口縁部径(24.0cm) 器高≒3.8cm 底径部径(5.0cm)	5%	外周 に灰黄(10YR6/4) 内周 に灰黄緑(10YR6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内周ともにナズ調整。 口縁部が若干内縁。	

番号	遺構名	種類・種類	測量 ()は復元、又は推定	残存率	色	調	焼成・釉土	調整・器形等の特徴	備考
99	SI384	土師器	口縁厚径(22.0cm) 器高2.4cm 底径推定	5%	外壁 灰(7.5Y6/4) 内面 灰(7.5Y6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁・内面ともにナズ調整。 口縁調整の内肌。		
100	SI384	土師器	口縁厚径(12.0cm) 器高3.7cm 底径推定	5%	外壁 灰(7.5Y6/3) 内面 灰(7.5Y6/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁・内面ともにナズ調整。 口縁調整が若干内肌。		
101	SI384	土師器	口縁厚径(24.0cm) 器高6.9cm 底径推定	5%	外壁 明黄焼(10YR6/6) 内面 明黄焼(10YR6/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁ヨコナデ・ハケ調整。内面ナメハケ調整後にヨコナデ調整。		
102	SI384	土師器	口縁厚径(12.0cm) 器高3.0cm 底径推定	5%	外壁 灰(7.5Y6/3) 内面 灰(7.5Y6/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁・内面ともにナズ調整。 口縁調整が若干内肌。		
103	SI384	土師器	口縁厚径(23.8cm) 器高5.5cm 底径推定	5%	外壁 灰(7.5Y6/4) 内面 灰(7.5Y6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁・内面ともにヨコナデ調整。 口縁調整内面に工具肌。		
104	SI384	土師器	口縁厚径(13.0cm) 器高3.2cm 底径推定	5%	外壁 灰(7.5Y6/3) 内面 灰(7.5Y6/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁・内面ともにナズ調整。 口縁調整が内肌。		
105	SI384	土師器	口縁厚径(23.8cm) 器高4.9cm 底径推定	10%	外壁 灰(7.5Y6/4) 内面 灰(7.5Y6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁・内面ともにヨコナデ調整。		
106	SI384	土師器	口縁厚径(13.0cm) 器高3.5cm 底径推定	10%	外壁 灰(7.5Y6/3) 内面 灰(7.5Y6/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁・内面ともにナズ調整。		
107	SI384	土師器	口縁厚径(23.8cm) 器高3.3cm 底径推定	5%	外壁 灰(7.5Y6/4) 内面 灰(7.5Y6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁ヨコナデ・ハケ調整。内面ヨコナデ調整。口縁調整内面に筋り返し。		
108	SI384	土師器	口縁厚径(30.0cm) 器高3.1cm 底径推定	5%	外壁 灰(7.5Y6/4) 内面 灰(7.5Y6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁・内面ともにヨコナデ調整。 口縁調整内面に筋り返し。		
109	SI384	土師器	口縁厚径(31.0cm) 器高5.4cm 底径推定	5%	外壁 灰(7.5Y6/4) 内面 灰(7.5Y6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁・内面ともにナズ調整。口縁調整内面外肌。		
110	SI384	土師器 小壺	口縁厚径— 器高7.0cm 底径推定(9.0cm)	40%	外壁 灰(7.5Y6/3) 内面 灰(7.5Y6/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁・内面ナズ調整。底厚調整のため不明。		
111	SI384	土師器	口縁厚径— 器高7.2cm 底径推定—	5%	外壁 灰黄焼(10YR4/2) 内面 灰黄焼(10YR4/2)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁・内面ともにナズ調整。		
112	SI385	須恵器 壺	口縁厚径— 器高1.7cm 底径推定(1.4cm)	20%	外壁 灰(10Y4/1) 内面 灰(10Y4/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁・内面ともに回転ナズ調整。		
113	SI385	須恵器 杯	口縁厚径(14.0cm) 器高5.6cm 底径推定—	5%	外壁 灰(7.5Y6/1) 内面 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁・内面ともに回転ナズ調整。		
114	SI385	土師器	口縁厚径(22.2cm) 器高7.4cm 底径推定—	20%	外壁 黄(7.5Y6/6) 内面 黄(7.5Y6/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁ヨコナデ・ハケ調整。内面ハケ調整後にナズ調整。		
115	SI385	土師器 杯A	口縁厚径— 器高1.2cm 底径推定(9.0cm)	5%	外壁 灰(7.5Y6/1) 内面 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁ナズ調整。内面黒色・ガク調整。底厚筋切り無し。外面に磨き。底面に磨き「+」又は「X」。	墨書土師 黒色土師	
116	SI429	土師器 壺	口縁厚径(11.7cm) 器高3.8cm 底径推定—	5%	外壁 灰(7.5Y6/3) 内面 灰(7.5Y6/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁・内面ともにナズ調整。		
117	SI429	土師器 壺	口縁厚径(12.5cm) 器高3.6cm 底径推定—	20%	外壁 黄(7.5Y6/6) 内面 黄(7.5Y6/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁・内面ともにヨコナデ・ハケ調整。		
118	SI429	土師器 壺	口縁厚径— 器高3.1cm 底径推定(9.2cm)	5%	外壁 灰(7.5Y6/4) 内面 灰黄焼(10YR5/2)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁ヘラ削り調整。内面ナズ調整。底厚調整のため不明。		
119	SI452	須恵器 壺	口縁厚径— 器高2.5cm 底径推定(11.7cm)	100%	外壁 灰(7.5Y6/1) 内面 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁回転ナズ・ヘラ削り調整。内面回転ナズ調整。磨き付まつま。外壁に自然肌。		
120	SI452	須恵器 壺	口縁厚径— 器高2.1cm 器高3.3cm 底径推定(12.4cm)	90%	外壁 灰白(7.5Y7/1) 内面 灰白(7.5Y7/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁回転ナズ・ヘラ削り調整。内面ナズ調整。磨き付まつま。外壁に自然肌。全体に大きく磨き。		
121	SI452	須恵器 壺	口縁厚径— 器高1.9cm 器高(12.6cm)	100%	外壁 灰(7.5Y6/1) 内面 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁回転ナズ・ヘラ削り調整。内面回転ナズ調整。磨き付まつま。外壁に自然肌。全体に大きく磨き。		
122	SI452	須恵器 杯A	口縁厚径(11.7cm) 器高3.2cm 底径推定(7.1cm)	20%	外壁 灰(7.5Y6/1) 内面 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁・内面ともにナズ調整。底面回転ヘラ削り無し。底面に磨き「+」又は「X」。	墨書土師	
123	SI452	須恵器 杯A	口縁厚径(12.0cm) 器高3.0cm 底径推定(7.4cm)	100%	外壁 灰(7.5Y6/1) 内面 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁・内面ともにナズ調整。底面回転ヘラ削り無し。外壁に磨き。底面に磨き「+」又は「X」。	墨書土師	
124	SI452	須恵器 杯A	口縁厚径(12.6cm) 器高3.2cm 底径推定(7.4cm)	40%	外壁 灰白(10Y8/1) 内面 灰白(10Y8/1)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外壁・内面ともにナズ調整。底面回転ヘラ削り無し。		
125	SI452	須恵器 杯B	口縁厚径(12.0cm) 器高3.6cm 底径推定(7.6cm)	5%	外壁 灰(10Y6/1) 内面 灰(10Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁・内面ともにナズ調整。		
126	SI452	須恵器 短頸壺又は 長頸壺	口縁厚径— 器高5.9cm 底径推定(5.8cm)	60%	外壁 灰(N4/0) 内面 灰(N4/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁・内面ともにナズ調整。		
127	SI452	須恵器 壺	口縁厚径— 器高5.5cm 底径推定—	50%	外壁 灰(7.5Y4/1) 内面 灰(7.5Y4/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁タテ調整。内面当て具肌。口縁調整ヘラ削り無し。内面に自然肌。口縁調整が平らで再反し。全体に磨き付まつま。		
128	SI452	土師器 杯A	口縁厚径(12.5cm) 器高3.6cm 底径推定(6.0cm)	10%	外壁 黄(7.5Y6/6) 内面 黄(7.5Y6/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁・内面ともにナズ調整。底面筋切り無し。外壁・内面に自然肌。底面に黒付まつま。	赤彩	
129	SI452	土師器 壺	口縁厚径— 器高3.0cm 底径推定(7.6cm)	10%	外壁 灰(7.5Y6/3) 内面 灰(7.5Y6/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁ナズ・ヘラ削り調整。内面ハケ調整。底面ヘラ削り無し。外壁・内面に黒付まつま。		
130	SI452	土師器 壺	口縁厚径— 器高3.1cm 底径推定(7.0cm)	40%	外壁 灰(7.5Y6/3) 内面 灰(7.5Y6/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁ヘラ削り調整。内面回転ナズ調整。		
131	SI452	土師器 壺	口縁厚径— 器高4.0cm 底径推定(5.6cm)	30%	外壁 黄黄焼(7.5YR8/4) 内面 黄黄焼(7.5YR8/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁ヘラ削り調整。内面回転ナズ調整。		

番号	漢字名	経理・種類	法量 ()は元量、又は残存	残存率	色 質	構成・地土	調整・経形等の特徴	備考
132	S1452	土師器 甕	口縁径(13.6cm) 器高10.6cm	5%	外底 灰(7.5YR6/0) 内底 橙(7.5YR6/0)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにナメ調整。 口縁部外側に筋。	
133	S1452	土師器 土師碗	口縁径(13.0cm) 器高17.2cm 底径5.2cm	30%	外底 に.5Jの黄褐色(10YR7/3) 内底 に.5Jの黄褐色(10YR7/3)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにナメ調整。	
134	S1452	土師器 土師碗	口縁径(19.0cm) 器高10.0cm 底径5.2cm	30%	外底 に.5Jの黄褐色(10YR6/3) 内底 に.5Jの黄褐色(10YR6/3)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面ヨコナデ・ハケ調整。 内面タテナメ調整後にヨコナメ調整。	
135	S1452	土師器 土師碗	口縁径(12.6cm) 器高17.2cm 底径5.2cm	30%	外底 浅黄(2.5Y7/3) 内底 浅黄(2.5Y7/3)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面ヨコナデ・ハケ調整。 内面タテ・ナメハケ調整後にナメ調整。	
136	S1452	土師器 鉢	口縁径(33.4cm) 器高16.8cm 底径10.2cm	10%	外底 明黄褐色(10YR7/6) 内底 明黄褐色(10YR7/6)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面ナデ・ヨコハケ調整。内面ナメ調整。	
137	S1452	土師器 土師碗	口縁径(38.0cm) 器高19.6cm 底径12.2cm	20%	外底 に.5Jの黄褐色(7.5YR6/4) 内底 に.5Jの黄褐色(7.5YR6/4)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	口縁部外面・外面上部は白磁化ナデ・ヨコハケ調整。 外面下部は白磁化ナメ調整。口縁部内面・外面上部は内底ナメ調整。外面下部は内底ナメ調整。口縁部外底はナメ調整。外面下部は内底ナメ調整。外面下部は内底ナメ調整。	
138	S1452	土師器 土師碗	口縁径(40.0cm) 器高18.3cm 底径10.2cm	40%	外底 に.5Jの黄褐色(10YR7/4) 内底 に.5Jの黄褐色(10YR7/4)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	口縁部外底は白磁化ナデ・ヨコハケ調整。外面下部は内底ナメ調整。口縁部内面は内底ナメ調整。外面下部は内底ナメ調整。	
139	S1452	土師器 土師碗	口縁径(39.8cm) 器高17.2cm 底径10.2cm	40%	外底 に.5Jの黄褐色(10YR7/4) 内底 に.5Jの黄褐色(10YR7/4)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	口縁部外底は白磁化ナデ・ヨコハケ調整。外面下部は内底ナメ調整。口縁部内面は内底ナメ調整。外面下部は内底ナメ調整。	
140	S1452	土師器 土師碗	口縁径(45.2cm) 器高19.3cm 底径10.2cm	10%	外底 に.5Jの黄褐色(10YR7/4) 内底 に.5Jの黄褐色(10YR7/4)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	口縁部外底は白磁化ナデ・ヨコハケ調整。口縁部内面は内底ナメ調整。外面下部は内底ナメ調整。	
141	S1452	石製 砥石	長さ12.4cm 幅4.9cm 厚さ1.1cm	-	裏面 灰(7.5Y5/1) 裏面 灰(7.5Y5/1)	石材 硬質砂岩	表面・裏面ともに使用。表面上部・裏面上部に白磁。裏面中央部に横1.5cmの割裂及び平石状の凹溝。裏面下部に凹溝。長さ45.0cm。	
142	S1491	弥生器 盃	口縁径(12.2cm) 器高11.4cm 底径5.1cm	20%	外底 灰(10Y6/3) 内底 灰(10Y6/3)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともに白磁化ナメ調整。	
143	S1491	弥生器 盃	口縁径(12.2cm) 器高11.4cm 底径5.1cm	5%	外底 灰(10Y6/3) 内底 灰(10Y6/3)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともに白磁化ナメ調整。	
144	S1491	弥生器 杯	口縁径(11.3cm) 器高11.3cm 底径5.1cm	10%	外底 灰(10Y6/3) 内底 灰(10Y6/3)	焼成 良好 粘土 砂粒多量含む	外面・内面ともにナメ調整。	
145	S1491	弥生器 杯	口縁径(11.3cm) 器高11.3cm 底径5.1cm	100%	外底 灰(7.5Y5/1) 内底 灰(7.5Y5/1)	焼成 良好 粘土 砂粒多量含む	外面・内面ともにナメ調整。底部は白磁化ナメ調整。口縁部は内底ナメ調整。口縁部は内底ナメ調整。口縁部は内底ナメ調整。	重箱土器
146	S1491	土師器 甕	口縁径(23.8cm) 器高19.3cm 底径10.2cm	5%	外底 橙(7.5YR6/0) 内底 橙(7.5YR6/0)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにナメ調整。 口縁部が外肌。	
147	S1560	土師器 土師碗	口縁径(13.0cm) 器高17.0cm 底径5.2cm	5%	外底 橙(7.5YR6/0) 内底 橙(7.5YR6/0)	焼成 不良 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにナメ調整。口縁部は折り返し。外面に筋あり。口縁部が内肌。	
148	S1560	土師器 小甕	口縁径(13.0cm) 器高17.0cm 底径5.2cm	60%	外底 に.5Jの黄褐色(10YR5/3) 内底 に.5Jの黄褐色(10YR5/3)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	口縁部外面・外面上部は内底ナメ調整。外面下部は内底ナメ調整。口縁部内面は内底ナメ調整。口縁部内面は内底ナメ調整。	
149	S1560	土師器 土師碗	口縁径(18.8cm) 器高14.1cm 底径5.2cm	5%	外底 に.5Jの黄褐色(10YR5/4) 内底 に.5Jの黄褐色(10YR5/4)	焼成 良好 粘土 砂粒多量含む	外面・内面ともにヨコナデ・ハケ調整。 口縁部が内肌。	
150	S1560	土師器 甕	口縁径(20.0cm) 器高19.0cm 底径10.2cm	10%	外底 に.5Jの黄褐色(10YR5/4) 内底 に.5Jの黄褐色(10YR5/4)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面ヨコナデ調整。内面ナメ調整。 口縁部が内肌。	
151	S1560	土師器 土師碗	口縁径(20.2cm) 器高18.8cm 底径10.2cm	10%	外底 に.5Jの黄褐色(10YR7/4) 内底 に.5Jの黄褐色(10YR7/4)	焼成 不良 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにナメ調整。 口縁部が内肌。	
152	S1560	土師器 土師碗	口縁径(19.5cm) 器高18.5cm 底径10.2cm	20%	外底 に.5Jの黄褐色(10YR6/4) 内底 に.5Jの黄褐色(10YR6/4)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面上平ヨコハケ調整。下平ナメ調整。 口縁部が内肌。	
153	S1560	石製 砥石	長さ13.6cm 幅3.5cm 厚さ1.4cm	-	裏面 灰(7.5Y4/1) 裏面 灰(7.5Y4/1)	石材 硬質砂岩	表面・裏面・側面を使用。 形状は長方形。長さ11.7cm。	
154	SK11	弥生器 杯	口縁径(11.6cm) 器高11.6cm 底径5.1cm	5%	外底 灰(N5/0) 内底 灰(N5/0)	焼成 良好 粘土 砂粒多量含む	外面・内底・底部はナメ調整。	
155	SK120	土師器 杯	口縁径(11.6cm) 器高11.6cm 底径5.1cm	10%	外底 に.5Jの黄褐色(10YR7/3) 内底 に.5Jの黄褐色(10YR7/3)	焼成 不良 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにナメ調整。 底縁部が内肌。	
156	SK120	土師器 杯	口縁径(11.3cm) 器高11.3cm 底径5.1cm	5%	外底 に.5Jの黄褐色(10YR7/4) 内底 に.5Jの黄褐色(10YR7/4)	焼成 不良 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにナメ調整。	
157	SK120	土師器 杯	口縁径(14.6cm) 器高12.3cm 底径5.2cm	5%	外底 に.5Jの黄褐色(10YR7/4) 内底 に.5Jの黄褐色(10YR7/4)	焼成 不良 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにナメ調整。	
158	SK128	弥生器 盃	口縁径(12.4cm) 器高11.3cm 底径5.1cm	5%	外底 灰(10Y6/3) 内底 灰(10Y6/3)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにナメ調整。	
159	SK128	土師器 杯	口縁径(12.4cm) 器高11.3cm 底径5.1cm	20%	外底 橙(7.5YR6/0) 内底 橙(7.5YR6/0)	焼成 不良 粘土 砂粒含む	外面・内面・底部は厚縁のため不明。	
160	SK128	石製 高脚	長さ4.3cm 幅3.5cm 厚さ0.9cm	90%	裏面 暗灰(N3/0) 裏面 暗灰(N3/0)	石材 硬質粘板岩	表面・側面ともに丁寧に磨削。裏面の凹溝に溝が浅く。表面・裏面・側面ともに、部穴。裏面に石加工の跡の痕跡。長さ36.4cm。	
161	SK132	土師器 土師碗	口縁径(14.4cm) 器高14.9cm 底径5.2cm	10%	外底 浅黄褐色(7.5YR8/4) 内底 浅黄褐色(7.5YR8/4)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにヨコナデ調整。 口縁部が内側に折り返し。	
162	SK133	弥生器 短甕	口縁径(10.4cm) 器高10.3cm 底径5.1cm	5%	外底 灰(N5/0) 内底 灰(N5/0)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにナメ調整。 口縁部が内面。若干厚縁。	
163	SK133	弥生器 双耳甕	口縁径(10.4cm) 器高18.5cm 底径10.4cm	40%	外底 灰(N5/0) 内底 灰(N5/0)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにヨコナデ調整。 口縁部は折返ナメ調整。底部上平ヨコナデ調整。	
164	SK133	土師器 杯	口縁径(13.9cm) 器高14.2cm 底径5.2cm	40%	外底 橙(7.5YR6/0) 内底 橙(7.5YR6/0)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにナメ調整。底部は折り返し。 外面・内面に筋。	赤彩

番号	造機名	種類・種類	法量 () 内は先、外は積存	積存率	色 調	構成・泥土	調整・器形等の特徴	備考
165	SK33	土師器 杯A	口縁部径一 部高≒1.7cm 底径部(6.0cm)	5%	外紫 灰黄(10YR3/1) 内面 黄(7.5Y2/2)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外紫ナズ調整、内面褐色ミガキ調整、底部 糸切り難し。	黒色土器
166	SK33	土師器 杯A	口縁部径(13.6cm) 部高≒1.3cm 底径部(4.8cm)	50%	外紫 明黄褐色(10YR6/6) 内面 明黄褐色(10YR6/6)	焼成 普通 粘土 砂粒含む	外紫・内面ともにナズ調整。 外紫・内面に赤影。	赤影
167	SK33	土師器 杯A	口縁部径(14.4cm) 部高≒1.5cm 底径部(5.4cm)	30%	外紫 灰黄褐色(10YR5/2) 内面 灰黄褐色(10YR5/2)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外紫ナズ調整、内面厚縁のため不明、底部 ヘラ切り難し。	
168	SK33	土師器 杯	口縁部径(15.6cm) 部高≒3.2cm 底径部一	5%	外紫 橙(7.5YR6/6) 内面 橙(7.5YR6/6)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外紫・内面ともにナズ調整。 外紫・内面に赤影。	赤影
169	SK33	土師器 杯	口縁部径(13.2cm) 部高≒3.8cm 底径部一	10%	外紫 橙(7.5YR7/6) 内面 橙(7.5YR7/6)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外紫・内面ともにナズ調整。 外紫・内面に赤影。	赤影
170	SK33	土師器 杯	口縁部径(16.0cm) 部高≒3.6cm 底径部一	5%	外紫 橙(7.5YR7/6) 内面 橙(7.5YR7/6)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外紫・内面ともにナズ調整。 外紫・内面に赤影。	赤影
171	SK33	土師器 杯	口縁部径(16.0cm) 部高≒3.2cm 底径部一	5%	外紫 明黄(7.5YR5/6) 内面 明黄(7.5YR5/6)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外紫・内面ともにナズ調整。	
172	SK60	須恵器 壺	つまみ付一 部高≒1.3cm 口縁部径(11.6cm)	5%	外紫 灰(7.5Y5/1) 内面 灰(7.5Y5/1)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外紫・内面ともにナズ調整。	
173	SK60	土師器 杯A	口縁部径(11.9cm) 部高≒1.2cm 底径部(5.3cm)	90%	外紫 明黄(7.5YR5/8) 内面 明黄(7.5YR5/8)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外紫・内面ともにナズ調整。 底部糸切り難し。	
174	SK69	須恵器 杯	口縁部径(11.0cm) 部高≒1.2cm 底径部一	5%	外紫 灰(10Y6/1) 内面 灰(10Y6/1)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外紫・内面ともにナズ調整。 外紫・内面に赤影。	
175	SK69	土師器 杯A	口縁部径(12.6cm) 部高≒1.0cm 底径部(5.4cm)	40%	外紫 にぶい黄褐色(10YR7/4) 内面 にぶい黄褐色(10YR7/4)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外紫・内面ともにナズ調整。底部糸切り難 し。外面に赤影。	赤影
176	SK69	土師器 杯	口縁部径(11.0cm) 部高≒1.9cm 底径部一	5%	外紫 橙(7.5YR7/6) 内面 橙(7.5YR7/6)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外紫・内面ともにナズ調整。 外紫・内面に赤影。	赤影
177	SK84	須恵器 杯	口縁部径(13.8cm) 部高≒2.1cm 底径部一	5%	外紫 灰ON5/0 内面 灰ON5/0	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外紫・内面ともにナズ調整。	
178	SK84	須恵器 壺	口縁部径一 部高≒3.0cm 底径部一	5%	外紫 灰ON4/0 内面 灰(7.5YR5/1)	焼成 良好 粘土 砂粒多量含む	外紫・内面ともにナズ調整。	
179	SK86	土師器 杯A	口縁部径一 部高≒1.1cm 底径部(5.5cm)	5%	外紫 灰黄褐色(7.5YR8/3) 内面 灰黄褐色(7.5YR8/3)	焼成 不良 粘土 砂粒含む	外紫・内面・底部ともに厚縁のため不明。 外紫・内面に赤影。	赤影
180	SK86	土師器 杯B	口縁部径一 部高≒1.7cm 底径部(5.8cm)	5%	外紫 にぶい橙(7.5YR6/4) 内面 にぶい橙(7.5YR6/4)	焼成 不良 粘土 砂粒含む	外紫・内面・底部ともに厚縁のため不明。 外紫に赤影。	赤影
181	SK97	須恵器 壺	つまみ付一 部高≒1.7cm 口縁部径(12.0cm)	5%	外紫 灰(10Y5/1) 内面 灰(10Y5/1)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外紫・内面ともにナズ調整。	
182	SK97	須恵器 壺	つまみ付一 部高≒2.0cm 口縁部径(13.8cm)	5%	外紫 灰(7.5Y6/1) 内面 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外紫・内面ともにナズ調整。	
183	SK97	須恵器 杯A	口縁部径一 部高≒2.2cm 底径部(4.6cm)	20%	外紫 灰白(10Y7/1) 内面 灰白(10Y7/1)	焼成 不良 粘土 砂粒含む	外紫・内面ともにナズ調整。底部は厚縁のた め不明。	
184	SK97	須恵器 杯	口縁部径(10.8cm) 部高≒3.4cm 底径部一	5%	外紫 灰(10Y6/1) 内面 灰(10Y6/1)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外紫・内面ともにナズ調整。	
185	SK97	須恵器 杯	口縁部径(11.0cm) 部高≒3.8cm 底径部一	5%	外紫 灰(10Y6/1) 内面 灰(10Y6/1)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外紫・内面ともにナズ調整。	
186	SK97	須恵器 杯	口縁部径(11.8cm) 部高≒2.5cm 底径部一	5%	外紫 灰ON5/0 内面 灰ON5/0	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外紫・内面ともにナズ調整。	
187	SK97	須恵器 杯	口縁部径(12.0cm) 部高≒2.7cm 底径部一	5%	外紫 灰(10Y5/1) 内面 灰(10Y5/1)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外紫・内面ともにナズ調整。	
188	SK97	須恵器 杯	口縁部径(12.4cm) 部高≒3.4cm 底径部一	5%	外紫 灰(10Y6/1) 内面 灰(10Y6/1)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外紫・内面ともにナズ調整。	
189	SK97	須恵器 壺	口縁部径(13.0cm) 部高≒5.0cm 底径部一	5%	外紫 灰ON4/0 内面 灰ON4/0	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外紫・内面ともにナズ調整。口縁部部外反。	
190	SK97	土師器 杯A	口縁部径(11.3cm) 部高≒1.3cm 底径部(4.6cm)	50%	外紫 にぶい橙(7.5YR6/4) 内面 にぶい橙(7.5YR6/4)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外紫・内面・底部ともにナズ調整。	
191	SK97	土師器 杯A	口縁部径一 部高≒1.3cm 底径部(5.0cm)	10%	外紫 明黄褐色(10YR7/6) 内面 明黄褐色(10YR7/6)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外紫・内面ともにナズ調整。底部糸切り難 し。外面に赤影。	赤影
192	SK97	土師器 杯A	口縁部径一 部高≒2.3cm 底径部(5.0cm)	10%	外紫 にぶい黄褐色(10YR7/4) 内面 にぶい黄褐色(10YR7/4)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外紫・内面ともにナズ調整。底部糸切り難 し。内面に赤影。	赤影
193	SK97	土師器 杯	口縁部径(11.0cm) 部高≒2.8cm 底径部一	5%	外紫 にぶい黄褐色(10YR7/4) 内面 にぶい黄褐色(10YR7/4)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外紫・内面ともにナズ調整。外面に赤影。	赤影
194	SK97	土師器 杯	口縁部径(14.0cm) 部高≒2.7cm 底径部一	5%	外紫 にぶい黄褐色(10YR7/4) 内面 にぶい黄褐色(10YR7/4)	焼成 不良 粘土 砂粒含む	外紫・内面ともにナズ調整。内面に赤影。	赤影
195	SK97	土師器 杯	口縁部径(14.0cm) 部高≒2.7cm 底径部一	5%	外紫 にぶい黄褐色(10YR7/4) 内面 にぶい黄褐色(10YR7/4)	焼成 不良 粘土 砂粒含む	外紫・内面ともにナズ調整。	
196	SK97	土師器 壺	口縁部径(10.8cm) 部高≒2.7cm 底径部一	5%	外紫 灰黄褐色(10YR5/2) 内面 灰黄褐色(10YR5/2)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外紫・内面ともにナズ調整。	
197	SK97	土師器 壺	口縁部径(12.8cm) 部高≒4.8cm 底径部一	5%	外紫 にぶい黄褐色(10YR6/4) 内面 にぶい黄褐色(10YR6/4)	焼成 不良 粘土 砂粒含む	外紫・内面ともにナズ調整。外面に刺突。	

番号	遺構名	詳細・種類	法量 ()は高さ、※は残存	残存率	色 調	構成・胎土	調整・器形等の特徴	備考
198	SK97	土師器 上野部 器	口縁部径(88.5cm) 総高さ4.7cm 底径1.7cm	5%	外面 にごい黄褐色(10YR7/4) 内面 にごい黄褐色(10YR7/4)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。	
199	SK106	須恵器 双耳罐	口縁部径一 部高15.4cm 底径(5.8cm)	40%	外面 灰(5N5/0) 内面 灰(5N5/0)	焼成 良好 胎土 砂粒多量含む	外面部ナデ調整。内面・底面ともにナデ調整。体部中央付近に耳付。外面に工具痕。内面に造具痕。	
200	SK106	須恵器 壺	口縁部径一 部高21.0cm 底径(5.8cm)	5%	外面 灰(10Y5/3) 内面 灰(10Y5/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。 大器になっかかりとした高台。	
201	SK106	土師器 杯A	口縁部径(13.6cm) 器高4.5cm 底径(1.6cm)	40%	外面 橙(7.5YR6/6) 内面 橙(7.5YR6/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。底面削り跡。外側・内面に赤彩。	赤彩
202	SK106	土師器 杯	口縁部径(13.6cm) 器高2.0cm 底径(1.6cm)	10%	外面 浅黄褐色(10YR8/4) 内面 浅黄褐色(10YR8/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。外面に華書。	華書土器
203	SK106	土師器 壺	口縁部径(24.0cm) 器高21.4cm 底径(1.7cm)	5%	外面 にごい黄褐色(10YR7/4) 内面 にごい黄褐色(10YR7/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。口縁部内面に赤り返し。	
204	SK117	須恵器 壺	つぎみ径一 部高29.2cm 口縁部径(12.0cm)	30%	外面 オリーブ灰(2.5GY6/1) 内面 オリーブ灰(2.5GY6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒多量含む	外面部ナデ・ヘラ削り調整。 内面ナデ調整。	
205	SK117	須恵器 壺	つぎみ径一 部高11.5cm 口縁部径(1.4cm)	5%	外面 オリーブ灰(2.5GY6/1) 内面 オリーブ灰(2.5GY6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。	
206	SK117	須恵器 杯B	口縁部径一 部高11.5cm 底径(0.6cm)	5%	外面 黄(8N3/0) 内面 黄(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面・底面ともにナデ調整。	
207	SK117	須恵器 杯B	口縁部径一 部高11.5cm 底径(0.6cm)	20%	外面 灰(5N5/0) 内面 灰(5N5/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。 底縁部切り跡。	
208	SK117	須恵器 杯	口縁部径(12.2cm) 器高14.9cm 底径(1.6cm)	5%	外面 灰(4N4/0) 内面 灰(5N4/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。	
209	SK117	須恵器 杯	口縁部径(12.2cm) 器高16.0cm 底径(1.6cm)	5%	外面 灰(7.5Y6/1) 内面 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。	
210	SK117	須恵器 杯	口縁部径(12.0cm) 器高12.0cm 底径(1.6cm)	5%	外面 灰(7.5Y6/1) 内面 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。	
211	SK117	須恵器 壺	口縁部径一 部高5.2cm 底径(1.6cm)	5%	外面 灰(5N5/0) 内面 灰(5N5/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面ナデ・タタキ調整。内面当て具痕。	
212	SK117	土師器 杯A	口縁部径一 部高11.5cm 底径(0.8cm)	10%	外面 にごい黄褐色(10YR8/4) 内面 にごい黄褐色(10YR8/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。 底縁ナデ・ハケ調整。	
213	SK117	土師器 杯B	口縁部径一 部高11.5cm 底径(0.8cm)	10%	外面 橙(7.5YR7/6) 内面 橙(7.5YR7/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面・底面は摩耗のため不明。	
214	SK132	須恵器 壺	口縁部径一 部高10.5cm 底径(1.7cm)	5%	外面 灰(5N5/0) 内面 灰(5N5/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面タタキ調整。内面当て具痕。	
215	SK132	須恵器 壺	口縁部径一 部高10.7cm 底径(1.7cm)	5%	外面 灰(10Y5/1) 内面 灰(10Y5/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面タタキ調整。内面当て具痕。	
216	SK132	須恵器 壺	口縁部径一 部高13.5cm 底径(1.7cm)	10%	外面 灰(5N5/0) 内面 灰(5N5/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面タタキ調整。内面当て具痕。	
217	SK132	土師器 杯A	口縁部径(12.3cm) 器高4.6cm 底径(1.8cm)	10%	外面 にごい黄褐色(10YR7/4) 内面 にごい黄褐色(10YR7/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。 底面削り跡。	
218	SK132	土師器 杯A	口縁部径一 部高1.7cm 底径(1.5cm)	10%	外面 橙(7.5YR7/6) 内面 橙(7.5YR7/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面部縁のため不明。外面・内面ともにナデ調整。底面削り跡。	
219	SK132	土師器 杯A	口縁部径一 部高2.2cm 底径(1.6cm)	5%	外面 にごい黄褐色(7.5YR6/4) 内面 にごい黄褐色(7.5YR6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。 底面削り跡。	
220	SK132	土師器 杯	口縁部径(13.8cm) 器高21.0cm 底径(1.6cm)	5%	外面 にごい黄褐色(10YR7/3) 内面 にごい黄褐色(10YR7/3)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。 外面・内面に赤彩。口縁部底面反。	赤彩
221	SK132	土師器 杯	口縁部径(14.0cm) 器高3.6cm 底径(1.6cm)	5%	外面 にごい黄褐色(10YR8/4) 内面 にごい黄褐色(10YR8/4)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。	
222	SK132	土師器 杯	口縁部径(14.9cm) 器高3.5cm 底径(1.6cm)	5%	外面 にごい黄褐色(7.5YR6/4) 内面 にごい黄褐色(7.5YR6/4)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。	
223	SK143	土師器 杯	口縁部径(11.8cm) 器高1.1cm 底径(1.6cm)	5%	外面 黄(10YR4/1) 内面 黄(10YR4/1)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。	
224	SK143	土師器 杯A	口縁部径一 部高11.0cm 底径(1.6cm)	5%	外面 浅黄褐色(10YR8/4) 内面 浅黄褐色(10YR8/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。 底面削り跡のため不明。	
225	SK193	伊奈土師器 (かわらけ)	口縁部径8.7cm 器高1.6cm 底径(1.3cm)	100%	外面 浅黄褐色(10YR8/4) 内面 浅黄褐色(10YR8/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。	中世
226	SK193	伊奈土師器 (かわらけ)	口縁部径9.1cm 器高1.6cm 底径(1.5cm)	100%	外面 灰白(10YR8/2) 内面 灰白(10YR8/2)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。	中世
227	SK193	伊奈土師器 (かわらけ)	口縁部径9.0cm 器高1.9cm 底径(1.5cm)	100%	外面 浅黄褐色(10YR8/3) 内面 浅黄褐色(10YR8/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。	中世
228	SK193	伊奈土師器 (かわらけ)	口縁部径9.3cm 器高1.5cm 底径(1.6cm)	100%	外面 灰白(10YR8/2) 内面 灰白(10YR8/2)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。	中世
229	SK193	須恵器 壺	口縁部径一 部高9.0cm 底径(1.6cm)	5%	外面 灰白(7.5YR/1) 内面 灰白(7.5YR/1)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外面タタキ調整。内面当て具痕。	
230	SK208	土師器 杯	口縁部径(12.0cm) 器高2.7cm 底径(1.6cm)	5%	外面 橙(7.5YR7/6) 内面 橙(7.5YR7/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナデ調整。内面に赤彩。	赤彩

番号	通称名	種類・種類	法量 ()は長さ、■は積存	残存率	色 調	組成・地土	調査・器形等の特徴	備考
231	SK208	十脚器 杯	口縁部径(11.0cm) 器高≒3.4cm 底部径—	5%	外壁 黄(7.5YR6/6) 内面 橙(7.5YR6/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。	
232	SK208	十脚器 盤	口縁部径(24.0cm) 器高≒5cm 底部径—	5%	外壁 明黄緑(10YR6/6) 内面 明黄緑(10YR6/6)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外壁磨耗のため不明、内面コナダ・ハケ調整。	
233	SK261	須恵器 土	つまみ径— 器高≒2.3cm 口縁部径(12.7cm)	5%	外面 灰(N5/0) 内面 灰(N5/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面回転ナズ・ヘラ削り調整、内面回転ナズ調整。	
234	SK261	須恵器 土	つまみ径— 器高≒2.3cm 口縁部径(15.2cm)	10%	外面 灰(10Y6/1) 内面 灰(10Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面回転ナズ・ヘラ削り調整、内面ナズ調整。	
235	SK261	十脚器 杯A	口縁部径— 器高≒2.9cm 底部径(6.0cm)	5%	外面 におい黄(2.5Y6/4) 内面 灰黄緑(10YR6/2)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面磨耗のため不明、内面ナズ調整。	
236	SK261	十脚器 杯B	口縁部径(25.4cm) 器高≒2.9cm 底部径—	5%	外面 におい黄緑(10YR6/4) 内面 におい黄緑(10YR6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにコナダ・ハケ調整。	
237	SK361	須恵器 土	口縁部径(15.7cm) 器高≒1.7cm 底部径(9.4cm)	40%	外面 灰オリブ(7.5Y6/2) 内面 灰オリブ(7.5Y6/2)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整、底部内面が平削(転用型)。	転用型
238	SK237	緑釉陶器 皿	口縁部径(12.0cm) 器高≒1.7cm 底部径—	5%	外面 オリーブ灰(10Y5/2) 内面 オリーブ灰(10Y5/2)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整、磨耗。	緑釉
239	SK430	須恵器 土	口縁部径(25.6cm) 器高≒3.4cm 底部径—	5%	外面 灰(5Y4/1) 内面 オリーブ灰(10Y4/2)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面ハケ調整、内面ナズ調整、内面に自然釉、口縁部縁が平で口縁部が外縁。	
240	SK430	土師器 土	口縁部径(22.0cm) 器高≒3.5cm 底部径—	5%	外面 におい黄緑(10YR7/4) 内面 黒(10YR2/1)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ・ハケ調整、口縁部縁が若干内縁。	
241	SK430	土師器 土	口縁部径(14.0cm) 器高≒4.0cm 底部径—	5%	外面 におい黄緑(10YR6/4) 内面 におい黄緑(10YR6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整、口縁部縁がS字状に外反。	
242	SK460	須恵器 土	つまみ径— 器高≒1.4cm 口縁部径(13.2cm)	3%	外壁 灰(10Y5/1) 内面 灰(10Y5/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁回転ナズ・ヘラ削り調整、内面ナズ調整。	
243	SK460	須恵器 杯A	口縁部径— 器高≒1.2cm 底部径(7.0cm)	10%	外面 灰白(7.5YR/1) 内面 灰白(7.5YR/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・底部ともに磨耗のため不明、内面ナズ調整、外面に僅付。	
244	SK460	土師器 土	口縁部径(22.0cm) 器高≒2.5cm 底部径—	30%	外壁 明黄緑(10YR8/6) 内面 明黄緑(10YR8/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	口縁部外周ヨコナダ・ハケ調整、体部外周へラ削り調整、内面コナダ・ハケ調整、口縁部が外縁。	
245	SD5	須恵器 土	口縁部径— 器高≒4.4cm 底部径—	3%	外壁 灰(7.5Y6/1) 内面 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周ナズ調整、内面回転ナズ調整、外壁に断面三角状の突帯が直る。	
246	SD5	須恵器 杯A	口縁部径— 器高≒3.0cm 底部径(4.3cm)	3%	外壁 橙(5YR6/6) 内面 橙(5YR6/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外壁・内面ともにナズ調整、底部磨耗り磨し。	
247	SD6	須恵器 土	つまみ径— 器高≒1.7cm 口縁部径—	50%	外面 灰(7.5Y4/1) 内面 灰(7.5Y4/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともに回転ナズ調整。	
248	SD6	土師器 杯A	口縁部径— 器高≒2.2cm 底部径≒4.5cm	40%	外壁 橙(4YR5/2) 内面 橙(4YR5/2)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整、底部磨耗り磨し、外面・内面に赤彩。	赤彩
249	SD6	土師器 杯A	口縁部径(11.5cm) 器高≒1.7cm 口縁部径(11.0cm)	40%	外側 灰白(7.5YR8/2) 内面 灰白(7.5YR8/2)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともに磨耗のため不明。	
250	SD14	須恵器 土	つまみ径— 器高≒1.7cm 口縁部径(11.0cm)	10%	外壁 灰(10Y5/1) 内面 灰(10Y5/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面回転ナズ・ヘラ削り調整、内面回転ナズ調整。	
251	SD14	須恵器 土	つまみ径— 器高≒1.9cm 口縁部径(11.4cm)	5%	外壁 灰(7.5Y4/1) 内面 灰(7.5Y4/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面回転ナズ・ヘラ削り調整、内面回転ナズ調整。	
252	SD14	須恵器 土	つまみ径— 器高≒1.7cm 口縁部径(12.6cm)	30%	外面 におい黄緑(10YR6/4) 内面 におい黄緑(10YR6/4)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外面・内面ともに回転ナズ調整。	
253	SD14	須恵器 土	つまみ径— 器高≒2.7cm 口縁部径(12.8cm)	5%	外面 灰(7.5Y6/1) 内面 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面回転ナズ・ヘラ削り調整、内面回転ナズ調整。	
254	SD14	須恵器 土	つまみ径— 器高≒1.4cm 口縁部径(13.0cm)	5%	外壁 灰(10Y5/1) 内面 灰(10Y5/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともに回転ナズ調整、内面が平削(転用型)。	転用型
255	SD14	須恵器 土	つまみ径— 器高≒2.4cm 口縁部径(13.6cm)	5%	外壁 灰(10Y5/1) 内面 灰(10Y5/1)	焼成 不良 胎土 砂粒多量含む	外面回転ナズ・ヘラ削り調整、内面回転ナズ調整。	
256	SD14	須恵器 土	口縁部径(15.0cm) 器高≒2.0cm 底部径—	5%	外壁 灰(7.5Y6/1) 内面 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。	
257	SD14	須恵器 杯A	口縁部径(12.0cm) 器高≒1.7cm 底部径(6.7cm)	5%	外壁 灰白(7.5Y7/2) 内面 灰白(7.5Y7/2)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整、底部回転へラ削り磨し、外面・内面に赤彩。	
258	SD14	須恵器 杯B	口縁部径— 器高≒1.5cm 底部径(7.5cm)	5%	外壁 灰(7.5Y6/1) 内面 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。	
259	SD14	須恵器 杯B	口縁部径— 器高≒2.1cm 底部径(6.9cm)	50%	外壁 灰(7.5Y6/1) 内面 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整、高台に上耳正装。	
260	SD14	十脚器 杯	口縁部径(12.0cm) 器高≒2.6cm 底部径—	5%	外壁 橙(7.5YR7/6) 内面 橙(7.5YR7/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。	
261	SD14	土師器 杯A	口縁部径— 器高≒2.2cm 底部径(4.8cm)	5%	外壁 浅黄緑(7.5YR6/6) 内面 浅黄緑(7.5YR6/6)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外面・内面・底部は磨耗のため不明。	
262	SD14	土師器 杯A	口縁部径— 器高≒2.5cm 底部径(5.0cm)	10%	外壁 橙(7.5YR6/6) 内面 橙(7.5YR6/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整、底部磨耗り磨し、外面・内面に赤彩。	赤彩
263	SD14	土師器 土	口縁部径— 器高≒2.7cm 底部径(5.0cm)	5%	外壁 橙(7.5YR6/6) 内面 橙(7.5YR6/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面へラ削り磨耗、内面ナズ調整、底部へラ調整。	

番号	濃床名	種類・種類	法長 ()は法長、並は残存	残存率	色 調	構成・胎土	調整・器形等の特徴	備考
264	SD14	土埴器 甕	口縁部径(12.1cm) 器高4.0cm 底径0.5cm	5%	外側 靑(5YR8/3) 内側 靑(5YR8/3)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに厚肉のため不明。 口縁部が若干内傾。	
265	SD14	土埴器 甕	口縁部径(33.6cm) 器高5.0cm 底径1.5cm	5%	外側 明赤靑(6YR5/6) 内側 明赤靑(6YR5/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともにヨコナデ・ハケ調整。 口縁部が外傾。	
266	SD14	土埴器 甕	口縁部径(34.6cm) 器高3.0cm 底径0.5cm	5%	外側 靑(5YR8/3) 内側 靑(5YR8/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともにヨコナデ調整。 口縁部が外傾。	
267	SD14	土埴器 甕	口縁部径(34.8cm) 器高4.4cm 底径0.5cm	5%	外側 靑(5YR8/3) 内側 靑(5YR8/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともにヨコナデ調整。 口縁部が外傾。	
268	SD16	須恵器 鉢	口縁部径(10.7cm) 器高2.1cm 底径0.5cm	5%	外側 灰(9N5/0) 内側 灰(9N5/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともにナデ調整。	
269	SD16	須恵器 鉢	口縁部径(11.3cm) 器高2.3cm 底径0.5cm	40%	外側 灰(9N5/0) 内側 灰(9N5/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側ナデ調整。内面ナデ調整。	
270	SD16	須恵器 鉢	口縁部径(14.4cm) 器高4.9cm 底径0.5cm	5%	外側 灰(9N5/0) 内側 灰(9N5/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともにナデ調整。	
271	SD16	須恵器 鉢	口縁部径(15.0cm) 器高3.8cm 底径0.5cm	5%	外側 緑灰(9N3/0) 内側 緑灰(9N3/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともにナデ調整。	
272	SD16	須恵器 鉢	口縁部径(15.0cm) 器高4.0cm 底径0.5cm	5%	外側 灰(9N5/0) 内側 灰(9N5/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに体部タタキ調整。 底部ヨコナデ調整。	
273	SD16	土埴器 鉢	口縁部径(12.4cm) 器高1.0cm 底径0.5cm	30%	外側 靑(7.5YR6/6) 内側 靑(7.5YR6/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともにナデ調整。底部は切り履き。 外側・内面に着色。	赤彩
274	SD16	土埴器 鉢	口縁部径(12.4cm) 器高1.7cm 底径0.5cm	5%	外側 褐灰(10YR4/1) 内側 黒(9N2/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側厚肉のため不明。内面黒色ミガキ調整。	黒色土器
275	SD16	土製瓦 土埴器	長さ5.8cm 幅4.5cm 厚1.8cm	100%	外側 靑(5YR8/3) 内側 靑(5YR8/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側厚肉のため不明。	
276	SD66	土埴器 鉢	口縁部径(20.0cm) 器高3.6cm 底径0.5cm	5%	外側 靑(5YR8/3) 内側 靑(9N2/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側ナデ調整。内面黒色ミガキ調整。	黒色土器
277	SD67	土埴器 鉢	口縁部径(12.4cm) 器高3.5cm 底径0.5cm	10%	外側 靑(7.5YR6/6) 内側 靑(7.5YR6/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともにナデ調整。	
278	SD87	須恵器 鉢	口縁部径(12.4cm) 器高3.1cm 底径0.5cm	5%	外側 灰(9N5/0) 内側 灰(9N5/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともにナデ調整。	
279	SD109	須恵器 鉢	口縁部径(11.8cm) 器高2.5cm 底径0.5cm	40%	外側 灰(9N5/0) 内側 灰(9N5/0)	焼成 良好 胎土 砂粒多量含む	外側回転ナデ・ヘラ削り調整。内面回転ナ デ調整。縦直つまみ。	
280	SD109	須恵器 鉢	口縁部径(11.8cm) 器高2.9cm 底径0.5cm	20%	外側 灰白(10Y7/1) 内側 灰白(10Y7/1)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナデ調整。 縦直つまみ。	
281	SD109	須恵器 鉢	口縁部径(11.8cm) 器高2.4cm 底径0.5cm	80%	外側 灰白(10Y7/1) 内側 灰白(10Y7/1)	焼成 不良 胎土 砂粒多量含む	外側・内面ともに回転ナデ調整。 縦直つまみ。	
282	SD109	須恵器 鉢	口縁部径(11.8cm) 器高2.2cm 底径0.5cm	10%	外側 灰(7.5Y6/1) 内側 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒多量含む	外側回転ナデ・ヘラ削り調整。内面回転ナ デ調整。縦直つまみ。外面に着色。	黒彩土器
283	SD109	須恵器 鉢	口縁部径(11.8cm) 器高2.9cm 底径0.5cm	10%	外側 灰白(7.5Y7/1) 内側 灰白(7.5Y7/1)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナデ調整。 外面に着色。	黒彩土器
284	SD109	須恵器 鉢	口縁部径(12.5cm) 器高2.2cm 底径0.5cm	10%	外側 灰白(10Y7/1) 内側 灰白(10Y7/1)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外側回転ナデ・ヘラ削り調整。内面回転ナ デ調整。外面に着色。	黒彩土器
285	SD109	須恵器 鉢	口縁部径(11.3cm) 器高2.4cm 底径0.5cm	10%	外側 灰(10Y6/1) 内側 灰(10Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側回転ナデ・ヘラ削り調整。内面回転ナ デ調整。縦直つまみ。	
286	SD109	須恵器 鉢	口縁部径(11.3cm) 器高2.0cm 底径0.5cm	10%	外側 灰(7.5Y6/1) 内側 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒多量含む	外側・内面ともに回転ナデ調整。底部回転 ヘラ切り履き。	
287	SD109	須恵器 鉢	口縁部径(11.0cm) 器高2.4cm 底径0.5cm	40%	外側 灰(10Y6/1) 内側 灰(10Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナデ調整。底部回転 ヘラ切り履き。底面に着色。	黒彩土器
288	SD109	須恵器 鉢	口縁部径(12.0cm) 器高3.2cm 底径0.8cm	10%	外側 灰白(7.5Y7/1) 内側 灰白(7.5Y7/1)	焼成 不良 胎土 砂粒多量含む	外側・内面ともに回転ナデ調整。	
289	SD109	須恵器 鉢	口縁部径(12.5cm) 器高2.8cm 底径0.7cm	5%	外側 灰(10Y6/1) 内側 灰(10Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナデ調整。 口縁部部に底付蓋。	
290	SD109	須恵器 鉢	口縁部径(11.9cm) 器高4.4cm 底径0.7cm	40%	外側 灰(7.5Y5/1) 内側 灰(7.5Y5/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナデ調整。底部回転 ヘラ切り履き。口縁部部に底付蓋。	
291	SD109	須恵器 鉢	口縁部径(12.5cm) 器高3.1cm 底径0.7cm	90%	外側 灰(10Y5/1) 内側 灰(10Y5/1)	焼成 良好 胎土 砂粒多量含む	外側・内面ともに回転ナデ調整。底部回転 ヘラ切り履き。	
292	SD109	須恵器 鉢	口縁部径(11.6cm) 器高2.1cm 底径0.5cm	80%	外側 灰(7.5Y7/1) 内側 灰(7.5Y7/1)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナデ調整。底部回転 ヘラ切り履き。外面に着色。	黒彩土器
293	SD109	須恵器 鉢	口縁部径(12.3cm) 器高2.6cm 底径0.5cm	80%	外側 灰(9N5/0) 内側 灰(9N5/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナデ調整。底部回転 ヘラ切り履き。外面に着色。+又は「X」。	黒彩土器
294	SD109	須恵器 鉢	口縁部径(11.9cm) 器高2.2cm 底径0.7cm	10%	外側 灰(10Y6/1) 内側 灰(10Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナデ調整。底部回転 ヘラ切り履き。外面に着色。	黒彩土器
295	SD109	須恵器 鉢	口縁部径(10.8cm) 器高4.2cm 底径0.5cm	80%	外側 灰(10Y6/1) 内側 灰(10Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナデ調整。底部厚肉 のため不明。	
296	SD109	須恵器 鉢	口縁部径(10.6cm) 器高4.1cm 底径0.5cm	10%	外側 灰(10Y5/1) 内側 灰(10Y5/1)	焼成 良好 胎土 砂粒多量含む	外側・内面ともに厚肉のため不明。	

番号	透視名	器種・種類	注記 ()は埋込、■は埋存	残存率	色 調	構成・胎土	調整・器形等の特徴	備考
297	SD109	灰志器 母口	口縁部径(11.0cm) 胎高4.3cm 底径径(6.0cm)	70%	外蓋 灰白(7.5Y7/1) 内蓋 灰白(7.5Y7/1)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外蓋・内蓋ともに磨耗のため不明。高台にひび割れ。	
298	SD109	灰志器 杯口	口縁部径(13.0cm) 胎高3.5cm 底径径(7.6cm)	30%	外蓋 灰(10Y6/1) 内蓋 灰(10Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒多量含む	外蓋・内蓋ともに磨耗のため不明。	
299	SD109	灰志器 杯口	口縁部径(14.4cm) 胎高3.5cm 底径径(7.6cm)	80%	外蓋 灰(7.5Y5/1) 内蓋 灰(7.5Y5/1)	焼成 良好 胎土 砂粒多量含む	外蓋・内蓋ともに磨耗のため不明。口縁部が外縁。底部に凸み。	
300	SD109	灰志器 杯口	口縁部径(11.0cm) 胎高2.2cm 底径径(7.0cm)	10%	外蓋 灰(10Y6/1) 内蓋 灰(10Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外蓋・内蓋ともに割れナシ調整。底部に磨耗。	黒褐色土
301	SD109	灰志器 杯口	口縁部径(11.0cm) 胎高2.7cm 底径径(7.0cm)	5%	外蓋 灰(10Y6/1) 内蓋 灰(10Y5/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外蓋・内蓋ともにナシ調整。口縁部に厚付け。	
302	SD109	灰志器 杯口	口縁部径(12.0cm) 胎高2.5cm 底径径(7.0cm)	5%	外蓋 灰白(7.5Y7/1) 内蓋 灰白(7.5Y7/1)	焼成 不良 胎土 砂粒多量含む	外蓋・内蓋ともにナシ調整。口縁部に厚付け。	
303	SD109	灰志器 杯口	口縁部径(14.4cm) 胎高2.5cm 底径径(7.0cm)	5%	外蓋 灰白(7.5Y7/1) 内蓋 灰白(7.5Y7/1)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外蓋・内蓋ともにナシ調整。口縁部が外縁。	
304	SD109	灰志器 杯口	口縁部径(10.0cm) 胎高2.8cm 底径径(7.0cm)	5%	外蓋 灰(0N6/0) 内蓋 灰(0N6/0)	焼成 良好 胎土 砂粒多量含む	外蓋・内蓋ともにナシ調整。	
305	SD109	灰志器 杯口	口縁部径(11.0cm) 胎高2.7cm 底径径(7.0cm)	5%	外蓋 灰(0N5/0) 内蓋 灰(0N5/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外蓋・内蓋ともにナシ調整。外蓋に凹凸文。	
306	SD109	灰志器 杯口	口縁部径(11.0cm) 胎高2.7cm 底径径(7.0cm)	5%	外蓋 赭灰(N3/0) 内蓋 赭灰(N3/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外蓋タタキ調整。内蓋当て具痕。	
307	SD109	灰志器 杯口	口縁部径(11.0cm) 胎高1.1cm 底径径(7.8cm)	30%	外蓋 灰(0N6/0) 内蓋 灰(0N6/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外蓋・内蓋。底部はナシ調整。底部に指痕。底面。	
308	SD109	灰志器 杯口	口縁部径(14.0cm) 胎高1.4cm 底径径(7.0cm)	30%	外蓋 灰(0N6/0) 内蓋 灰(0N5/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外蓋ナシ調整。平行状線。内蓋ナシ調整。	
309	SD109	灰志器 杯口	口縁部径(11.0cm) 胎高1.2cm 底径径(7.0cm)	5%	外蓋 灰(0N5/0) 内蓋 灰(0N5/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外蓋・内蓋ともにタタキ調整。	
310	SD109	灰志器 杯口	口縁部径(13.3cm) 胎高1.3cm 底径径(7.0cm)	5%	外蓋 灰(5Y4/1) 内蓋 灰白(5Y8/1)	焼成 不良 胎土 砂粒多量含む	外蓋タタキ調整。内蓋当て具痕。	
311	SD109	灰志器 杯口	口縁部径(8.2cm) 胎高1.4cm 底径径(7.0cm)	5%	外蓋 灰(0N5/0) 内蓋 灰(0N5/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外蓋・内蓋ともに灰焼。口縁部が外反し。口縁部が内蓋が凹む。	
312	SD109	土師器 杯口	口縁部径(12.7cm) 胎高3.3cm 底径径(9.4cm)	10%	外蓋 灰(7.5Y6/4) 内蓋 灰(7.5Y6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外蓋・内蓋ともにナシ調整。	
313	SD109	土師器 杯口	口縁部径(12.0cm) 胎高3.8cm 底径径(7.2cm)	5%	外蓋 灰(7.5Y6/4) 内蓋 灰(7.5Y7/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外蓋ナシ調整。内蓋黒色ガキ調整。底面は切り跡。	黒色土
314	SD109	土師器 杯口	口縁部径(12.0cm) 胎高3.0cm 底径径(7.0cm)	5%	外蓋 灰(7.5Y6/4) 内蓋 灰(7.5Y6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外蓋へタタキ調整。内蓋ナシ調整。底部磨耗のため不明。	
315	SD109	土師器 杯口	口縁部径(11.0cm) 胎高3.1cm 底径径(7.8cm)	10%	外蓋 灰(7.5Y6/2) 内蓋 灰白(7.5Y8/2)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外蓋へタタキ調整。内蓋・底面ともにナシ調整。	
316	SD109	土師器 杯口	口縁部径(11.8cm) 胎高3.4cm 底径径(7.0cm)	5%	外蓋 赭(7.5Y6/6) 内蓋 赭(7.5Y6/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外蓋・内蓋ともにナシ調整。	赤彩
317	SD109	土師器 杯口	口縁部径(13.0cm) 胎高3.7cm 底径径(7.0cm)	5%	外蓋 赭(7.5Y6/6) 内蓋 赭(7.5Y6/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外蓋・内蓋ともにナシ調整。	
318	SD109	土師器 杯口	口縁部径(13.0cm) 胎高3.6cm 底径径(7.0cm)	5%	外蓋 灰(7.5Y5/4) 内蓋 灰(7.5Y5/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外蓋・内蓋ともにナシ調整。	
319	SD109	土師器 杯口	口縁部径(16.0cm) 胎高4.5cm 底径径(7.0cm)	5%	外蓋 灰(7.5Y5/2) 内蓋 灰(7.5Y5/2)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外蓋・内蓋ともにナシ調整。	
320	SD109	土師器 杯口	口縁部径(24.3cm) 胎高5.4cm 底径径(7.0cm)	5%	外蓋 赭(7.5Y7/6) 内蓋 赭(7.5Y7/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外蓋・内蓋ともにヨコハケ調整。	
321	SD109	土師器 杯口	口縁部径(27.8cm) 胎高4.0cm 底径径(7.0cm)	5%	外蓋 灰(7.5Y6/4) 内蓋 灰(7.5Y6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外蓋・内蓋ともにナシ調整。	
322	SD109	土師器 杯口	口縁部径(32.0cm) 胎高3.6cm 底径径(7.0cm)	5%	外蓋 灰(10Y6/4) 内蓋 灰(10Y6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外蓋・内蓋ともにナシ調整。	
323	SD109	土師器 杯口	口縁部径(30.0cm) 胎高3.7cm 底径径(7.0cm)	5%	外蓋 灰(7.5Y7/3) 内蓋 灰(7.5Y7/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外蓋ナシ調整。内蓋ナシ・ハケ調整。	
324	SD109	土師器 杯口	口縁部径(26.0cm) 胎高3.8cm 底径径(7.0cm)	10%	外蓋 赭(7.5Y6/6) 内蓋 赭(7.5Y6/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外蓋ナシ調整。内蓋ナシ・ハケ調整。	
325	SD127	灰志器 杯口	口縁部径(11.0cm) 胎高2.5cm 底径径(7.0cm)	5%	外蓋 灰(5Y6/1) 内蓋 灰(5Y5/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外蓋タタキ調整。内蓋当て具痕。	
326	SD148	土師器 杯口	口縁部径(19.0cm) 胎高2.2cm 底径径(7.0cm)	5%	外蓋 赭(7.5Y6/8) 内蓋 赭(7.5Y6/8)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外蓋・内蓋ともにナシ調整。外蓋・内蓋に赤彩。	赤彩
327	SD150	灰志器 杯口	口縁部径(11.0cm) 胎高2.3cm 底径径(7.0cm)	5%	外蓋 灰(5Y5/1) 内蓋 灰(5Y5/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外蓋・内蓋ともにナシ調整。	
328	SD159	灰志器 杯口	口縁部径(11.0cm) 胎高2.2cm 底径径(7.0cm)	5%	外蓋 灰(5Y6/1) 内蓋 灰(5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外蓋・内蓋ともにナシ調整。	
329	SD159	灰志器 杯口	口縁部径(14.0cm) 胎高1.4cm 底径径(7.0cm)	10%	外蓋 灰(7.5Y6/1) 内蓋 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外蓋タタキ調整。内蓋当て具痕。	

番号	遺構名	種類・種別	遺構 (口部形状・高さ・厚さ)	残存率	色調	構成・地土	調整・形状等の特徴	備考
330	SD166	須恵器 杯A	口縁部径一 部高さ2.0cm 底径径(7.0cm)	5%	外面 灰(7.5Y6/1) 内面 灰(7.5Y6/1)	焼成 粘土 良好 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整、底面回転へう 切り無し。	
331	SD166	土師器 甕	口縁部径一 部高さ2.2cm 底径径(5.8cm)	10%	外面 灰(5.5YR7/4) 内面 灰(5.5Y2/1)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面ナズ調整、内面黒色を呈するが調整は 不明。	
332	SD167	須恵器 土師器	口縁部径(16.5cm) 高さ4.7cm 底径径一	5%	外面 灰(10Y6/1) 内面 灰(10Y6/1)	焼成 粘土 良好 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。	
333	SD169	土師器 杯B	口縁部径一 部高さ1.9cm 底径径(7.0cm)	5%	外面 浅黄緑(7.5YR8/4) 内面 浅黄緑(7.5YR8/4)	焼成 粘土 良好 砂粒含む	外面・内面ともに磨削のため不明。	
334	SD176	土師器 杯A	口縁部径一 部高さ2.0cm 底径径(8.0cm)	5%	外面 灰(10Y4/1) 内面 灰(10Y4/1)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。	
335	SD176	須恵器 杯	口縁部径(11.0cm) 高さ2.7cm 底径径一	5%	外面 灰(10Y6/1) 内面 灰(10Y6/1)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。	
336	SD182	須恵器 杯	口縁部径(11.0cm) 高さ3.2cm 底径径一	5%	外面 灰(10Y4/1) 内面 灰(10Y4/1)	焼成 粘土 良好 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。	
337	SD182	土師器 杯A	口縁部径一 部高さ2.5cm 底径径(6.0cm)	10%	外面 浅黄緑(7.5YR8/6) 内面 浅黄緑(7.5YR8/6)	焼成 粘土 良好 砂粒含む	外面・内面・底面は磨削のため不明。	
338	SD205	須恵器 杯	口縁部径(11.3cm) 高さ4.7cm 底径径一	5%	外面 灰(10Y4/1) 内面 灰(10Y4/1)	焼成 良好 粘土 砂粒多量含む	外面・内面ともにナズ調整。	
339	SD205	須恵器 杯	口縁部径(13.2cm) 高さ3.1cm 底径径一	5%	外面 灰(N4/0) 内面 灰(N4/0)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。	
340	SD205	須恵器 杯B	口縁部径一 部高さ2.0cm 底径径(6.7cm)	5%	外面 灰(10Y6/1) 内面 灰(10Y6/1)	焼成 粘土 良好 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。	
341	SD205	須恵器 甕	口縁部径一 部高さ6.0cm 底径径一	5%	外面 灰(10Y4/1) 内面 灰(10Y6/1)	焼成 粘土 良好 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整、外面は状況状。	
342	SD205	土師器 甕	口縁部径(18.6cm) 高さ3.8cm 底径径一	5%	外面 黄緑(7.5YR7/8) 内面 黄緑(7.5YR7/8)	焼成 粘土 良好 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。	
343	SD224	須恵器 甕	つまみ径一 部高さ2.5cm 口縁部径(11.7cm)	10%	外面 灰(10Y5/1) 内面 灰(10Y5/1)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。	
344	SD224	須恵器 甕	口縁部径一 部高さ1.2cm 底径径(10.2cm)	10%	外面 灰(10Y5/1) 内面 灰(10Y5/1)	焼成 粘土 良好 砂粒多量含む	外面・内面・底面はナズ調整。	
345	SD224	土師器 杯A	口縁部径一 部高さ1.2cm 底径径(4.9cm)	10%	外面 灰(10Y6/1) 内面 灰(10Y6/1)	焼成 粘土 不具 砂粒含む	外面・内面ともに磨削のため不明、底面削 り無し。	
346	SD225	須恵器 甕	つまみ径1.9cm 高さ1.9cm 口縁部径(11.8cm)	40%	外面 灰(10Y6/1) 内面 灰(10Y6/1)	焼成 粘土 良好 砂粒含む	外面回転ナズ、へう削り調整、内面回転ナ ズ調整、磨玉成つまみ。	
347	SD225	須恵器 甕	つまみ径1.4cm 高さ1.5cm 口縁部径(11.4cm)	30%	外面 灰(N5/0) 内面 灰(N5/0)	焼成 良好 粘土 砂粒多量含む	外面回転ナズ、へう削り調整、内面回転ナ ズ調整、磨玉成つまみ。	
348	SD225	須恵器 甕	つまみ径1.9cm 高さ2.0cm 口縁部径(10.7cm)	80%	外面 灰(N6/0) 内面 灰(N6/0)	焼成 良好 粘土 砂粒多量含む	外面回転ナズ、へう削り調整、内面回転ナ ズ調整、磨玉成つまみ。	
349	SD225	須恵器 甕	つまみ径2.0cm 高さ1.9cm 口縁部径(12.2cm)	60%	外面 灰(N5/0) 内面 灰(N5/0)	焼成 不具 粘土 砂粒多量含む	外面回転ナズ、へう削り調整、内面回転ナ ズ調整、磨玉成つまみ。	
350	SD225	須恵器 甕	つまみ径2.3cm 高さ3.0cm 口縁部径(11.2cm)	60%	外面 灰(10Y6/1) 内面 灰(10Y6/1)	焼成 不具 粘土 砂粒多量含む	外面回転ナズ、へう削り調整、内面回転ナ ズ調整、磨玉成つまみ。	
351	SD225	須恵器 甕	つまみ径2.2cm 高さ2.7cm 口縁部径(12.4cm)	40%	外面 灰(10Y6/1) 内面 灰(10Y6/1)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面回転ナズ、へう削り調整、内面回転ナ ズ調整、磨玉成つまみ、つまみ上面が凸凹、口 縁部径に磨玉。	
352	SD225	須恵器 甕	つまみ径2.0cm 高さ2.6cm 口縁部径(11.6cm)	100%	外面 灰(N6/0) 内面 灰(N6/0)	焼成 良好 粘土 砂粒多量含む	外面回転ナズ、へう削り調整、内面回転ナ ズ調整、磨玉成つまみ、つまみ上面が凸凹、口 縁部径に磨玉。	
353	SD225	須恵器 甕	つまみ径1.8cm 高さ2.5cm 口縁部径(12.1cm)	90%	外面 灰(N5/0) 内面 灰(N5/0)	焼成 良好 粘土 砂粒多量含む	外面回転ナズ、へう削り調整、内面回転ナ ズ調整、磨玉成つまみ、つまみ上面が凸凹、口 縁部径に磨玉。	
354	SD225	須恵器 甕	つまみ径1cm 高さ3.2cm 口縁部径(11.5cm)	100%	外面 灰(10Y5/1) 内面 灰(10Y5/1)	焼成 粘土 良好 砂粒含む	外面回転ナズ、へう削り調整、内面回転ナ ズ調整、磨玉成つまみ。	
355	SD225	須恵器 甕	つまみ径2.1cm 高さ2.7cm 口縁部径(11.7cm)	80%	外面 灰(7.5Y4/1) 内面 灰(7.5Y4/1)	焼成 粘土 良好 砂粒含む	外面回転ナズ、へう削り調整、内面回転ナ ズ調整、磨玉成つまみ。外面・内面に数分 貝殻。	
356	SD225	須恵器 甕	つまみ径2.0cm 高さ3.0cm 口縁部径(12.0cm)	60%	外面 灰(N4/0) 内面 灰(N4/0)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面回転ナズ、へう削り調整、内面回転ナ ズ調整、磨玉成つまみ。	
357	SD225	須恵器 甕	つまみ径2.2cm 高さ3.4cm 口縁部径(11.7cm)	50%	外面 灰白(7.5Y7/1) 内面 灰白(7.5Y7/1)	焼成 粘土 良好 砂粒多量含む	外面回転ナズ、へう削り調整、内面回転ナ ズ調整、磨玉成つまみ。	
358	SD225	須恵器 甕	つまみ径1.6cm 高さ2.5cm 口縁部径(10.8cm)	40%	外面 灰(10Y6/1) 内面 灰(10Y6/1)	焼成 粘土 良好 砂粒含む	外面回転ナズ、へう削り調整、内面回転ナ ズ調整、磨玉成つまみ。	
359	SD225	須恵器 甕	つまみ径2.1cm 高さ2.7cm 口縁部径(12.7cm)	50%	外面 灰(10Y4/1) 内面 灰(10Y4/1)	焼成 良好 粘土 砂粒多量含む	外面回転ナズ、へう削り調整、内面回転ナ ズ調整、磨玉成つまみ。	
360	SD225	須恵器 甕	つまみ径2.5cm 高さ2.7cm 口縁部径(12.4cm)	70%	外面 灰(N4/0) 内面 灰(N4/0)	焼成 粘土 良好 砂粒含む	外面回転ナズ、へう削り調整、内面回転ナ ズ調整、磨玉成つまみ。	
361	SD225	須恵器 甕	つまみ径2.3cm 高さ2.4cm 口縁部径(12.6cm)	10%	外面 灰(N5/0) 内面 灰(N5/0)	焼成 粘土 良好 砂粒含む	外面回転ナズ、へう削り調整、内面回転ナ ズ調整、磨玉成つまみ、つまみ上面が凸凹。	
362	SD225	須恵器 甕	つまみ径2.1cm 高さ2.5cm 口縁部径(12.5cm)	20%	外面 灰(N4/0) 内面 灰(N4/0)	焼成 粘土 良好 砂粒含む	外面回転ナズ、へう削り調整、内面回転ナ ズ調整、磨玉成つまみ。	

番号	遺構名	経緯・種類	法量 ()は還元・厚は特	残存率	色 調	構成・出土	形状・形状等の特徴	備考
363	SD225	須磨前 溝	つまみ径2.0cm 断面径2.7cm	70%	外周 灰(N5/O) 内周 灰(N5/O)	焼成 胎土	良好 砂粒含む	外面回転ナズ・ヘラ削り調整。内面回転ナズ調整。縦立味つまみ。
364	SD225	須磨前 溝	つまみ径2.5cm 断面径2.7cm 口縁厚径15.0cm	70%	外周 灰(N5/O) 内周 灰(N5/O)	焼成 胎土	良好 砂粒含む	外面回転ナズ・ヘラ削り調整。内面回転ナズ調整。縦立味つまみ。
365	SD225	須磨前 溝	つまみ径2.5cm 断面径2.7cm 口縁厚径(15.4cm)	20%	外周 灰(N5/O) 内周 灰(N5/O)	焼成 胎土	良好 砂粒含む	外面回転ナズ・ヘラ削り調整。内面回転ナズ調整。縦立味つまみ。つまみ上面が平凹。内面が平凹で中部部が若干凸出(転用疑)
366	SD225	須磨前 溝	つまみ径2.0cm 断面径2.2cm 口縁厚径(15.4cm)	40%	外周 灰(10Y6/1) 内周 灰(10Y6/1)	焼成 胎土	良好 砂粒含む	外面回転ナズ・ヘラ削り調整。内面回転ナズ調整。縦立味つまみ。つまみ上面が凹む。
367	SD225	須磨前 溝	つまみ径1.5cm 断面径2.9cm 口縁厚径(15.8cm)	90%	外周 灰(SY6/1) 内周 灰(SY6/1)	焼成 胎土	良好 砂粒含む	外面回転ナズ・ヘラ削り調整。内面回転ナズ調整。縦立味つまみ。
368	SD225	須磨前 溝	つまみ径3.4cm 断面径5.4cm 口縁厚径(11.1cm)	40%	外周 黄灰(2.5Y7/4) 内周 黄灰(2.5Y7/4)	焼成 胎土	良好 砂粒含む	外周・内面ともにナズ調整。大きな宝珠つまみ。有蓋調整の蓋。
369	SD225	須磨前 溝	つまみ径2.3cm 断面径1.5cm 口縁厚径—	5%	外周 灰(N5/O) 内周 灰(N5/O)	焼成 胎土	良好 砂粒含む	外周回転ヘラ削り調整。内面回転ナズ調整。縦立味つまみ。つまみ上面が凹み。浅蓋上蓋。
370	SD225	須磨前 溝	つまみ径1.9cm 断面径2.0cm 口縁厚径—	30%	外周 灰黄(2.5Y7/2) 内周 灰黄(2.5Y7/2)	焼成 胎土	不良 砂粒含む	外周・内面ともに磨削のため不明。縦立味つまみ。つまみ上面が凹む。
371	SD225	須磨前 溝	つまみ径1.8cm 断面径2.4cm 口縁厚径—	40%	外周 灰(7.5Y6/1) 内周 灰(7.5Y6/1)	焼成 胎土	良好 砂粒含む	外面回転ナズ・ヘラ削り調整。内面回転ナズ調整。縦立味つまみ。
372	SD225	須磨前 溝	つまみ径— 断面径2.4cm 口縁厚径(16.2cm)	30%	外周 灰(N6/O) 内周 灰(N6/O)	焼成 胎土	良好 砂粒多量含む	外面回転ナズ・ヘラ削り調整。内面回転ナズ調整。つまみ穴。
373	SD225	須磨前 溝	つまみ径— 断面径2.4cm 口縁厚径11.4cm	70%	外周 灰白(7.5Y7/1) 内周 灰白(7.5Y7/1)	焼成 胎土	良好 砂粒含む	外面回転ナズ・ヘラ削り調整。内面回転ナズ調整。
374	SD225	須磨前 溝	つまみ径— 断面径2.4cm 口縁厚径(12.3cm)	30%	外周 灰(N5/O) 内周 灰(N5/O)	焼成 胎土	良好 砂粒含む	外周・内面ともに回転ナズ調整。
375	SD225	須磨前 溝	つまみ径— 断面径1.3cm 口縁厚径(12.4cm)	10%	外周 灰(N6/O) 内周 灰(N6/O)	焼成 胎土	良好 砂粒含む	外面回転ナズ・ヘラ削り調整。内面回転ナズ調整。
376	SD225	須磨前 溝	つまみ径— 断面径2.0cm 口縁厚径(13.0cm)	10%	外周 灰(7.5Y6/1) 内周 灰(7.5Y6/1)	焼成 胎土	良好 砂粒含む	外面回転ナズ・ヘラ削り調整。内面回転ナズ調整。内面が平凹で中部部付近に凹痕(転用疑)
377	SD225	須磨前 溝	つまみ径— 断面径2.1cm 口縁厚径(12.0cm)	10%	外周 灰(N5/O) 内周 灰(N5/O)	焼成 胎土	良好 砂粒含む	外面回転ナズ・ヘラ削り調整。内面回転ナズ調整。
378	SD225	須磨前 溝	つまみ径— 断面径2.1cm 口縁厚径(12.4cm)	10%	外周 灰(N5/O) 内周 灰(N5/O)	焼成 胎土	良好 砂粒含む	外面回転ナズ・ヘラ削り調整。内面回転ナズ調整。
379	SD225	須磨前 溝	つまみ径— 断面径2.7cm 口縁厚径(13.0cm)	5%	外周 灰(N5/O) 内周 灰(N5/O)	焼成 胎土	良好 砂粒含む	外面ナズ・ヘラ削り調整。内面回転ナズ調整。
380	SD225	須磨前 溝	つまみ径— 断面径2.1cm 口縁厚径(12.2cm)	40%	外周 灰(N4/O) 内周 灰(N4/O)	焼成 胎土	良好 砂粒含む	外面回転ナズ・ヘラ削り調整。内面回転ナズ調整。
381	SD225	須磨前 溝	つまみ径— 断面径2.0cm 口縁厚径(12.0cm)	5%	外周 灰(N6/O) 内周 灰(N6/O)	焼成 胎土	良好 砂粒含む	外面ナズ・ヘラ削り調整。内面回転ナズ調整。外面に塗布。
382	SD225	須磨前 杯A	口縁厚径11.5cm 断面径3.3cm 底部径6.0cm	70%	外周 灰白(7.5Y7/1) 内周 灰白(7.5Y7/1)	焼成 胎土	良好 砂粒多量含む	外周・内面ともにナズ調整。底部回転ヘラ削り難し。
383	SD225	須磨前 杯A	口縁厚径(11.8cm) 断面径2.9cm 底部径(9.0cm)	40%	外周 灰(7.5Y6/1) 内周 灰(7.5Y6/1)	焼成 胎土	良好 砂粒含む	外周・内面ともに回転ナズ調整。底部回転ヘラ削り難し。
384	SD225	須磨前 杯A	口縁厚径(10.9cm) 断面径3.3cm 底部径(7.0cm)	40%	外周 灰(7.5Y5/1) 内周 灰(7.5Y5/1)	焼成 胎土	良好 砂粒含む	外周・内面ともに回転ナズ調整。底部回転ヘラ削り難し。口縁部外周・内面に磨削。
385	SD225	須磨前 杯A	口縁厚径(11.5cm) 断面径3.3cm 底部径(5.1cm)	50%	外周 灰白(7.5Y7/2) 内周 灰白(7.5Y7/2)	焼成 胎土	良好 砂粒含む	外周・内面ともに回転ナズ調整。底部回転ヘラ削り難し。底面に塗布。
386	SD225	須磨前 杯A	口縁厚径(12.0cm) 断面径3.3cm 底部径(6.6cm)	50%	外周 黄灰(2.5Y6/1) 内周 黄灰(2.5Y6/1)	焼成 胎土	良好 砂粒多量含む	外周・内面ともに回転ナズ調整。底部回転ヘラ削り難し。底面に塗布。
387	SD225	須磨前 杯A	口縁厚径(12.4cm) 断面径3.3cm 底部径(7.8cm)	40%	外周 灰(7.5Y6/1) 内周 灰(7.5Y6/1)	焼成 胎土	良好 砂粒含む	外周・内面ともに回転ナズ調整。底部回転ヘラ削り難し。
388	SD225	須磨前 杯A	口縁厚径(10.0cm) 断面径2.7cm 底部径(5.7cm)	20%	外周 灰白(2.5Y6/1) 内周 灰白(2.5Y6/1)	焼成 胎土	不良 砂粒含む	外周・内面ともに回転ナズ調整。底部回転ヘラ削り難し。
389	SD225	須磨前 杯A	口縁厚径(11.5cm) 断面径2.6cm 底部径(5.6cm)	30%	外周 灰(N6/O) 内周 灰(N6/O)	焼成 胎土	良好 砂粒含む	外周・内面ともに回転ナズ調整。底部回転ヘラ削り難し。
390	SD225	須磨前 杯A	口縁厚径(11.8cm) 断面径2.6cm 底部径(6.6cm)	5%	外周 灰白(7.5Y7/1) 内周 灰白(7.5Y7/1)	焼成 胎土	不良 砂粒含む	外周・内面ともに回転ナズ調整。底部回転ヘラ削り難し。
391	SD225	須磨前 杯A	口縁厚径(11.0cm) 断面径2.7cm 底部径(6.7cm)	10%	外周 灰(7.5Y6/1) 内周 灰(7.5Y6/1)	焼成 胎土	良好 砂粒含む	外周・内面ともに回転ナズ調整。底部回転ヘラ削り難し。外面に塗布。
392	SD225	須磨前 杯A	口縁厚径(12.0cm) 断面径3.3cm 底部径(6.0cm)	10%	外周 灰(7.5Y5/1) 内周 灰(7.5Y5/1)	焼成 胎土	良好 砂粒含む	外周・内面ともに回転ナズ調整。底部回転ヘラ削り難し。口縁部外周・内面に磨削。
393	SD225	須磨前 杯A	口縁厚径(13.0cm) 断面径3.3cm 底部径(7.8cm)	20%	外周 灰白(7.5Y7/1) 内周 灰白(7.5Y7/1)	焼成 胎土	不良 砂粒含む	外周・内面ともに回転ナズ調整。底部回転ヘラ削り難し。
394	SD225	須磨前 杯A	口縁厚径(13.0cm) 断面径3.3cm 底部径(8.8cm)	30%	外周 灰白(7.5Y7/1) 内周 灰白(7.5Y7/1)	焼成 胎土	不良 砂粒含む	外周・内面ともに回転ナズ調整。底部回転ヘラ削り難し。口縁部外周・内面に磨削。
395	SD225	須磨前 溝	口縁厚径(13.8cm) 断面径2.5cm 底部径(8.8cm)	40%	外周 灰(7.5Y5/1) 内周 灰(7.5Y5/1)	焼成 胎土	良好 砂粒含む	外周・内面ともに回転ナズ調整。底部回転ヘラ削り難し。外周・内面に磨削。

番号	通称名	仕様・種類	法量 ()は足元、以下は残	残存率	色 調		焼成・胎土	調整・器形等の特徴	備考
					外	内			
396	SD225	須恵器 皿	口縁部径(14.2cm) 深さ3.1cm 底径(9.7cm)	5%	外側 灰(5Y6/1) 内側 灰(5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。		
397	SD225	須恵器 皿	口縁部径(14.2cm) 深さ3.3cm 底径(9.7cm)	10%	外側 灰(5Y6/1) 内側 灰(5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。底縁回転 ヘラ切り施し。口縁部内面に傷付着。		
398	SD225	須恵器 皿	口縁部径(14.9cm) 深さ3.4cm 底径(10.1cm)	40%	外側 灰(7.5Y4/1) 内側 灰(7.5Y4/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。底縁糸切 り施し。		
399	SD225	須恵器 鉢A	口縁部径(13.6cm) 深さ3.2cm 底径(8.4cm)	5%	外側 灰(N6/0) 内側 灰(N6/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。底縁回転 ヘラ切り施し。底部に傷着。	須恵土層	
400	SD225	須恵器 鉢A	口縁部径— 深さ3.1cm 底径(8.6cm)	5%	外側 灰白(7.5Y7/1) 内側 灰白(7.5Y7/1)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。底縁回転 ヘラ切り施し。底部に傷着。	須恵土層	
401	SD225	須恵器 鉢A	口縁部径— 深さ3.1cm 底径(8.6cm)	10%	外側 灰白(7.5Y7/1) 内側 灰白(7.5Y7/1)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。底縁回転 ヘラ切り施し。底部に傷着。	須恵土層	
402	SD225	須恵器 鉢A	口縁部径— 深さ3.1cm 底径(8.6cm)	5%	外側 灰白(7.5Y7/1) 内側 灰白(7.5Y7/1)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。底縁回転 ヘラ切り施し。底部に傷着。	須恵土層	
403	SD225	須恵器 鉢A	口縁部径— 深さ3.1cm 底径(8.6cm)	10%	外側 灰白(7.5Y7/1) 内側 灰白(7.5Y7/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。底縁回転 ヘラ切り施し。底部に傷着。	須恵土層	
404	SD225	須恵器 鉢A	口縁部径— 深さ3.2cm 底径(8.7cm)	10%	外側 灰白(7.5Y7/1) 内側 灰白(7.5Y7/1)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。底縁回転 ヘラ切り施し。底部に傷着。	須恵土層	
405	SD225	須恵器 鉢A	口縁部径— 深さ3.1cm 底径(8.7cm)	10%	外側 灰(7.5Y6/1) 内側 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。底縁回転 ヘラ切り施し。底部に傷着。	須恵土層	
406	SD225	須恵器 鉢A	口縁部径— 深さ3.1cm 底径(8.6cm)	10%	外側 灰(7.5Y6/1) 内側 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。底縁回転 ヘラ切り施し。底部に傷着。	須恵土層	
407	SD225	須恵器 鉢B	口縁部径(10.0cm) 深さ3.9cm 底径(5.6cm)	5%	外側 灰(7.5Y6/1) 内側 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。		
408	SD225	須恵器 鉢B	口縁部径(10.0cm) 深さ4.0cm 底径(5.7cm)	40%	外側 灰(5Y6/1) 内側 灰(5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。		
409	SD225	須恵器 鉢B	口縁部径(10.0cm) 深さ3.9cm 底径(5.6cm)	70%	外側 灰(N5/0) 内側 灰(N5/0)	焼成 良好 胎土 砂粒多量含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。底縁にき み。高台にひび割れ。		
410	SD225	須恵器 鉢B	口縁部径(11.0cm) 深さ4.5cm 底径(6.9cm)	50%	外側 灰(N6/0) 内側 灰(N6/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。 高台にきみ。		
411	SD225	須恵器 鉢B	口縁部径(10.8cm) 深さ3.2cm 底径(6.9cm)	40%	外側 灰(N4/0) 内側 灰(N4/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。内面回転ナ ズ調整。		
412	SD225	須恵器 鉢B	口縁部径(11.4cm) 深さ3.2cm 底径(7.2cm)	5%	外側 灰(N5/0) 内側 灰(N5/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。		
413	SD225	須恵器 鉢B	口縁部径(11.2cm) 深さ4.5cm 底径(7.2cm)	40%	外側 灰(7.5Y6/1) 内側 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。口縁部 外側・内面に傷付着。		
414	SD225	須恵器 鉢B	口縁部径(11.0cm) 深さ4.0cm 底径(6.2cm)	80%	外側 灰(N4/0) 内側 灰(N4/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。底縁よ り。		
415	SD225	須恵器 鉢B	口縁部径(11.0cm) 深さ4.4cm 底径(6.2cm)	40%	外側 灰(N5/0) 内側 灰(N5/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。高台端部 に上真作痕。		
416	SD225	須恵器 鉢B	口縁部径(10.8cm) 深さ4.4cm 底径(6.9cm)	50%	外側 灰(7.5Y6/1) 内側 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。全体にざ らつき。		
417	SD225	須恵器 鉢B	口縁部径(11.2cm) 深さ4.3cm 底径(6.4cm)	10%	外側 灰(N5/0) 内側 灰(N5/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。口縁部 外側・内面に傷付着。		
418	SD225	須恵器 鉢B	口縁部径(10.8cm) 深さ3.8cm 底径(7.0cm)	40%	外側 灰(N5/0) 内側 灰(N5/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。 外面に自然痕。		
419	SD225	須恵器 鉢B	口縁部径(11.3cm) 深さ3.5cm 底径(7.7cm)	80%	外側 灰(7.5Y6/1) 内側 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒多量含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。		
420	SD225	須恵器 鉢B	口縁部径(11.7cm) 深さ4.3cm 底径(7.9cm)	90%	外側 灰(N5/0) 内側 灰(N5/0)	焼成 不良 胎土 砂粒多量含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。外側・内 面に傷付着。		
421	SD225	須恵器 鉢B	口縁部径(11.6cm) 深さ4.4cm 底径(6.6cm)	80%	外側 灰(N5/0) 内側 灰(N5/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。		
422	SD225	須恵器 鉢B	口縁部径(11.7cm) 深さ4.2cm 底径(6.2cm)	70%	外側 灰(N5/0) 内側 灰(N5/0)	焼成 良好 胎土 砂粒多量含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。		
423	SD225	須恵器 鉢B	口縁部径(11.6cm) 深さ4.0cm 底径(6.4cm)	30%	外側 灰(7.5Y5/1) 内側 灰(7.5Y5/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。口縁部 外側・内面に傷付着。		
424	SD225	須恵器 鉢B	口縁部径(11.6cm) 深さ4.0cm 底径(6.3cm)	70%	外側 灰(N5/0) 内側 灰(N5/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。 高台にきみ。		
425	SD225	須恵器 鉢B	口縁部径(11.8cm) 深さ4.0cm 底径(7.2cm)	40%	外側 灰(N4/0) 内側 灰(N4/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。 高台にきみ。		
426	SD225	須恵器 鉢B	口縁部径(11.0cm) 深さ3.2cm 底径(8.0cm)	70%	外側 灰(N5/0) 内側 灰(N5/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。		
427	SD225	須恵器 鉢B	口縁部径(13.1cm) 深さ4.9cm 底径(6.7cm)	70%	外側 灰黄(2.5Y6/2) 内側 灰黄(2.5Y6/2)	焼成 不良 胎土 砂粒多量含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。		
428	SD225	須恵器 鉢B	口縁部径(14.0cm) 深さ4.7cm 底径(7.8cm)	20%	外側 灰(7.5Y6/1) 内側 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外側・内面ともに回転ナズ調整。		

番号	遺構名	種類・種類	法量 ()は埋戻し又は残存	残存率	色 調	構成・地土	調整・器形等の特徴	備考
429	SD225	須恵器 杯目	口縁部径(14.2cm) 底径(9.0cm) 底厚径(5.5cm)	40%	外面 灰(N4)/0 内面 灰(N4)/0	焼成 良好 胎土 砂粘含む	外面・内面ともに回転ナズ調整。	
430	SD225	須恵器 杯目	口縁部径(15.6cm) 底径(6.5cm) 底厚径(5.0cm)	30%	外面 灰(7.5Y5/1) 内面 灰(7.5Y5/1)	焼成 不良 胎土 砂粘少量含む	外面・内面ともに回転ナズ調整。外面・内面にぎらつき。高台に多み。	
431	SD225	須恵器 杯目	口縁部径(16.0cm) 底径(6.5cm) 底厚径(5.2cm)	20%	外面 灰(N4)/0 内面 灰(N4)/0	焼成 不良 胎土 砂粘少量含む	外面・内面ともに回転ナズ調整。	
432	SD225	須恵器 杯目	口縁部径(14.4cm) 底径(5.0cm) 底厚径(7.2cm)	10%	外面 灰(7.5Y4/1) 内面 灰(7.5Y4/1)	焼成 良好 胎土 砂粘含む	外面・内面ともに回転ナズ調整。高台部に不具合箇所。	
433	SD225	須恵器 杯目	口縁部径(14.5cm) 底径(5.2cm) 底厚径(5.9cm)	30%	外面 陶灰(N3)/0 内面 陶灰(N3)/0	焼成 不良 胎土 砂粘含む	外面・内面ともに回転ナズ調整。高台にひび割れ。底多み。	
434	SD225	須恵器 杯目	口縁部径(14.8cm) 底径(6.4cm) 底厚径(6.8cm)	60%	外面 陶灰(2.5Y5/2) 内面 陶灰(2.5Y5/2)	焼成 不良 胎土 砂粘含む	外面・内面ともに回転ナズ調整。高台にひび割れ。底多み。	
435	SD225	須恵器 杯目	口縁部径(16.2cm) 底径(6.1cm) 底厚径(7.2cm)	20%	外面 灰(5Y4/1) 内面 灰(5Y4/1)	焼成 不良 胎土 砂粘少量含む	外面・内面ともに回転ナズ調整。	
436	SD225	須恵器 杯目	口縁部径— 底径(5.1cm) 底厚径(6.3cm)	40%	外面 灰白(5Y7/1) 内面 灰白(5Y7/1)	焼成 良好 胎土 砂粘少量含む	外面・内面ともに回転ナズ調整。	
437	SD225	須恵器 杯目	口縁部径— 底径(5.7cm) 底厚径(6.7cm)	20%	外面 灰白(5Y8/1) 内面 灰白(5Y8/1)	焼成 不良 胎土 砂粘含む	外面・内面ともに回転ナズ調整。	
438	SD225	須恵器 杯目	口縁部径— 底径(6.4cm) 底厚径(6.4cm)	40%	外面 灰(N5)/0 内面 灰(N5)/0	焼成 良好 胎土 砂粘少量含む	外面・内面ともに回転ナズ調整。高台に多み。	
439	SD225	須恵器 杯目	口縁部径— 底径(5.2cm) 底厚径(8.8cm)	20%	外面 灰(N5)/0 内面 灰(N5)/0	焼成 良好 胎土 砂粘含む	外面・内面ともに回転ナズ調整。高台一部欠損。	
440	SD225	須恵器 杯目	口縁部径— 底径(5.3cm) 底厚径(6.9cm)	20%	外面 灰(5Y6/1) 内面 灰(5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粘含む	外面・内面ともに回転ナズ調整。高台に工具等の圧痕。	
441	SD225	須恵器 杯目	口縁部径— 底径(5.3cm) 底厚径(9.2cm)	5%	外面 灰(N8)/0 内面 灰(N8)/0	焼成 良好 胎土 砂粘少量含む	外面・内面ともに回転ナズ調整。	
442	SD225	須恵器 杯目	口縁部径— 底径(5.3cm) 底厚径(9.2cm)	20%	外面 灰(7.5Y6/1) 内面 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粘含む	外面・内面ともに回転ナズ調整。高台端部に轉伏圧痕。	
443	SD225	須恵器 杯目	口縁部径— 底径(5.7cm) 底厚径(6.0cm)	10%	外面 灰(7.5Y6/1) 内面 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粘含む	外面・内面ともに回転ナズ調整。底面に磨痕。	須恵土器
444	SD225	須恵器 杯目	口縁部径— 底径(5.1cm) 底厚径(7.0cm)	10%	外面 灰(7.5Y5/1) 内面 灰(7.5Y5/1)	焼成 良好 胎土 砂粘含む	外面・内面ともに回転ナズ調整。底面に磨痕。	須恵土器
445	SD225	須恵器 杯目	口縁部径— 底径(5.3cm) 底厚径(5.6cm)	20%	外面 灰(7.5Y5/1) 内面 灰(7.5Y5/1)	焼成 良好 胎土 砂粘少量含む	外面・内面ともに回転ナズ調整。底面に磨痕。	須恵土器
446	SD225	須恵器 杯目	口縁部径— 底径(5.2cm) 底厚径(5.8cm)	10%	外面 灰白(7.5Y7/1) 内面 灰白(7.5Y7/1)	焼成 不良 胎土 砂粘含む	外面・内面ともに回転ナズ調整。底面に磨痕。	須恵土器
447	SD225	須恵器 杯目	口縁部径— 底径(5.2cm) 底厚径(7.0cm)	10%	外面 灰(N5)/0 内面 灰(N5)/0	焼成 普通 胎土 砂粘含む	外面・内面ともに回転ナズ調整。外面・底部に磨痕。	須恵土器
448	SD225	須恵器 杯目	口縁部径— 底径(5.4cm) 底厚径(7.2cm)	20%	外面 灰(7.5Y6/1) 内面 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粘含む	外面・内面ともに回転ナズ調整。底面に磨痕。	須恵土器
449	SD225	須恵器 杯目	口縁部径(11.0cm) 底径(5.3cm) 底厚径(7.2cm)	5%	外面 灰白(5Y7/1) 内面 灰白(5Y7/1)	焼成 良好 胎土 砂粘含む	外面・内面ともに回転ナズ調整。外面に磨痕。	須恵土器
450	SD225	須恵器 杯目	口縁部径(13.2cm) 底径(4.0cm) 底厚径(—)	5%	外面 灰(7.5Y6/1) 内面 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粘含む	外面・内面ともに回転ナズ調整。口縁端部外面・内面に採付痕。	
451	SD225	須恵器 杯目	口縁部径(14.0cm) 底径(5.0cm) 底厚径(—)	10%	外面 灰(N5)/0 内面 灰(N5)/0	焼成 良好 胎土 砂粘含む	外面・内面ともに回転ナズ調整。	
452	SD225	須恵器 杯目	口縁部径— 底径(4.6cm) 底厚径(6.9cm)	20%	外面 灰(5Y6/1) 内面 灰白(5Y7/1)	焼成 良好 胎土 砂粘含む	外面・底部ともに回転ナズ調整。内面回転ナズ削り調整。外面に自然痕。	
453	SD225	須恵器 杯目	口縁部径— 底径(5.3cm) 底厚径(4.1cm)	30%	外面 灰(N4)/0 内面 灰(N6)/0	焼成 良好 胎土 砂粘含む	外面・内面ともに回転ナズ調整。底厚は厚縁のため不明。外面に自然痕。	
454	SD225	須恵器 杯目	口縁部径— 底径(5.3cm) 底厚径(—)	5%	外面 灰(N4)/0 内面 灰(N4)/0	焼成 良好 胎土 砂粘含む	外面自然痕。内面ナズ調整。口縁部採付痕で状況不明。	
455	SD225	須恵器 杯目	口縁部径— 底径(5.2cm) 底厚径(—)	5%	外面 灰(N6)/0 内面 灰(N6)/0	焼成 良好 胎土 砂粘含む	外面タタキ調整。内面当て具痕。	
456	SD225	須恵器 杯目	口縁部径— 底径(5.1cm) 底厚径(—)	5%	外面 灰白(N7/0) 内面 灰白(N7/0)	焼成 良好 胎土 砂粘含む	外面タタキ調整。内面当て具痕。	
457	SD225	須恵器 杯目	口縁部径— 底径(5.7cm) 底厚径(—)	5%	外面 灰(N5)/0 内面 灰(N5)/0	焼成 良好 胎土 砂粘含む	外面タタキ調整。内面当て具痕。	
458	SD225	須恵器 杯目	口縁部径(11.8cm) 底径(5.7cm) 底厚径(—)	10%	外面 灰オリーブ(5Y6/2) 内面 灰(N5)/0	焼成 良好 胎土 砂粘含む	外面・内面ともにナズ調整。外面に採付痕。	灰粘
459	SD225	須恵器 杯目	口縁部径(13.3cm) 底径(5.9cm) 底厚径(5.0cm)	30%	外面 浅黄緑(10Y88/3) 内面 浅黄緑(10Y88/3)	焼成 不良 胎土 砂粘含む	外面・内面・底部に透明感のある緑釉。	緑釉
460	SD225	土師器 杯目	口縁部径(11.8cm) 底径(5.3cm) 底厚径(6.8cm)	40%	外面 灰白(10Y9/1) 内面 灰白(10Y9/1)	焼成 不良 胎土 砂粘含む	外面・内面ともに厚縁のため不明。	
461	SD225	土師器 杯目	口縁部径(11.7cm) 底径(5.7cm) 底厚径(5.3cm)	50%	外面 灰白(10Y8/0) 内面 灰(7.5Y2/1)	焼成 良好 胎土 砂粘含む	外面回転ナズ・ミガキ調整。内面黒色ミガキ調整。底厚は厚縁のため不明。	黒色土器

番号	通称名	品種・種類	法量 ()は法外又は保存	保存率	色 調	構成・胎土	調整・器形等の特徴	備考
462	SD225	土師器 杯A	口縁部径(12.8cm) 器高3.7cm	30%	外面 灰白(10Y7/1) 内面 灰白(10Y7/1)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外面ともに厚肉のため不明。底部部 転へう切り難し。	
463	SD225	土師器 杯A	口縁部径(12.4cm) 器高4.0cm 底部径(9.4cm)	10%	外面 にぶい黄褐色(10YR7/4) 内面 にぶい黄褐色(10YR7/4)	焼成 不具 胎土 砂粒含む	外面・内面ともに厚肉のため不明。	
464	SD225	土師器 杯A	口縁部径一 器高4.4cm 底部径(9.4cm)	10%	外面 にぶい黄褐色(10YR7/4) 内面 黒(7.5Y2/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面ミガキ調整。内面茶色ミガキ調整。	黒色土層
465	SD225	土師器 杯A	口縁部径一 器高4.2cm 底部径(7.0cm)	10%	外面 にぶい黄褐色(10YR7/4) 内面 黒(7.5Y2/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面ミガキ調整。内面茶色ミガキ調整。 底部部転へう切り難し。	黒色土層
466	SD225	土師器 杯A	口縁部径一 器高4.2cm 底部径(7.4cm)	10%	外面 灰黄(2.5Y7/2) 内面 灰黄(2.5Y7/2)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外面・内面厚肉のため不明。底部部転へう 切り難し。底部に墨書。	墨書土層
467	SD225	土師器 杯A	口縁部径一 器高4.2cm 底部径(7.4cm)	10%	外面 灰白(7.5Y7/1) 内面 灰白(7.5Y7/1)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外面・内面ミガキ調整。底部部転へう切り 難し。底部に墨書。	墨書土層
468	SD225	土師器 杯	口縁部径(11.1cm) 器高3.3cm	5%	外面 にぶい黄褐色(10YR6/4) 内面 黒(7.5Y2/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面ミガキ調整。内面茶色ミガキ調整。	黒色土層
469	SD225	土師器 杯	口縁部径(14.2cm) 器高4.9cm 底部径(9.1cm)	5%	外面 黄緑(10YR6/6) 内面 黄緑(10YR6/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにミガキ調整。	
470	SD225	土師器 杯	口縁部径(17.0cm) 器高4.4cm 底部径(9.1cm)	5%	外面 灰黄(2.5Y7/3) 内面 黒(7.5Y2/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面ヨコナガ調整。内面茶色ミガキ調整。	黒色土層
471	SD225	土師器 罎	口縁部径一 器高4.2cm 器底径(5.0cm)	10%	外面 黒(2.5YR6/4) 内面 黒(7.5YR6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面へう割り調整。内面ミガキ調整。底部は 厚肉のため不明。外底に刺刺。	
472	SD225	土師器 罎	口縁部径一 器高4.2cm 器底径(5.8cm)	5%	外面 灰白(2.5Y7/2) 内面 灰白(2.5Y7/2)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面へう割り調整。内面ミガキ調整。底部へ う割り難し。	
473	SD225	土師器 罎	口縁部径一 器高4.4cm 器底径(7.0cm)	5%	外面 にぶい黄褐色(10YR7/4) 内面 にぶい黄褐色(10YR7/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面へう割り調整。内面ミガキ調整。 底部へう割り難し。	
474	SD225	土師器 罎	口縁部径一 器高4.2cm 器底径(7.0cm)	30%	外面 にぶい黄褐色(10YR7/4) 内面 にぶい黄褐色(10YR7/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面へう割り調整。内面ミガキ調整。底部へ う割り難し。	
475	SD225	土師器 罎	口縁部径一 器高4.2cm 器底径(7.4cm)	5%	外面 黒(7.5YR6/4) 内面 黒(7.5YR6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにミガキ調整。	
476	SD225	土師器 罎	口縁部径一 器高4.2cm 器底径(9.0cm)	5%	外面 黒(7.5YR6/4) 内面 黒(7.5YR6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにミガキ調整。底部ハケ調整。	
477	SD225	土師器 罎	口縁部径一 器高4.2cm 器底径一	40%	外面 黒(5YR6/6) 内面 黒(5YR6/6)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外面ナゲ・ハケ調整。内面ミガキ調整。底部 へう割り難し。外面・内面に墨書。刺刺。	赤黒
478	SD225	土師器 罎	口縁部径(14.2cm) 器高4.3cm 底部径一	10%	外面 にぶい黄褐色(2.5Y6/3) 内面 にぶい黄褐色(2.5Y6/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにヨコナガ調整。 口縁部部が内傾。	
479	SD225	土師器 罎	口縁部径(12.4cm) 器高4.6cm 底部径一	5%	外面 灰白(10Y7/1) 内面 灰黄(2.5Y7/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにヨコナガ調整。 口縁部部が内傾。	
480	SD225	土師器 罎	口縁部径(22.0cm) 器高4.2cm 器底径一	5%	外面 灰黄(2.5Y6/2) 内面 灰黄(2.5Y6/2)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外面ヨコナガ・ハケ調整。内面ミガキ調整。 口縁部部が内傾。	
481	SD225	土師器 罎	口縁部径(22.0cm) 器高4.0cm 器底径一	5%	外面 にぶい黄褐色(10YR6/4) 内面 にぶい黄褐色(10YR6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにヨコナガ・ハケ調整。	
482	SD225	土師器 罎	口縁部径(27.6cm) 器高4.7cm 器底径一	5%	外面 にぶい黄褐色(10YR6/4) 内面 にぶい黄褐色(10YR6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにヨコナガ・ハケ調整。	
483	SD225	土師器 罎	口縁部径(22.6cm) 器高4.2cm 器底径一	5%	外面 にぶい黄褐色(10YR6/4) 内面 にぶい黄褐色(10YR6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面ヨコナガ・ハケ調整。内面ミガキ調整。	
484	SD225	土師器 土製 土製 土製	長さ5.1cm 幅2.0cm 孔径0.6cm	100%	外面 にぶい黄褐色(10YR6/4) 内面 一	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面ミガキ調整。	
485	SD225	土師器 土製 土製 土製	長さ7.0cm 幅2.0cm 孔径(2.7cm)		外面 黄緑(10YR6/6) 内面 灰黄(2.5Y7/3)	焼成 良好 胎土 一	内面に墨のひび割れ。	
486	SD225	土師器 土製 土製 土製	長さ4.8cm 幅2.0cm 孔径(3.0cm)		外面 にぶい黄褐色(10YR6/3) 内面 にぶい黄褐色(10YR7/4)	焼成 良好 胎土 一	外面に墨のひび割れ。	
487	SA226	須恵器 蓋	つまみ径1.8cm 器高2.4cm 口縁部径(2.5cm)	40%	外面 灰(N6/0) 内面 灰(N6/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面部転へう・へう割り調整。内面ミガキ調 整。縦文つまみ。つまみ上部が円柱。	
488	SD226	須恵器 蓋	つまみ径2.5cm 器高2.7cm 口縁部径(2.5cm)	30%	外面 灰(7.5Y5/3) 内面 灰(7.5Y5/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面部転へう・へう割り調整。内面ミガキ調 整。縦文つまみ。内面が平直(転用器)。 外面にひび割れ。	転用器
489	SD226	須恵器 蓋	つまみ径一 器高1.4cm 口縁部径(11.4cm)	5%	外面 灰(N6/0) 内面 灰(N6/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面部転へう・へう割り調整。内面部転へう 調整。	
490	SD226	須恵器 蓋	つまみ径一 器高1.4cm 口縁部径(11.8cm)	5%	外面 灰白(7.5Y8/1) 内面 灰白(7.5Y8/1)	焼成 不良 胎土 砂粒多量含む	外面ナゲ・へう割り調整。内面ミガキ調整。	
491	SD226	須恵器 蓋	つまみ径一 器高2.2cm 口縁部径(13.5cm)	5%	外面 灰(N5/0) 内面 灰(N5/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面部転へう・へう割り調整。 内面ミガキ調整。	
492	SD226	須恵器 杯A	口縁部径(12.9cm) 器高2.8cm 器底径(7.6cm)	10%	外面 灰白(5Y7/2) 内面 灰白(5Y7/2)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにミガキ調整。底部厚肉のた め不明。	
493	SD226	須恵器 杯A	口縁部径一 器高2.3cm 器底径(5.2cm)	5%	外面 灰白(7.5Y7/1) 内面 灰白(7.5Y7/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにミガキ調整。底部厚肉のた め不明。底部に墨書。	墨書土層
494	SD226	須恵器 杯B	口縁部径(12.0cm) 器高3.3cm 器底径(6.8cm)	40%	外面 灰(6Y4/1) 内面 灰(6Y4/1)	焼成 不良 胎土 砂粒多量含む	外面・内面ともにミガキ調整。 高直にひび割れ。	

番号	透視名	種類・種類	質量 ()は重量、■は積層	残存率	色 調	構成・地土	調査・図形等の特徴	備考
495	SD226	栗原器 杯	口縁部径一 脚高4.0cm 底径(7.3cm)	70%	外周 灰白(7.5Y5/1) 内周 灰白(7.5Y5/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内面ともにナズ調整。高台一部欠損。胎面に歪み。	
496	SD226	上脚器 杯	口縁部径(11.5cm) 脚高4.6cm 底径一	10%	外周 灰白(10YR7/4) 内周 灰白(10YR7/4)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外周・内面ともにナズ調整。	
497	SD226	上脚器 杯	口縁部径(14.0cm) 脚高3.8cm 底径一	5%	外周 浅黄褐色(10YR8/4) 内周 浅黄褐色(10YR8/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内面ともにナズ調整。	
498	SD225	上脚器 杯A	口縁部径一 脚高2.9cm 底径(6.5cm)	30%	外周 明黄褐色(10YR7/4) 内周 明黄褐色(10YR7/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内面ともにナズ調整。	
499	SD253	栗原器 杯A	口縁部径(11.6cm) 脚高2.8cm 底径(6.3cm)	30%	外周 灰(5Y6/1) 内周 灰(5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内面ともにナズ調整。底部回転へうり跡あり。	
500	SD279	栗原器 蓋	口縁部径一 脚高2.4cm 底径(12.0cm)	5%	外周 灰(5Y6/1) 内周 灰(5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面回転ナズ・へう附り調整。内面ナズ調整。	
501	SD281	土師器 杯	口縁部径一 脚高1.7cm 底径(6.0cm)	20%	外周 灰白(10YR7/4) 内周 灰白(10YR7/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内面ともにナズ調整。底縁部切り離し。	
502	SD281	土師器 蓋	口縁部径(11.2cm) 脚高4.2cm 底径一	5%	外周 灰白(10YR7/4) 内周 灰白(10YR7/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内面ともにヨコナズ調整。口縁部が内傾し縁部が浮る。	
503	SD281	土師器 蓋	口縁部径(15.0cm) 脚高6.7cm 底径一	10%	外周 灰白(10YR6/4) 内周 灰白(10YR6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周調整のため不明。内面ヨコナズ調整。	
504	SD287	土師器 蓋	口縁部径(11.2cm) 脚高4.0cm 底径一	5%	外周 オリーブ褐色(2.5Y4/3) 内周 オリーブ褐色(2.5Y4/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内面ともにヨコナズ調整。	
505	SD288	土師器 蓋	口縁部径(14.0cm) 脚高4.3cm 底径一	5%	外周 灰白(10YR6/3) 内周 灰白(10YR6/3)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外面調整のため不明。内面ヨコナズ調整。	
506	SD341	栗原器 蓋	口縁部径一 脚高1.9cm 底径(14.5cm)	5%	外周 灰(7.5Y4/1) 内周 灰(7.5Y4/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面回転ナズ・へう附り調整。内面ナズ調整。内面の中央部が平圧(使用痕)。	胎用版
507	SD341	栗原器 杯B	口縁部径(12.0cm) 脚高4.0cm 底径(6.6cm)	10%	外周 灰(7.5Y6/1) 内周 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内面ともにナズ調整。	
508	SD341	栗原器 杯	口縁部径(14.0cm) 脚高4.9cm 底径一	5%	外周 灰(7.5Y6/1) 内周 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒多量含む	外周・内面ともにナズ調整。	
509	SD348	栗原器 蓋	口縁部径一 脚高1.9cm 底径(11.5cm)	70%	外周 灰(5Y6/0) 内周 灰(5Y6/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面回転ナズ・へう附り調整。内面ナズ調整。発宝塚つまみ。	
510	SD348	栗原器 蓋	口縁部径一 脚高1.9cm 底径(11.0cm)	5%	外周 浅黄褐色(10YR8/4) 内周 浅黄褐色(10YR8/4)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外面回転ナズ調整。内面ナズ調整。	
511	SD345	栗原器 杯A	口縁部径(12.0cm) 脚高3.0cm 底径一	5%	外周 灰(7.5Y6/1) 内周 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内周・底縁は摩耗のため不明。	
512	SD346	栗原器 杯A	口縁部径(12.1cm) 脚高3.6cm 底径(7.4cm)	90%	外周 灰白(7.5Y7/1) 内周 灰白(7.5Y7/1)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外周・内周・底縁は摩耗のため不明。	
513	SD346	栗原器 杯A	口縁部径(13.0cm) 脚高3.2cm 底径(6.6cm)	10%	外周 灰白(7.5Y7/1) 内周 灰白(7.5Y7/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内面ともにナズ調整。外周・内面ともに口縁部に傾付着。	
514	SD346	栗原器 杯	口縁部径(11.8cm) 脚高3.2cm 底径一	30%	外周 灰(7.5Y6/1) 内周 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内面ともにナズ調整。	
515	SD346	栗原器 杯B	口縁部径一 脚高2.3cm 底径(6.0cm)	40%	外周 灰白(7.5Y7/1) 内周 灰白(7.5Y7/1)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外周・内面ともにナズ調整。胎面に歪み。	
516	SD346	栗原器 蓋	口縁部径一 脚高3.0cm 底径一	5%	外周 灰(10Y6/1) 内周 灰(10Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面ナズ調整。平行凹溝。内面ナズ調整。	
517	SD346	土師器 蓋	口縁部径(20.0cm) 脚高4.0cm 底径(6.2cm)	40%	外周 浅黄(2.5Y7/3) 内周 浅黄(2.5Y7/3)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外面ナズ調整。内面ナズ・ハケ調整。	
518	SD346	土師器 杯A	口縁部径(11.0cm) 脚高3.2cm 底径(6.2cm)	10%	外周 灰白(10YR7/4) 内周 灰白(10YR7/4)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外周・内周・底縁は摩耗のため不明。外周・内面ともに口縁部に傾付着。	
519	SD346	土師器 杯A	口縁部径一 脚高1.4cm 底径(6.9cm)	5%	外周 灰白(10YR6/4) 内周 灰(7.5Y2/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面調整のため不明。内周黒色ミガキ調整。黒色土層	
520	SD346	栗原器 蓋	口縁部径一 脚高3.0cm 底径一	5%	外周 黄(5YR6/6) 内周 灰黄(2.5Y7/2)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面ナズ調整。内面は摩耗のため不明。内面に黄褐色(7.5YR7/6)がまだらに付着。	
521	SD348	栗原器 蓋	口縁部径一 脚高1.9cm 底径(11.8cm)	5%	外周 灰(5Y6/0) 内周 灰(5Y6/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面回転ナズ・へう附り調整。内面ナズ調整。	
522	SD349	栗原器 蓋	口縁部径一 脚高1.4cm 底径(14.8cm)	5%	外周 灰(7.5Y5/1) 内周 灰(7.5Y5/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内面ともに摩耗のため不明。	
523	SD435	栗原器 杯A	口縁部径(13.0cm) 脚高3.8cm 底径(7.6cm)	10%	外周 灰白(7.5Y7/1) 内周 灰白(7.5Y7/1)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外面回転ナズ・へう附り調整。外面回転ナズ調整。底部回転へうり跡あり。	
524	SD435	土師器 蓋	口縁部径一 脚高3.0cm 底径(11.0cm)	5%	外周 黄(7.5YR7/6) 内周 黄(7.5YR7/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面へう附り調整。内周・底縁は摩耗のため不明。	
525	SD435	土師器 蓋	口縁部径一 脚高3.0cm 底径(11.0cm)	40%	外周 黄(7.5YR6/6) 内周 黄(7.5YR6/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内面ともに摩耗のため不明。底縁部切り離し。外周・内面に赤色。	赤形
526	SD435	土師器 杯	口縁部径(12.0cm) 脚高3.2cm 底径一	5%	外周 黄(7.5YR7/6) 内周 黄(7.5YR7/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外周・内面ともにナズ調整。外周・内面に赤色。口縁部部に傾付着。	赤形
527	SD484	栗原器 蓋	口縁部径一 脚高3.2cm 底径(12.6cm)	100%	外周 灰(5Y6/1) 内周 灰(5Y6/1)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外周・内面ともに摩耗のため不明。割定つまみ。	

番号	通称名	器種・種類	法量 (1は量法、又は法量)	残存率	色 調	構成・胎土	調整・器形等の特徴	備考
528	SP8	土師器 杯	口縁部径(12.0cm) 高さ9.2cm 底径7.1cm	5%	外面 浅黄褐色(10YR8/4) 内面 浅黄褐色(10YR8/4)	構成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。	赤彩
529	SP9	土師器 杯	口縁部径(13.0cm) 高さ9.1cm 底径7.1cm	5%	外面 褐色(7.5YR7/6) 内面 褐色(7.5YR7/6)	構成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。	赤彩
530	SP9	土師器 杯	口縁部径(13.0cm) 高さ9.1cm 底径7.1cm	5%	外面 褐色(2.5Y2/1) 内面 褐色(7.5YR7/6)	構成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。	赤彩
531	SP9	土師器 杯A	口縁部径(13.0cm) 高さ4.7cm 底径5.3cm	30%	外面 褐色(7.5YR6/6) 内面 褐色(7.5YR6/6)	構成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。底部高切り懸し。	赤彩
532	SP9	土師器 杯	口縁部径(15.0cm) 高さ5.3cm 底径7.1cm	5%	外面 褐色(7.5YR6/6) 内面 褐色(7.5YR6/6)	構成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。	赤彩
533	SP9	土師器 杯	口縁部径(13.0cm) 高さ9.1cm 底径7.1cm	5%	外面 赤褐色(10YR7/4) 内面 赤褐色(10YR7/4)	構成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。	赤彩
534	SP43	土師器 杯A	口縁部径(13.0cm) 高さ9.1cm 底径7.1cm	5%	外面 赤褐色(10YR7/4) 内面 赤褐色(10YR7/4)	構成 不良 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。	赤彩
535	SP49	土師器 杯A	口縁部径(13.0cm) 高さ9.0cm 底径7.1cm	10%	外面 明黄褐色(10YR6/6) 内面 明黄褐色(10YR6/6)	構成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。底部高切り懸し。	赤彩
536	SP51	須恵器 杯A	口縁部径(14.5cm) 高さ7.0cm 底径5.8cm	5%	外面 オリーブ灰(10Y6/2) 内面 オリーブ灰(10Y6/2)	構成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。底部回転へつ切り懸し。	赤彩
537	SP61	須恵器 壺	口縁部径(14.5cm) 高さ7.0cm 底径5.8cm	5%	外面 灰(N4/0) 内面 灰(N4/0)	構成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。口縁部高切り懸し。	赤彩
538	SP61	土師器 杯A	口縁部径(11.0cm) 高さ9.1cm 底径7.1cm	5%	外面 オリーブ灰(7.5YR7/6) 内面 オリーブ灰(7.5Y3/1)	構成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。	赤彩
539	SP63	須恵器 杯	口縁部径(10.0cm) 高さ9.0cm 底径7.0cm	5%	外面 灰(N5/0) 内面 灰(N5/0)	構成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。	赤彩
540	SP63	須恵器 杯	口縁部径(11.0cm) 高さ9.2cm 底径7.1cm	5%	外面 灰(7.5Y6/1) 内面 灰(7.5Y6/1)	構成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。	赤彩
541	SP71	須恵器 杯B	口縁部径(11.0cm) 高さ9.1cm 底径7.1cm	5%	外面 暗灰(N4/0) 内面 灰(10Y6/1)	構成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。	赤彩
542	SP77	土師器 杯	口縁部径(16.0cm) 高さ9.3cm 底径7.1cm	5%	外面 褐色(7.5YR7/6) 内面 褐色(7.5YR7/6)	構成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。	赤彩
543	SP83	土師器 杯A	口縁部径(13.0cm) 高さ9.2cm 底径7.1cm	10%	外面 褐色(7.5YR6/8) 内面 褐色(7.5YR6/8)	構成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。底部高切り懸し。	赤彩
544	SP83	土師器 杯A	口縁部径(11.0cm) 高さ9.2cm 底径7.0cm	100%	外面 浅黄褐色(7.5YR8/4) 内面 浅黄褐色(7.5YR8/4)	構成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面・底部調整のため不明。	赤彩
545	SP83	土師器 杯	口縁部径(11.0cm) 高さ9.1cm 底径7.1cm	5%	外面 赤褐色(10YR7/4) 内面 赤褐色(10YR7/4)	構成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。	赤彩
546	SP122	須恵器 瓶	口縁部径(15.0cm) 高さ9.3cm 底径7.0cm	5%	外面 灰(N7/0) 内面 灰(10Y6/1)	構成 良好 胎土 砂粒含む	外面ナズ調整。内面ナズ調整。外面自然熱。調整のための粘土貼り付け。	赤彩
547	SP122	土師器 杯	口縁部径(17.0cm) 高さ9.3cm 底径7.1cm	5%	外面 赤褐色(7.5YR7/4) 内面 褐色(5Y6/8)	構成 良好 胎土 砂粒含む	外面ナズ調整。内面ミガキ調整。外面・内面ともに赤彩。	赤彩
548	SP124	須恵器 杯A	口縁部径(11.0cm) 高さ9.1cm 底径7.1cm	5%	外面 灰(10Y4/1) 内面 灰(10Y4/1)	構成 良好 胎土 砂粒含む	外面回転ナズ・ヘラ削り調整。内面回転ナズ調整。	赤彩
549	SP129	須恵器 杯B	口縁部径(11.0cm) 高さ9.2cm 底径7.1cm	10%	外面 灰(N6/0) 内面 灰(N6/0)	構成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。	赤彩
550	SP131	土師器 杯	口縁部径(12.0cm) 高さ9.3cm 底径7.1cm	5%	外面 浅黄褐色(7.5YR8/4) 内面 浅黄褐色(7.5YR8/4)	構成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。	赤彩
551	SP147	土師器 杯A	口縁部径(13.0cm) 高さ9.2cm 底径7.1cm	5%	外面 褐色(5YR6/8) 内面 褐色(5YR6/8)	構成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。底部高切り懸し。	赤彩
552	SP161	須恵器 壺	口縁部径(16.0cm) 高さ9.3cm 底径7.0cm	5%	外面 灰(N5/0) 内面 灰(N5/0)	構成 良好 胎土 砂粒含む	外面ナズ・ヘラ調整。波状文。内面ナズ調整。口縁部高切り懸し。	赤彩
553	SP186	土師器 杯	口縁部径(12.5cm) 高さ9.2cm 底径7.0cm	40%	外面 灰(N5/0) 内面 灰(N5/0)	構成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。底部高切り懸し。底部に塗み。	赤彩
554	SP187	須恵器 壺	口縁部径(12.5cm) 高さ9.4cm 底径7.0cm	30%	外面 灰(N5/0) 内面 灰(N5/0)	構成 良好 胎土 砂粒多量含む	外面回転ナズ・ヘラ削り調整。内面回転ナズ調整。	赤彩
555	SP240	須恵器 杯	口縁部径(12.0cm) 高さ9.4cm 底径7.0cm	5%	外面 灰(N5/0) 内面 灰(N5/0)	構成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。	赤彩
556	SP283	土師器 杯A	口縁部径(12.0cm) 高さ9.3cm 底径7.0cm	30%	外面 赤褐色(10YR7/4) 内面 赤褐色(10YR7/4)	構成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。底部厚持のため不明。	赤彩
557	SP297	須恵器 杯A	口縁部径(12.9cm) 高さ9.3cm 底径7.0cm	50%	外面 灰(7.5Y6/1) 内面 灰(7.5Y6/1)	構成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。底部回転へつ切り懸し。	赤彩
558	SP297	土師器 小型壺	口縁部径(11.4cm) 高さ9.4cm 底径7.0cm	5%	外面 淡黄(2.5YR8/3) 内面 淡黄(2.5YR8/3)	構成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。	赤彩
559	SP314	須恵器 壺	口縁部径(11.8cm) 高さ9.3cm 底径7.0cm	5%	外面 灰(10Y6/1) 内面 灰(10Y6/1)	構成 良好 胎土 砂粒含む	外面回転ナズ・ヘラ削り調整。内面厚持のため不明。	赤彩
560	SP314	須恵器 杯A	口縁部径(11.8cm) 高さ9.3cm 底径7.0cm	40%	外面 灰(10Y6/1) 内面 灰(10Y6/1)	構成 良好 胎土 砂粒多量含む	外面・内面ともにナズ調整。底部回転へつ切り懸し。底部に塗み。	黒彩土胎

番号	通称名	仕様・種類	法量 ()は規定、※は特許	残存率	色 調	築成・胎土	形状・路形等の特徴	備考
561	SP316	深巻輪 杯	口縁部径(12.0cm) 高さ3.3cm 底径1.1cm	10%	外面 灰(10Y5/1) 内面 灰(10Y5/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナゲ調整。	
562	SP316	深巻輪 杯	口縁部径(13.0cm) 高さ4.6cm 底径1.1cm	5%	外面 灰(10Y6/1) 内面 灰(10Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナゲ調整。	
563	SP320	深巻輪 杯	口縁部径(11.4cm) 高さ3.8cm 底径1.1cm	30%	外面 灰(10Y6/1) 内面 灰(10Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナゲ調整。	
564	SP320	土師器 杯A	口縁部径(12.8cm) 高さ4.2cm 底径(4.8cm)	50%	外面 黄(7.5Y7/6) 内面 黄(7.5Y7/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナゲ調整。底部糸切り跡。赤彩	
565	SP322	深巻輪 杯	口縁部径(12.4cm) 高さ3.7cm 底径1.1cm	5%	外面 灰白(5Y7/2) 内面 灰白(5Y7/2)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナゲ調整。	
566	SP324	深巻輪 杯	口縁部径(11.0cm) 高さ3.4cm 底径1.1cm	5%	外面 灰(5Y6/1) 内面 灰(5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナゲ調整。	
567	SP330	深巻輪 杯	つまみ縁一 縁高3.25cm 口縁部径(11.6cm)	40%	外面 灰(7.5Y6/1) 内面 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面部ナゲナリ、ヘラ割り調整。内面ナゲ調整。内面に早瀬(転用履)。	転用履
568	SP330	深巻輪 杯B	縁高3.1cm 口縁部径(6.8cm)	10%	外面 灰(10Y6/1) 内面 灰(10Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナゲ調整。高台に豆粒状圧痕。	
569	SP339	深巻輪 杯	つまみ縁一 縁高1.8cm 口縁部径(12.8cm)	5%	外面 灰(N6/0) 内面 灰(N6/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともに回転ナゲ調整。	
570	SP342	土師器 杯	口縁部径(20.0cm) 高さ7.1cm 底径3.1cm	20%	外面 にぶい黄緑(10YR7/4) 内面 にぶい黄緑(10YR7/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面はコナチ、ハケ調整。内面はコナチ、ナメハケ調整。口縁部縁が若干内折。	
571	SP377	土師器 杯	口縁部径(13.8cm) 高さ5.8cm 底径1.1cm	5%	外面 黄灰(2.5Y4/2) 内面 黄灰(10YR7/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナゲ調整。内面口縁部縁に深溝。外面に割傷。	
572	SP379	深巻輪 杯A	口縁部径一 縁高3.7cm 底径(5.8cm)	20%	外面 灰(7.5Y5/1) 内面 灰(7.5Y5/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナゲ調整。底部糸切り跡。	
573	SP381	土師器 杯又は瓶	口縁部径(25.2cm) 高さ7.5cm 底径一	5%	外面 灰黄(2.5Y6/2) 内面 灰黄(2.5Y6/2)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナゲ調整。口縁部縁が内折。	
574	SP387	深巻輪 杯	口縁部径(12.4cm) 高さ3.7cm 底径1.1cm	5%	外面 灰(2.5Y4/1) 内面 灰(2.5Y4/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナゲ調整。	
575	SP418	土師器 杯A	口縁部径一 縁高3.4cm 底径(5.5cm)	10%	外面 にぶい黄緑(10YR7/3) 内面 にぶい黄緑(10YR7/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナゲ調整。表面糸切り跡。	
576	SP466	上新瓦	口縁部径(21.8cm) 高さ17.5cm 底径一	40%	外面 明黄緑(10YR7/6) 内面 明黄緑(10YR7/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	口縁部外面・内面ともにコナチ調整。体部下半部へうす調整。体部内面ナチ、コナチ、タタハケ調整。	
577	SP505	深巻輪 杯	つまみ縁一 縁高3.2cm 口縁部径(13.8cm)	5%	外面 灰(10Y5/1) 内面 灰(10Y5/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともに回転ナゲ調整。	
578	SP505	深巻輪 杯	口縁部径(12.8cm) 高さ2.7cm 底径1.1cm	5%	外面 灰(10Y5/1) 内面 灰(10Y5/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナゲ調整。	
579	SP505	土師器 杯A	口縁部径一 縁高2.2cm 底径(5.8cm)	5%	外面 にぶい黄緑(10YR7/3) 内面 にぶい黄緑(10YR7/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・底部ともに摩耗のため不明。内面はナゲ調整。	
580	SP613	深巻輪 杯	口縁部径(12.8cm) 高さ4.3cm 底径1.1cm	5%	外面 灰(GY4/1) 内面 灰(GY4/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナゲ調整。口縁部縁が外折。	
581	SP620	深巻輪 杯	つまみ縁一 縁高2.2cm 口縁部径(12.0cm)	5%	外面 灰白(5Y7/1) 内面 灰白(5Y7/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナゲ調整。	
582	SP630	深巻輪 杯A	口縁部径一 縁高2.2cm 底径(6.5cm)	10%	外面 灰白(5Y8/1) 内面 灰白(5Y8/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともに摩耗のため不明。底部部へうす調整。	
583	SP630	土師器 杯	口縁部径(19.8cm) 高さ6.7cm 底径一	10%	外面 にぶい黄緑(10YR7/4) 内面 にぶい黄緑(10YR7/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面はコナチ、ハケ調整。内面ナゲ調整。	
584	SP633	深巻輪 杯A	口縁部径(12.8cm) 高さ2.9cm 底径(7.5cm)	80%	外面 灰白(5Y7/1) 内面 灰白(5Y7/1)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	外面・内面ともに回転ナゲ調整。底部部へうす調整。	
585	SP645	深巻輪 杯	口縁部径(13.8cm) 高さ3.4cm 底径1.1cm	10%	外面 灰(N4/0) 内面 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナゲ調整。	
586	SP661	深巻輪 杯	口縁部径(12.0cm) 高さ3.9cm 底径1.1cm	5%	外面 灰白(5Y6/1) 内面 灰白(5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナゲ調整。	
587	SP661	土師器 杯A	口縁部径(12.5cm) 高さ4.1cm 底径(5.2cm)	40%	外面 にぶい黄緑(10YR7/4) 内面 にぶい黄緑(10YR7/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナゲ調整。底部糸切り跡。	
588	SP661	土師器 杯	口縁部径(20.6cm) 高さ3.7cm 底径1.1cm	5%	外面 にぶい黄緑(10YR7/3) 内面 黄(7.5Y2/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面ナゲ調整。内面黒色ガキ調整。	黒色土留
589	SX180	深巻輪 杯	口縁部径一 縁高3.9cm 底径(4.5cm)	30%	外面 灰(7.5Y4/1) 内面 灰(7.5Y4/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面ナゲ調整。内面ナゲ調整。	
590	SX180	深巻輪 杯	口縁部径一 縁高3.2cm 底径1.1cm	10%	外面 灰(7.5Y6/1) 内面 灰(7.5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面ナゲ調整。内面コナチ調整。内面コナチ調整。内面コナチ調整。内面コナチ調整。	
591	SX180	土師器 杯A	口縁部径一 縁高2.5cm 底径(5.8cm)	20%	外面 黄(7.5Y7/6) 内面 黄(7.5Y7/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナゲ調整。底部糸切り跡。赤彩	
592	SX180	土師器 杯A	口縁部径一 縁高1.9cm 底径(5.2cm)	10%	外面 にぶい黄(7.5YR6/4) 内面 黄緑(10YR7/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・内面ともにナゲ調整。底部糸切り跡。	
593	SX180	土師器 杯A	口縁部径一 縁高2.5cm 底径(5.0cm)	10%	外面 にぶい黄緑(10YR6/3) 内面 黄緑(10YR6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面・底部ともに摩耗のため不明。内面ミナゲ調整。	

番号	遺構名	種類・種類	法量 ()は遺元、中は残存	残存率	色 調	構成・地土	調整・器形等の特徴	備考
594	SX180	土師器 押入	口縁部径(13.2cm) 器高3.7cm 底径径(6.2cm)	20%	外面 におい黄褐色(10YR7/3) 内面 におい黄褐色(10YR7/3)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。底部厚縁のため不明。	
595	SX180	土師器 小型甕	口縁部径(11.6cm) 器高13.6cm 底径径(4.9cm)	30%	外面 輪状黄(2.5Y4/2) 内面 におい黄褐色(10YR7/4)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面・内面ともにナズ調整。底部ナズ・ヘラ調整。各部下半外面に上只状残痕あり。	
596	SX180	土師器 小型甕	口縁部径(13.9cm) 器高12.7cm 底径径(6.9cm)	40%	外面 におい黄褐色(10YR6/3) 内面 におい黄褐色(10YR6/3)	焼成 良好 粘土 砂粒含む	外面口縁部ナズ調整。底部下半ヘラ調整。内面ナズ調整。	

第10表 金属器観察表

番号	器 種	出土地点	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	備 考
1	刀子	F1-3包含層	10.9	0.7	0.3	幅・厚さは刃部。
2	刀子	S834	9.7	0.8~1.5	0.3~0.5	幅・厚さは刃部。
3	刀子	S834	(7.3)	0.8	0.3	幅・厚さは刃部。
4	刀子	E2-1包含層	(5.3)	0.5	0.7	幅・厚さは刃部。
5	刀子	S834	(6.0)	0.7	0.2	幅・厚さは刃部。
6	刀子	B6-1包含層	(8.2)	1.6	0.5	幅・厚さは刃部。
7	刀子	SD225	(17.0)	1.7	0.4	幅・厚さは刃部。
8	刀子	SD225	19.9	1.4	0.4	幅・厚さは刃部。基部に木質遺存。
9	鏃	C5-3包含層	(3.6)	3.1	0.3	
10	鏃	C5-4包含層	(5.1)	2.4	0.3	
11	鏃	F4-2包含層	(10.7)	3.0	0.5	
12	鏃	F505	(9.2)	6.6	0.6	
13	釘	S834	5.1	0.5	0.4	
14	釘	S834	(5.4)	0.6	0.5	
15	釘	E2-4包含層	10.2	0.7	0.8	
16	釘	B3-4包含層	(7.8)	0.5	0.7	
17	釘	H3-4包含層	(11.7)	0.7	0.8	
18	釘	S834	14.3	1.1	1.2	
19	棒状鉄製品	SD14	(3.0)	0.4	0.5	
20	棒状鉄製品	S1452	(4.1)	0.4	0.5	
21	鍔片	15トレンチ	4.6	3.7	0.5	平成19年度試掘調査
22	鍔金具	SD225	3	2.9	0.5	
23	鍔金具	S186	4.0	2.9	0.5	
24	鍔片	E7-2包含層	5.3	4	0.3~0.5	
25	不明鉄製品	H6-3包含層	3.5	2.8	0.6	
26	鍔	G7-4包含層	(9.4)	2.3	0.7	

第6章 自然科学分析

第1節 魚津市仏田遺跡出土土器の塗膜構造調査

藤吉田生物研究所

1 はじめに

魚津市に所在する仏田遺跡から出土した土器4点について、その製作技法を明らかにする目的で塗膜構造調査を行ったので、以下にその結果を報告する。

2 調査資料

調査した資料は、第11表に示す古代の土器4点である。

第11表 塗膜構造調査資料

No.	品名	遺物 No.	写真 No.	概要
1	杯底部	1	1, 2	胎土が灰白色を呈する須恵器の杯の底部。この杯の内面に、こげ茶褐色を呈する塗膜が残存する。この塗膜には、少し光沢のある部分も認められる。
2	杯底部	40	5, 6	胎土が赤褐色を呈する土師器の杯である。この杯の内面には一定の高さまで、黒色物質が付着する。しかし塗膜は認められない。
3	甕底部	99	9, 10	胎土が黄土色を呈する須恵器の底部。この須恵器の内面には、こげ茶褐色を呈する、部分的に光沢のある塗膜が付着している。この塗膜の上面には、工具の刷毛目が明瞭に残る。
4	甕底部	111	12	胎土が褐色を呈する壺の体部である。内面に塗膜が認められる。部分的に光沢がみられた。塗膜の上に工具の刷毛目が残る。

3 調査方法

表1の資料本体の塗膜付着部分から数mm四方の破片を採取してエポキシ樹脂に包埋し、塗膜断面の薄片プレパラートを作製した。これを落射光ならびに透過光の下で検鏡した。

4 断面観察

塗膜断面の観察結果を、以下の文章に示す。

- No.1 (写真3, 4) : 3~4層の漆層が重なる様子が観察される。黒色顔料が混和された漆層や、混和物のみられない層が入り混じっている。このことから単純に下層から塗布された塗膜ではないように見受けられる。つまりこの土器に塗布された塗膜ではなく、この土器に溜められた漆の重なりと判断される。
- No.2 (写真7, 8) : 塗膜は観察されない。かわりに何らかの黒色物質の付着が認められた。
- No.3 (写真11) : 茶色を呈する、1層の漆層が認められた。この漆層も塗布されたものではなく、溜められた漆と判断される。
- No.4 (写真13) : 2~3層の色調の異なる塗膜が重なる様子が観察される。それらの漆層は単純に下層から塗布された塗装ではないように見受けられ、この土器に塗布されたものではなく、この土器に溜められた漆の重なりと判断される。

5 摘要

魚津市に所在する仏田遺跡から出土した、須恵器、土師器の表面に残存する漆膜の塗膜構造を観察した。

3点の須恵器は、漆容器、あるいはパレットとして使用された漆工具と判断される。1点の土師器には漆塗膜はみられなかった。土器に漆が浸透する様子も認められなかった。



写真1 資料No.1



写真2 資料1 拡大

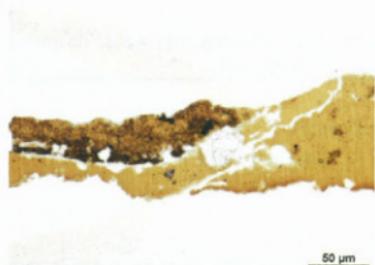


写真3 No.1断面



写真4 No.1断面



写真5 資料No.2



写真6 資料No.2黒色部拡大

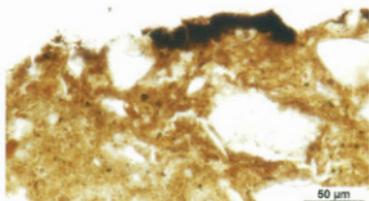


写真7 No.2断面



写真8 No.2断面



写真9 資料No.3



写真10 資料No.3拡大



写真11 No.3断面



写真12 資料No.4



写真13 No.4断面

第2節 仏田遺跡における放射性炭素年代(AMS測定)

(株)加速器分析研究所

1 測定対象試料

仏田遺跡は、富山県魚津市仏田に所在する。測定対象試料は、各遺構から出土した須恵器附着炭化物、土師器附着炭化物、木炭(IAAA-123687~IAAA-123698)の合計12点である(表1)。須恵器附着炭化物1は外面と内面、土師器附着炭化物3、8、10は外面、同7、9は内面、同4は内面と外面より採取された。

2 測定の意義

試料が採取された遺構、遺物の所属年代を特定する。

3 化学処理工程

- (1)メス・ピンセットを使い、根・土等の附着物を取り除く。
- (2)酸-アルカリ-酸(AAA: Acid Alkali Acid)処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA処理における酸処理では、通常1mol/l(1M)の塩酸(HCl)を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム(NaOH)水溶液を用い、0.001Mから1Mまで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が1Mに達した時には「AAA」、1M未満の場合は「AaA」と第12表に記載する。
- (3)試料を燃焼させ、二酸化炭素(CO₂)を発生させる。
- (4)真空ラインで二酸化炭素を精製する。
- (5)精製した二酸化炭素を鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト(C)を生成させる。
- (6)グラファイトを内径1mmのカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

4 測定方法

加速器をベースとした¹⁴C-AMS専用装置(NEC社製)を使用し、¹⁴Cの計数、¹³C濃度(¹³C/¹²C)、¹⁴C濃度(¹⁴C/¹³C)の測定を行う。測定では、米国立標準局(NIST)から提供されたシュウ酸(HOxII)を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

5 算出方法

- (1) $\delta^{13}\text{C}$ は、試料炭素の¹³C濃度(¹³C/¹²C)を測定し、基準試料からのずれを千分偏差(‰)で表した値である(第12表)。AMS装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。
- (2) ¹⁴C年代(Libby Age: yrBP)は、過去の大気中¹⁴C濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年(0yrBP)として遡る年代である。年代値の算出には、Libbyの半減期(5568年)を使用する(Stuiver and Polach 1977)。¹⁴C年代は $\delta^{13}\text{C}$ によって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を第12表に、補正していない値を参考値として第13・14表に示した。¹⁴C年代と誤差は、下1桁を丸めて10年単位で表示される。また、¹⁴C年代の誤差($\pm 1\sigma$)は、試料の¹⁴C年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。
- (3) pMC(percent Modern Carbon)は、標準現代炭素に対する試料炭素の¹⁴C濃度の割合である。pMCが小さい(¹³Cが少ない)ほど古い年代を示し、pMCが100以上(¹⁴Cの量が標準現代炭素と同等以上)の場合Modernとする。この値も $\delta^{13}\text{C}$ によって補正する必要があるため、補

正した値を第12表に、補正していない値を参考値として第13・14表に示した。

- (4) 暦年較正年代とは、年代が既知の試料の ^{14}C 濃度を元に描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の ^{14}C 濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、 ^{14}C 年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1標準偏差($1\sigma=68.2\%$)あるいは2標準偏差($2\sigma=95.4\%$)で表示される。グラフの縦軸が ^{14}C 年代、横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は、 $\delta^{13}\text{C}$ 補正を行い、下一桁を丸めない ^{14}C 年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal09データベース(Reimer et al. 2009)を用い、OxCal v4.1較正プログラム(Bronk Ramsey 2009)を使用した。暦年較正年代については、特定のデータベース、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として第13・14表に示した。暦年較正年代は、 ^{14}C 年代に基づいて較正(calibrate)された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」(または「cal BP」)という単位で表される。

6 測定結果

試料の ^{14}C 年代は、SI292埋土出土須恵器付着炭化物1が $1610 \pm 20\text{yrBP}$ 、SI293埋土出土木炭2が $1290 \pm 20\text{yrBP}$ 、SI384埋土出土土師器付着炭化物3が $1150 \pm 20\text{yrBP}$ 、4が $1850 \pm 20\text{yrBP}$ 、SI385埋土出土木炭5が $1160 \pm 20\text{yrBP}$ 、SK50埋土出土木炭15が $1200 \pm 20\text{yrBP}$ 、SK28埋土出土土師器付着炭化物7が $1250 \pm 20\text{yrBP}$ 、SD14埋土出土土師器付着炭化物8が $1160 \pm 20\text{yrBP}$ 、9が $1760 \pm 20\text{yrBP}$ 、SD225埋土出土土師器付着炭化物10が $1350 \pm 20\text{yrBP}$ 、木炭11が $1220 \pm 30\text{yrBP}$ 、木炭12が $1270 \pm 20\text{yrBP}$ である。同じ遺構から出土した複数の試料の年代値を比較すると、SI384出土の3と4、SD14出土の8と9の値の間には、各々明瞭な年代差が認められる。SD225から出土した3点の値については、11と12の値が誤差($\pm 1\sigma$)の範囲で近接し、10と12の値もおおむね近い値となっているが、10と11の間には年代差がある。

暦年較正年代(1σ)は、1が410~531cal ADの間に2つの範囲、2が675~768cal ADの間に2つの範囲、3が830~962cal ADの間に3つの範囲、4が129~214cal ADの範囲、5が783~940cal ADの間に4つの範囲、15が780~872cal ADの間に2つの範囲、7が691~801cal ADの間に3つの範囲、8が783~945cal ADの間に4つの範囲、9が237~325cal ADの間に2つの範囲、10が652~675cal ADの範囲、11が730~869cal ADの間に3つの範囲、12が689~771cal ADの間に2つの範囲で示される。古い方から順に、4が弥生時代後期頃、9が弥生時代後期から古墳時代前期頃、1が古墳時代中期から後期頃、10が古墳時代終末期頃、2、7、12が古墳時代終末期から古代頃、3、5、15、8、11が古代頃に相当する(佐原2005)。

なお、試料4、9が含まれる1~3世紀頃の暦年較正に関しては、北半球で広く用いられる較正曲線IntCal09に対して日本産樹木年輪試料の測定値が系統的に異なるとの指摘がある(尾寄2009、坂本2010など)。その日本版較正曲線を用いてこれらの試料の測定結果を暦年較正した場合、ここで報告する較正年代値よりも新しくなる可能性がある。

試料の炭素含有率を確認すると、7が18%、10が12%で、炭化物としてはかなり低い値となっており、測定された炭素の由来に注意を要する。他の試料の炭素含有率はすべて約50%を超え、化学処理、測定上の問題は認められない。

第12表 測定試料一覧

測定番号	試料名	採取場所	試料 形態	処理 方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
						Libby Age(yrBP)	pMC(%)
IAAA-123687	1	SI292 埋土	須臾器付着炭化物	AaA	-24.52±0.33	1,610±20	81.82±0.24
IAAA-123688	2	SI293 埋土	木炭	AAA	-26.98±0.49	1,290±20	85.19±0.26
IAAA-123689	3	SI384 埋土	土師器付着炭化物	AaA	-23.12±0.29	1,150±20	86.63±0.24
IAAA-123690	4	SI384 埋土	土師器付着炭化物	AaA	-24.80±0.41	1,850±20	79.42±0.24
IAAA-123691	5	SI385 埋土	木炭	AAA	-24.63±0.50	1,160±20	86.53±0.26
IAAA-123692	15	SK50 埋土	木炭	AAA	-21.76±0.51	1,200±20	86.15±0.26
IAAA-123693	7	SK28 埋土	土師器付着炭化物	AaA	-21.97±0.49	1,250±20	85.63±0.26
IAAA-123694	8	SD14 埋土	土師器付着炭化物	AaA	-22.31±0.38	1,160±20	86.57±0.25
IAAA-123695	9	SD14 埋土	土師器付着炭化物	AaA	-20.11±0.47	1,760±20	80.28±0.24
IAAA-123696	10	SD225 埋土	土師器付着炭化物	AaA	-24.59±0.46	1,350±20	84.53±0.26
IAAA-123697	11	SD225 埋土	木炭	AAA	-28.56±0.31	1,220±30	85.91±0.27
IAAA-123698	12	SD225 埋土	木炭	AAA	-24.41±0.47	1,270±20	85.36±0.25

[#5698]

第13表 放射性炭素年代測定一覧1

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年校正用 (yrBP)	1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
	Age(yrBP)	pMC(%)			
IAAA-123687	1,600±20	81.90±0.24	1,612±23	410calAD - 439calAD(30.4%) 487calAD - 531calAD(37.8%)	401calAD - 535calAD(95.4%)
IAAA-123688	1,320±20	84.84±0.24	1,288±24	675calAD - 715calAD(41.6%) 744calAD - 768calAD(26.6%)	669calAD - 772calAD(95.4%)
IAAA-123689	1,120±20	86.97±0.24	1,152±22	830calAD - 837calAD(3.7%) 868calAD - 900calAD(29.1%) 918calAD - 962calAD(35.4%)	780calAD - 792calAD(3.6%) 805calAD - 905calAD(52.5%) 912calAD - 970calAD(39.3%)
IAAA-123690	1,850±20	79.45±0.23	1,850±24	129calAD - 214calAD(68.2%)	85calAD - 235calAD(95.4%)
IAAA-123691	1,160±20	86.60±0.25	1,162±24	783calAD - 788calAD(3.5%) 814calAD - 844calAD(19.6%) 858calAD - 897calAD(33.4%) 923calAD - 940calAD(11.8%)	778calAD - 794calAD(7.4%) 800calAD - 900calAD(66.1%) 917calAD - 965calAD(21.9%)
IAAA-123692	1,140±20	86.72±0.25	1,197±24	780calAD - 792calAD(9.9%) 805calAD - 872calAD(58.3%)	726calAD - 738calAD(1.6%) 771calAD - 893calAD(93.8%)
IAAA-123693	1,200±20	86.16±0.25	1,246±24	691calAD - 750calAD(50.6%) 762calAD - 779calAD(14.0%) 794calAD - 801calAD(3.6%)	681calAD - 831calAD(88.1%) 836calAD - 869calAD(7.3%)
IAAA-123694	1,110±20	87.05±0.24	1,158±23	783calAD - 788calAD(2.4%) 816calAD - 843calAD(14.9%) 859calAD - 898calAD(32.4%) 920calAD - 945calAD(18.4%)	779calAD - 793calAD(5.8%) 803calAD - 902calAD(61.6%) 916calAD - 967calAD(28.0%)

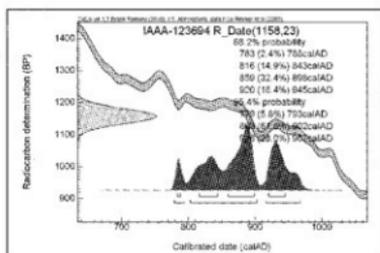
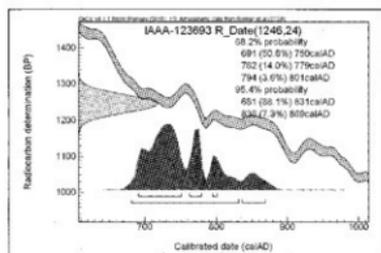
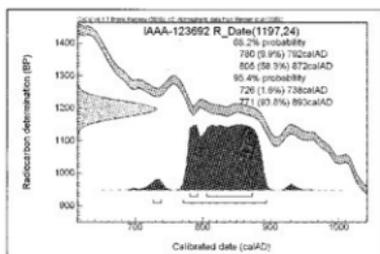
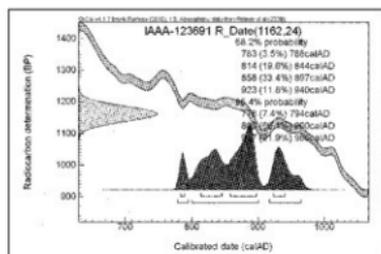
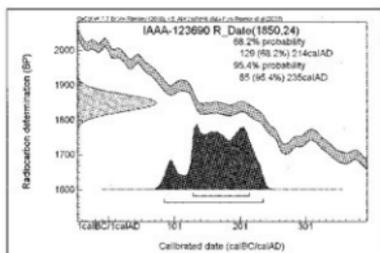
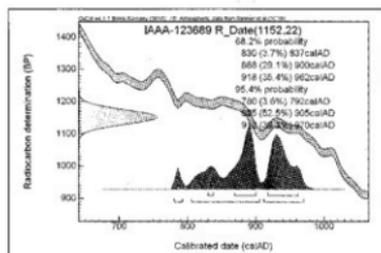
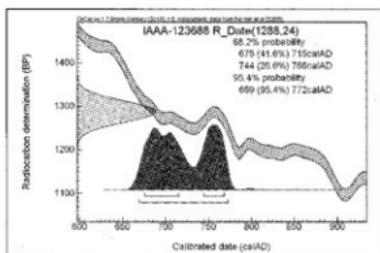
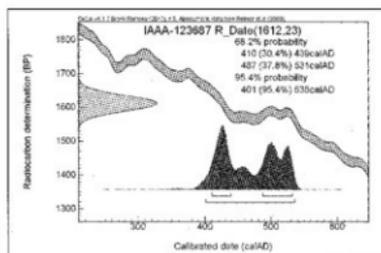
第14表 放射性炭素年代測定一覧2

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年校正用 (yrBP)	1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
	Age(yrBP)	pMC(%)			
IAAA-123695	1,680 \pm 20	81.09 \pm 0.23	1,764 \pm 24	237calAD - 261calAD(25.7%) 281calAD - 325calAD(42.5%)	174calAD - 191calAD(1.5%) 212calAD - 351calAD(93.2%) 369calAD - 378calAD(0.8%)
IAAA-123696	1,340 \pm 20	84.60 \pm 0.25	1,350 \pm 24	652calAD - 675calAD(68.2%)	642calAD - 692calAD(92.2%) 750calAD - 763calAD(3.2%)
IAAA-123697	1,280 \pm 30	85.28 \pm 0.27	1,220 \pm 25	730calAD - 735calAD(2.8%) 772calAD - 830calAD(43.7%) 837calAD - 869calAD(21.7%)	695calAD - 699calAD(0.8%) 708calAD - 748calAD(15.6%) 766calAD - 886calAD(79.0%)
IAAA-123698	1,260 \pm 20	85.46 \pm 0.24	1,271 \pm 23	689calAD - 723calAD(37.0%) 740calAD - 771calAD(31.2%)	672calAD - 778calAD(95.4%)

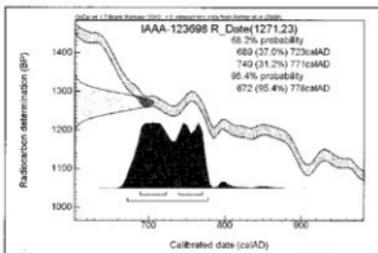
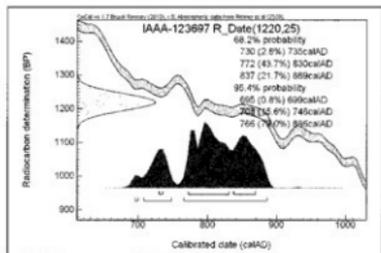
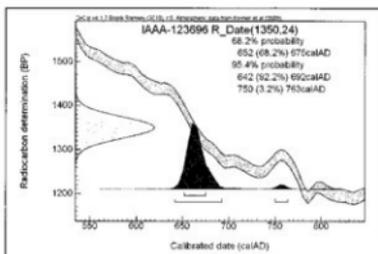
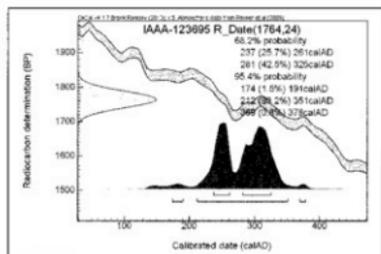
[参考値]

文 献

- Bronk Ramsey C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, Radiocarbon 51(1), 337-360
- 尾畷大真 2009 日本産樹木年輪試料の炭素14年代からみた弥生時代の実年代, 設楽博己, 藤尾慎一郎, 松木武彦編弥生時代の考古学1 弥生文化の輪郭, 同成社, 225-235
- Reimer, P.J. et al. 2009 IntCal09 and Marine09 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, Radiocarbon 51(4), 1111-1150
- 佐原眞 2005 日本考古学・日本歴史学の時代区分, ウェルナー・シュタインハウス監修, 奈良文化財研究所編集, 日本の考古学 上 ドイツ展記念概説, 学生社, 14-19
- 坂本稔 2010 校正曲線と日本産樹木-弥生から古墳へ-, 第5回年代測定と日本文化研究シンポジウム予稿集, (株) 加速器分析研究所, 85-90
- Stuiver M. and Polach H.A. 1977 Discussion: Reporting of ^{14}C data, Radiocarbon 19(3), 355-363



第82図 暦年較正年代グラフ 1



第 83 図 暦年較正年代グラフ 2

第7章 まとめ

発掘調査の結果、仏田遺跡は縄文時代、奈良～平安時代、中世の複合遺跡であることが判明した。奈良～平安時代の仏田遺跡は、出土遺物から9世紀代を主体としつつ10世紀初頭までが存続期間であったと考えられる。以下に、主要な遺物、遺構について記し、本報告のまとめとしたい。

(1) 遺物

奈良～平安時代の遺物

仏田遺物からは、須恵器、土師器、緑釉陶器、灰釉陶器、墨書土器、転用硯、石帯、金属製品、製鉄関連遺物など様々な種類の遺物が出土した。これらの遺物の多くは9世紀を主体とする時期であった。

まず、特筆される遺物に、新川地域で初めて出土した石帯がある。粘板岩製の巡方と鉄製の鉸具が出土し、財団調査区⁽⁸⁾でも蛇紋岩製の丸軋が確認されている。巡方や丸軋は、奈良～平安時代の官人層らが身に付けた腰帯具であり、富山県内出土の主要な腰帯具(第8表)を見ると、銅製及び石製の巡方・丸軋は、合わせて20点確認されている。腰帯具の出土した主な遺跡には、米田大覚遺跡(富山市)、任海宮田遺跡(富山市)、黒河尺目遺跡(射水市)、中保B遺跡(高岡市)等があげられる。これらの遺跡は、米田大覚遺跡が新川郡衙(郡家)に、中保B遺跡が官衙的な様相を示す遺跡、そのほかの遺跡も官衙との関連が想定される遺跡と考えられている。仏田遺跡では新川地域でも希な出土である緑釉陶器や灰釉陶器などが一定量出土していることから、ある程度、官衙との関連が想定される遺跡であったと考えられる。

墨書土器は、須恵器55点、土師器10点の合計65点が確認された。うち1点は土師器に朱書きされたものであった。これらの墨書土器には、判別不明のものを除くと、「来」もしくは「来(桑の旧字体)」、吉祥句の「賀」、「三」、「川」の文字を記したもののほか、「×」、並行する三本の直線を書いたもの、一本の直線を書いたものなどが確認された。なお、「三」なのか「川」なのか区別できない墨書土器もある。「三」も「川」も3本の線から構成されており、三本線に分類した墨書土器も含めたうえで、何らかの意味をもった墨書土器であった可能性が指摘できる。なお、これら「三」、「川」、三本線を記した墨書土器の出土は、魚津市調査区においても財団調査区においても、最も出土点数の多い墨書土器であったことも付け加えておきたい。

また、文字や墨書土器に関連する硯は、財団調査区で円面硯1点が出土したのみであった。しかしながら、硯の代用品である転用硯は、魚津市調査区で黒墨の転用硯14点、朱墨転用硯3点の計17点が、財団調査区で黒墨の転用硯7点、朱墨の転用硯が20点の計27点が出土した。黒墨と朱墨の出土傾向は、魚津市調査区と財団調査区では反対の傾向を示している。時期差を考慮する必要はあるが、朱墨が文書の訂正、校正、追記等に用いられたとするならば、竪穴住居跡が多く見られた魚津市調査区と掘立柱建物跡が多く見られた財団調査区の様相からみた、遺跡内における性格差が反映されたものと考えられる。

製鉄関連の遺物は、鉄器、鑪の羽口、鉄滓、鍛造剥片、焼土、炭化物等が出土した。出土した鉄製

第15表 墨書土器集計表 (点)

種類	器種	魚津市	財 団
須恵器	蓋	9	9
	杯	49	46
土師器	杯	7	42
	合計	65	97

第16表 墨書土器集計表 (点)

種類	器種	黒 墨	朱 墨
魚津市	蓋	11	1
	杯	3	2
	計	14	3
財 団	蓋	7	15
	杯	0	5
	計	7	20
	合計	21	23

品は刀子と釘が多い。SI293、SI493、SI359の竪穴住居跡からは、鞆の羽口、鉄滓、鍛造剥片、焼土、炭化物等が出土した。また、その周辺の遺構や遺物包含層からも鉄製品や鞆の羽口等が出土していることから、SI293、SI452、SI359の竪穴住居跡では、小鍛冶を行う工房であったと推定される。なお、金属製品に関連して、新川地域では希な青銅片が2点出土している。破片のため全形を知らずる状況ではないが(第80図26)、特筆される遺物である。

さらに、漆の付着した須恵器杯1点、小型の七師器甕2点の合計3点が確認されている。3点とも内面の底面に漆の痕跡が残る。自然科学分析の結果、漆を土器に塗布したものではなく、漆を入れる容器あるいはパレットとして使用した漆工具のことであり、漆製品の生産が行われていた可能性が考えられる。

(2) 遺構

奈良～平安時代の遺構

I区(魚津市平成20年度調査区)の主要遺構を概観すると、竪穴住居跡12棟、掘立柱建物跡1棟のほか、柵跡や土坑跡、溝跡など多数の遺構が確認された。このうち、一部の竪穴住居跡と数条の溝跡を1群とする畑との切り合い関係から、竪穴住居跡絶後に畑としての土地利用が確認された。竪穴住居跡と切り合い関係のない畑跡も埋土の質や状況から、その多くは竪穴住居跡に後出する時期であったと推定される。また竪穴住居跡と掘立柱建物跡については、両者の建物の軸が凡そ揃っており、同時期かそれに近似する時期であったと考えられる。これらからI区の遺構は、竪穴住居跡・掘立柱建物跡から畑へ変遷したと考えられる。主な溝跡には、調査区中央を蛇行しながら北へ流れるSD14やSD14に切られるSD109等の大規模な溝跡が、ほとんどの遺構との切り合い関係を持たないことが1つの特徴としてあげられる。SD14については、奈良～平安時代の遺構の存続期間中は、流路として機能していた可能性が考えられる。

竪穴住居跡の規模は、最も大きいもので貼床が確認されたSI384が長軸5.7m、短軸4.61mであった。それ以外の竪穴住居跡は、長軸2.5～4.2m、短軸2.3～4.2mと比較的小型であった。これらの竪穴住居跡は、2、3棟が東西に並んで検出されており、その配置から何らかの関連性が窺えることも一つの特徴として挙げられる。また、SI293、SI452、SI359等で鞆の羽口や鍛造剥片、鉄滓等の製鉄関連遺物が確認されている。特にSI293からは、土壌洗浄によって多量の鍛造剥片が出土した。これらのことより、竪穴住居跡のいくつかは小鍛冶を行っていた工房であったと想定される。

遺構の配置や切り合い関係等から、仏田遺跡の主要遺構は魚津市調査区では竪穴住居跡・掘立柱建物跡から畑への変遷が確認された。財団調査区では、若干、遺構存続期間の重複は認められるものの、竪穴住居跡の後に掘立柱建物跡群が、さらにその後畑への変遷が推定されている。

竪穴住居跡では、魚津市調査区と同様、小鍛冶が行われていたと推定されることである。道路遺構については9世紀後半から10世紀初め頃とされており、概ね掘立柱建物跡群の時期と並行関係にあったようである。9世紀～10世紀にかけての仏田遺跡は、工房等の竪穴住居主体の時期から掘立柱建物跡主体の時期、さらに畑として土地の利用が行われた時期の、大まかに3期の変遷を辿ることができると考えられる。

また、財団調査区で確認された道路遺構の一部がII区(魚津市平成21年度調査区)で検出される可能性があったため、道路遺構の延長線上を意識しながら調査を実施したが、溝溝、硬化面等の明確な道路遺構の痕跡を確認することはできなかった。

なお、仏田遺跡から北へ1km程のところには、新川郡の古代布施駅があったと推定されている布施川の河口がある。布施駅の所在した場所は、布施川左岸とも右岸とも言われており、駅の詳細な位置は確定していないが、布施川河口付近との想定は大方が認めるところである。今回の発掘調査では仏田遺跡と古代布施駅との関連性は認められなかったが、今後、発掘調査が行われた際に、何らかの関連性が示される可能性はあるといえよう。

中世以降の遺構

中世墓のSK193に副葬されていた土師器皿を除くと、I区、II区ともに奈良～平安時代以外の遺物は、遺構からも遺物包含層からもほとんど出土していない。そのため中世以降の様相については不明な点が多いものの、確認された中世の遺構としては掘立柱建物跡、中世墓、溝跡等があげられる。

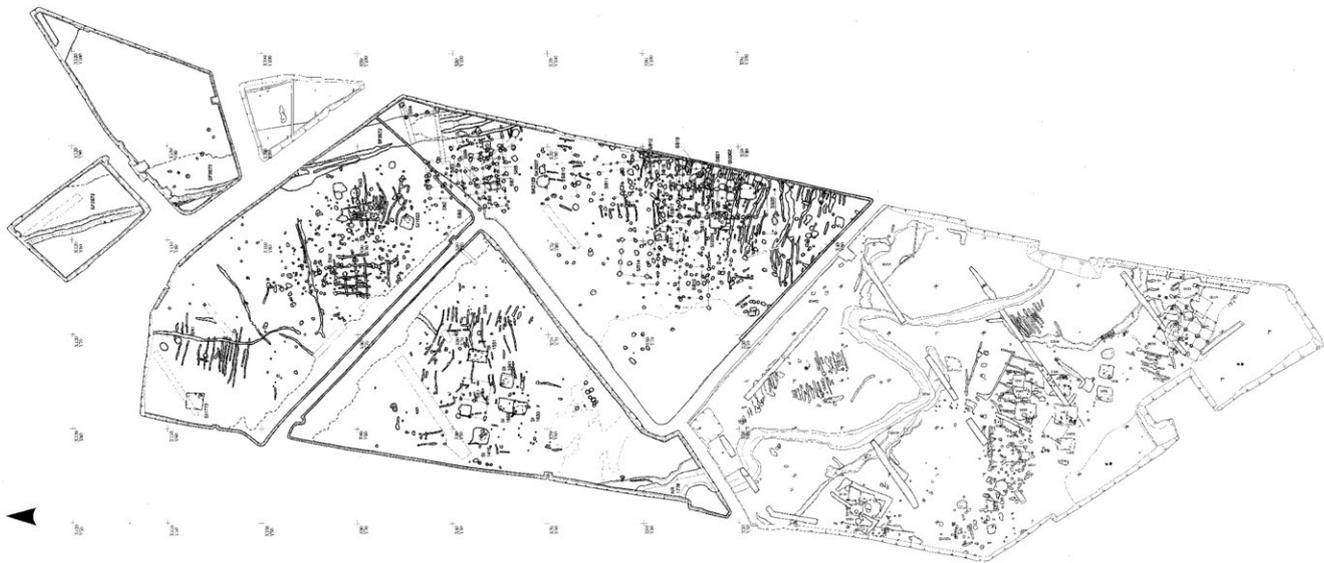
掘立柱建物跡はSB556、SB558、SB559の3棟が確認された。このうち、SB558は4間×3間の総柱建物で、南東側に庇を持つ。残りのSB556、SB559の2棟は2間×1間である。桁行の柱間距離は約2m、梁行の柱間距離が約4mであり、梁行は桁行の約2倍の柱間距離であった。また、I区の中央付近で確認された中世墓は、長軸2.18m、短軸1.34m、深さ0.48mの規模を測る。墓坑南東側の短辺には4枚の土師器皿がそれぞれ上を向けた状態で据えられていた。土坑跡からは少量の炭化物しか出土していないことや土坑跡の規模から土葬であったと考えられる。このほか、中世墓と関連するような配置を思わせるSD205やSD207、SD270などのやや幅広く、直線状やL字状を呈する溝跡も、中世の遺構である可能性を指摘しておきたい。

今回の発掘調査では、奈良～平安時代の遺構、遺物が多数確認された。遺構では竪穴住居跡や掘立柱建物跡、遺物では須恵器や土師器のほか、灰釉や緑釉の陶器、墨書土器や転用硯、金属器、轆の羽口や鍛造剥片、鉄滓、石帯などの生活や生産に関わる様々な遺物が出土した。中でも石帯は新川地域では初めての出土であった。遺跡内における官人層の存在が想定され、仏田遺跡が一般集落とは、性格の異なる集落遺跡であったと考えられる。その詳細は、集落の中心部分と想定される遺跡の東側部分の発掘調査が行われたときに判明する可能性は高いといえよう。また、魚津市東部の布施川河口には、その所在が確定していない古代布施駅の問題がある。今回の調査では、駅と直接関連する結果は認められなかったが、古代布施駅周辺での集落様相の一端が確認されたことは重要なことといえる。今後、布施川河口周辺での発掘調査によって、古代布施駅につながる資料が得られ、仏田遺跡を含めて当時の様相がより明らかになることを期待したい。

注1 混乱を避けるため、魚津市教育委員会で実施した調査範囲を魚津調査区、(公財)富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所が実施した調査範囲を財団調査区として記述することとする。

参考文献

- 安達志津 1997 「北陸における鈔帯・石帯」『富山市考古資料館報』富山市考古資料館
- 射水市教育委員会 2012 『本江畑田Ⅰ遺跡発掘調査報告(4)』
- 魚津市教育委員会 1981 『富山県魚津市佐伯遺跡』
- 魚津市教育委員会 1997 『富山県魚津市山下Ⅱ遺跡発掘調査報告書』
- 魚津市教育委員会 2000 『富山県魚津市吉野遺跡発掘調査報告書』
- 魚津市史編纂委員会 1968 『魚津市史 上巻』魚津市役所
- 魚津市史編纂委員会 2012 『因説 魚津の歴史』魚津市教育委員会
- (財)富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所 2004 『黒河尺目遺跡・黒河中老田遺跡発掘調査報告』
- (財)富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所 2007 『任海宮田遺跡発掘調査報告Ⅱ』
- (公財)富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所 2013 『仏田遺跡発掘調査報告』
- 田中広明 2006 『国司の館・古代の地方官人たち』学生社
- 独立行政法人文化財研究所 2004 『古代の官衙遺跡 Ⅱ遺物・遺跡編』
- 富山市教育委員会 2000 『フォーラム 古代の道と駅』
- 富山市教育委員会 2006 『富山市米田大覚遺跡発掘調査報告書』
- 富山県教育委員会 1979 『佐伯遺跡発掘調査概要』
- 富山県教育委員会 1999 『富山市任海宮田遺跡発掘調査報告書』
- 高岡市教育委員会 2002 『中保B遺跡調査報告』
- 奈良文化財研究所 2002 「北陸地方の鈔帯」『鈔帯をめぐる諸問題』



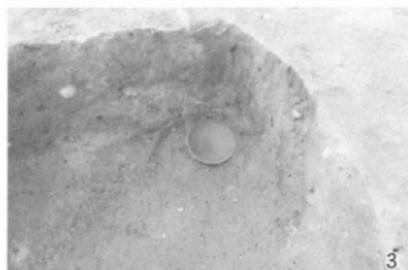
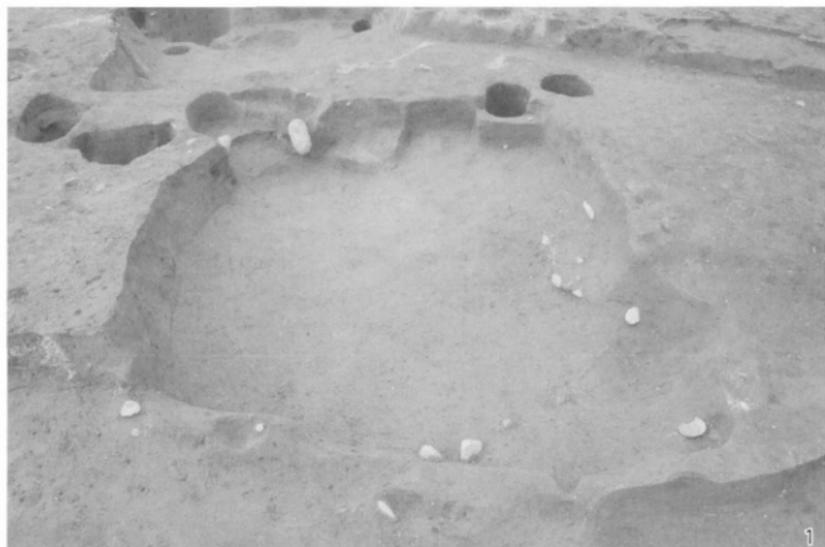
第84図 仏田遺跡全体図 (縮尺 1:800)



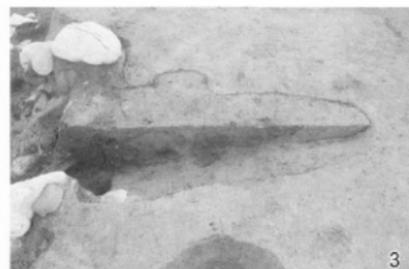
寫真圖版 遺構



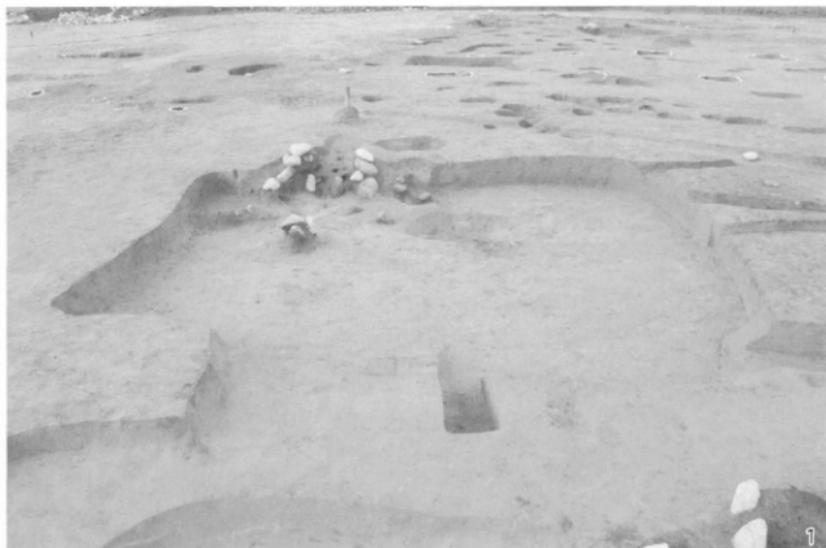
1. SI102・SI134 (南から) 2. SI102 (北から)



1. SI134(東から) 2. SI102土層断面(南から) 3. SI102遺物出土状況(東から)
4. SI134土層断面(南から) 5. SI292土層断面(南から)



1. SI292・SI293・SI560(東から) 2. SI293土層断面(東から)
3. SI293カマド張り出し部土層断面(北から) 4. SI293カマド跡周辺遺物出土状況(東から)
5. SI293カマド跡(東から)



1. SI293 (東から) 2. SI359 (東から)

図版五 Ⅰ区 遺構写真5



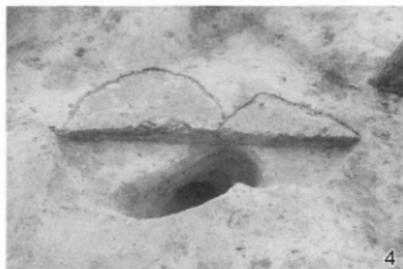
1. SI359土層断面(南から)
4. SI360土層断面(東から)

2. SI359カマド跡検出状況(北から)
5. SI360カマド跡(東から)

3. SI360(東から)



1. SI359 (奥)・SI360 (手前) (東から) 2. SI384 (西から)



1. SI384土層断面(南から) 2. SI384貼床の土層断面(北から) 3. SI385土層断面(南から)
4. SI384内P566・P567土層断面(南から) 5. SI385(南から)



1. SI429 (西から) 2. SI429土層断面(北から) 3. SI452 (北から)
4. SI452カマド跡(東から) 5. SI491 (東から)



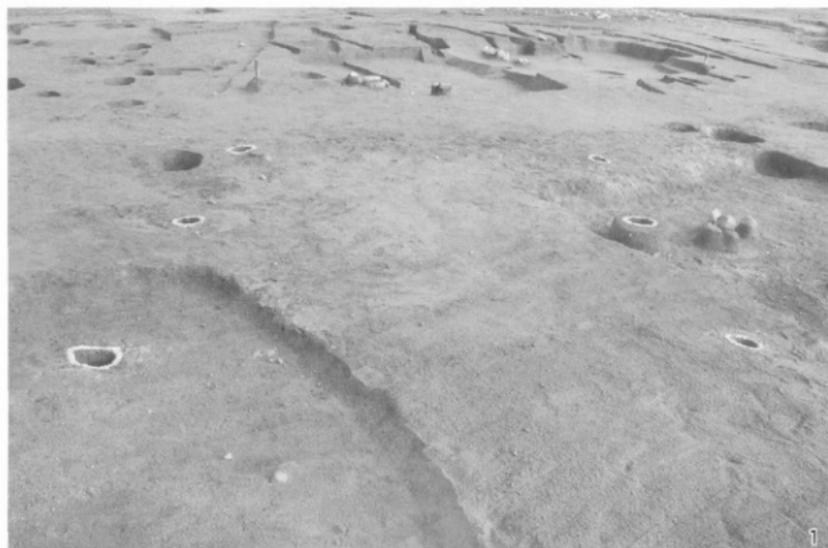
1. SI491カマド跡土層断面(東から)

2. SI560カマド跡(西から)

3. SI560(東から)



1. 竪穴住居群垂直写真 2. ピット群垂直写真



1. SB556 (南から) 2. SB557 (南から)



1. SB558 (西から) 2. SB559 (西から)



1. SB558・SB559垂直写真



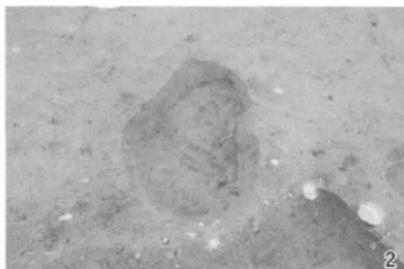
1. SA1(東から) 2. SA2・SA3(北から)



1. SK208土層断面(南から) 2. SK209土層断面(南から) 3. SK106上部土層断面(北から)
4. SK106遺物出土状況(南から) 5. SK106(北から) 6. SK33・SK106(北から)
7. SK69土層断面(南から) 8. SK69(南から)



1. SK28土層断面(東から) 2. SK28(東から) 3. SK86(西から)
4. SK361土層断面(南から) 5. SK132土層断面(南から) 6. SK132(東から)
7. SK50(北西から) 8. SK430土層断面(西から)



1. P83土層断面(南から) 2. P83(西から) 3. SK193土層断面(西から)
4. SK193遺物出土状況(北から) 5. SK193(北から)



1. SI134・SD16 (東から) 2. SD16 (東から)
4. SD347～349土層断面(東から) 5. SD351

3. SD06土層断面(南から)



1. SI292・293・560上面の畑跡(西から)

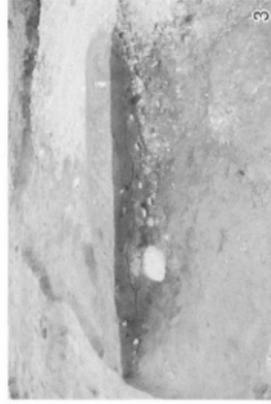
2. SD346南側の畑跡(西から)



1



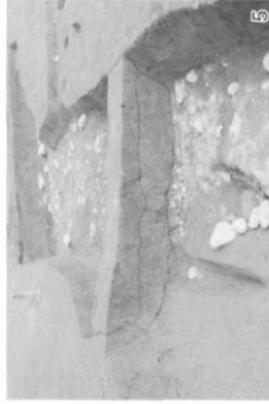
2



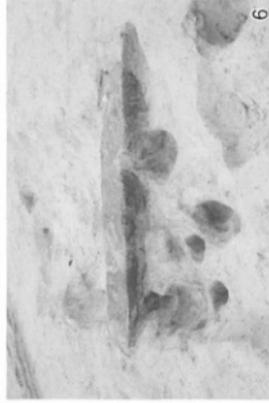
3



4



5



6



7



8

1. SD14A-A'土層断面(西から) 2. SD14C-C'土層断面(北から) 3. SD224土層断面(南から)
4. SD225土層断面(南から) 5. SD109土層断面(南から) 6. SD5土層断面(東から)
7. SD206・SD207(西から) 8. SD221(東から)



1. SX180垂直写真 2. SX180検出状況 3. SX180集石周辺の土除去後
4. SX180中央部遺物除去後 5. SX180集石除去後

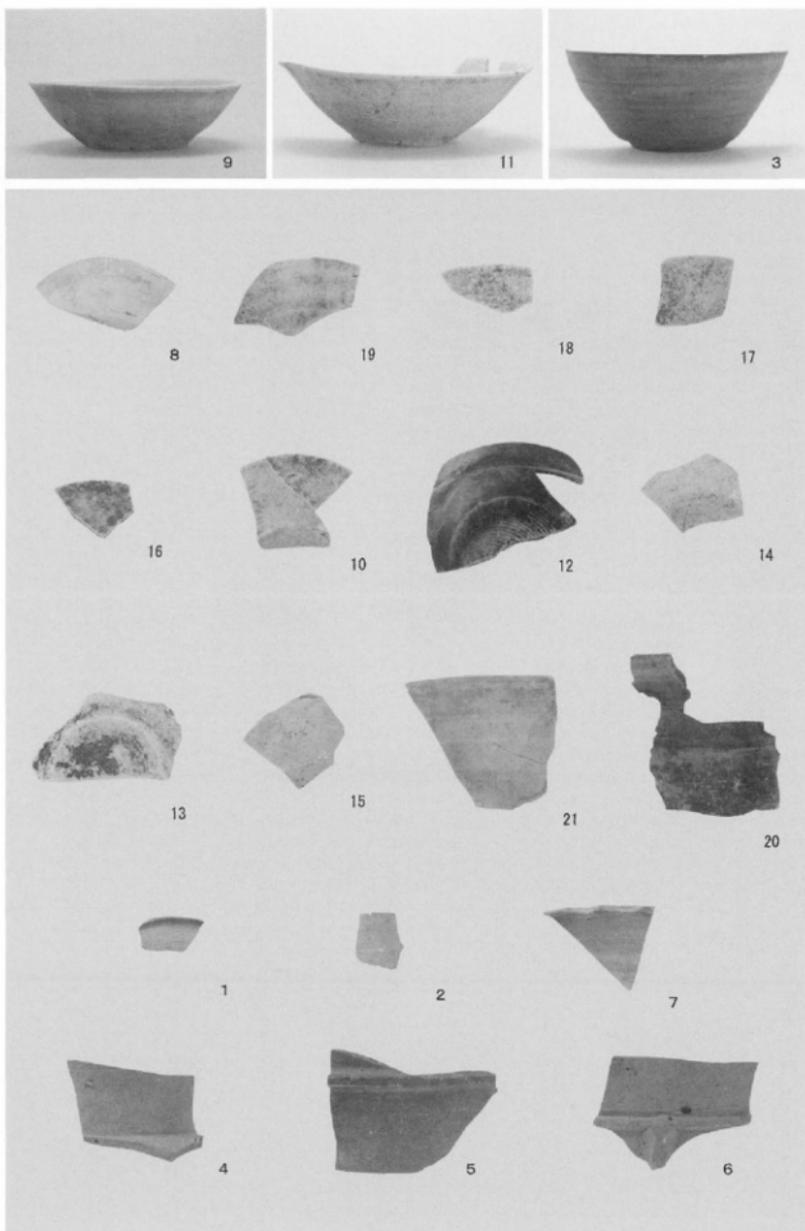


1.平成21年度調査区(Ⅱ区)全景写真(南から) 2.調査前(南から)
3.SD1(南から) 4.SD1北側土層断面(北から) 5.SD1南側土層断面(北から)



1. SK3(東から) 2. SK3西側土層断面(東から) 3. SK3東側土層断面(東から)
4. P2(西から) 5. P2土層断面(西から) 6. 調査区北側断面(東から)
7. 調査区北西側断面(東から) 8. 調査区中央トレンチ北壁土層断面(西から)

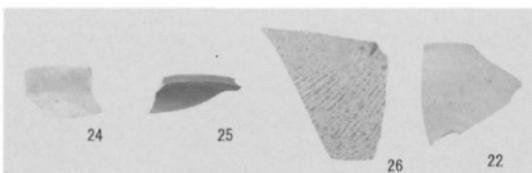
写真図版 遺物



S102 出土遺物 S=1/3



23



24

25

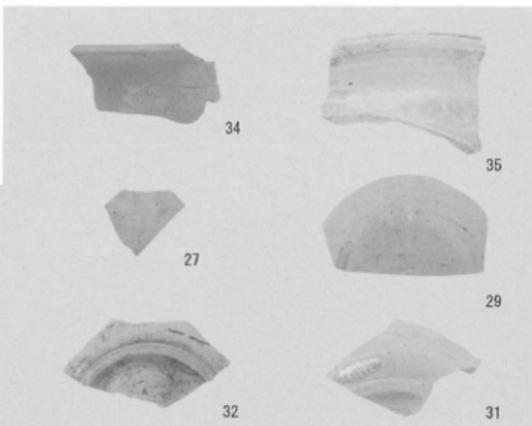
26

22

S134 出土遺物 S=1/3



33



34

35

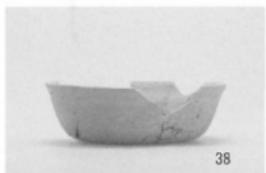
27

29

32

31

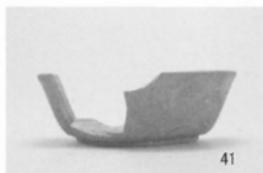
S292 出土遺物 S=1/3



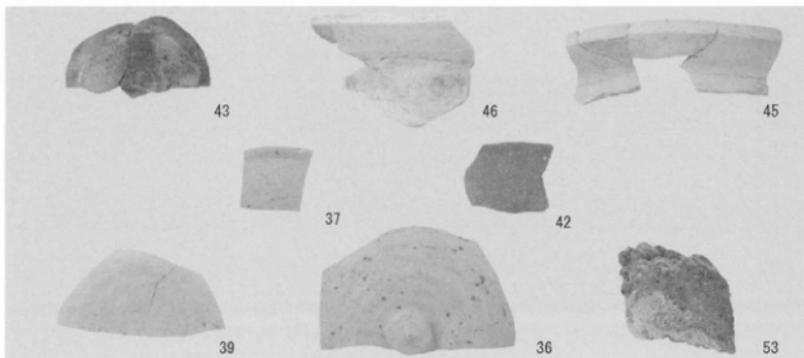
38



40



41



43

46

45

37

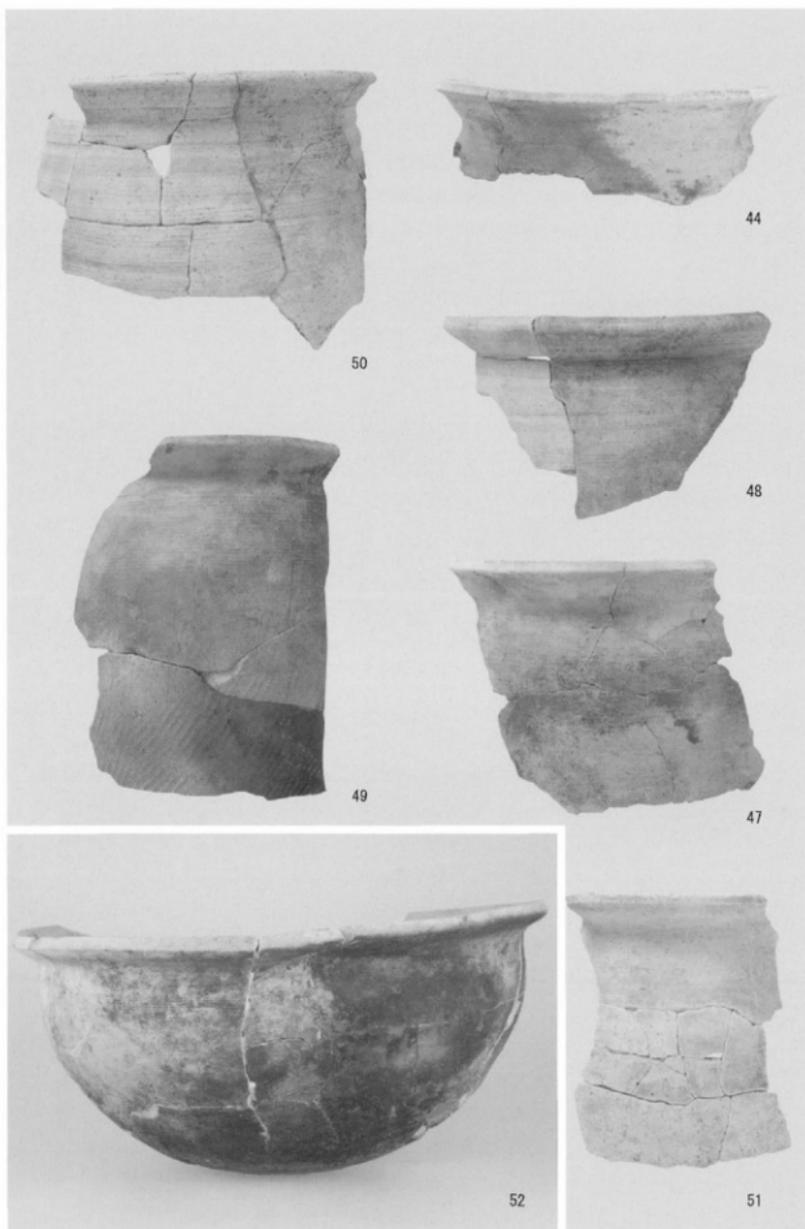
42

39

36

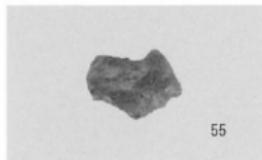
53

S293 出土遺物 S=1/3

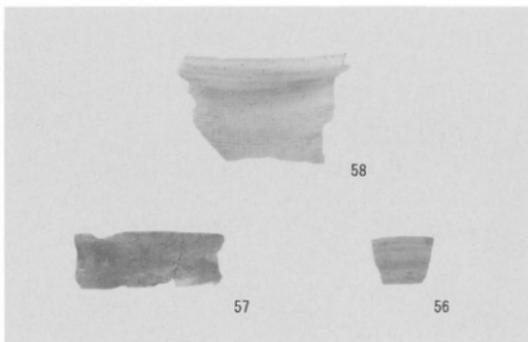




54



55



58

57

56

S1359 出土遺物 S=1/3

S1360 出土遺物 S=1/3



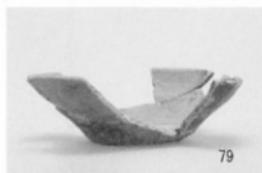
77



78



81



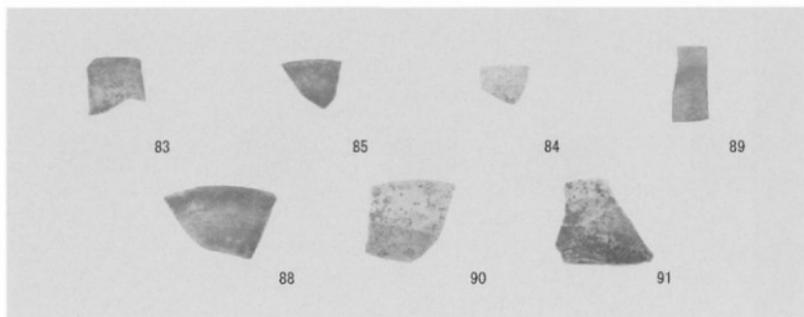
79



110



64



83

85

84

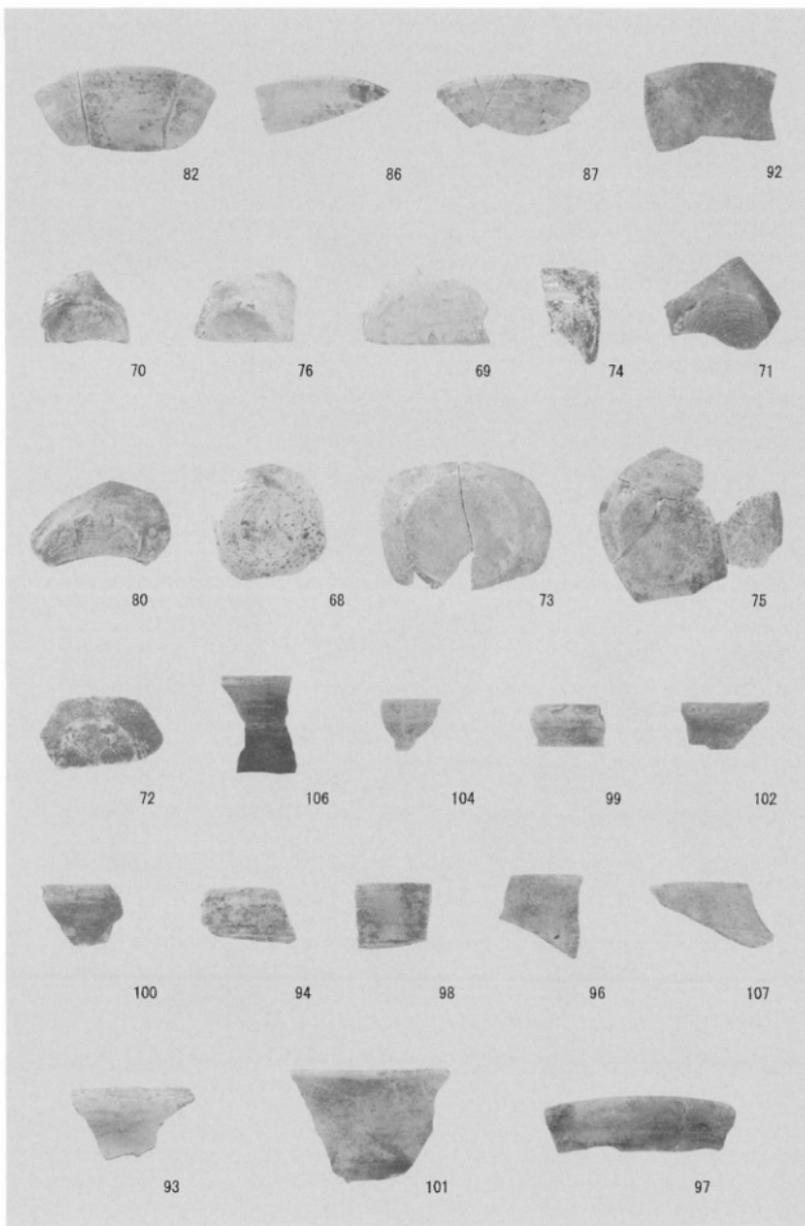
89

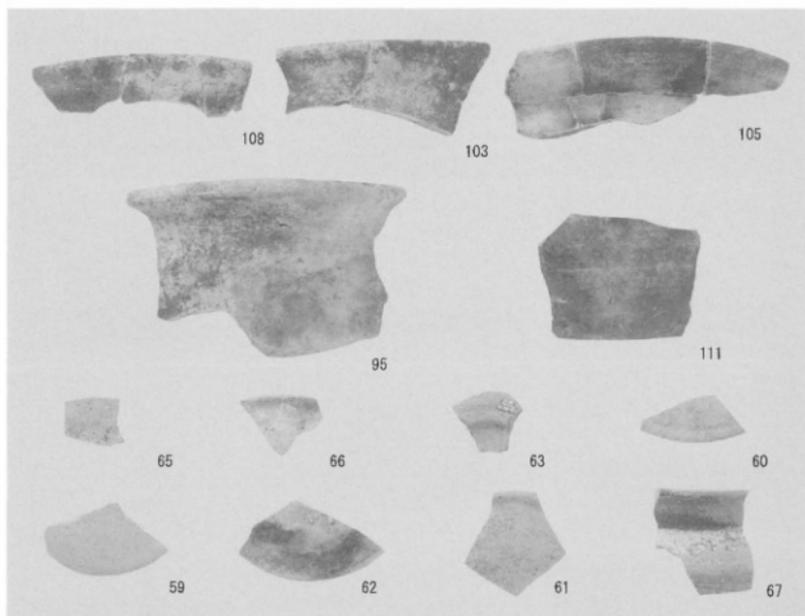
88

90

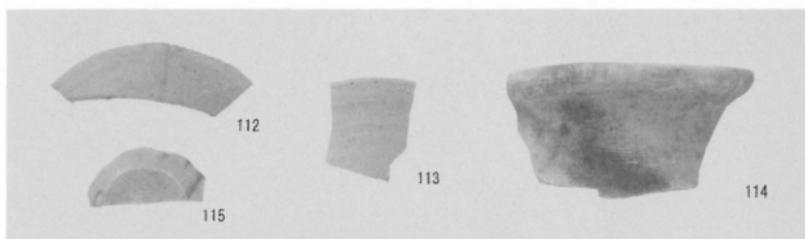
91

S1384 出土遺物 S=1/3





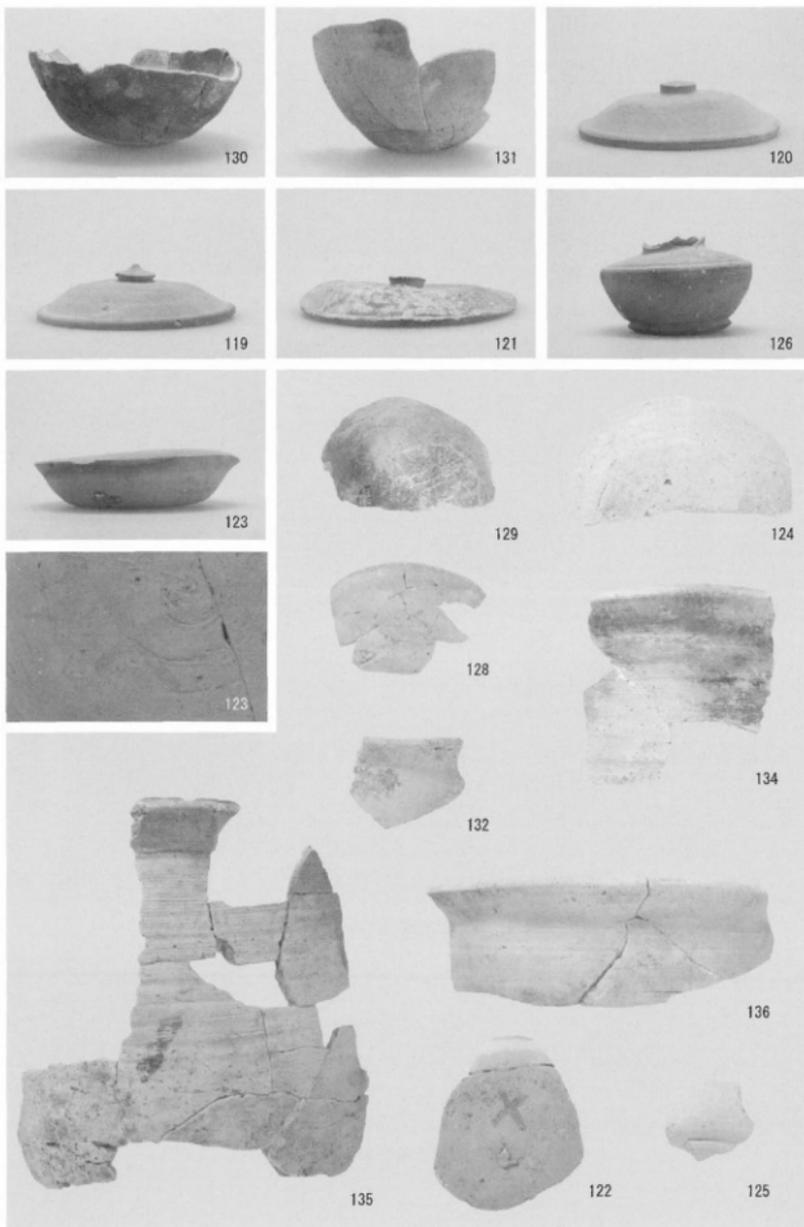
S384 出土遺物 S=1/3



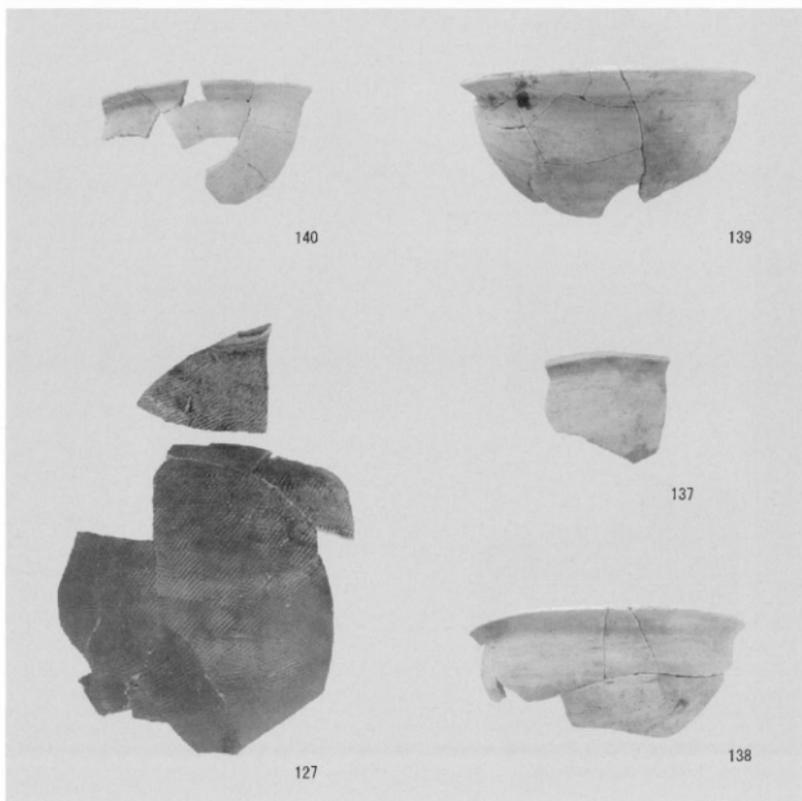
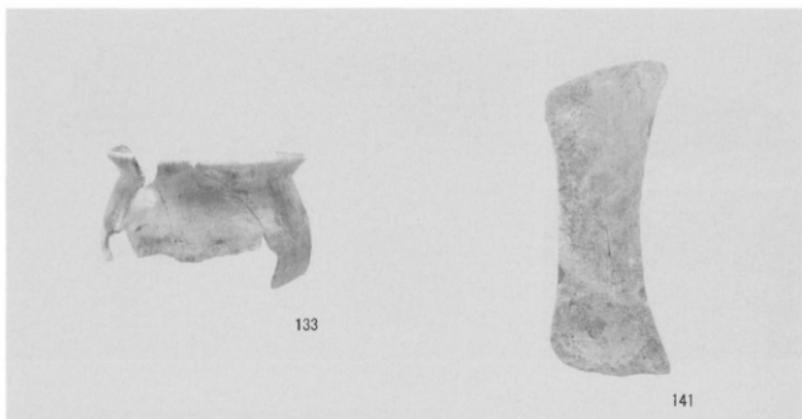
S385 出土遺物 S=1/3



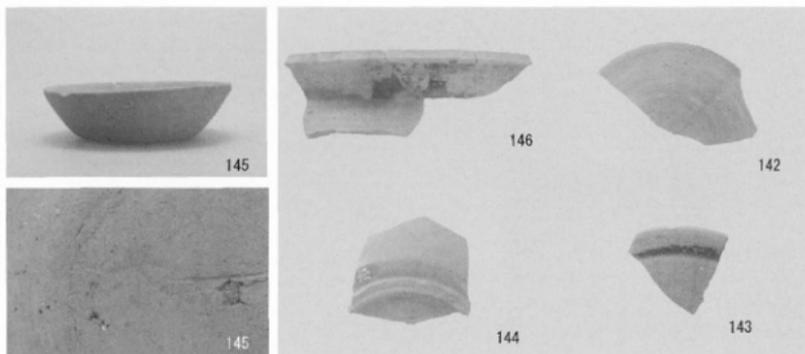
S429 出土遺物 S=1/3



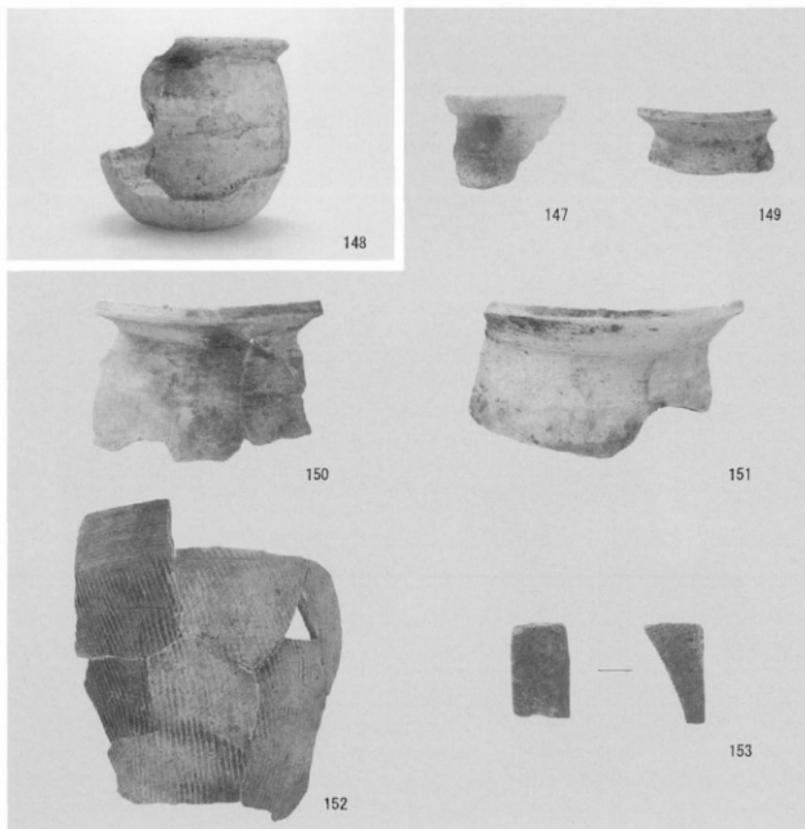
S452 出土遺物 S=1/3



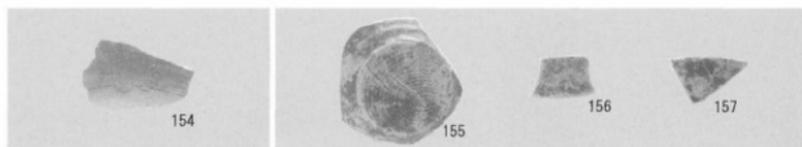
S452 出土遺物 133・134は S=1/3、127・137~140は S=1/6



S1491 出土遺物 S=1/3

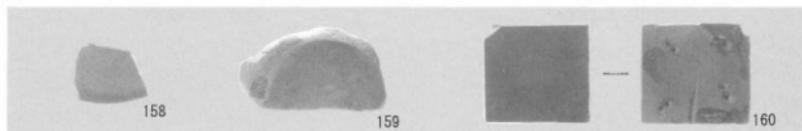


S1560 出土遺物 S=1/3



SK11 出土遗物

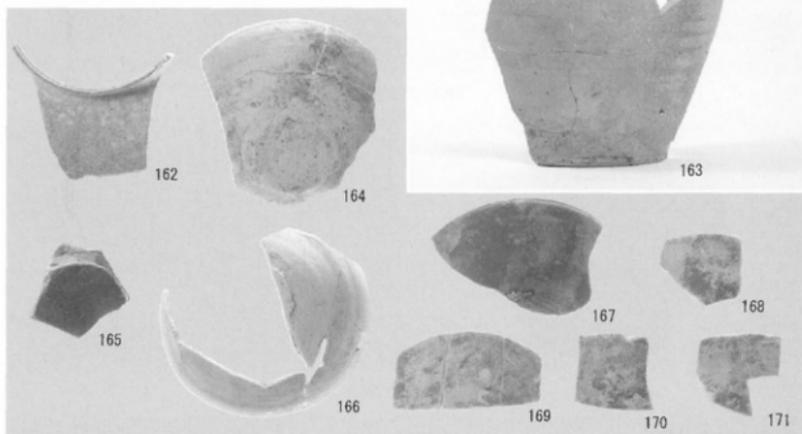
SK20 出土遗物



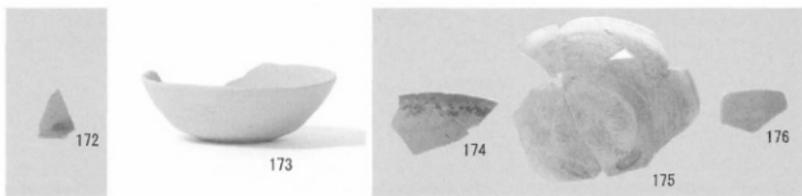
SK28 出土遗物



SK32 出土遗物

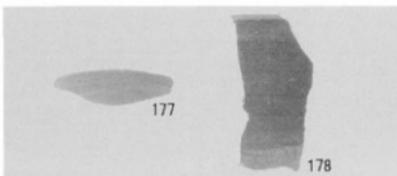


SK33 出土遗物

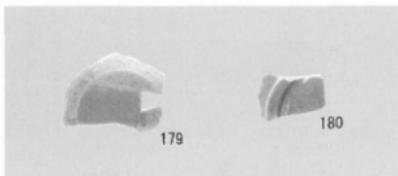


SK50 出土遗物

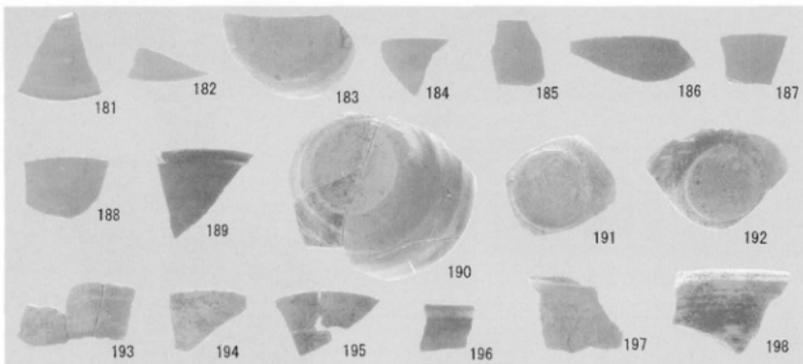
SK69 出土遗物



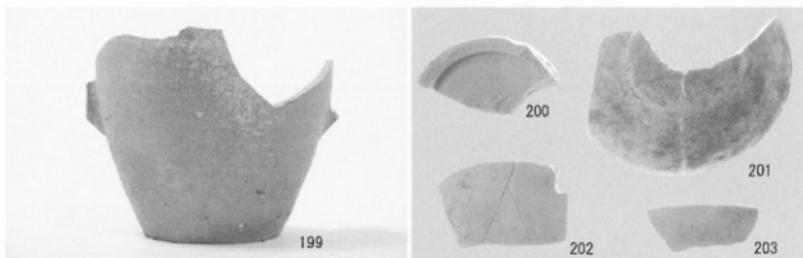
SK84 出土遺物



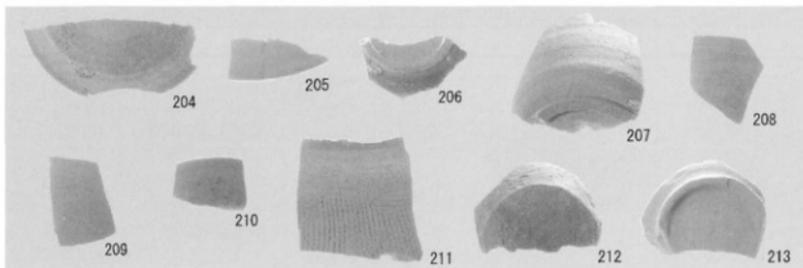
SK86 出土遺物



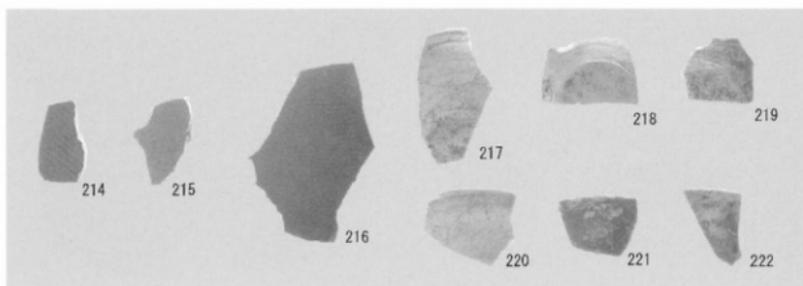
SK97 出土遺物



SK106 出土遺物



SK117 出土遺物

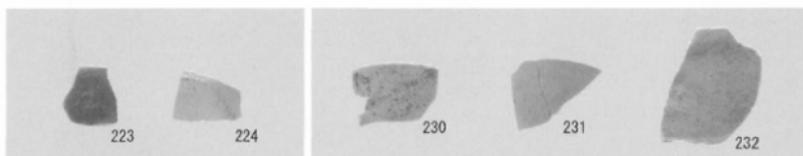


SK132 出土遺物



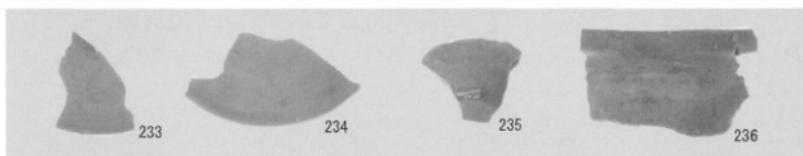
SK193 出土遺物

SK237 出土遺物

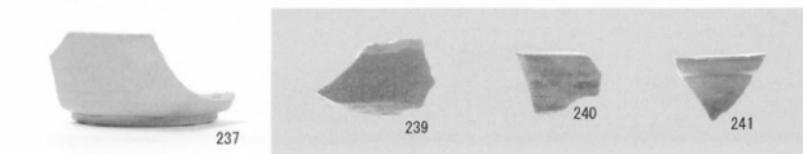


SK143 出土遺物

SK208 出土遺物

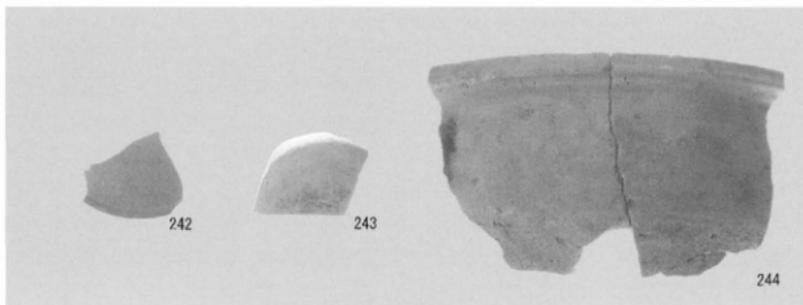


SK261 出土遺物

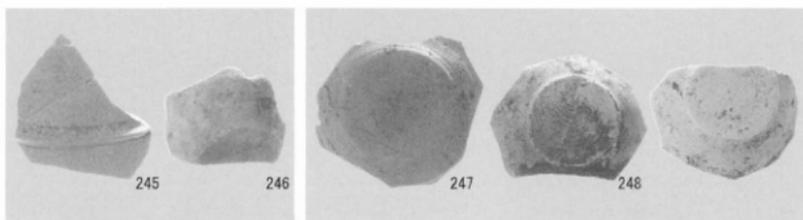


SK361 出土遺物

SK430 出土遺物

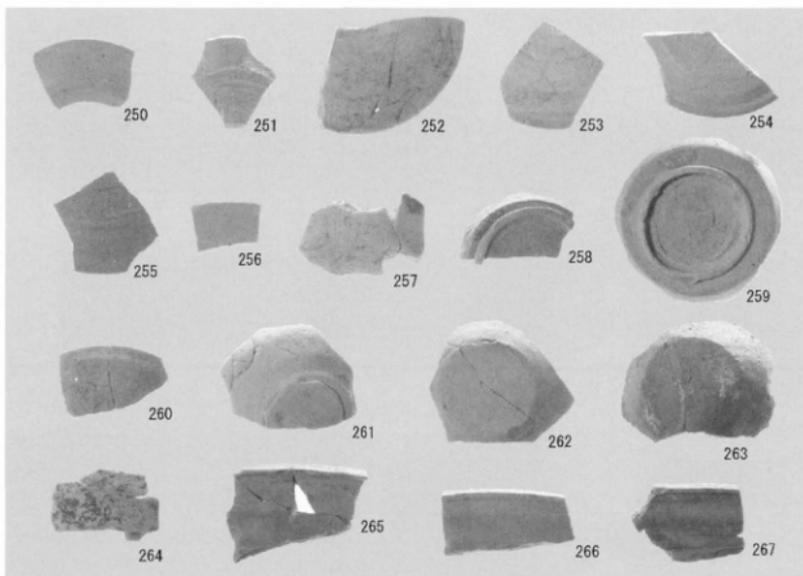


SK460 出土遺物

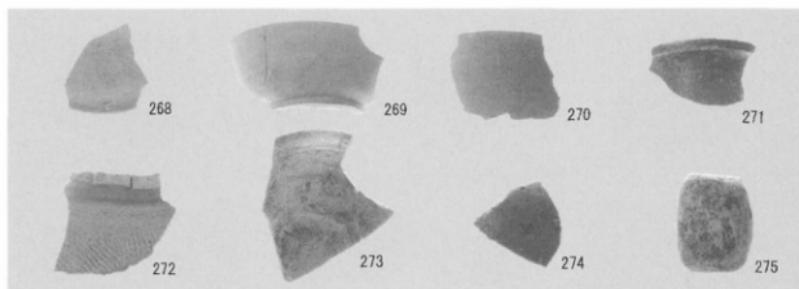


SD5 出土遺物

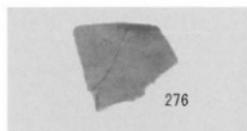
SD6 出土遺物



SD14 出土遺物



SD16 出土遺物



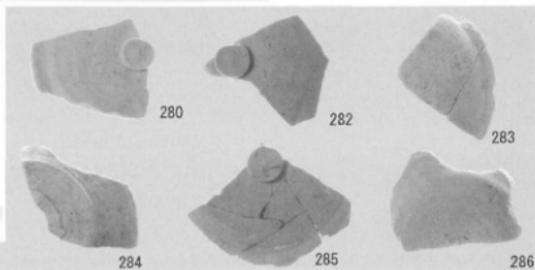
SD66 出土遺物



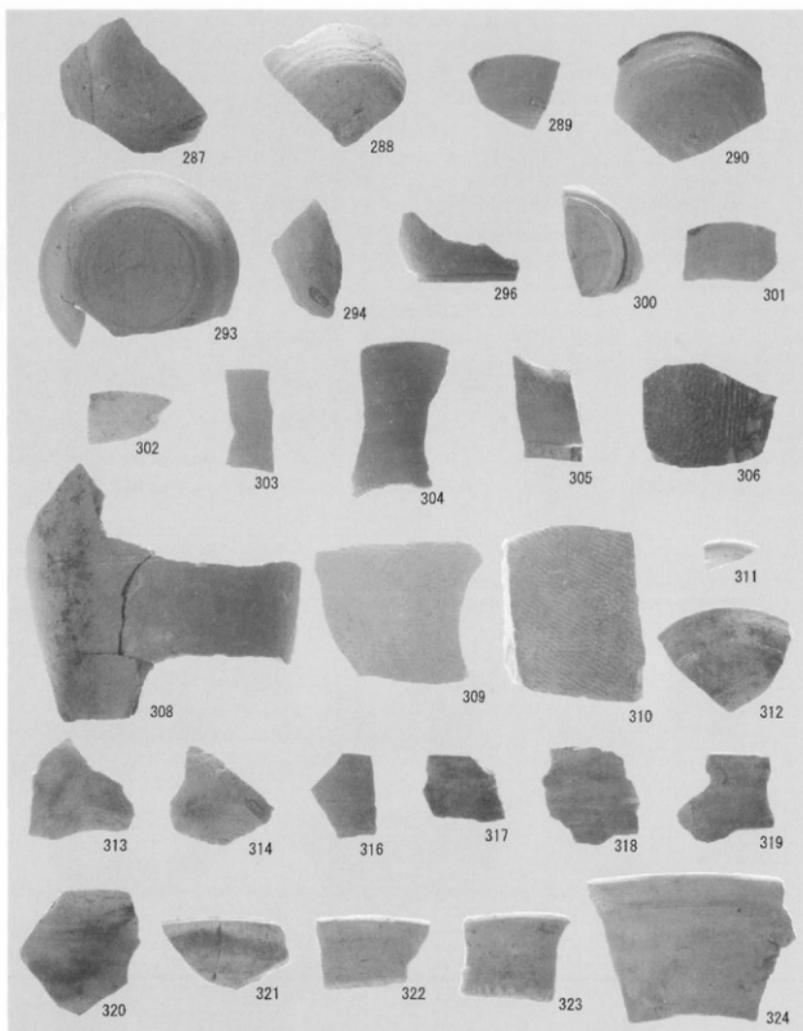
SD67 出土遺物



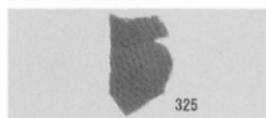
SD87 出土遺物



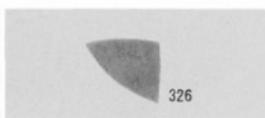
SD109 出土遺物



SD109 出土遺物



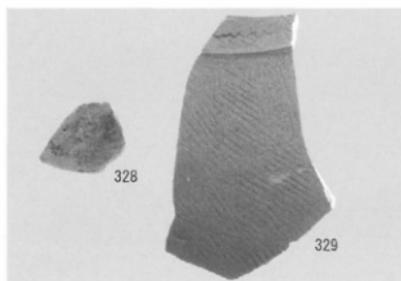
SD127 出土遺物



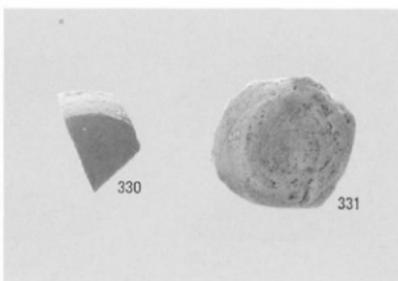
SD148 出土遺物



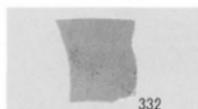
SD150 出土遺物



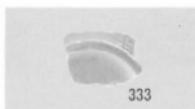
SD159 出土遺物



SD166 出土遺物



SD167 出土遺物



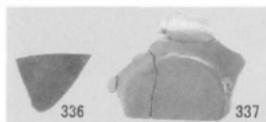
SD169 出土遺物



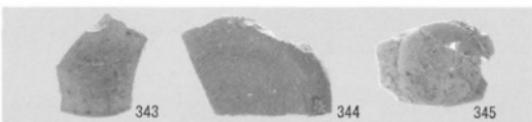
SD175 出土遺物



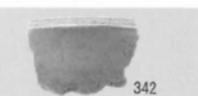
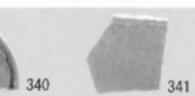
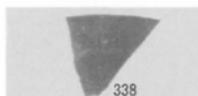
SD176 出土遺物



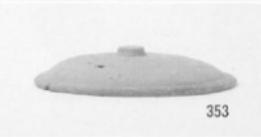
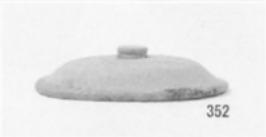
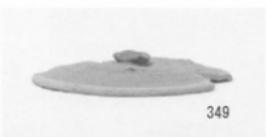
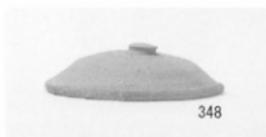
SD182 出土遺物



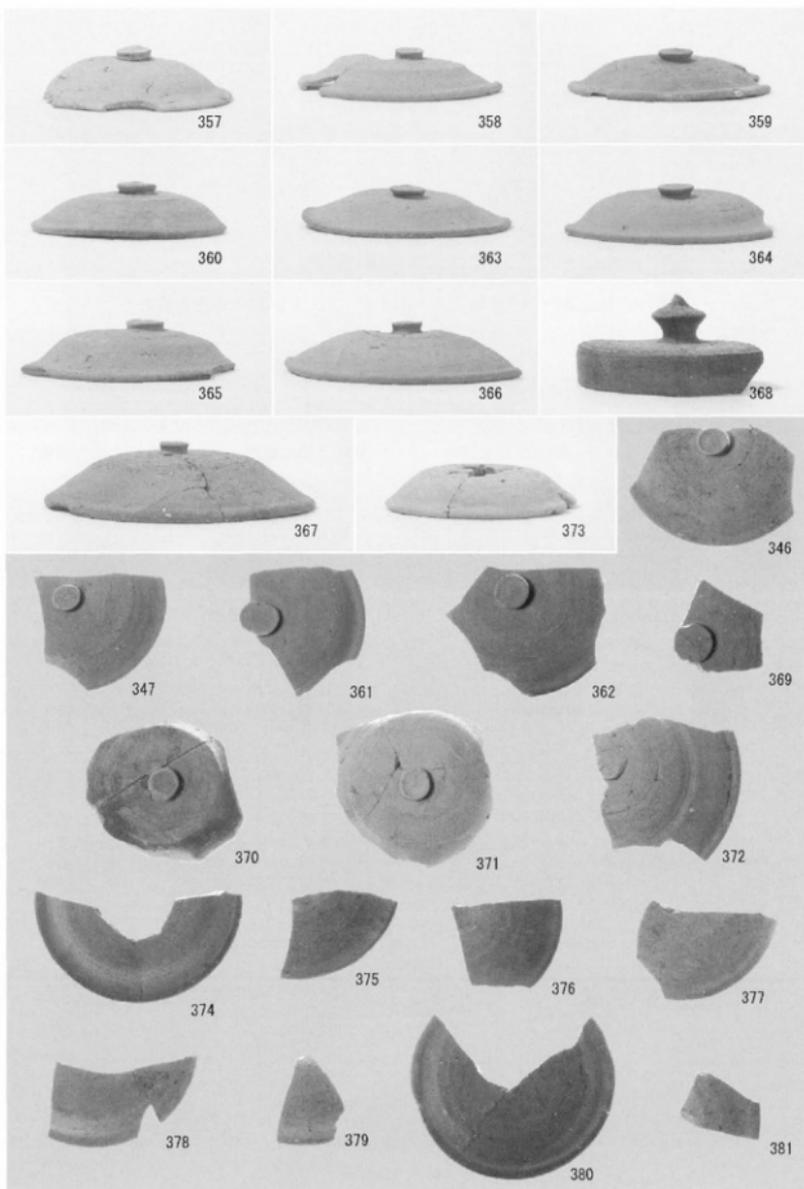
SD224 出土遺物



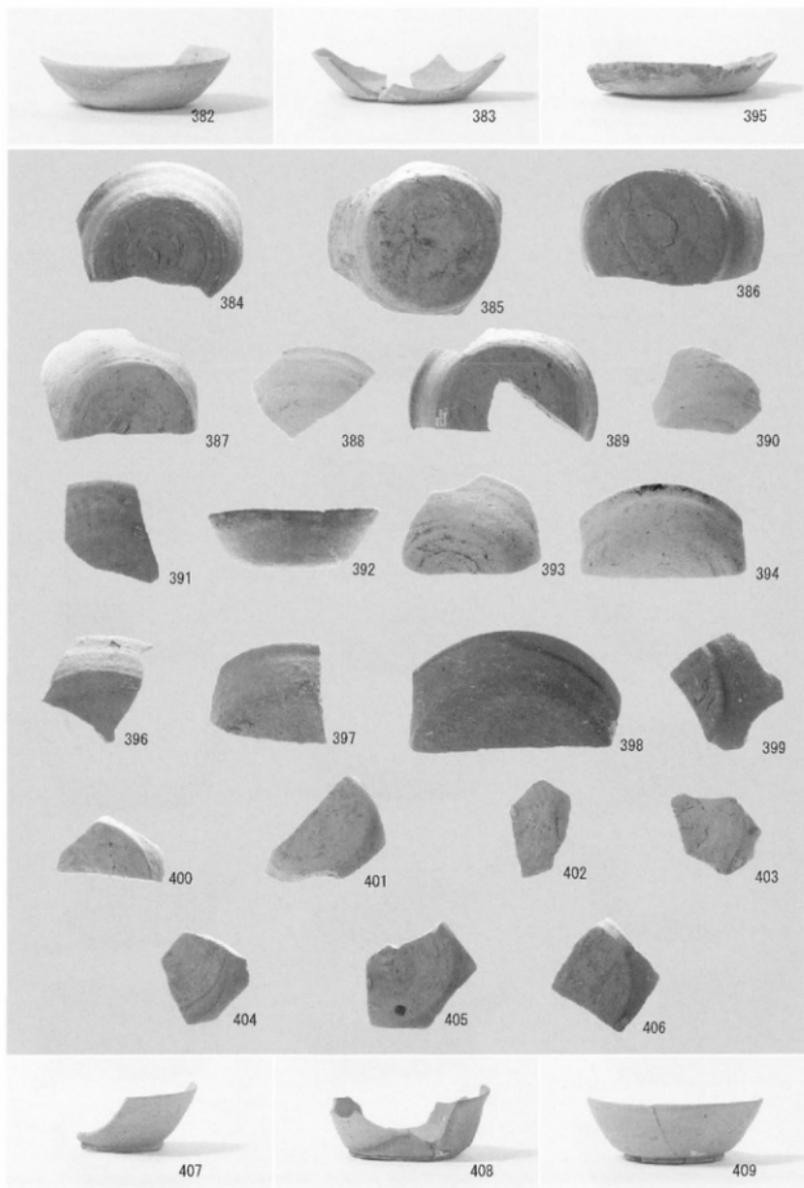
SD205 出土遺物



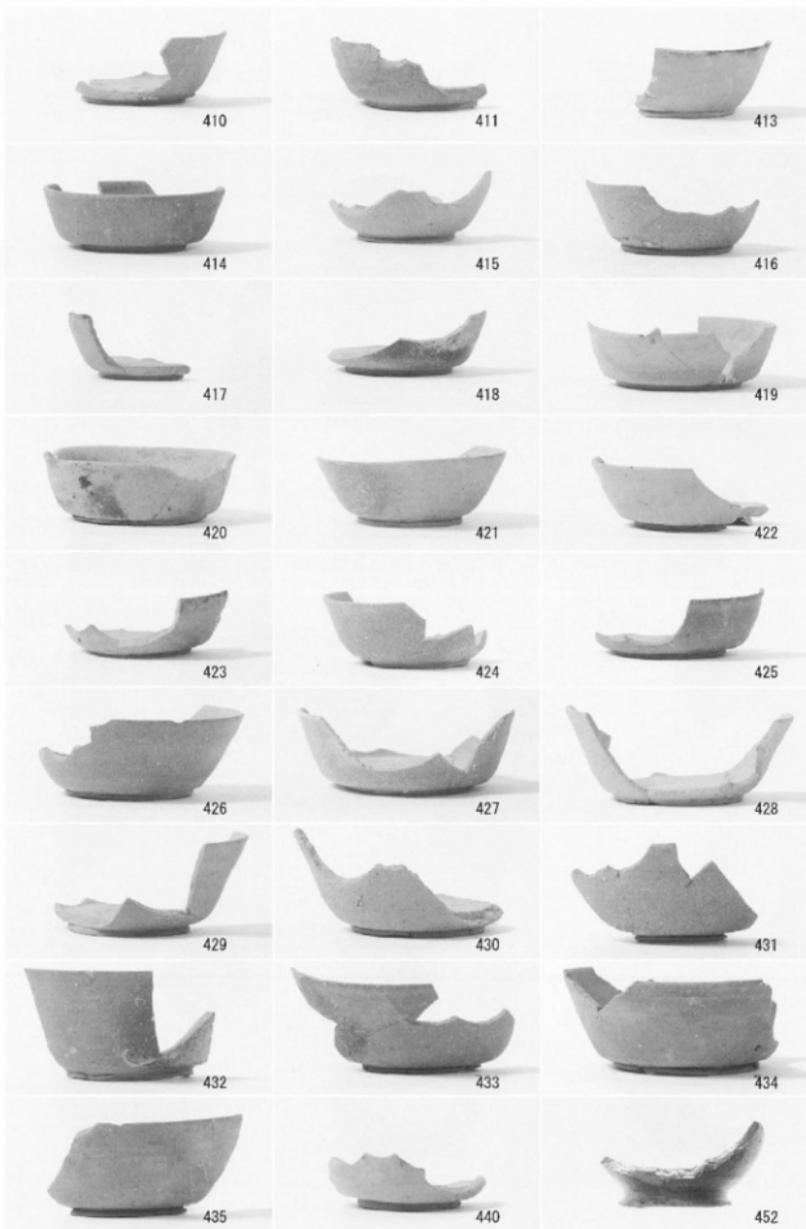
SD225 出土遺物

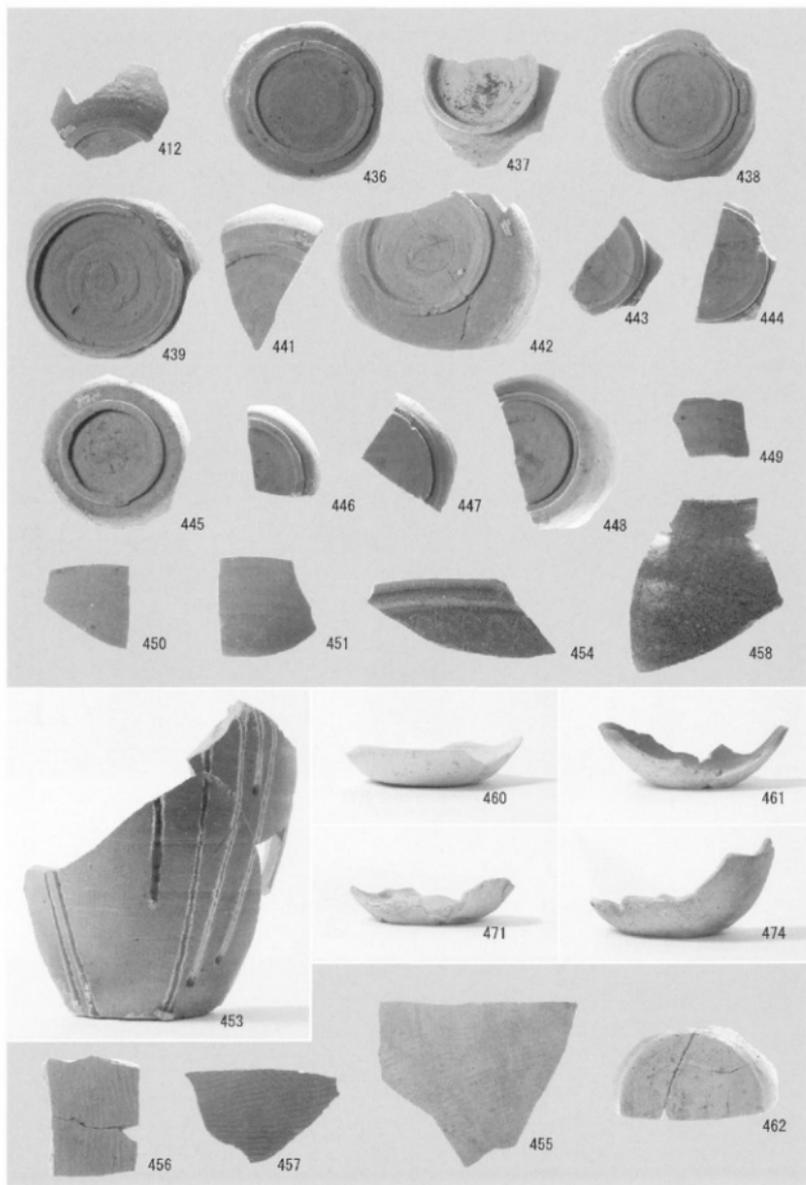


SD225 出土遺物

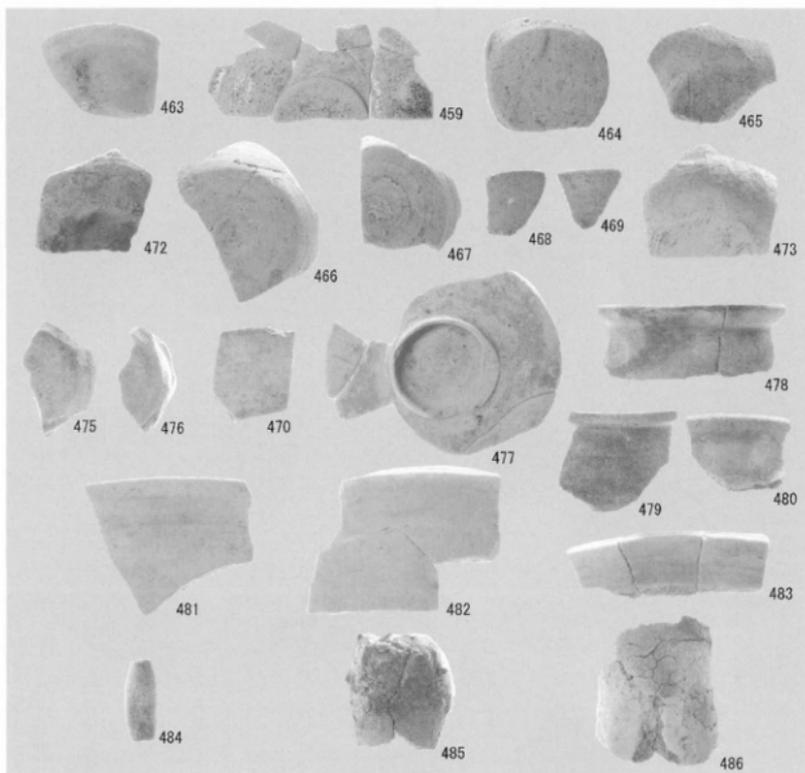


SD225 出土遺物

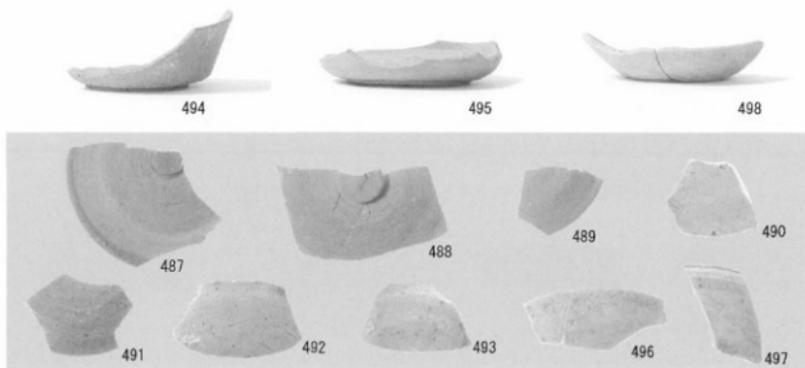




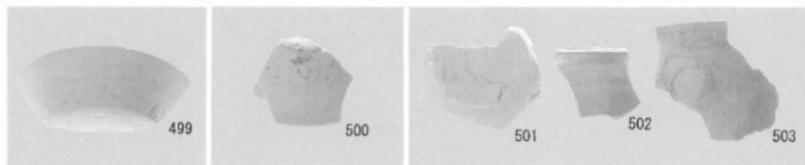
SD225 出土遺物



SD225 出土遺物



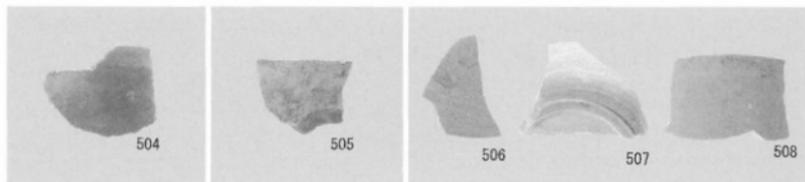
SD226 出土遺物



SD253 出土遺物

SD279 出土遺物

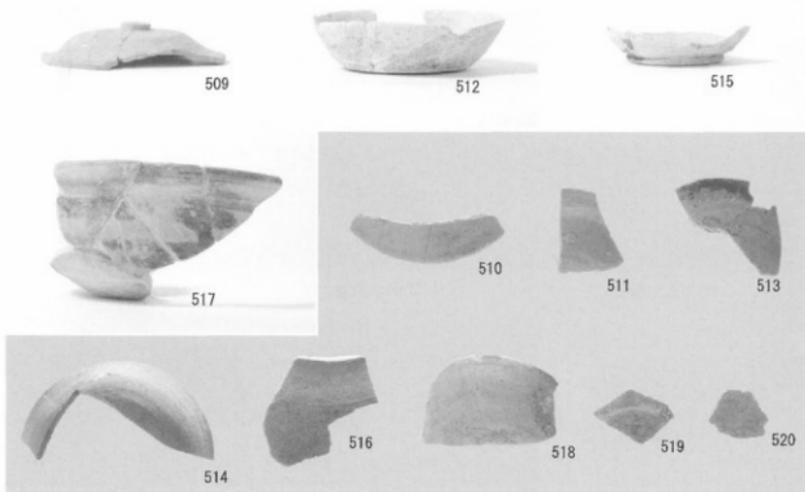
SD281 出土遺物



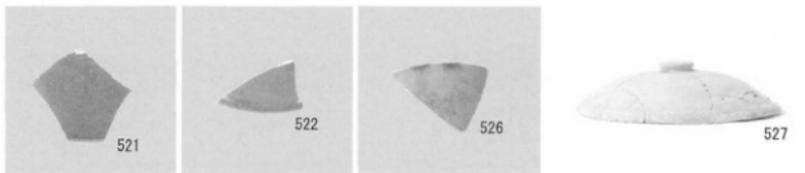
SD287 出土遺物

SD288 出土遺物

SD341 出土遺物



SD346 出土遺物



SD348 出土遺物

SD349 出土遺物

SD438 出土遺物

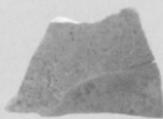
SD484 出土遺物



524



523



525



528

D435 出土遺物

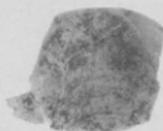
P8 出土遺物



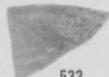
529



530



531



532



533

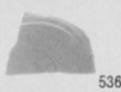
P9 出土遺物



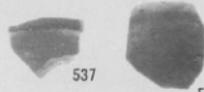
534



535



536



537

538

P43 出土遺物

P49 出土遺物

P51 出土遺物

P61 出土遺物



539



540



541



542

P63 出土遺物

P71 出土遺物

P77 出土遺物



544



543



545



546



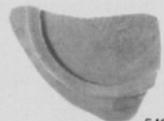
547

P83 出土遺物

P122 出土遺物



548



549



550



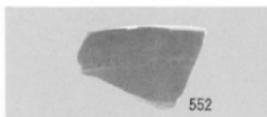
551

P124 出土遺物

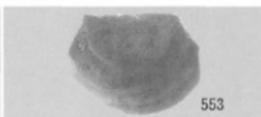
P129 出土遺物

P131 出土遺物

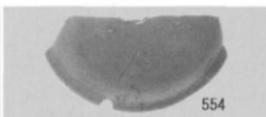
P147 出土遺物



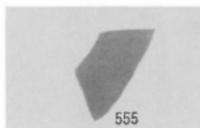
P161 出土遺物



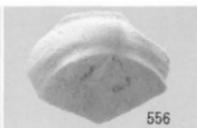
P186 出土遺物



P187 出土遺物



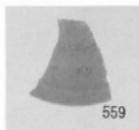
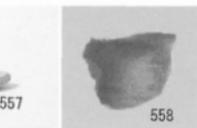
P240 出土遺物



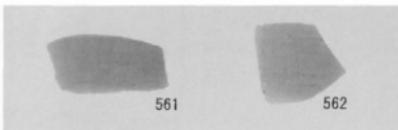
P283 出土遺物



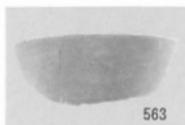
P297 出土遺物



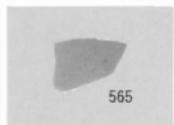
P314 出土遺物



P316 出土遺物



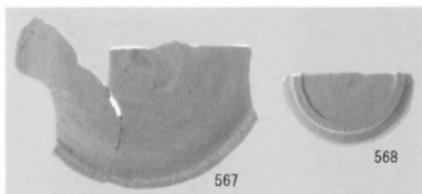
P320 出土遺物



P322 出土遺物



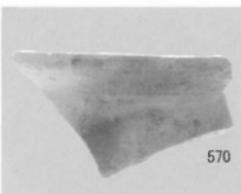
P324 出土遺物



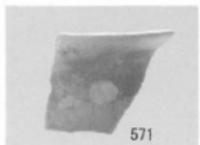
P330 出土遺物



P339 出土遺物



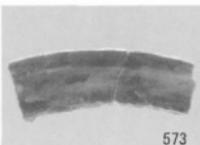
P342 出土遺物



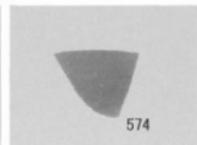
P377 出土遺物



P379 出土遺物



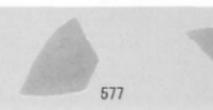
P381 出土遺物



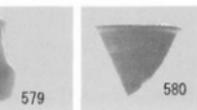
P387 出土遺物



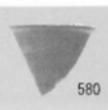
P418 出土遺物



P505 出土遺物



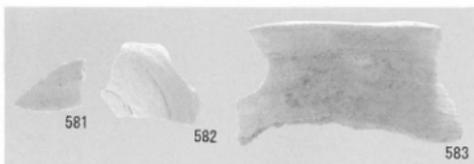
P513 出土遺物





576

P466 出土遺物



581

582

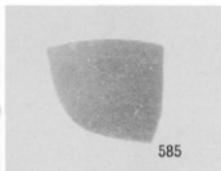
583

P530 出土遺物



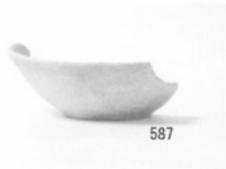
584

P533 出土遺物

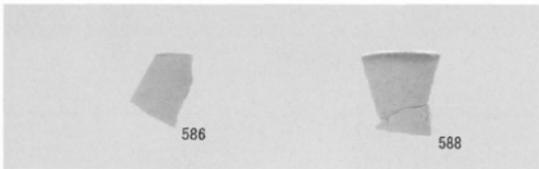


585

P545 出土遺物



587



586

588

P561 出土遺物



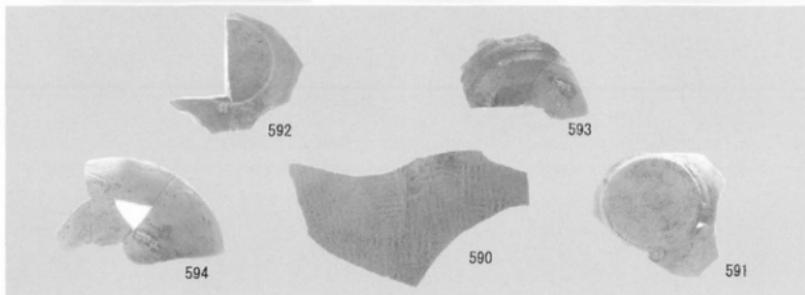
589



595



596



592

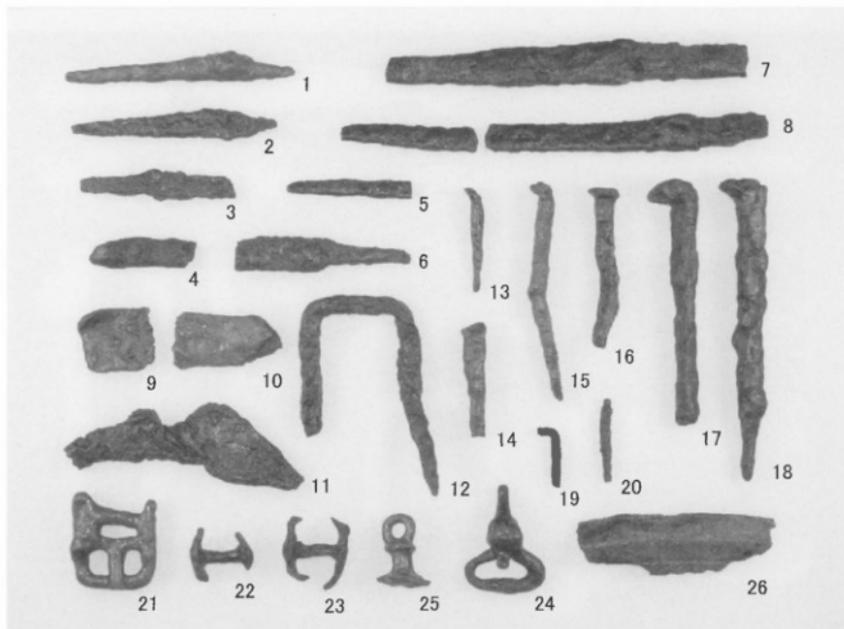
593

594

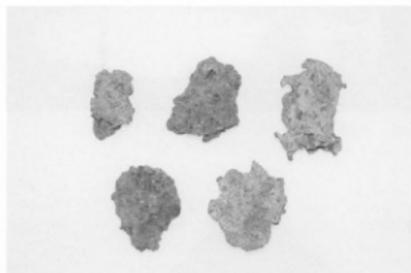
590

591

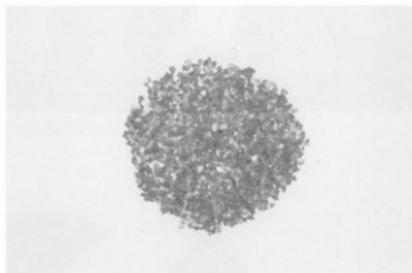
SX180 出土遺物



仏田遺跡出土金属器



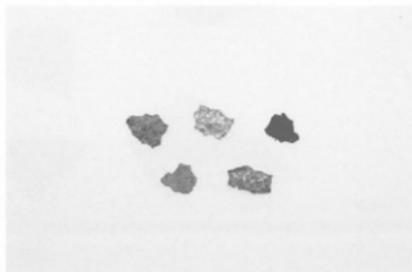
SI293 出土鉄滓



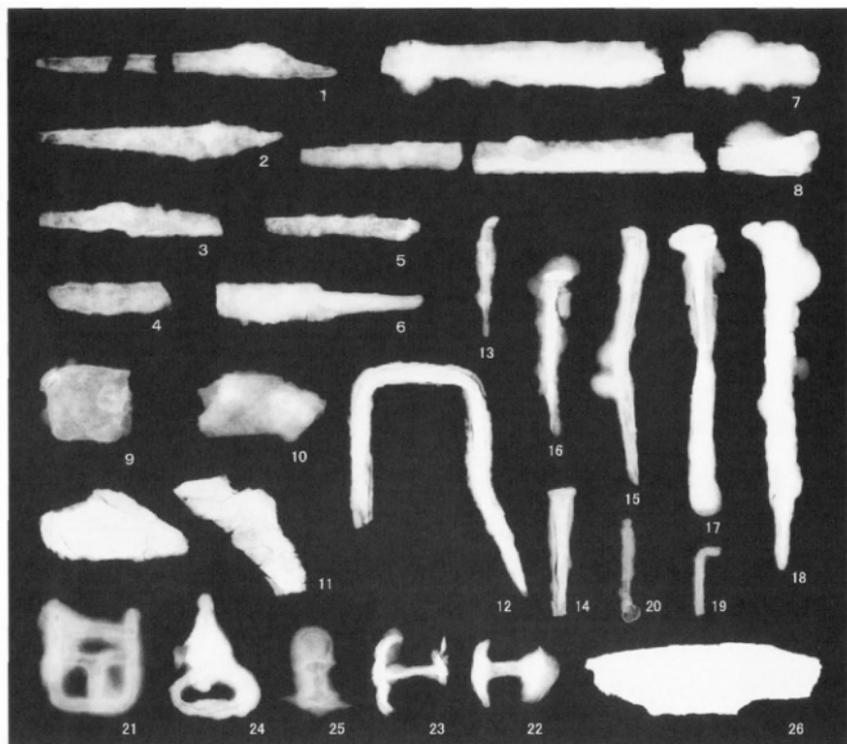
SI293 出土鍛造剥片



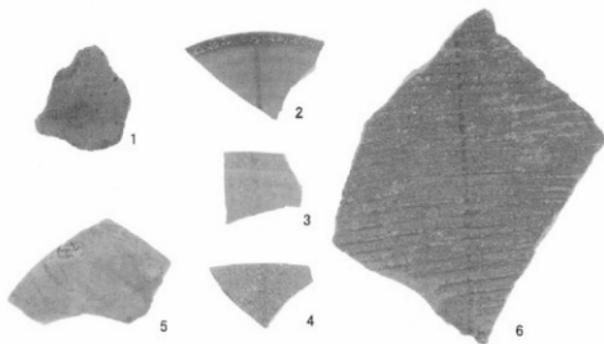
SD225 出土鉄滓



SI293 出土鍛造剥片拡大写真



仏田遺跡出土金属器 X線写真



II区 出土遺物

報告書抄録

ふりがな	ぶつでんいせきはつくつちようさほうこく							
書名	仏田遺跡発掘調査報告							
編著者名	の場茂晃							
編集機関	魚津市教育委員会							
所在地	〒937-0066 富山県魚津市北鬼江313-2 TEL 0765-23-1045							
発行年月日	西暦2014年3月24日							
所収遺跡名	所在地	コ ー ド		北 緯	東 経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市 町 村	遺跡番号					
ぶつでんいせき 仏田遺跡	ふやまけん 富山県 うおづしよつじん 魚津市仏田	16204	204117	36度	137度	20080617～ 20081226	6286	入善黒部バ イパス建設 に伴う発掘 調査
				50分 30秒	25分 06秒			
所収遺跡名	種 別	主な時代	主な遺構	主な遺物			特記事項	
ぶつでんいせき 仏田遺跡	集 落	縄文 奈良～ 平安時代 中世	竪穴住居跡 掘立柱建物跡 土坑跡 溝跡	須恵器・土師器・緑釉陶器・ 灰釉陶器・土製品・石製品・ 金属器				
要 約	仏田遺跡は、縄文時代、奈良～平安時代、中世の複合遺跡である。奈良～平安時代の遺構としては、竪穴住居や掘立柱建物等が確認された。遺物には須恵器、土師器、陶器や墨書土器、転用硯の他に、金属器や礫の羽口、鍛造剥片、鉄滓等が出土した。中世の遺構には、掘立柱建物、中世墓等が確認された。							

富山県魚津市
仏田遺跡発掘調査報告

発行日 平成26年3月24日
編集・発行 魚津市教育委員会
郵便番号 937-0066
富山県魚津市北鬼江313-2
TEL (0765) 23-1045
印刷 魚津印刷株式会社

